THE TAIWAN JIHO

臺灣時報

十月號

内容目録記入済

NOV 7

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報發行の趣旨

政事、時事、農事、工事、商事、學術技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況並に南支南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す。（發行規定第一條）

臺灣時報發行所役員

評議員長　河原田稼吉

評議員（以下イロハ順）

石黒英彦　石坂莊作　生駒高常　伊藤兼吉　池田季苗　西川利藤太　醫學博士 堀內次雄　豐田勝藏　富田松彦　富地近思　陳鴻鳴　陳中和　林熊徵　林獻堂　林烈堂　林鶴壽　李延禧

太田吾一　大竹勝一郎　農學博士 大島金太郎　大久保留次郎　小野時雄　簡朗山　片山三郎　河村徹　楊吉臣　醫學博士 高木友枝　高橋親吉　田村武七　田村藤四郎　田丸直之　高山仰　武田英一　鼓包美

常吉德壽　津田毅一　妻木栗造　値賀龍夫　永山止米郎　永田儀三郎　中村秀太郎　中田秀造　内田隆　宇野庄吉　草鹿砥祐吉　醫學博士 倉岡彦助　松岡富雄　牧山清砂　松本晃吉　増永吉次郎　藤野幹　小松吉久　小寺新一　辜顯榮　古賀三千人　黄欣　吳汝祥　黄春帆　後藤和佐二　枝德二　遠藤所六

鄭神寶　後宮信太郎　近江時五郎　赤司初太郎　赤石定藏　坂本素魯哉　佐々木紀綱　齋藤玄詰郎　櫛淵半之佐　皿谷廣次　蔡蓮舫　鷲[illegible]逐　佐藤得太郎　木村久太郎　木村泰治　許廷光　三好德三郎　水越幸一　三好一八　三澤糾　白勢黎吉　幣原坦　島田茂　徐杰夫　平山寅次郎　久宗董　鈴木重臣

編纂委員

猪股松之助　岩滿重　色部米作

服部武彦　原口竹次郎　本間善庫

常務員

編輯係

本田忠男　大澤清高　大竹勇　渡邊廣　和田一次　和田博　鎌田正威　川村直岡　横光吉規　角田廣次　中瀬拙夫　土井卓三　鈴木重男

中田榮次郎　能澤外茂吉　野口敏治　深川繁治　淺野安吉　赤堀鐵吉　坂口主税　酒井雪介　白井泉藏　樋口要司　須田一二三　伊藤憐之助

昭和三年十月十三日印刷（毎月一回十五日發行）
昭和三年十月十五日發行（定價一部郵税共金三十五錢　廣告料一頁金二十圓）

發行所　臺灣總督府内　臺灣時報發行所
振替貯金口座臺灣二〇七〇番
電話總督府内第八九番

編輯兼發行人　臺北市東門町一五八番地　伊藤憐之助

印刷者　臺北市榮町二丁目十二番地　加藤豐吉

印刷所　臺北市京町一丁目四十三番地　小塚本店印刷工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三井物產株式會社

臺北
臺南
支店

出張所、出張員

厦門 福州

基隆 高雄

臺中

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大阪市高麗橋

株式會社三十四銀行

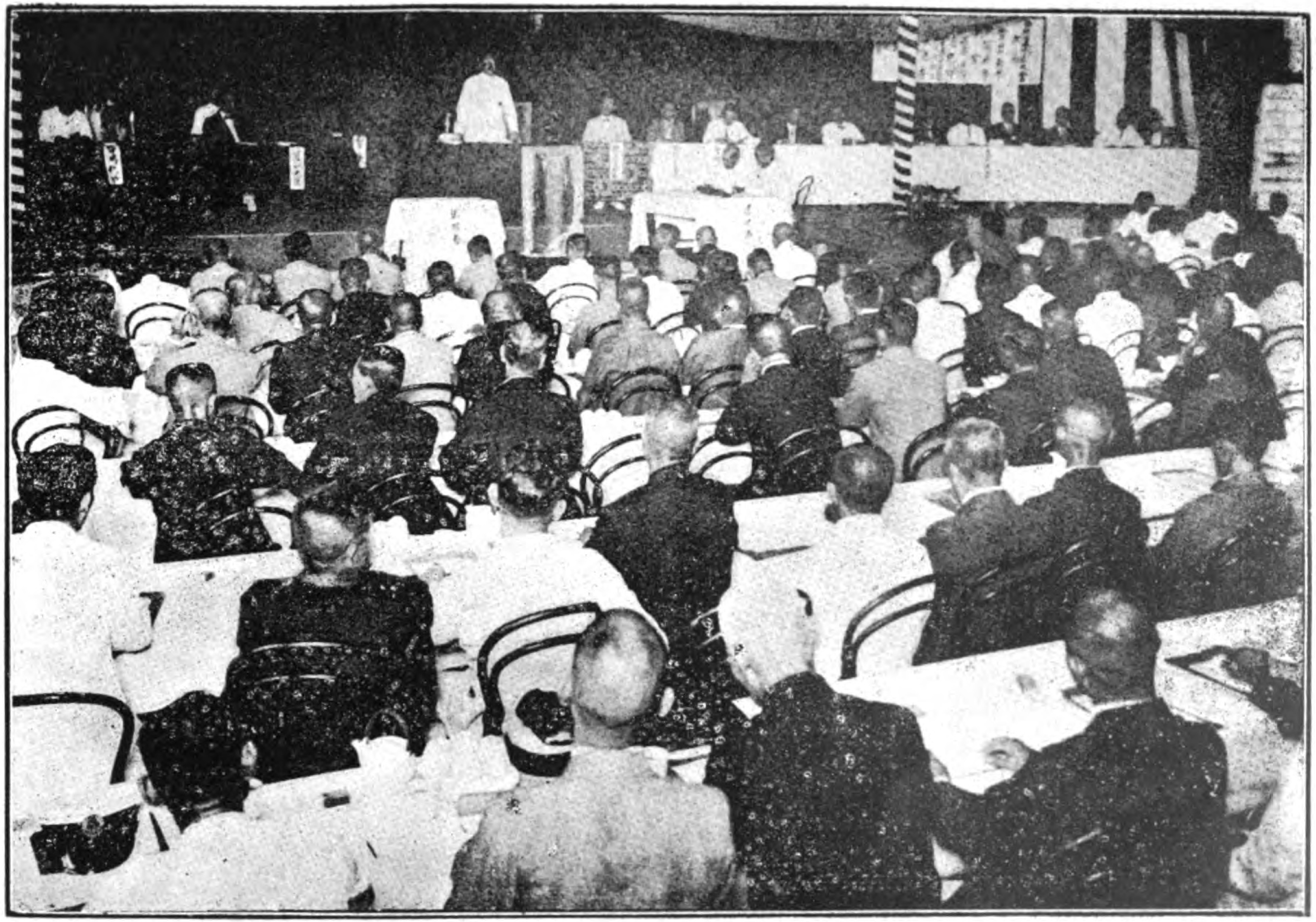
資本金　五千貳百貳拾萬圓

各地支店　堺、東京、京橋（東京）、名古屋、京都、西陣（京都）、烏丸（京都）、七條（京都）、神戸、瀧道（神戸）、兵庫（神戸）、尼崎、大物（尼崎）、伊丹、西宮、姫路、廣島、德島、阿波池田、高知、奈良、臺南、高雄、（大阪市内）船場、本町、今橋、玉造、天滿、堂島、雜喉場、川口、新町、堀江、日本橋、難波、島之內、九條、朝日橋、傳法、高津、北野、築港、

本行之特色　銀行一般の業務の外擔保附社債信託法に依り信託業務を兼營す
事業資金部を置き工業資金の供給を爲す
外國爲替は香港上海銀行の代理店として又横濱正金銀行海外各支店と取引あり
最も便宜に御取扱を爲す

臺北支店　臺北市本町二丁目

（電話三四、五六、二一九五、三三一五四）



西部日本水產大會

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

十月號

上半期間の經濟界の大勢

臺銀頭取　島田茂

九月一日東京支店に於て開かれたる臺銀總會席上に於ける島田頭取の演說要旨

昭和三年上半期内地金融界は前期に引續き異常なる金融緩漫と金利低落とを以て終始せるが、就中此趨勢は五月上旬日銀別融通審査期限滿了前後に於て甚しく、實に近年稀有の遊資横溢を現はし、一般商工界にあつては基調流石に幾分堅實を帶びたる觀ありしも、大勢觀としては依然不振甚しく、新資金の需要殆ど起らず、金融業者の貸出警戒も亦未だ緩和せらるゝに至らず、之れが爲めに市場の遊資は專ら確實なる公社債類の投資に集注せられ、自然公社債市價は激騰を來し、且其間新規又は低利借替起債頻發し、是等募債額は當期に於て空前の巨額に達したり。而て資金過剩の狀勢は直に通貨膨

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

脹及物價昂騰の招來を恐れしめたるが、當局機宜の調節は商工界の不況と相俟つて此趨勢を阻止し、物價は當期中殆ど變動を見ず、寧ろ二三重要商品の價格低下に基因して平均物價却て幾分低落の傾向を示し、對外貿易にあつては輸出貿易額に於て減少したれ、共輸入貿易額に於て棉花及外米の輸入大減少ありたる爲め差引入超額大に減少し頗る好轉の跡を示したり。尤も此貿易尻好轉も他面に於て政界の不安定並に對支關係の紛糾等惡材料出現により對外爲替相場を維持する迄に至らず、一時急騰したる對米爲替は一箇月を出ずして軟轉し、殊に五月以降は濟南事件の勃發と內外金利の差等による資金流出顯著なるとに押され、終に慘落の傾向を辿るに至れるは遺憾に不堪所なり。

以上要約したる所を少しく統計に基きて敷衍せんに、六月末日に於ける全國組合銀行預金殘高は五十九億六千百萬圓、郵便貯金は十六億七千八百萬圓、信託預金は八億六千七百萬圓にして、是等を前年末殘高に比較せば、組合銀行預金の增加額は實に五億圓の巨額に上り、更に郵便貯金及信託預金に於ても夫々二億圓及一億六千萬圓の著增を示したり。隨つて組合銀行貸出高及手形交換高を見るに、六月末組合銀行貸出總額は五十四億八百萬圓にして、前年末に比し千四百萬圓減、又手形交換高當期累計額は前年同期に比し八億千七百萬圓の著減を示したり。手形交換高の激減は主としてコール取引の減少に歸因するも、又一面銀行貸出額減少と共に如實に一般商取引の不振を明徵するものと云はざるべからず。日本銀行兌換券發行高は、特別融通法並に臺灣融資法により日銀貸出高激增せるに不拘、期を通じて發行少く、時に發行餘力を現はしたることあり。六月末日に於ても十四億六千二百萬圓にして、前年同日に比し約二百萬圓の減少を示したり。日銀特別融通は五月八日を以て審査期間滿了したるが、同日に於ける融通總額は八億七千九百九十萬圓に上り、同時に同日日銀貸出高は十億五千七百萬圓に達したるも、是等放出金は商工業界の不振により適當なる放資口少く、結局多くは市中銀行を通じて再び日本銀行へ歸還し、爲めに同行民間預金殘高は最高五億三千八百餘萬圓の記錄的殘高を示したるのみならず、六月末日に於ても

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

尙二億四千四百萬圓と稀有の多額殘高を現はしたり。金融市場遊資横溢により證券界殊に公社債市場が空前の盛況を呈せるは云ふ迄もなき所なるが、試みに日本興業銀行の調査せる所を引用するに、當期中公社債發行總額は十八億七千百萬圓の巨額に達し、中借替償還額を差引きたる正味拂込額は三億三千餘萬圓となり、此外日本銀行が通貨調節の爲めに行ひたる手持其他の公債の民間賣出高二億數千萬圓を加算し、更に又金融業者が海外市場に買付けたる外貨公社債類をも考慮せば、當期中是等債券に放出せられたる資金總額は優に五億七八千萬圓に達すべき見込なり。一流債券類に投資せられたる資金額は如此巨大なりしに不拘、金融市場は尙一貫して遊資過剩に苦みし所より金利は低落に低落を重ね、終にコールマネー翌日物日歩四厘、無條件物六厘、一流紡績手形割引歩合日歩九厘乃至一錢一厘の安値に落込み、有價證券利廻りの如きも期末平均利廻りは年六分一厘見當にして期初に比し三四厘方の低落を示したり。而して金利奔落は事業界の整理促進に寄與する所少なからざりしも、金融業者に對しては他方預金協定利率の引下げ實現せざりしために、單に利鞘の縮小のみを招來したる結果となり、自然其收益率に及ぼしたる影響少からざるものありたり。

次に當期中の對外貿易を見るに、上三箇月は前年に比し毎月輸出增加し頗る順調に經過し、米國市場好況と相俟ち將來を樂觀せしめたる所下三箇月に入り支那時局等の關係にて多少惡化せるが結局輸出九億四千三百餘萬圓輸入十一億七千九百餘萬圓となり、前年に比し輸出に於て五百餘萬圓を減ぜるに、輸入に於ては六千六百餘萬圓を縮小し、入超減少して二億三千六百萬圓となれり。右輸入減少の主因は米印棉等棉花總計一億三百餘萬圓を減ぜると印度、西貢、暹羅其他外米四千百萬圓減少せるとにあり。而して輸出に於ては、生絲は値下の爲め數量僅少ながら增加せるも、金額に於て二千八百萬圓を減じ、更に又印度、爪哇其他南洋諸國に對する綿絲布一千四百萬圓を減じたり。其他の貿易品に在りては濠洲の羊毛、米國の木材、加奈陀の小麥の輸入增加支那に對する精糖の輸出增加等相當著しきものありたり。外國爲替は當初に於ては貿易の好調と民間巨額外債成立の外に第一囘普通選擧による日本政界の變化につれ金輸出解禁に對する政策變更の豫期も

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

あり三月末には急騰して一時對米48 1/8對英1ー11 16を唱へられたるも、半月餘にして銀價强調、內地政局紛亂、對支出兵等弱材料續出して軟調に轉じ、超えて五月濟南事件勃發するや海外の一齊間賣の爲め俄然奔落一時は四十五弗臺を出現したり。其後多少囘復したれども米國準備銀行の矢繼早やの公定割引率引上の結果內外金利の差顯著となるに從ひ、外貨公債の買入旺盛に行はれ、之が爲めに資金の流出甚敷、加ふるに日支問題依然紛糾し支那南洋各地に猛烈なる日貨排斥風潮あり、本邦對外輸出樂觀を許さゞるに及んで再び漸落の傾向を辿るに至りたり。

臺灣の財界は內地金融緩漫の影響を受け金利低下し、社債借換行はれ、製糖會社の併合により內地資金の流入を見、臺灣融資法の實行は各金融機關の整理を進捗せしむる等專ら內地財界の趨勢に支配せらるゝ所少なからざりしが、又本島二大物產たる米及砂糖の豐作と其相場の低落とは、島內財界に影響する所頗る大なるものありたり。卽ち甘蔗作未曾有の豐作は中南部一般蔗農を潤ほし、其購買の世界的不勢は製糖業者に不尠苦痛を與へ、又米作の記錄的增產は概して中北部の小作農の懷合を豐かならしめしと雖も、內地朝鮮の豐作による相場崩落の爲め一般耕主の打擊鮮からず、米商亦漸く凋落の跡を示すに至れるが、大觀するに於ては其生產增加に伴ふ利益は相場に喪ふ所を補ひ寧ろ好影響を與へたものと謂ふを得べきが如し。本島當期貿易は總額二億四千七百萬圓に上り、輸移出超過六千百萬圓を算せり。內外國輸出は一千六百萬圓にして、前年同期に比し三百八十萬圓の減少を示せり、之れ濟南事件の紛擾に基く對岸向主要貿易品たる海產物、石炭、砂糖、セメント等の不況に因るべく、輸入額は二千九百萬圓にして七百七十萬圓を減じ居れるは、主として本島米內地向移出不振に伴ひ外米の輸入を阻止せるが爲めなり。又對內地移出は一億三千八百萬圓を算し、米の移出約六百萬圓減少せるに不拘、尙前年同期に比し九百二十萬圓の移出增加を示せるは、一に砂糖增產の結果と謂ふべく、移入に於ては總額六千三百七十萬圓、對岸仲繼輸出品を除く外殆んど悉く增加を示し、其の額八百萬圓に達したり。之れ概して島民經濟力の發達に伴ふ生活の向上を示すものと謂ふを得べし。金融界に於ては當期中銀行券の發行高一日平均は四千七百四十九萬圓

にして、前年同期に比し二百六十萬圓の著増を示せるが、各地手形交換高は北部に於て金額激減の爲め四百萬圓を減少せり。各銀行預金は南部製糖地に於て増加し、中北部米作地に於て減少の傾向を示し、期末一般預金殘高九千二百八十五萬圓にして前年より八百萬圓を増加せり。

更に二三重要物產の情況に就て見るに、砂糖昭和二、三年期甘蔗植附は、敵作物稻作の影響と適地選擇に意を注ぎし爲め、大正三、四年期以來の減少を招き、植附甲數九萬七千百五十二甲を示せり。然れども產糖高は大莖種の普及と歩留の向上により東海岸に於る暴風被害ありたるに不拘、九百六十七萬九千擔と稱せられ、之を十年前の大正六、七年期に比すれば、作附に於て三分の一强を減少したるも、產糖に於ては反て七割弱の增加に當れるは以て當業者不斷の改善と努力の跡著しきを見るべし。而して來年度糖は植附期に於ける米價低落と蔗種改良による蔗作の有利了解とにより原料蔗作面積十萬七千五百九十九甲、產糖高千二百四十六萬擔と豫想せられ、多年翹望せる我國糖業の自給自足は今や全く實現の域に達せりと謂ふべし。尙本島に於る一大水利事業たる嘉南大圳工事は最難關事業たりし烏山頭の隧道工事成り、一年後に於ては全島耕地面積の五分の一に相當する十五萬甲の土地は三年輪作により、年々五萬甲宛の灌漑に浴せんとしつゝあり。當局の調査によれば、此の灌漑施設による米の增產四十二萬石、甘蔗の增收一億七千萬斤と稱せられ、本島蔗作は米作と相俟つて益々發達せんとしつゝあり、斯くの如く砂糖生產は累年遞增の一途を辿りつゝあるも、糖價は不幸にして世界的大增產の爲、當業者の糖價維持策も結局其の效を奏せず、舊臘以降漸落を示し、當季末に至りては遂に大正四五年來の安値を現はし、蜜糖十六圓二十錢、精糖二十一圓十五錢てふ崩落を示せるは當業者の最も苦痛とせる所にして、各社概ね收益減少し、或は減配に或は無配の已むを得ざるに至れるは遺憾なりき。因に各銀行の砂糖放資總額は一億六千萬圓にして、前年同期に比し四千萬圓を增加せり。

二期作米は大正十二年を境として、植附三十萬甲、收穫高三百萬石當り、十石の圏内に入たるが、爾來灌漑設の進捗、

耕鋤法の普及、並に農民の施肥觀念の發達、品種の改良等により逐年好成績を歛め來り、昨年に至りては作附三十三萬六千六百甲、産額玄米三百六十四萬四千石、甲當り收量十石八斗餘を示し、從來に比類なき進歩を示せり。一期米亦本年に至り從來のレコードを破り、植附二十六萬八千甲、收穫三百三十四萬八千石と豫想せられつゝあり。就中内地市場に好評を博せる蓬萊種は、植附十萬一千甲に恢復し、一部に害蟲の發生を見たるも被害輕微にして、一般作柄良好なる爲め收穫高百三十三萬石と稱せらるゝに至れり、然れども産米額の增加は獨り臺灣のみに止まらず、内地朝鮮亦大豐作を告げたるを以て市場價格の低落は餘儀なき所にして、買上米關稅復活等種々米價維持策講ぜられたるにも不拘、内地米價指數より四十一ポイント方の低落を示せる狀態なれば、本島米の打擊亦少なからず、殊に外米産地高、及輸入關稅復活により輸入不引合の爲め、地許消費に充當せらるゝ額多く、相場往々内地と逆鞘を呈するに至れる爲め移出甚しき不振に陷り、前年同期に比し五十六萬五千擔金額五百九十一萬餘圓の減少を示せり。尙各銀行米放資額は五千七百九十萬圓にして前年同期に比し百萬圓を增加せり。

包種茶は發育良好にして例年より約一箇月出廻り早く、需要地に於る砂糖ゴム其他の産物概ね增産を示したれば、日貨排斥に伴ひ一時取引危惧せられたるも全く杞憂に終り、價格割高にも不拘需要旺盛にして茶館の買付亦順調に行はれ本季輸出高は二百七十九萬圓に上りたるが、之に反し烏龍茶は春茶の取引不振に終始し夏季亦印度及錫倫茶の壓迫を蒙り需要地米國市場に於ける相場慘落し業態甚だ面白からず。

其他樟腦は昨年三回に亘り値下を斷行せると圓建相場を弗及磅建に改正させる等の爲下季より漸次賣行良好となり、再本島重要物産たらんとしつゝあれ共、石炭は砂糖增産に伴ひ島内需要增加せしが對岸輸出半減し且出入船舶の減少内地需要の縮小等により逐月貯炭增加し相場低落出炭減少不況を極たり。又芭蕉實は近年内地移出を漸增せるか五六月出盛期に至り相場下落せる爲當期移出數量に於て前年に比し多少增加を見たるも價格に於て約一割を減じ七百九十萬圓と計上せら

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れたるが、大連方面へ販路擴張せらるゝ等もあり斯業今後の活躍見るべきものあるべしと信ず。

轉じて對支關係を概觀するに、豫て揚子江以南を掌握せる國民軍は愈北伐を開始し、六月奉天軍北平より退くに及び支那本部は大體之が統制の下に歸したり。國民政府は關稅自主並に司法權の回復に突進し日支關係圓滑を缺くに至れるに東三省盟主不慮の死に斃れしより自ら動搖を免れず我國の支那に於ける利害關係は大なる脅威を受け事態寔に重大なるものあり。朝野愼重事に當り禍を將來に遺さゞらんことを祈りて止まざるなり。對支貿易は濟南事件より、各地排日氣勢を昂めたれども、國民黨首腦者は事端を滋くし不利を招かんことを恐れ、極力之が抑壓に力めたる結果、當期中は左程のことなく、支那商の日貨排斥見越輸入激增の爲め支那方面向輸出增進し、六月は在荷過剩もあり著しき減少を見たるも結局前年に比し四千三百萬圓の輸出增加を告げ、差引出超四千六百萬圓を計上せり。

南洋に於る經濟狀況は彼地主要產業たるゴム、砂糖、錫等益々增產の傾向あり、著く供給過剩に陷入りたる爲め市價奔落し一般商取引亦之か爲め不振を免れざりき。即ちゴムは千九百二十二年以來英國政府輸出制限實施の結果一時は價格暴騰し、栽培業者何れも巨利を博したれども同時に他面英領外栽培及古ゴム再製工業の發達を促したる爲めゴム價は漸落に陷り、輸出制限令の效果疑はしきのみならず、之あるが爲めに却て英國側栽培業者の立場を一層困難ならしむるものあるに至れり。此處に於て英國政府は本年二月に入り制限令改廢を企畫し先づ其調査委員會設立を發表せり。然るにゴム業者は此形勢を眺めて逸早やく、即時制限撤廢を見越し旺に市場投賣りを行ひたる爲め相場は二月初旬既に現物五十五仙となり、其後も低落を重ね超えて四月四日愈々政府は委員會の報告に基き本年十一月一日より輸出制限令の撤廢を行ふべき旨正式聲明するに及んで、相場は更に奔落し終に一封度二十八仙の記錄的相場に落込たり。然るに其後英米市場ストック漸減せると兎に角英領栽培ゴムは、本年十月迄從來通り制限せらるべく、差當り產額急增の恐なき所より相場の落調は此處

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

にて一應支へられ五六月にかけては大體三十仙三十二仙所を往來したり。次に砂糖に就て見るに之亦ゴムと同樣此一兩年價格低落の一途を辿り來るが當期に於ては、爪哇方面益々增收を豫想せられたる所に玖瑪臺灣亦豐作を傳へられ、然も各國消費之に伴はざる爲に今年度爪哇トラスト産糖額の賣約例年の半額にも達せず、自然相場は尻下り殊に六月新糖出廻り期に入りては低落特に甚だしく、白双直積十五盾の關門破れ最低十三盾十六分の十一となり、然かも前途尙一段安を報ぜられたり。今是等南洋諸國對本邦當期貿易狀態を見るに元來南洋貿易品は日用必需品並に原料品たる關係もあり過去に於ては、大勢貿易漸增の傾向にありたるも、當期に於ては本邦輸出品の大宗たる綿織物の價格前年に比し甚しく低下せる上南洋華僑殊に新嘉坡に於ける支那人間に排日運動熾烈を極めたる爲め、輸出總額前年同期に比し九百萬圓を減じ、又他方輸入に於ても西貢米及暹羅米の輸入激減せる爲め石油鑛石等多少增加を見たるに不拘結局六百八十萬圓減少せり。

最後に當期當行業績に就て述べんに昨年七月整理著手以來全行一致極力行運挽回に努力しつつあるも、打續く財界不振と內臺金融緩漫に基く金利奔落とは、自然に收益の減退を來たさしめたるのみならず、對支時局惡化に基き勃發したる支那各地及爪哇新嘉坡方面のボイコットは當行輸出手形取組高を激減せしめたる等の事情もあり、且當期迄は臺灣融通法による借入金に對する多額の利拂負擔ありし爲め損失を計上するの已むを得ざるに至りたり。然しながら滯貸整理に於ては鈴木及關係會社に對する分は素より、一般滯貸に屬する分に於ても整理經過引續き豫定以上に頗る順調なるに加へて、臺灣融通法による巨額の日銀借入金も去る六月二十日損失審査會に於て全額政府補償の事に決定せられ、同月二十五日補償手續完了したるを以て、直に滯貸出金の償却を行ひ、當行バランスシートに含まるゝ缺陷は全く一掃せられ、今後は支拂利息に於て每期多額の節約を行ひ得る事となり、一方當行の信用は漸次回復し、臺灣及內地店に於ては殆ど休業直前の業態に復歸し、更に又冗費節約に於ては極力實行し、只管當行更生の趣旨に背かざらん事を期し居るに付聽て、各位の御期待に副ひ得可き滿足なる成績を擧ぐるの日も遠からざるべきを確信する次第なり。

時報

來期産糖豫想

總督府特産課では、第一回蔗園調査成績による來期産糖豫想を八月二十日發表した。右によれば新式製糖場千百六十九萬六千七百三十擔(分蜜及耕地白糖)、改良及舊式糖廍十八萬六千四百八十一擔(赤糖)、合計千百八十五萬三千二百十一擔に達する見込みである。右は六月末の實査を基礎とし八月中旬迄に於ける生育狀況を参酌して豫想したもので、今後に於ける風水害其他の災害は、之を見込んでゐない。

而して本期の産糖高九百六十六萬七千六百十八擔に比すれば、二百十八萬五千五百九十三擔の増加にして、本島産糖高の最高記録を作るものである。斯くの如く來期産糖が大増收を示す原因は、作附面積が本期に比し一萬四千四百餘甲の増加を來したこと、單位面積收量が左の通り増加してゐることとである。

イ、大葉種の植附割合本期四八％來期約七五％

ロ、早植の増加殊に八、九月植の増加

ハ、耕作法の改善

ニ、植附以來氣候順調にして病害蟲の被害を蒙ることなく生育良好であること

尚之が内譯を新式改良舊式別に本期と比較すれば左の通り。

新式製糖場

	來期豫想	本期實績
原料蔗園面積	一〇六、三五〇	九二、〇四五
甲當原料生産斤量	一〇八、八五五	九三、三八九
原料生産總斤量	一〇、九五四、六七六	八、五六〇、一六〇
步留	一〇％六五	一一％一三
産糖高	一、一六九、六七三、〇九四	九五三、七六九、三三三
甲當産糖高	一〇、九七〇	一〇、三五一

改良糖廍

原料蔗園面積	一、六三二	一、三九二

甲當原料生産斤量	五六、〇九三	四二、二二四
原料生産總斤量	九一、五四四	五八、七七六
步留	一〇%四六	一一%〇一
産糖高	九、五七五、五〇二	六、四七五、〇七二
甲當産糖高	五、八六七	四、六五一
舊式糖廍		
原料蔗園面積	三、〇五六	三、一八四
甲當原料生産斤量	三七、七七〇	二九、七一六
原料生産總斤量	一一五、四二八	九四、六一六
步留	七%八六	七%九五
産糖高	九、〇七二、六四一	七、五一七、三九五
甲當産糖高	二、九六九	二、三六〇
合計		
原料蔗園面積	一一一、〇三八	九六、六二一
甲當原料生産斤量	一〇〇、五二〇	九〇、一八二
原料生産總斤量	一一、一六一、六四八	八、七一三、五五二
步留	一〇%六二	一一%〇九
産糖高	一、二八五、三二一、二七	九六六、六六一、七七九
甲當産糖高	一〇、六七五	一〇、〇〇五

甘蔗糖産額順位

世界の甘蔗糖産額は從來玖瑪第一位、印度第二位、爪哇第三位を占め布哇、臺灣、比律賓、ブラジルはいづれが首位を占むるか殆んど互角の狀態にあり、日本(主として臺灣は)從來第六七位であつたところ昨年からは布哇四位、臺灣五位に進み更に本月に入つては布哇を凌駕して第四位に進んだもの〻如く、最近到著のウィレットグレーの調査に依れば世界の甘蔗糖産額順位を左の如く定めてゐる。

第一位	玖瑪	五〇〇萬噸
第二位	印度	三二二萬噸
第三位	爪哇	二三六萬噸
第四位	臺灣(日本を含む)	八五萬噸
第五位	布哇	七〇萬噸
第六位	ブラジル	六五萬噸
第七位	比律賓	六〇萬噸

尙ほウィレットグレーは臺灣の來期産糖を六十九萬九千九百六十一噸日本内地を十四萬七千餘噸と見てゐるもので、多年の理想であつた本邦に於ける砂糖の自産自給が來期から初めて實現せられ、輸出國の域に達したことは大に誇りとすべきである。

米穀檢査規則改正

現行の臺灣米穀檢査規則は大正十五年六月三十日府令第五十四號を以て改正公布され今日に至つたものであるが、現在の狀況に鑑み改正を要する點あるを以て總督府では八月二十六日府報を以て左の通り改正し、去る九月一日より之を施行することゝなつた。

第二條中『合格したる』を『包裝面に合格の證印を有する』に改む

第九條第一項を左の如く定む

合格米には檢査申請人の申出により各包裝面に其等級に從ひ別記樣形(省略す)第一號乃至第三號の證印を押捺し仍て第十一條に定むる卷封及び第十七條に定むる票箋に米穀檢査員の認印を押捺す

第十三條中『丸粒粳玄米に在りては青』を『丸粒粳玄米にありては紫』に『長粒粳玄米にありては紫』を『長粒粳玄米に在りては青』に改む

第十四條　袋又は叺は著しき汚染なきものにして移出又は輸出に耐ゆるものを使用すべし

第三十四條　第一項第四號を左の如く改む

(四)不正手段又は不實の申出により米穀檢査員を錯誤に陷らしめ又は陷らしめんとしたる者

附則

本令は昭和三年九月一日より之を施行す、從前の規定により檢査を受けたる米穀には第十三條の改正規定を適用せず

臺灣米庫組合成立

臺灣米庫利用組合は久しく停頓の姿であつたが、全島を一主體に統一することは暫く他日に讓り、先づ臺灣丸糯の殆んど全部を占め蓬萊米全島産額の約八割を占む臺北、新竹兩州は各其州下を統一した米庫組合を組織し、而して兩組合は協會を作り、總督府の米穀政策に順應し、米穀檢査場所、米穀貯藏倉庫の建設、再調の設備及倉荷證券の發行其他臺灣米の聲價向上に關し産業組合法に基く積極的施設を同一步調を以てなすことゝなり、低利資金の貸下を申請した。尙臺北州では高橋知事が横光前商工課長と最後の打合せをなし、臺灣米庫組合協會成立を九月七日夕發表した。因みに同協會の會則は左の如し。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

組合協會々則

第一條　本會は臺灣米庫組合協會と稱す

第二條　本會は左記組合を以て組織す、但し今後設立せらるゝ米庫組合は本協會に加入することを妨げず

（一）臺灣米庫利用販賣組合

（一）新竹州米庫利用販賣組合

第三條　本會は事務所を臺北市永樂町に置く

第四條　本會は左の事業を行ふを以て目的とす

（一）所屬組合は其の筋の方針を體し米穀檢査場所、米穀貯藏、倉荷證券の發行竝に利用料其の他は可成同一歩調を執ること

（二）所屬組合相互の連絡親睦を圖り事業執行上の便宜を與ふること

（三）米庫組合の業務に關する調査研究を爲すこと

（四）米庫組合業務上必要なる協議又は建議を爲すこと

（五）前各號の外必要なる事項

第五條　本會の事務を處辦する爲當番幹事を置く

當番幹事は當分の間臺灣米庫利用販賣組合を以て之に充つ當番幹事は無給とす、但し旅費其の他實費辨償を受くる事を得

第六條　本會に協議員を置く協議員は本會を組成する組合役員中より各二名を出すものとす

第七條　協議員會は重要なる事項を審議す

第八條　協議員會は當番幹事之を招集す

第九條　協議員會の議長は當番幹事之に當る

第十條　協議員會の決議は出席者の過半數を以て之を決す可否同數なるときは議長の決する所に依る

第十一條　本會の會計年度は毎年四月一日に始り翌年三月三十一日に終る

第十二條　本會の經費は會員の負擔を以て之に充つ

第十三條　會員の負擔額は協議員會に於て之を決し支出の必要生じする都度之を徵收す

本島第一期米作實收高

總督府殖産局では九月廿一日本島第一期米作實收高に關し次の如き發表があつた。卽之によると本期實收高は玄米で三百十九萬六千九百十一石で之を前年同期實收高三百二十五萬四千五百十三石に比べると五萬七千六百二石の減收、歩合で示せば一分八厘方の減收に當り、之を更に最近五箇年

來平均實收高なる二百九十六萬八千二百三十五石に比べると二十二萬八千六百七十六石（七分七厘）の增加を示してゐる。卽ち當局の發表によると、米の實收高は昭和三年第一期米作は挿秧當時臺南州下に於て用水不足の爲め作附を減少したが臺北州下に於ては反之用水潤澤であるのと荒廢地の開拓災害地の復舊あり、新竹州下に於ては桃園大圳通水區域の擴張あり、臺中州下に於ては他作物の轉作等の爲、結局前年當期に比し三、〇一四甲二八の作附を增附し二六九、五二七甲八五の作附面積を得て未曾有の記錄を示し其の作況は一般に當初は順調であつたが、出穗期乃至成熟期に至つては天候不良であるのと、稻熱病、螟蟲、泥負蟲等の發生の爲め作柄稍不良であつた。卽ち本期實收高玄米三、一九六、九一一石にして之を前年同期實收高三、二五四、五一三石に比すれば五七、六〇二石（一分八厘）減收、最近五箇年平均實收一、九六八、二三五石に比すれば二二八、六七六石（七分七厘）增加甲當收量に於ては前年本期一二、二一一石、最近五箇年平均一一、八九九石、本期一一、八六一石にして卽ち前期に比し（三斗五升）平年作に比し（三升八合）の何れも減收せり。尙ほ種類別に前年との比較を示せば左の如し。

種別	作附面積 本期（甲）	前年同期	增減（甲）
蓬萊種	一〇一、七五八・二七	七八、八五四・二六	二二、九〇四・〇一
在來種粳	一四二、八四六・〇二	一六三、三七九・六九	△二〇、五三三・六七
同丸糯	七、〇三六・四九	五、六四六・五六	一、三八九・九三
同長糯	六、七一五・一八	六、五一三・九九	二〇一・一九
陸稻	一二、一八一・八九	一三、一二九・四八	△九四七・五九
計	二六九、五二七・八五	二六六、五一三・五七	三、〇一四・二八

種別	收穫高 本期（石）	前年同期	增減（甲）
蓬萊種	一、二四四、四四三	九六八、〇八二	二七六、三六一
在來種粳	一、七一一、三〇二	二、〇五七、七三〇	△三四六、四二八
同丸糯	六六、九三四	五三、二〇二	一三、七三二
同長糯	七四、六二五	七五、五〇七	△八八二
陸稻	九七、五五七	九七、九九二	△四三五
計	三、一九六、九一一	三、二五四、五一三	△五七、六〇二

備考△印は減を示す

第二期米豫想

臺灣米穀移出同業組合では本年第二期米の作附面積及び作柄を調査すべく過日來松田理事代理各地に出張中であつたが漸く調査を終り其結果を發表した。それによると作附面積三十三萬六千三百甲、收穫見込高三百四十六萬一千七百二十七石にして、昨年同期に比し、作附面積で二百七十七甲

を增加し、收穫高に於て十五萬九千四百十五石の減少である。或は一割減說もあるも、今後の天候にして順調に經過すれば五分減以內で濟むらしくみてゐる。之を各州廳別に示せば左の如し。

	作附面積	收穫見込
臺北州	四七、五〇〇甲	五一五、八〇一石
新竹州	六六、〇〇〇	五八三、三〇〇
臺中州	六九、二〇〇	八三六、八〇〇
臺南州	八九、五〇〇	九〇〇、二八〇
高雄州	五七、〇〇〇	五七二、七〇九
臺東廳	二、一〇〇	一四、五六〇
花蓮港廳	五、〇〇〇	三三、二〇七
計	三三六、三〇〇	三、四六一、七二七
前年同期	三三六、〇二三	三、六二一、一四二
對比增減	(十)二七七	(一)一五九、四一五

製茶稅撤廢陳情

本島に於ける製茶業は近年益々萎微不振に陷り、殊に烏龍茶の如きは昨年まで二十七萬箱の輸出を續け來つたが、本年は極度の不振を極め最終までに二十萬箱の輸出が行はるれば成績良好の方であるといふ狀態に陷り、更に包種茶は南洋各地に日貨排斥行はれ來るべき秋茶以後において如何なる形勢を招來するか豫測すべからざる狀態にあり、全く八方塞りの窮狀に陷つてゐる。此の難局を打開し行くには一に製茶稅を撤廢し徐ろに頽勢を挽回するより外方法がないので、臺北茶商公會では去る五月の定期組合會で製茶稅撤廢の陳情方を可決した行掛りもあり、八月三十一日附を以て組合長陳天來氏の名を以て總督、臺北州知事、臺北市尹宛左の陳情書を、同公會理事蔡天註氏から三十一日朝臺北州當局を訪問して提出した。

陳情書

最近の臺灣茶業界を一瞥するに內に在りては一般物價の騰貴と勞銀の値上により製茶の生產費は益々膨脹の割合に比し製茶物價指數の向上は之に追隨する能はざるを以て斯業を經營するものは比較的不利を來し漸次疲弊の色を示し而して外に在りては他國茶の壓迫を受け年々販路地を蠶食され臺灣茶況の如何は恒に他國茶の一笑一顰に因て左右さるゝを以て商況の安定を期し能はず鮮少ならざる危惧を抱く岐路に居る臺灣茶業に對し相當の振興策を講ぜざれば遂に世界的茶市場より驅逐され漸次沒落の運命に至らんと信ず

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るものなり然るに其の振興を期せんには種々の方策ありと雖も刻下の急務は品質の向上と生産費の低下を圖ることは最も緊要に屬する問題と謂はざるべからずされど品質の向上に對しては當局は既に檢査制度を布き著々其業績を收めつゝあるも生産費の遞減を企圖することは第一に斯業に從事する製茶業者の自制と取引上に跨る中間經由の省略による壟斷階級の廢止と稅制の整理による製茶稅の撤廢を措て他に捷徑の方法なきものとす然るに中間經由を省略して直接取引方法を開くことは久しき因襲的複雜なる關係を有するを以て直ちに實行し能はざるも製茶稅の撤廢は獨り當局の英斷を以て致せば直ちに實現すべき事と思推するものなり抑も製茶稅の年收は平均四十萬圓に達し此の課稅の由來は改隸前支那政府は臺灣統治の唯一財源として臺灣茶を海外輸出に對し茶釐なる稅目の下に之を徵收し領臺後と雖も引續き蹈襲して製茶を輸移出するに當り百斤に付き二圓四十錢の割を以て課稅されつゝあり改隸當時は臺灣の產業は未だ草創の時代を脫せず極めて幼稚にして僅かに臺灣茶業は比較的世に知られ相當の生產額に達せしを以て製茶稅の賦課は政府として重要の歲入款目に編成さるゝ必要あるも今や各種產業は異常の發展を遂げ臺灣總督府の歲入歲出の豫算は既に一億圓を突破し製茶稅の存續は全く其綱要の使命を失ひたり況んや臺灣茶業は漸く衰退の機運に入れる今日製茶稅の負擔は誠に當業者の苦痛とするところなり殊に財政難の支那政府すら輸出稅の苛酷なるを知り時代に適合せざる課稅として屢々其の撤廢を聞くに獨り臺灣に於て尙ほ製茶稅の徵收を繼續することは矛盾撞著の嫌ひありと思ふものなり隨つて總督府の豫算は夙に一億萬圓に達し三四十萬圓の製茶稅の存否は洵に滄海の一粟に如かず格別の輕重に係る問題なきに反し製茶稅の撤除如何は臺灣茶業界に取り實に重大なる關係を有するものなり卽ち臺灣茶の輸移出額は漸く一千萬圓に達し製茶稅の課稅步合は約其の二十五分の一の多きに當り眞に千鈞の重きをなせり按ずるに我國は玆數年來恒に輸入超過を重ね正貨の流出を防ぐため金の輸出を禁じ僅かに其彌縫策を講ずるも今や海外輸出の促進を提唱し輸出奬勵を實行しつゝあるに際し單に臺灣茶のみに對し製茶稅を課することは反て海外貿易の伸暢を阻碍するものとして竊に憂慮に堪へざるものなり因つて玆に愚鈍を省みず一日も速かに製茶稅を撤廢せられんことを謹んで陳情仕り候也

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

西部日本水産大會

臺灣水産會主催の西部日本水産大會は九月二十一日午前九時二十五分から、臺北鐵道ホテルに於て擧行された。出席者は内地及朝鮮、關東州からの會員八十四名、島内水産關係者の出席百八十名、來賓として村上帝國水産會長、大濱農林大臣代理、小林大日本水産會長代理、宮田技師、島内から總督代理河原田總務長官、内田殖産局長、常吉專賣局長、臺北州知事代理猪股内務部長、高木電力社長、田端臺北市尹其他多數にて、與儀督府技師開會の辭を述べ内田臺灣水産會長は主催者側を代表して遠路わざ〳〵西部日本水産大會に出席されたる勞を謝したるのち、輓近我國に於ける食糧人口問題は實に重大な問題である我國情を顧れば耕地面積少なく國民の主要食糧たる米は之を充分に得られない狀態にある。然るに我國は四面環海南方に眼を放てば各地に豐富なる魚介を抱藏する南洋の漁場がある。人類の生活上に澱粉と脂肪及蛋白質を必要とするならば、脂肪と蛋白は水中に求める事が出來ると思ふ。此點からすれば我國の食糧問題は悲觀する必要はない。つまり水産業が食糧問題を解決してくれるといつても敢て過言ではあるまい。臺灣は南方發展の踏石であると申されてゐる。臺灣が南方進出の根據地であることは何人も之を認める所である。大會の初頭に於て、臺灣を選んだことは重要なる意味を以てゐる。臺灣水産會は一昨日成立したばかりで設備萬端不行屆きではあるが、此點に就ては御容赦を仰ぎたい、尚ほ此機會に充分るな視察を遂げ臺灣の實情を各方面に廣く宣傳してもらひたい、と述べ次で農林大臣の告示（大濱水産課長代讀）川村總督祝辭（河原田長官代讀）臺北州知事祝辭（猪股部長代讀）村上帝國水産會長、小林大日本水産會長代理、高木博士の祝辭あり、與儀技師から祝電の披露をなし、ソレより第五回玄海水産集談會の決議、經過を前回の開催地佐賀縣代表から報告し斯くて議長選擧に入る。内田水産會長から之を滿場に諮るや福岡縣代表から主催地から選定せられたしと述べ滿場の贊成を得て木村泰治氏を議長に指名し、議長は左の西部日本水産大會の會則を宮上技師に朗讀せしめ滿場に諮り原案通り可決した。

西部日本水産大會會則

第一條　本會は西部日本水産大會と稱し左の地方の水産團體を以て組織す

福井縣　兵庫縣　島根縣　山口縣

福岡縣　佐賀縣　長崎縣　熊本縣
鹿兒島縣　沖繩縣　臺　灣　青　島
關東州　朝　鮮

以上の外の大會出席は之れを客員とす

第二條　本會は南支那海、支那東海、勃海、黃海、玄海及日本海を中心とする水產業の改良發達を圖るを以て目的とす

第三條　本會は每年一回之を開く次回の開催地は其都度之を定む

第四條　本會の票決に加はるべき員數は各縣、朝鮮各道、臺灣各州廳、關東州、青島各五名とす

第五條　會費は年額金二十圓とし第四條に揭ぐる地方每に之を負擔し大會主催者に納入すべし

夫より愈々議事に入る、劈頭山口縣水產會から提案の

一、臺灣通漁を圓滑ならしむるやう臺灣總督府及び臺北州へ陳情の件

二、市場法撤廢請願に關する件を撤回する旨を述べ、それより漸次提案者から說明をなし提案者は其理由について何れも熱辯を振ふところあり十一時議案二十數件の提案理由の說明を終り、議長委員附託とすべき旨述べ、之に對し福岡縣から委員の數は各府縣から一名づゝ互選して審査するやうにしたいと述べ、一同之に決し十一時二十五分小憩、十一時四十三分再會、互選された委員を宮上技師から報告し同四十五分休憩一同中食をなし午後一時から講演に移り、議長木村泰治氏は講演者農林省水產局宮川技師、大日本水產會長代理小林晋八氏、帝國水產會長村上隆吉男を紹介し、宮川技師は水產冷藏の概況に就て約四十分間に亘り詳述し臺灣に於ても冷藏事業の普及が急務であることを高唱して降壇、小林晋八氏は漁業法規の改正、漁業組合の改善、漁業金融問題、漁業保險制度の必要等約三十分間に亘つて熱辯を振ひ、村上隆吉男は『臺灣水產會の使命』と題し、先づ人口食糧問題から說き起し、動物性蛋白の給源は水產であらねばならぬ然に漁業界の北進は既に行詰り將來は南に進まねばならぬ。南方の海には鰹、鮪、旗魚、鰮、鯖などの洄游性魚族が多い、昨年の如きは鹿兒島の僅か九十噸の漁船二隻が赤道直下まで進出して好成績を擧げてゐる、私が當業者に希む處は將來印度洋まで進出する事である。同方面には海圖によつて見ても魚族の棲息する暗礁が非常に多く寧ろ日本近海よりも多くはあるまいかと觀られてゐる程である。臺灣は其位置からしても重要な地位を占めてゐる

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るもので南方進出には實に誂向きである。今日に於て既に調査は終り實行の時期に到達してゐる。之を遂行するには臺灣水產會の活動を要望するとて滔々數千言約五十分に亘る得意の熱辯を振つて三時降壇、玆に豫定の講演を終り次で島內視察の日程に就て打合するところあり、少憩の上午後三時半からは委員會に於て審議した議案につき委員長から經過報告あり、其結果修正の上可決又は保留された議案は左の通りであつた。

可決された議案

一、漁船冷藏設備に對し補助奬勵の途を講ぜられたく關係當局に請願の件

一、輸出魚類の用鹽及び冷凍用鹽水使用鹽は之を特別用鹽扱となすことを關係當局に請願の件

一、國費を以て西部日本水產調查機關設立方關係當局に建議の件

一、對支水產貿易振興策樹立に關し關係當局に建議の件

一、基隆及高雄漁港築設方臺灣總督に建議の件

一、南支那海及南洋を漁場とする漁業調査及指導奬勵方農林大臣及臺灣總督に建議の件

一、玄海水產集談會に於て決議したる緊要なるものを撰擇し其促進方を重ねて其筋へ建議の件

一、干潟利用養殖助成法制定方其筋に建議の件

一、石油供給の件に關し臺灣總督に建議の件

保留された議案

一、內地に許可を受けたる機船底曳網漁船が朝鮮各道に於て同漁業の許可を受くる場合船籍は之を移轉せざるも許可ある樣關係官憲に請願の件

一、機船底曳網漁船噸數制限撤廢方を其筋へ建議の件

一、全國を信賴する漁業者遭難救濟機關を政府事業として設置せられんことを要望す

一、漁業用私設無線電信電話陸上局相互間及無線電信電話漁船局相互間並に陸上局と漁船局の間に漁業通信を行ひ得るやう法規の改正方を其筋へ建議の件

一、國費を以て漁船々員養成所設置方を其筋へ建議の件

右委員長の報告終るや議長は之を一括して議題に供して可決確定したしと述べて贊同を求め滿場一致之に極り盛んなる拍手裡に三時五十分議事を終り、更に次回の開催地を山口縣としたいと述べて贊同を求め、之亦滿場一致拍手裡

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に可決し山口縣代表から次回引受に就ての挨拶に對し佐賀縣代表答辭を述べ四時盛會裡に閉會した。尚ほ臺灣水産會長内田嘉氏は同會議に出席した人々其他二百三十餘名を同日午後六時から鐵道ホテルに招待し晩餐會を開き盛會裡に九時過ぎ散會した。

因に農林大臣、臺灣總督、祝辭は左の通りである。

農林大臣告辭

西部日本水産大會の開催に方り所懷の一端を陳ぶるは予の欣幸とする所なり

國民生活竝に國家經濟上重要の地歩を占めて夙に本邦産業の大宗たる水産業は近時漁場の開拓と經營の改善と相俟て益々盛況に趨るの勢にあり殊に山口縣より西は朝鮮に亘り南は九州沖繩を連ねて臺灣に至るの間其漁場とする處魚族豐饒にして漁業操作甚だ盛に往時既に重きを爲せしが今や朝鮮關東州に亘る海中資源を開發し黄海東海の漁利を掌中に收めて一層の大を致せるのみならず沖繩臺灣近海の漁業又著々として進歩を示せり

然れども諸般の經營に於て刷新改善の工夫を要するもの尚尠しとせず即ち漁場開發の續を致すと共に漁業操作の改善に努め水産製品の改良を圖るは勿論又漁場の保護に力めて水族の蕃殖に意を用ゐ天然資源を確保して永遠の福利を維持する方途を講ずるを緊要とす更に西部日本漁業の發達と相俟ち臺灣を距ること遠からざる南支那海に邏羅灣及ボルネオ、セレベス、爪哇等に亘る南洋漁業を開發し本邦水産業の發展を圖るは洵に希望に堪へざる所なり

政府は南洋漁業の調査を行ひ適當なる方策を樹つるの意あり而して之が目的の達成は西部日本の水産業開發に與はる當業者の發奮に俟つ所最も多し本大會に於て西部日本水産業の現に占むる所に就き改善發達の方途を講じ併せて南洋漁業開發に意を致すあらば邦家の幸慶たり乃ち希望する所を一言して告辭とす

川村總督祝辭

本日西部日本水産大會開催せられ關東州、朝鮮、内地及島内多數水産關係者の來集せらるゝに方り所懷の一端を披瀝するを得るは予の欣幸とする處なり

惟ふに本邦水産者は近時長足の進歩を遂げ正に舊態を一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新せりと雖之を他の產業に比するに尙改善攻究の餘地尠からず、殊に東海黃海を中心とする西部日本の漁場は本邦食用水產物の漁場中最重要なる地位を占め加ふるに同漁場は本會參加地方の共同漁場なるを以て其永遠の漁利を保持せんとせば操業上の協調有用水族の蕃殖保護等關係地方の協力に俟たざる可からず、加之近時前記漁場狹隘を告ぐるの折柄南支南洋方面に漁場を擴張するは蓋し必然の趨勢なりと云はざる可らず

本島は地理的關係に於て南支南洋漁業開拓の前進根據地として絕好の位置を占むるを以て從來同方面の漁業調査に付きては相當の施設を怠らずと雖如斯處女地に於ける漁業と對しては資本に於ても技術に於ても關係地方相互の協力に俟つべきもの多し此秋に方り關係地方の參加を得て西部日本水產大會第一回大會を本島に開催せられ水產業の開發に付き隔意なき意見を交換せらるゝことは洵に機宜を得たるものと云ふ可く如斯は獨り關係地方水產業の爲めに歡ぶべきのみならず惹て本邦水產界に貢獻する所多大なるを信ず、庶幾は各位に於ても右の意を諒とし硏鑽砥勵以て所期の目的を達成せられことを望む

臺灣水產會發會式

臺灣水產會は發會式を兼ねて第一回總會を臺北州廳會議室に於て開催總代會に於て選出された各州二名づゝ協議員參集の上高橋臺北州知事議長として左記の事項を審議決定した

附議事項

總會議事細則

一、經費の收入方法

一、豫算

一、役員特別議員及委員專任

會計事務細則

一、給與規定

一、帝國水產會

一、西部日本水產會引受の件

會長　殖產局長

副會長　農務課長、木村泰治

評議員

臺北州　猪股內務部長、近江時五郎

新竹州　本間內務部長、藏田壽吉

臺南州　橫光內務部長、津田毅一

高雄州　中島內務部長、古賀三千人

澎湖廳　兒玉廳長、三浦光治

特別議員　與儀喜宣、須田義太郎

委員　張式穀、村上玉吉、大坪與一、上瀧柳作

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

屏東農業學校開校

屏東農業學校の開校式は九月十日擧行され各地中等學校長以下五百餘名の參集があつた。

祝辭

茲に本日屏東農業學校開校式に當り一言祝辭を述ぶるは予の欣幸とする處なり

夫れ農は國の本なりといふは本島に於て益其意義深し農は實に本島産業の大宗にして其消長の關する所甚だ大なるが故に當事者に於ても鋭意改良を懈らず以て今日の進歩を致せり本校の開設を見たるも亦畢竟益々之が發展を圖らんが爲めに他ならず然ども亦翻つて思ふに地を將に此地に擇びたる所以のものは自ら特殊の理由を存することと之れを宜蘭若くば嘉義の同校におけるが如し蓋し卽ち農業と稱するも地方の異なるや各々の特色あり

屏東一帶の地は久しく農産の適地を以て聞ゆ此長所を益助長し發揮せしむるには寔に本校主旨の隨一たるべし而も亦本島現在の農業界は單なる原始的農稿の時代を去り今や稻甘蔗の改良增殖蔬菜果樹の奬勵發達等學理と技術の應用を必要とするもの益多きを加ふ又各種農産加工品並畜産加工品も亦此地農業上重要の地位にあるを以て自覺せざるべからず斯の如くにして更に進んでは原料を海外より入れ其の製産を各地に給るを得るに至らば始めて本島農業の眞意義を徹底し得たるものと云ふべし若夫れ生徒の訓練に至つては其の擔當の教科の如何に拘らず必ず以て共に實習場に出で所謂其の髮膚を曝らし其四股の力を盡し以て田野に從事すと之れ眞に時代に適合する人格構成の要義にして職に本校に在るものゝ要らくも遺忘すべからざる所とす又其の教科の如きも科を繼續すること數時間に亘らしめ以て彼等が徹底の思想と堅忍緊張の精神とを陶鑄するの資となすは將來に益する所極めて大なるべし本校前途の使命に鑑み所懷を述べて祝辭に代ゆ

昭和三年九月十日

總務長官　河原田稼吉

尙太田高雄州知事のなせる式辭は次の如くであつた。

式辭

本日茲に官民各位の臨場を得て高雄州立屏東農業學校の開校式を擧行するは予の尤も欣幸とする所なり

抑も農業は我が立國の基礎にして之れが盛衰は卽ち國運の消長に關す而して農業を振興するの途は他なし農事に關

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

する智識を普及し以て學理と實際に徹し之が改良進歩を圖るなり州下の農業は近時大に其の面目を更め漸次發達の機運に向へりと雖も猶幾多今後の改良刷新に俟つべきもの少からず是れ州下農業の中樞地たる屏東に此校を設置し以て斯業の進歩發達の一源泉たらしめんとする所以なり當校は其組織に於て將に畜産科を置の外農産製造に力を注ぎ其教育に常に地方の實際に即すると共に勤勞第一を以て主眼とし極南農學校としての特色を發揮せしめんとす希くは當校に職を奉ずるもの協力一致して校風の確立と校運の隆昌とに努むると共に來りて此所に學ぶもの須らく質素剛健克く勤勞に服し學業に勵み德性を磨き以て當校設立の趣旨に副はんことを一言以て式辭となす

高雄州知事　太田吾一

內臺間に於ける樟腦販賣協定

現在國內樟腦販賣の方針としては大正六年に內臺樟腦販賣協定に依り原則として內地樟腦は內地の需要に充當し臺灣産は外國輸出に充當することに定められて居るが、その當時內地の産出多からず國內需要を充すに足らなかつたので臺灣が主となり國內需要即ち大日本セルロイド會社、日本樟腦會社、其他小セルロイド業の消費者に對して供給をなし、內地は日本樟腦會社に供給することゝして遣り來つたが、最近內地産の增加著しく、內地專賣局は前記協定の原則に戻り內地需要者に對しては矢張り內地專賣局より供給してその事業を管理したきことを豫てより提言して居たのであるが、內地の事情は尤もであるとしても、臺灣の財政にも影響する懸念もあり直ちに解決するに至らず久しき間の懸案となつて居り、爲に內臺專賣局間に或程度の意思の疎通を缺く憾みもあつたやうである、然るに今回專賣局長上京し折衝の結果、將來前記の原則に依り實行すること、但し內地産の不足する場合、又は在庫が臺灣に比して少く臺灣に在庫多き場合には國內賣値で內地に供給し、又反對に臺灣の在庫少き場合は內地より供給することゝしたのである。然し實際上內地産のみで內地需要を充すことは出來ないので、結局經濟的には臺灣は何等影響を受けず單に國內の事業を內地專賣局が掌り、臺灣は專ら海外の販賣に全力を傾注すると云ふことになるので、人造樟腦問題に關しても非常に活動し易くなつた譯である。卽ち從來一面國內にて供給し、一面困難な人造樟腦問題に當つて居た爲め兎角種々の拘束を受け臨機應變の商機を逸した憾みがあつたが爰に局面展開し自由濶達な商戰に出づることが出來る樣になつたのである。尙ほ右問題の解決は內臺間の疏通を促し鹽、煙草等その他の關係を圓滿に進捗せしむる動機ともなつた譯である。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣の農業

前殖産局長　高橋親吉

一、概況

本島は總面積二千三百三十二方里で九州と略ぼ等しく、南北に一萬尺に達する中央山脈縱貫し、長大なる分水嶺をなし、東部は平地少く西部は廣濶なる沃野をなし、本島の農業は此西部地方に盛に營まれて居る。土地北回線直下に位するので、氣温は濕熱兩性を帶び、一般に濕潤で酷暑の時期長く嚴寒を知らず、樹木四時常綠をなし落葉を見るもの甚だ稀である。從つて之れが農業生産に關係すること大きく各種農作物に適し、溫帶植物とを併有する便がある。而して尚ほ本島内に於ても北部と南部とは全く氣候を異にし、南部は北部より一層熱帶的である。又彼の颱風は夏期より秋期にかけて襲來するを常とし本島農業上に及ぼす影響甚だ大きい。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本島農業は全島に亘り米作を以て主となし、甘蔗、甘藷、バナナ、茶、落花生之れに次ぎ、副業として養豚、養鶏盛である。中南部にては、水田及畑に甘藷が多く栽培され、北部に於ては平地及び傾斜地に茶が多く栽培されて居る。大體本島の自然は面積廣大でないのみならず、高山比較的多いので、從つて農耕適地は制限さるゝ嫌あるも、熱帶地特有の天惠と勤勉なる二百三十餘萬の農民とに依つて農産は極めて豐富である。

農業に對する行政機關として中央に總督府殖産局、地方各州廳に勸業課或は勸業係があり、試驗機關として、中央研究所農業部があり、州農事試驗場があつて、農事全般の研究を行ひ、又農事團體として各州廳に農會があり、郡、街庄、部落等に農事小組合又は該聯合會があつて、本島農政上の助力機關として農林業の改良發達の任に當つて、著々として其の歩を進め、所謂熱帶農業國の特色を遺憾なく發揮せんと努めつゝある。

二、耕地及び農業人口

耕地面積は昭和元年末で、水田三十九萬三千九百四十三甲（一甲は二千九百三十四坪で、内地の約一町に相當す）、畑四十二萬六百二甲、計八十一萬四千五百四十五甲を示し、之れを明治三十一年の田畑面積四十一萬四千三百二甲に比すれば、實に倍數面積の開發擴張を遂げたることゝなり、尚ほ之れを最近十年前の大正六年の田畑面積七十四萬二千九百八十五甲に比するも、七萬一千五百六十甲の擴張を見たる次第で、從つて之れが各種農業生産の増加に寄與せしことは實に大である。

農業人口は昭和元年末で、自作者七十萬二千二百二十九人、同戸數十一萬四千五百九十九戸（農業者總數の三割）、小作者九十四萬八千六百五十六人、同戸數十六萬一千八百九十七戸（同三割九分）、自作兼小作者七十二萬六千百六十二人、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同戶數十一萬九千三百二十二戶(同三割一分)、計二百三十七萬七千四百四十七人、同戶數三十六萬五千八百十八戶を示し、之れを明治三十一年の總數百五十七萬八千七百五十人(戶數不明)に比すれば、七十九萬八千二百九十七人の增加を示すも其の割合三割四分增で、耕地增加の割合に比ぶれば遙に少い。

而して本島總人口對農業人口關係を見るに、昭和元年末では、總人口四百十五萬五千二十六人なるが故に、農業人口は、總人口の五割七分を示して居るが、領臺當時は、總人口二百六十九萬九十六人之に對する農業人口の割合五割九分であつた。之れに依つて見るも、本島に於ける農業者は領臺以來三十有餘年の間依然として、本島總人口の過半數を占め來りつゝあつて、如何に本島產業界に重きを爲して居るかが窺はれる。

三、農業生產竝主要農業物產の概況(含畜產)

昭和元年農業生產物總價額は二億九千百八十六萬四千六百二十九圓で、本島各產業總價額六億二千五百八十二萬二百二十一圓の四割七分餘を占め、明治三十五年の五千七百四十萬四千百六十七圓(本年以前は統計不明)に比すれば、實に二億三千八百四十六萬四百三十二圓の增加で、實に五倍餘の生產を見るに至り、其の進步發達の狀勢は寧ろ驚異に値するものがある。今本島主要農業物產の數種に付いて近況竝變遷の概要を記せば左の如くである。

米 本島の氣候は米の栽培に適し、一年二回の收穫を行ひ、西部諸州が主產地である。領臺以來總督府に於て品種の改良と栽培の奬勵に努めたる結果面目大いに改まり、其の作付面積、收量、品質等の諸點に於て著しき進步を來して居るが、殊に近年に至り蓬萊種(內地種米)の栽培盛に行はれ、之れが取引價格竝內他人の嗜好等の關係上其の移出も旺盛なるが爲め從つて、近年本島產米移輸出高も著しく多額に上つて來た。今是等の狀況を數字を以て記せば、昭和二年末の本島產米

高は六百八十九萬八千六百七十二石、其の栽培面積六十萬三千百七十六甲であるが、之れを明治三十五年の二百八十二萬一千四百二十四石、三十五萬五千六百八十七甲に比すれば、即ち收量に於て二倍四分、作付面積に於て七割増の多きに達したことになる。

蓬萊種の產額は、昭和二年產高百二十六萬一千九十五石を示し、之れを統計的記錄の明かなる大正十一年の產額一石なるに比すれば、實にこゝ六箇年間の斯種普及の大勢は夢想だになし得ざりし程の發達を經來りし感がある。而して米の移輸出高の如きも昭和二年中に二百八十八萬六千五百九石に上り、之れを明治三十五年の四十二萬八千五百五十五石に七倍の多額に達し、母國の食糧米補給上我が臺灣は最有力なる役割を務めつゝある次第である。

甘藷 は米に次ぐ食用作物で、四時到る處に栽培されるが、就中臺南、臺中、高雄の三州は其の主產地である。直接食糧となす以外に養豚の飼料として重要であるのみならず其の切乾薯（蕃薯簽）は酒精原料として移輸出し、又澱粉原料にも供する。之れが生產の狀況は昭和二年の作付面積十二萬八千三百七十七甲、收量十九億三千百八十四萬八千七百三十二斤で、明治三十五年の六萬三千百四十六甲、五億百十六萬二百九十二斤に比すれば、作付面積に於て二倍餘、收量に於て三倍八分の多きに達した。

甘蔗 本島に於ける甘蔗作は、明治三十五年糖業獎勵規則の發布以來專ら品種の改良、耕作法の改善等に意を用ひ即ち總督府に於て適當と認めた場合は甘蔗苗費、肥料費、開墾費、灌漑排水費、製糖器具機械費等に對して獎勵金を交付する方針を取り尚ほ其の後、蔗苗養成所を設け極力指導獎勵を行ひ來れる結果其の作付面積收量の如き實に驚異すべき發達を示し、殊に近年大莖種の栽培盛なるに伴れ、甲當收量の如き後退せざりし增產を來しつゝある。栽培生產の統計的變遷を見るに、昭和元年の甘蔗生產は其の作付面積十二萬三千九百五十二甲、蔗莖收量八十六億一千十一萬四千三十九斤で、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治三十六年の一萬六千五百二十六甲、收量六億八千三百十五萬七千九百二斤に比すれば、作付面積に於て七倍半、收量に於て十三倍弱の多きに達したるを見る。

茶　本島主要輸出品で、其の額年々七、八百萬圓以上に達し、臺中、臺北に栽培され、臺北、新竹二州が主產地である。年十數回の摘葉を行ふ。其の種類には、烏龍、黃柑、白毛猴、時茶、大葉烏龍等あるが、就中烏龍は最も優良種で茶園全面積の六割以上を占めて居る。昭和元年の作付面積は四萬七千三百一甲、粗製茶生產高千九百八十九萬四千五百六斤で、明治三十五年の二萬八千三百八甲、粗製茶生產高二千八十萬八千七百六十五斤に比すれば、作付面積は六割餘の增加を來せるも、收量は反て四分減を示して居るが、之れは茶園の生產力減耗によるもので、總督府としては之れが改善に力を盡しつゝある。

養豚　豚肉は本島人の最重要な副食物で需要頗る多く、農家の副業として每戶必ず數頭を飼養して居る。昭和元年の飼育頭數は百五十四萬二千八百二十九頭、屠殺頭數九十二萬一千三百六頭で、之れを明治三十五年の飼育頭數七十七萬九千百七十九頭に比すれば約倍數に達したことになる。

畜牛　本島の畜牛は主として水牛と黃牛の二種で、是等は專ら農耕と運搬用に使役されることは內他馬匹の如くであるが、此の他に洋牛と雜種牛とがあつて、乳用其の他に使用されて居る。昭和元年末の飼育頭數は水牛二十八萬八千九百九十五頭、黃牛八萬七千四百四十頭、其の他四千七百二十四頭、計三十八萬一千百五十九頭で明治三十五年の二十五萬六千九十五頭に比すれば四割九分の增加を示して居る。

家禽類　本島の家禽は鷄と鶩が主で、之れを昭和元年末調によると、鷄四百三十四萬七千二百四十一羽、鶩九十二萬五百十二羽、其の他鵞及七面鳥二十二萬四千百二羽、合計五百四十九萬一千八百五十羽で、之れを大正元年の四百四十七

萬五百五十九羽に比すれば二割三分の增加になる。

養蠶　本島の蠶業は僅かに十數年來のことであるが、年々發達し、將來一般農家の副業たらしむべく漸次普及を圖りつゝある。飼育用の桑は、廣東種と本島在來種とを主として居る。繭產額は新竹州を主とし、臺北、臺中、臺南順次之れに次ぎ、昭和元年には飼育戶數四千八百二十四戶、掃立枚數九千四十三枚、產繭高二千六百六十三石を算し、之れを大正元年の掃立枚數八千十六枚、產繭八十四石に比すれば實に著しい長足の進步を來せしものと云はねばならぬ。

四、農產物竝同加工品の貿易

本島に於ける農產物竝同加工品の貿易額は逐年增加し來り、昭和元年には之れが移出高一億八千三百七十四萬七千五百三十二圓、輸出二千五百九十六萬三千五百四十三圓、計二億九百七十一萬一千七十五圓にして、總輸移出二億五千百四十二萬五千七十圓の實に八割を占め、移入高四千八百九十一萬九千七百七十二圓、輸入高二千七百六十三萬六千五百二十五圓、計七千六百五十五萬六千二百九十七圓にして、總移輸入高一億八千三百四十一萬一千四百五十圓の四割餘を占めて、本島對外貿易上の中樞をなしつゝある。而して之れを明治四十三年の同移出高四千三百九萬五千三圓、同輸出高七百四十七萬二千五百七十五圓、同移入高五百五十八萬六千七圓、同輸入高六百三十六萬二百七十一圓等に夫々比較すれば、卽ち移出高四倍餘、輸出高三倍餘、移入高九倍弱輸入高四倍に何れも著しい多額に上つたことを見る。

今主要農產物竝加工品の昭和元年に於ける貿易高を見るに左の如くである。

品目		輸移出 數量	輸移出 價額		輸移入 數量	輸移入 價額
米	輸出	二五六石	八、七八六円	輸入	四二一、一七〇石	九、二七五、四三二円
	移出	二、四一五、三三〇	六三、〇七七、二八五	移入	二五、二五六	九七四、四三一
	計	二、四一五、五八六	六三、〇八六、〇七二	計	四四六、四二六	一〇、二四九、八六三
砂糖	輸出	二一、七一五、六二七斤	三、一七七、七七三	輸入	四八、二六八、四六三斤	五、三〇四、三九七
	移出	七四八、七九一、五一三	九八、三七五、八二八		三、七六四、四九七	九三三、一三〇
	計	七七〇、五〇七、一四〇	一〇一、五五三、六〇一		五二、〇三二、九六〇	六、二三七、四九七
茶	輸出	一七、一四七、六七五	一二、三四五、〇三三		—	—
	移出	一八四、五五一	一三〇、四三五		?	七五、六八九
	計	一七、三三二、二二六	一二、四七五、四六八		?	七五、八八九
バナナ	輸出	八、一六五、九三二	四四七、二一一		—	—
	移出	一八六、五七六、八四六	一〇、九〇〇、三七七		—	—
	計	一九四、七四二、七七八	一一、三四七、五八八		—	—
切乾藷	輸出	三一〇、八七四	一三、七四一		—	—
	移出	一五、一一七、七七〇	六六〇、二八六		—	—
	計	一五、四二八、六四四	六七四、〇二七		—	—
鳳梨罐詰	輸出	三、二七四打	一〇、二八三		—	—
	移出	四八七、七七四	一、七五二、〇五七		—	—
	計	四九一、〇四八	一、七六二、三四〇		—	—

五、農業に對する諸施設

從來總督府が本島農業の奬勵並指導に盡し來たれる範圍は頗る多方面に亘り行はれて來たが、それ等の概要を述ぶれば大要左の如くである。

(一)米作の改良　米は前述の如く本島の最重要作物であるが、從來品種は雜駁、品質は粗惡で、殊に多くの赤米、烏米稗等を混じ、爲めに市場の價値を損じ、又一定面積から收量が少なかたので其の改良の爲め總督府では左の施設をなしつゝあつたが、大正九年地方制度改正に際し大部分は地方廳に移管して之れを繼續施行せしも現在は蓬萊種改良奬勵に意を用ひつゝある。

(イ)米種改良　明治三十九年度から地方農會に補助金を下附して在來種の優良なるものを限りて栽培せしむると共に異品種特に赤米の除去を行はしめて來た。

(ロ)蓬萊種改良奬勵　本島に於ける蓬萊種の栽培は長き試作時代を經て、今や其の適應確實なるを認めらるゝに至れるを以て、之れが健全なる發達を遂げしむべく大正十五年度より各州をして原種田を經營せしめ之れに國費を以て補助金を下附しつゝある。

(ハ)育種事業　大正四年度から補助金を下附して在來品種に付純系分離をなし、多産にして品質優良の純系と認めらるゝものを米種改良の原定品種中に加へ、徹底的の改良を行ひ來たつたが、現在は各州農事試驗場で行つて居る。

(ニ)米穀檢査所　本島に於ける米穀檢査は明治三十七年創始以來幾多の變遷を經來り、現在は大正十五年七月の檢査規則改正に從ひ檢査所を總督府に置き、主要産地に出張所、派出所を設け、檢査階級を四種に分ち、等級は標準米に準據して鑑別を行つて居る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(ホ)水稻第二期作奬勵　東部の臺東、花蓮港二廳管內產米の自給を圖らんが爲め、大正八年度以來農會に補助金を交付し實施せしめて來たが、同十五年度より廳地方費を以て廳直營に行ふて居る。

(ヘ)綠肥奬勵　綠肥の施用を普及させ、以て米作の改良を圖らんとの趣旨から設けた綠肥模範田の成績に鑑みて、現在は地方廳に移管し、其の栽培の慣習なき地方に奬勵をなさしめて居る。

(二)蠶業奬勵　本島の蠶業は明治四十四年以來の奬勵に係るもので、殖產局附屬養蠶所に於てこれに關する諸般の事務を取つて居る。而して從來は蠶業技術員の講習、蠶業敎師の設置、蠶具の貸付、蠶繭買取奬勵、桑苗配付、蠶業試驗、蠶種の製造配付等を營んで居つたけれども大正十二年以降は單に蠶種の配付のみを行ふて居る。

(三)畜牛改良奬勵　明治四十一年度から主なる產牛地方廳に奬勵費を配付して貸下げ、黃牛種牡牛の設置を奬勵せしめて來たが、其の實績頗る良好であつたので之れを水牛にも及ぼすこととし、大正八年から漸次全島に及ぼし實行せしめて居たけれども地方制度改正以來は之れを地方廳に移管した。

(四)養豚改良奬勵　從來中央研究所農業部に於て繁殖成したるバークシヤ種豚を高價で、養豚の經驗家と團體とに貸下げ、或は拂下げを爲して居たが、爾來斯種普及の趨勢は逐年盛となりし、殊に近年は破竹の勢で今や地方農民は競て本品種を要望するに至つたので、大正十五年度からは國庫より奬勵金を支出し、年々種豚數百頭を內地より購入せしめ、農業部供給豚と共に增殖を行ひ、本種豚自給の基礎を確立せしめんとして居る。

(五)農業倉庫　本島產米の乾燥調製を良好ならしめ米質を向上し、米農の金融を圓滑にし、且米の販賣運送を便ならしめ、以て米農の純益を增進し、農家經濟の安定を圖らんが爲め、人工乾燥、籾摺調製裝置を設備せる農業倉庫の設置を奬勵して居る。卽ちこれが爲めに國庫補助の方策をとり、大正九年三箇所、十年度七箇所、計十箇所、之れに臺中農業倉庫

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を加へ計十一箇所を設置し州農會をして經營せしめつゝある。

(六)農業移民　臺灣の内地農業移民は明治四十一、二年頃から私人經營で全島各地に企てられたけれども、何れも失敗に歸し、現在では殆んど跡方もない樣になつて了つた。四十三年から初めて東部臺灣の官營移民のみは相當の成績を擧げ得たのであるが、之れは大正六年初を以て事業を中止し、爾後既移住者は獨立自營で今日に至つて居る。其の農村は花蓮港廳下の吉野、豐田、林田の三村で戸數六百七十七戸人口三千三百九十四人、耕地面積田七百七十甲、畑千七百七十二甲に達し、生活も漸次安定に向ひ將に理想的農村を實現せんとして居る。官營移民は當時花蓮港廳に限られたので臺東廳下には私人の企業者に補助をなして移民を奬勵し、現在内地人百戸四百五十二人、本島人二百戸八百七十八人を收容して居るが未だ大して成績の見るべきものがない。

(七)獸疫並病害蟲驅除豫防　獸疫豫防としては其の豫防規則を制定之れを勵行すると共に牛疫と豚虎列刺との血清を製造し、豫防制遏に努めた結果多年慘害を逞した牛疫は今は全く終熄したけれども、豚虎列刺は依然として地方的に猖獗を極めて居るので專ら之れが防遏に努めて居る。農作物病害蟲驅除豫防も同じく之れが豫防驅逐規則を制定之れを勵行しつゝあるが、現在は害蟲巡視員を各州廳に配置し不斷耕地を巡視せしめ農民を督勵せしむる外、甘蔗病蟲害に關しては特に臺中、臺南、高雄の三州に專任の巡視員を配置して其の驅除に當らしめて居る。

(八)農業諸般の調査　本島農政上の基礎資料を得るが爲めに大正九年以來農家經濟調査、耕地分配並經營面積調査、主要作物生產調査、農家食糧調査、農產物需給並金融調査、土地利並農適產地調査、主要農作物生產費調査、耕地賃貸經濟調査等を施行して來た。東部開發計畫樹立の目的を以て大正十五年度以來該地方の土質、適作物、灌漑排水の便否、利用價値、農村住宅其の他該地方に於ける緣故關係を調査し、東部開發實施の前提となすと共に、一方河川の氾濫を防止し耕

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

地の保護並造成に關する調査を進め、更に交通方面に於ては最も經濟的連絡機關の調査を遂げんとして居る。

（九）小作慣行改善奬勵　本島農耕地及び農家の大部分を支配する小作慣行は頗る不良で、改善を要すべき幾多の惡習あるを認め、大正十一年之れが對策として試みに臺南州新營郡下に地主小作人の自治的團體たる業佃會なるものゝ設立を促し、郡下小作慣行改善事業を試みたる所、不良慣行を漸次改善すると共に、地主小作人間の紛爭をも協調し以て其の效果顯著なるものがあり、其の他臺北、新竹、臺南の各州に於ても右に倣ひ本事業を施行するもの續出しつゝある。加之尙ほ近時農民思潮の變遷に伴ひ、臺灣農民組合の團體的運動漸く擡頭するに至れるを以て之れが對策としても事業の極めて適切なるを認め、昭和二年度より國費に豫算を計上し各州に於ける本事業を指導奬勵することゝなつた。

（一〇）肥料檢査　農業の集約化に伴ひ、本島肥料界は近時著しい發展を爲し、販賣肥料消費額年と共に遞增しつゝあるに拘らず未だ之れが取締に關する施設なきが爲め、不正なる肥料が屢々市場に出現する狀態に鑑み玆に內地の肥料法を引用し肥料取扱者をして不正行爲をなす餘地を與へないで、農民をして公正なる品質の肥料を安心し隨時に購入せしむる方策を採り、昭和元年度より豫算の計上を見、本事業を開始した。

（一一）茶業奬勵　領臺以來總督府に於て各方面に涉り施設をなし、就中生產方面の改良奬勵は大正七年度より十箇年繼續事業として組織的方策を定め、製茶機械貸付、模範茶園補助、種苗配付、巡回敎師の配置等をなして居る。

（一二）輸移出入植物取締　本島に於ける輸移出入の植物類に付いて嚴重なる檢査を行ひ、病害蟲の傳播を防止し當業者の取引を安全にし、且つ市價の保持に努めんが爲め、大正九年度より植物檢査を施行し、當時基隆、臺北、新竹、臺中、臺南、高雄の五箇所に、大正十二年に臺南に、各檢査所を設置した。而して大正十二年十二月十六日より從來の柑橘類の他に西瓜の移出檢査を行ふことゝなつた。

六、農業行政

(一)農政機關

本島農政の中央機關は總督府殖產局で、同局內農務課及び特產課に於て農業倉庫全般の事務を分掌し、農務課には農政係、農產係、畜產係、水產係を置き、農業關係事項は農政、農產、畜產の三係之れを分掌する。而して農政係は農會其の他の農業團體に關する事項、統計報告に關する事項、農業諸般の調査に關する事項、小作制度に關する事項、移民にする事項、農事協議會品評會並講習講話に關する事項、農產係は、米其の他普通作物に關する事項、肥料に關する事項、蠶業に關する事項、病蟲害驅除豫防及調査に關する事項、農業倉庫に關する事項、土地改良に關する事項、狩獵に關する事項を分掌し、畜產係に於ては畜產及畜產製造に關する事項、獸醫、獸疫豫防、家畜衞生に關する事項、血淸製造配付に關する事項を分掌する。

特產課には監督係、糖業係、茶業係、青果係を置き、監督係に於ては、製糖場の設立、事業變更及其の他取締監督に關する事項、製糖工業補助獎勵に關する事項、製糖副產物に關する事項、砂糖工業の調査に關する事項を分掌し、糖業係に於ては、砂糖農業の獎勵指導施設に關する事項、砂糖農業の調査に關する事項、蔗苗養成並配給に關する事項、甘蔗中間苗圃の指導監督に關する事項、蔗苗取締並輸入苗圃に關する事項、甘蔗病蟲害の驅除豫防に關する事項、甘蔗耕地の灌漑排水に關する事項、製糖業者の原料買收に關する事項を分掌し、茶業係に於ては、茶業の改良及模範茶園に關する事項、茶苗の養成及配付に關する事項、茶樹病害蟲驅除に關する事項、製茶工場に關する事項、製茶機械の貸付に關する事項、製茶技術の指導改善に關する事項、製茶取引の仲介及販路調査に關する事項を分掌し、青果係に於ては、青果物の生產管理に關する事項、青果物病蟲害に關する事項、青果物の貯藏及び輸送其の他試驗に關する事項、青果物の加工製造に關す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る事項、青果物の市場調査並販路開拓に關する事項、青果物に關する同業組合に關する事項、青果物の獎勵施設に關する事項、青果物統計並資料の蒐集整理に關する事項、青果物の植物檢査に關する事項を分掌する。

地方農政機關は各州に於ては内務省勸業課、各廳に庶務課勸業係、各郡は庶務課に於て農事全般の行政事務を管掌して居る。

尙ほ本島農政上の重要事項たる埤圳行政並同土木工事に關しては内務局土木課が之を分掌して居る。

(二)試驗機關及び其の他の機關

(イ)中央研究所農業部　中央研究所に於て農業部に關する事項は、農業部に於て管掌し、農業部には、種藝科、農藝化學科、糖業科、植物病理科、應用動物科及び畜産科を置き、而して種藝科に於ては農作物に關する試驗研究、農具に關する試驗調査、品種の改良、育成に關する試驗、種苗の鑑定及配付に關する事項を分掌し、農藝化學科に於ては土壤及肥料に關する試驗調査、農作物及農産物の化學的研究、農産物製造及び貯藏に關する試驗研究、農業上に關係ある物料の分析及び鑑定に關する事項を分掌し、糖業科に於ては甘蔗及び輪作物に關する試驗研究、製糖及び副産物利用に關する試驗研究、甘蔗品種の改良、育成に關する試驗を分掌し、植物病理科に於ては植物病害及有益菌に關する試驗研究、農業微生物に關する研究調査、植物病毒の防除藥品及び器械に關する試驗調査を分掌し、應用動物科に於ては害蟲及益蟲に關する試驗研究、有用動物及有害動物に關する調査研究、害蟲及有害動物の防除用藥品及機械に關する試驗調査を分掌し、畜産科に於ては家畜及家禽に關する試驗研究、畜産物の製造に關する試驗研究、家畜飼料に關する試驗研究、種畜種禽及び種卵の改良育成及び配付に關する事項を分掌して居るが、尙ほ同所支所の内、農業方面に關係あるものに高雄檢糖支所、嘉義農事試驗支所、士林園藝試驗支所、恒春種畜支所、嘉義種畜支所、大埔種畜支所、平鎭茶業試驗支所等がある。

(ロ)殖産局附屬獸疫血清製造所　大正四年臺北市樺山町に設置せられ、從來牛疫血清、豚虎列刺血清を製造して來たけれ共、牛疫撲滅以來は牛疫血清の製造を廢し、豚虎列刺豫防液其の他家畜傳染病豫防上必要なる血清及び豫防液の製造に

從事して居る。

(ハ)殖産局附屬養蠶所　大正二年臺北市富田町に設置せられ、庶務係、事業係に分ち庶務係に於ては庶務、會計に關する事務を分掌し、事業係に於ては蠶種の製造配付に關する事務を分掌して居る。

(ニ)殖産局附屬蔗苗養成所　大正二年臺中州東勢郡新社庄に其の後同州豐原郡後里及花蓮港廳林田村に夫々圃場を設けて、砂糖農業改良の基本的施設として善良なる蔗苗の養成及び配付を爲して居る。

(ホ)殖産局附屬鳳梨種苗養成所　大正十四年度高雄州鳳山郡大樹庄小坪頂に設置せられ、圃場面積十甲步優良外國種の種苗を養成し、一般當業者に配付して居る。

(ヘ)茶檢査所　大正十二年臺北市港町に設置せられ、島外に搬出する烏龍茶及び包種茶に就き別に定められたる標準により、其の品質粉茶包含量等を檢査し合格せるものに對しては其の輸出許可を與へて居る。

(ト)植物檢査所　大正十年臺北市に植物檢査所を基隆市、新竹街、員林街、高雄市に各分所を設置し、其の後臺南市にも分所を設けて輸移出入植物の檢査竝輸移入の病菌害蟲の檢査を爲して居る。

(チ)肥料檢査所　昭和二年臺北市東門町に設置せられ、庶務係、事務係に分ち、庶務係に於ては庶務、會計に關する事務に從事し、事業係に於ては肥料檢査及取締、肥料に關する研究調査を爲しつゝありて、尚本事業遂行の爲め基隆、高雄新竹、臺中、臺南、臺東、花蓮港、馬公の八箇所に出張所を置きて事務を分掌して居る。

(リ)鳳梨罐詰檢査所　昭和二年基隆市及高雄市に設置せられ、島內製造の鳳梨罐詰を別に定むる標準に依て檢査し合格せるものを輸移出せしめて居る。

(ヌ)州農事試驗場、臺北、新竹、臺中、臺南、高雄の五州には夫々州費を以て農事試驗場を設立し、農產の改良增殖に關する試驗を爲すと共に、農事に關する調査設計、講習、質問應答及び種苗、種畜、蠶種、農產物見本等の配付又は種畜の種付、土壤、肥料、農用器具機械、種苗及び農產物の鑑定又は分析をなし、尚農事に關する模範を示す等諸般の

業務を行ふて居る。

(ル)廳農會農場　臺東、花蓮港二廳農會農場に於ては、農産の改良增殖に關する試作をなす外會員へ配付用の苗木類の育成、種畜、種禽の飼養をなして居る。

(三)農業團體

農會は本島農業團體の主なるもので、其の歷史古く、明治三十三年九月、元臺北縣三角湧に創設以來各地に設置されたが、明治四十一年十二月臺灣農會規則及同施行規則の發布に依て既設の農會は悉く同規則に依て設置されたものと看做され、其の後廳農會の設立を見るに到り是等の地方農會は總督府の施設と相俟て地方農政上最有力なる助長機關として農林業の改良上之が指導奬勵の任に當りつゝあるが、昭和二年度の經營豫算總額は百九十三萬五千九百八圓を算す。

其の他の農業團體として農事小組合及業佃會がある。農事小組合は、數保、警官一派出所、一大字等を單位として、各州廳並農會の奬勵方針に基き直接農事改良の實行を爲し、農民相互の福利を增進せんとするもので、昭和二年十月現在數七百九十二組合あり、又街庄を單位とするもの百十六組合、是等の內郡聯合會を組織するもの及び郡を單位として組織するもの十一組合ある。業佃會は大正十一年臺南州新營郡に設けられ、各街庄を以て區域とし、郡に聯合會を置き、會員は郡內に耕地を有する地主及び其の小作人より成るもので、小作慣行改善を行へる本島最初の團體である。本會の事業は從來の口頭契約を本會の規定せる書式契約に改め、以て小作に關する從來の弊風を改善し、併せて紛爭の調停を行ふもので、漸次其の效果の現はるゝと共に、地主小作人の協調を促し、耕作者の農地安定を招來せる結果、各種農事改良の指導奬勵上其の效果大に見るべきものがあり。而して各地に於て本事業の主旨に倣ひ、小作慣行改善を目的とする團體の簇生を見つゝある。而して本事業を行ふ此の種團體現在數は街庄業佃會十七、街庄農事組合十二、郡農事組合五、郡聯合業佃會二、郡農事組合聯合會二、農會支會二ある。(完)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

石油に就いて

總督府技師　高橋春吉

石油とだけ申しましたのでは、甚だ漠然として居りますが之を政治上から云ふと、石油政策とか、國際的の石油經濟關係とか云ふ様なものになり、又事業の方を申しますと、地質調査とか鑿井とか、製油とか、或は其の需要供給の關係等に渉ります一大事業であつて、其の關係する處頗る多種多様に分れて居りまして、之を論述するは到底短時間の悉し得る處でない。只だ石油と云ふものを上から見おろしました時に、世界各國が石油と云ふものを如何に見て居るかと云ふ、其のアウトラインだけを申上げ、最後に我臺灣の石油界の過去現在及び將來に就きて、成る可く簡明に其の要領丈を、次に項を分ちてお話して見様と思ふ。

一、燃料としての石油の價値

鐵及石炭の國力發展の必要品たるは何人も認むる處でありまして、是等消費量を以て其國の文明の程度を計り得るスケールであるとさへ言はれたのでありますが、今や更に此の石油をも附け加へざるべからざるに立ち至つたのであります。昔は石油と申せば直にランプを想像されたのでありますが、今や石油と申せば燃料問題を想記し、燃料問題と申せば直に石油を連想する様になつて、少年少女の胸中には石油の名稱さへ次第に消滅し去らんとして居るのである、斯樣に家庭用として其の影を失ひつゝある石油は、天空を翻翔する飛行機の爆音、或は自動車の原動力たるガソリンとして、又は發動機船の輕油として、又は大艦巨船の燃料油として、新方面に世人の注意を惹起して居るが、之は何の爲めであるかと申

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

しますれば、石油は燃料としては經濟的並びに技術的に幾多の長所を持つて居るからである。

試みに之を船舶に就て見るに大體次の樣な特點を上げることが出來る。

一、發熱量が大きい卽ち同容積の石炭に比し八割、同重量の石炭に比し五割の發熱量の增加があるから從つて夫れ丈航續力を增加することが出來る。

二、積込燃焚の人夫を減じ、點火消火火加減等を自由に而も容易に之をなし得ること。

三、短時間に多量の燃料を搭載することが出來る、從つて燃料積込みの爲に永く碇泊の必要がない。又風雨の時や航海中と雖も船腹より積込が出來る。是等は石炭の場合には全く出來ないのである。

四、發熱量が高いから石炭に比し僅かの燃料で澤山であるから其れだけ貨物搭載容積を增加することが出來ること。

更に同一噸數で同一形の二隻の汽船を一隻には石炭、他の一隻には重油を燃料として同一航路を航海さして其の成績を比較した例があるが、其の航路に、歐洲を出ましてケープタウン、桑港、太平洋、スエズ等を經て、再び歐洲に戻る、航海浬數三萬一千六百海里の處で試驗されたのでありますが、重油專燃船だと全航海日數が二百三十六日なのに、石炭專燃船だと三百日を要したと云ふことで、此の差六十四日を短縮することを得たと云ふことである。其の他

	重油專燃船	石油專燃船	利益
燃料消費量	一、四四六噸	八、五〇〇噸	七、〇五四噸
同上價額	一二、九四〇弗	四一、二七五弗	二九、三三五減
火夫	—	一四人	一四人
機關部員	一三人	一九人	六人
碇泊日數	九六日	一一七日	二一日

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

以上の成績に現はれた重油使用船の優越性が益々實驗に徴して確實となるに從つて、世界各國は爭つて重油使用船の建造に向つて著しく增大しつゝあるは、皆さんも御承知の通りである。燃料としての價値は以上船舶に就いてのみでなく、其他の交通機關に見るも、或は諸產業に見るも、船舶の場合に於けると同樣なる結果を見ることが出來るのである。之れが石油の燃料としての價値の認めらるゝ所以である。

又石油の軍事的價値に至つては私より申上ぐることもなく御承知でありますが、彼の獨逸のルーデンドルフ元帥は、彼の歐洲大戰に於て獨逸が負けた原因は、獨逸兵の弱いのでもなければ兵器が劣つて居つたからでもない、卽ち石油の缺乏に歸して居り、又佛國のフォッシマ元帥は、ヴエルダン戰の勝つたのは石油の供給豐富であつたことに歸するが如き、或は米國海軍卿のダニユル氏の如く石油は海戰に於ける眞實の生命であつて、其の勝敗は石油供給の圓滑にあるか否やに依つて決するものであると揚言されたに徴しても、殆んど贅言を要せざる所であると思ふ。彼のクレマンソーが戰時に於ける石油一滴は人間の血の一滴に値すと極言したる如き、全く石油は國家の安危を決する必要品として推重せらるゝに至つたのである。

二、世界各國の產油

斯の如く、燃料として價値のある石油が、世界を通じて何程生產するか、何處から最も多く生產するかを次に表示して見よう。(單位千石)

區分	大正十三年	大正十四年	大正十五年
米國	七一三、九四〇	七六三、七四三	七七五、〇〇〇
墨西哥	一三九、六七八	一一五、五一五	九〇、〇〇〇

露國	四五、三五五	五二、四四八	六一、〇〇〇
波斯	三二、三七三	三五、〇三八	三五、四六〇
蘭領印度	二〇、四七三	二一、四二二	二二、二〇〇
ヴェネズエラ	五、〇四二	一九、六八七	三七、二二六
羅馬尼	一三、三六九	一六、六四六	二三、二九九
秘露	七、八一二	九、一六四	一〇、七八二
印度	八、四一六	八、〇〇〇	八、七二八
波蘭	五、 六七	五、九六〇	五、八三五
阿爾然丁	五、六五七	五、九六〇	五、八三五
トリニダット	四、〇五七	四、六五四	四、九七一
英領サラワク	四、一六三	四、一五七	四、三〇〇
日本	一、八一四	二、〇〇〇	一、九〇〇
埃及	一、一二二	一、二二六	一、一六一
コロンビヤ	四四五	五八一	六、四四六
佛國	四七六	四五九	四六六
獨逸	四〇六	四一一	五五〇
加奈太	一六一	三一八	三三九
チエコ	七六	五一	五〇
伊太利	四五	四五	四五
アルゼリヤ	一一	一二	一二
其他	一一三	一一二	三三八
合計	一、〇一三、六二三	一、〇六七、五六六	一〇、九六六、六〇八

右の表でお分りの通り、墨西哥は大正十年の産額一億九千三百四十萬石を絶頂として、地下水の爲めに障けられ其の後漸減し、昭和元年には、九千萬石となつた。北米合衆國はカリフォルニヤ、オクラハマ、テキサス、ワイオミング諸州に於ける新油田の開發と深堀の結果に基くものである。又ヴェネズエラの著しく生産額を増したのは、英米諸會社が競ふて其の開發に努力せられた結果である。其の他各國共多少の増加を來たして、過去三年間に於て全世界の産油高は漸次増加を來たして居る。

世界の石油消費額

次に起る當然の問題は、一體世界の石油消費量と云ふものは何程に上つてゐるかと云ふことになりますが、之に關する最近の統計が發表されてない様だから、茲には大正十三年九月發行の英國オイルニース所載の大正十二年の消費額を示すことにする。

國名	消費（單位百萬ガロン）	一人當消費量（單位ガロン）
米國	二、二九七	二三、八
英國	一、四八六	三一、四
佛國	四八〇	一二、二
露國	一、一五三	一二、三
波蘭	一〇六	三、八
伊太利	一七五	四、八
西班牙	四九	二、四
獨逸	一六七	二、八

日本	一六六	三、七
支那	二五三	〇、八
白耳義	七八	一〇、七
和蘭	一八三	二六、八
羅馬尼	二七七	一六、〇
加奈太	七一五	八一、五
墨西哥	四七六	三〇、七
玖瑪	二七五	九五、一
亞爾然丁	四一八	四六、四
ブラジル	一〇八	三、六
智利	二一七	五、七
ヴェネズエラ	一八〇	五、七
南米諸國	一一三	六、三
中米	一五	二、六
印度	四七一	一、五
濠洲	五〇	九、二
新西蘭	二五	二〇、三
比利賓	八三	八、〇
埃及	九五	七、五
蘭領東印度	二六〇	五、二
其他		
合計	三八、三一五(九一二、二一〇、〇〇〇、米)	二三、八

消費量は大體左の通りであるが、燃料として消費せらるゝ揮發油、輕油、重油などは次第に增加し、今後一層增加すべき傾向を示して居ることは私の云ふまでもないことである。

世界各國に於ける石油埋藏量、斯くの如く世界に於ける消費量は、年と共に增加一方でありますが、埋藏量は一體何程あるであらうか、之を生産を消費量とを比較して見ることは有意義のことゝ存じますから述べて見ませう。

石油の埋藏量に關しては一九二〇年米國地質調査所外國鑛業調査課長ユーヂン、ステビンヅャー氏は世界の埋藏量を四百三十億五千五百萬米と推定發表した。其の主なる內譯は次の通りである。

國名	埋藏量(百萬米)
米國	七、〇〇〇
墨西哥	四、五二五
加奈陀	九九五
露西亞及露利亞	五、八三六
波斯又メソポタミヤ	五、七三〇
南米(北部及秘露)	五、七〇三
中米	三五五
蘭領東印度	三、〇一五
日本(臺灣を含む)	一、二三五
印度	九九五
アルゼンチン及埃及	九二五
其他	
合計	四三、〇五五

茲で一寸御斷り申し上げねばならないことは、石油の埋藏量に關しては米國では時々發表される樣でありますが、斯くの如きことは容易に豫測し得るものではないのである。實を申せば、私などは是等の埋藏量發表に關しては信じ度くないの

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

であります。如何となれば之を調査する處の學者は、既に開發された礦區に就いて、既往の出油量から將來の産油量を推測するに過ぎないので、新規の油田が開發されると、埋藏量の豫測にも亦變動を來すからである。眞實の處石油計りでは、實際に掘つた上でなければ、其の量や油質を知ることは不可能であると申して差支へなからうと思ふ。

米國では一九一六年に、ギルバート氏及ヒーボーグ氏は同國の埋藏量を十二億石と推定したが、二年後の一九一八年、には米國地質調査技師のダイグワトホワイト氏は、約六十四億四千萬石と推定し、更に四年後の一九二二年には、九十一億五千萬石として發表されて居ることは、開發される油田の實現に依つて其の埋藏量を豫測し亦變化することを示して居るものであつて、埋藏量の豫測と云ふことは全く當てにはならないものである。今日米國では、一箇年の石油生産は既に述べました通り七億石であるが、此の狀態で繼續するものとすれば、一九二二年の豫測埋藏量と雖十三四年そこ／＼で減盡すると云ふ勘定になりますが、之れは米國現在の石油界を見ずしても信ずる事が出來るのであります。全く此の倍數以上の三十年後と雖盡くるものではありまいと思ふ。併し限りあるものを年々採油するのだから、何時は盡くるであらう。

今世界の産物地施の中で稍や涸渇の傾向があるものと將來あるものとを分け擧げて見ますれば

◈油田涸渇の傾向あるもの

北米合衆國、羅馬尼、露西亞、加奈陀及び西班牙は主なるものである。

◈油田の將來あるもの

蘭領印度、波斯、メリボタミヤ、墨西哥、秘露、亞爾然丁、トリニダット、ヴエネズエラ等は此の主なるものである。

茲で面白いことには油田涸渇の傾向ある地方は、石油計でなく政治上に於きましても、經濟上に於ても、矢張先進國でありたい其の所領であり、反對に油田に將來ある處の地方におりましては、政治上に於ても、將た經濟上に於ても、後進

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國であることである。而して、先進國は石油の最大需用者である米國然り、英國然り、佛國亦然りである。而も是等の諸國にあつては、石油の消費量月に月に増大の傾向あるは皆さんの御承知の通りである。然るに是等諸國の油田は涸渇の傾向にありますが故に、益々外油の供給を仰がねばならぬ狀態に置かれてあるでありまず。英國然り、石油を自國に有せざる所の佛國に更に然りである。そして當然の結果として英米佛、殊に英米が外國を自國支配圏下に置かんとする所謂油田獲得戰のある所以である。

世界に於ける油田獲得戰

斯くの如く石油は、今日國防産業及び交通の完備發達には缺くべからざるものとして、一國存立の最大要素である。この故に各國は自國燃料政策のために海外に向つて激烈なる油田投資乃至油田利權の獲得に熱中し、時に國際關係を發生しつゝある現狀に至つたことは、當然の趨勢と言はねばならない。以下主要國石油政策を簡單に述べて見よう。

英國の石油政策

英國は石油の産出極めて少く、僅に蘇格蘭に於て含油頁岩から抽出するに百萬米そこ〳〵生産して居るに過ぎない。英國全領土の石油産額を合するも、僅に世界總産額の二、五%にも足らざる有樣である。其に一九一二年、英國海軍省が石油を以て海軍の燃料とする政策な樹立した以來と云ふものは、未開油田の獲得と之れが開發の爲めに全く死力を盡すに至つたのである。世界大戰の時に英國は自國投資油田よりの搬油の通路を杜絕されまして、唯だ米國からの供給に依つてのみ海軍を動すことが出來たのであつた。之は英國に取つては極めて苦しい經驗であつたのである。其の故英國の石油政策なるものに、國内の石油事業に、悉く純英國資本として、他國人の之を參與するを許さる處の排外的のものもあり、且つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

他國に向つては、侵略的に進み、石油供給の優先權を海軍に完全に保留せんとするのである。今當局大臣が議會に於て辯明した所のものを綜合して見ますれば大凡次の樣なものである。

一、競爭の虞のある外國石油會社を排斥すること

二、植民地其の他外國に於ける油田を獲得すること

三、石油供給を受け得る優先權を英國海軍省に保留すること

四、石油に關する放資々本の加入を余儀なくする時には重役の過半數を英國人に於て獲得すること

は之ればかりでなへ英國の石油に論ずる立法も亦頗る排外的のものでありまして大要次の樣なものであるます。

一、外國人及び外國法人は英本國及其の植民地竝に保護國に於ては油田を獲得し又は石油事業を經營するを許さたこと

二、英國政府は石油事業の所有及び支配に直接關係すること

三、英國の石油會社をして其の財産を外國人に賣却ずるを得ざるを

四、英國民以外の者に英國石油會社の株式讓渡を禁止すこと

等で全く排外的な立法と言はなければならない。斯くの如くにして英國が、國外的油田の經營に就いては常に優先的地步を占めつゝある、以上の如き石油政策を立てゝ、官民一致其の遂行に向つて常に努力しつゝある結果に外ならぬのである。

次に米國の石油政策であります。

支那貿易の沿革及其現狀（一）

黄鶴山人

每年每年お定りの外貨に對するボイコット運動あるに不拘、其の稅關統計からみれば年々貿易額は增加して居るといふ現象を呈して居る支那の輸出入は、例年の動亂があつても大局からすれば左程の影響を受けず寧ろ幾分宛の增加を示すに至り、日本に於ける一部識者の如く其の將來を悲觀するには當るまいと自分は見て居る。而して近來何れの國に於ても政治は經濟其の物によつて支配さるゝ、換言すれば政治問題は是卽ち經濟問題其の物であるといひ得る今日、產業、文化、政治等に於て世界の劣等國たる支那でも、著しく國際的經濟問題に注目しかけて來たので、陳腐かも知れぬが遠く三皇五帝時代以來の貿易沿革、竝に其の現狀を上海總商會月報から譯出研究してみやう。

一、支那通商貿易史

支那に於ける商業の起源といへば大分古い。卽ち易繫詞下に「伏犧氏沒。神農氏作。斲木爲耜。揉木爲耒。耒耨之利以敎天下。……日中爲市。致天下之民。聚天下之貨。交易而退。各得其所」とあり。（耒は鍬の柄で耜は其の刄の謂）以上によれば支那では先づ農具の發明あり農業起り、ついで商業が起つた譯であるが、當時の商業といつても物々交換の域を脫せなかつたので、這は世界各國の商業沿革史に均しくみる處である。

此の物々交換的商業は漸次發達し、後世周時代に到つては官に於て商業を經營し、其の制度は甚だ完備して居たがつい

で所謂九州以外、即ち當時の野蠻國とも交易を開始する樣になつた。即ち相手は約八箇國で通商地は粤南即今の廣東地方と稱せられて居る。當時の狀態よりすれば一種の海外貿易だが、嚴格にいへば少し語弊があるので眞の貿易は之を漢の武帝が張騫を西域に派遣し、安息國其の他に到らしめたのに始まるといふ可く、其の後今日に到る迄を左の四期に分つ事を得る。

第一期　漢初より隋末に至る迄。

第二期　唐初から明の中葉に到る迄。

第三期　明の中葉から清の鴉片戰爭頃に至る迄。

第四期　鴉片戰爭より今日に至る迄。

第一期　支那外國貿易の草分時代ともいふ可く、多く陸路により水路のものは殆んどない。又貿易の相手國も西域即今のペルシヤ、アラビヤ、トルコの諸國並にローマ等であつた。西域には前述の如く漢の武帝和帝等が張騫等を遣して通商を始めたのであるが、其の區域は今のペルシヤから中央亞細亞、北亞細亞諸國で、當時は大月氏、安息、烏孫等と稱せらるゝ多數の國に分たれて居た。貿易品は支那から齎す物は金銀生絲類が主で、彼地よりは各種穀物、菓物、銅鐵類、當時の珍奇な植物、即ち胡、蒜麻、石榴、葡萄、茶、等であつた。

次にローマとの貿易であるが、同國は當時大秦と呼んだので、最初は現在の中央亞細亞にある安息國（當時のペルシヤ）を仲次として行はれたので當時は此地方が東西貿易の中心地に當つた。商品は矢張り生絲類で羅馬では當時甚だ高價だつたらしい。輸入品は珠玉、香料類であつた。其の後安敦大帝が安息國を征服以來、直接漢との間に通商行はるゝに至り、桓帝の時ローマの使者ペルシヤ灣より印度を廻り、馬來半島に沿うて現在の安南の東京に上陸、支那内地に入つたのであるが、之が海路による最初の貿易である。次いで漢滅び三國時代に入つても、尙ほ雲南、四川等僻遠の地にはローマの商人來

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

航したが、其の後支那の內亂は益々劇しくなり、ロ・マ亦分裂するに至つたので直接の通商は杜絕したが尙ほ敎景徒の手により養蠶製絲の法がローマに傳へられた。

第二期　支那海外貿易の發展期ともいふべき時代で、殆んど海路よりし、其の目的も從前の樣に單に物資を交換するに止つたのとは違ひ、之によつて相當の利益を收めんとする所謂營利主義になつて來た。貿易の對手としては新にアラビヤ人が加はり、印度人やローマ人を遙に凌駕するといふ有樣で、一方支那人にして自ら進んで南洋、日本等に渡航し、貿易に從事する者も出で來り、近代華僑殖民の發端となつた。此の時期を更に對回敎國、對南洋地方、對日本の三に分ち說明しやう。

先づ**回敎國**に就いていへば、其の一番勢力があつたのは當時の大食國今のアラビヤ地方の人で、唐書によれば大食王ミスモニといふ者が唐の永徽二年に使臣を遣して朝貢したのが同國との交通の始りと稱して居るが、爾後使節は朝貢品以外に澤山の商品を齎したもので、是等との貿易は廣州、楊州等に於て一番盛んに行はれた。通商を監督する機關として最初互市監といふものが設置され、次いで沿海一帶には「市舶司」が置かれ、海外通商監督の衝に當る外、貨物稅卽ち關稅を徵收して國用の足しにしたが、是支那稅關の濫觴である。一方此の時代にはアラビア人の來航を待つ以外前述の如く支那商人にしてドシ〳〵海外に遠征、貿易に從事する者多く、外に僧侶の佛法修業の爲印度方面に往來する者亦概ね是等の商船に便乘したものである。尙ほ唐代に在つては以上の如く南方海路よりする外に、陸路、甘肅、新疆等の北部地方との通商も盛んに行はれた。

宋代に至つては陸路貿易は杜絕したが、海上よりするものは益々盛んで、從前の貿易港以外に杭州、寧波、泉州等の開港せらるゝ有り、益々盛大に赴くのみだつたが、此の時代に在つて「番坊」の勢力が非常に盛になつた事と、市舶司にアラ

ビア人を任命したといふ二の事實は注意に値する。蕃坊とは現今の租界の樣なもので、市舶司にアラビア人を任命した事は丁度現在海關の稅務司に外人を用ひて居るのとよく似たものといひ得る。宋滅び、元支那に侵入して國威遠く歐洲に迄及んだが、海路アラビア人による貿易は依然として不衰、此の頃より漸く來航し始めた歐洲人は同國人の勢力の大なるに驚いたといふ事が彼の有名なマルコポロの東方見聞錄に載つて居る。

次に**南洋**との貿易であるが、之は南洋諸國が唐時代朝貢したのに始るので各地方別に略述すると次の通である。

(a) 安南　安南と支那との通商は可成古く已に唐の太宗時代には支那の屬局であつたのは周知の事實で、後保護國になつたが、朝貢物として犀角、象牙、香料、胡椒、檳榔、豆蔻、諸種の熱帶菓物等を齎した。朝貢以外に商人の來往多く、支那人の彼地に移住して商業に從事する者亦不少、當時彼等は外人を分けて唐人蕃人の二となし、唐人は甚だ優待を受け假令人を殺害しても罰金刑に處せらるゝ位に過ぎず、又英の初めて同國に渡航した時の如き土人は美婦を獻じ、以て其の意を迎へたと傳へられて居る。

(b) 暹羅　暹羅との交通は遠く隋時代に始つて居たので象牙、孔雀の尾、寶石類、珊瑚、香料等を支那に齎したが、此の國は支那僧の海路印度に佛法を學びに行くに當り必ず經過せねばならない地なので貿易亦盛んに行はれた。

(c) ビルマ　もとは一時支那の版圖たりし事も有り、漢時代にも通商行はれて居たが唐時代最も盛大だつた。

(d) 馬來半島　現在半島を分けて海峽植民地、馬來聯邦、及馬來聯邦以外の三區にしてあるが、商業は海峽植民地最も盛大で支那とは六朝梁時代已に交易を開始した。梁書に「扶南國之南有頓遜國。東界通交州諸賈人。西界接天竺安息徼外諸國。往反交易。其市東西交會。日有萬餘人」とあるが、惟ふに現在新加坡附近の事を指して言つたものだらうが、これによれば支那人は西洋人より先に此の地方に來航して居る譯だ。

(c) スマトラ　馬來半島よりもつと以前に支那とは通商關係有り、殊に國人中佛教を信ずる者多かつた故、特に關係が深かつた。六朝より宋、宋より明と、漸次交易は盛大となつた。後に至り廣東人陳祖義なる者、此處に亡命して酋長となる等永樂年初關係益深く、且此の島の位地が百船往來の咽喉をなして居るにより、支那人の來りて取引に從事する者愈多きを加へ、取引に用ふる貨幣等も支那錢で、出入船々監督官亦支那人といふ風だつたので、當時に於て已に支那人は、南洋貿易の牛耳を握つて居たといひ得る。貿易品は主として香料だつた。

(f) ボルネオ　支那との貿易の開始は唐時代で明頃漸く盛んになつた。多く福建人が來航して之に從事したが、當時の情況を形容して「番船抵岸三日。英王與眷屬。大人到船問勞……商賈日以中國飲食獻其王……幾月餘方請其王與大人論定物價。然後鳴鼓以召遠近之人。聽其貿易」とあるが、いかに島人が支那からの物を歡迎したかゞ解る。

(g) フイリツピン　宋時代に對支那貿易は始つたが、爾後、福建泉州人が多く渡航、取引を行つた。後で西洋人の來る樣になつてから支那人を二回に亘り慘殺し、剩へ支那本國の保護がなかつたので漸次衰退を來した。

(h) セレベス　明の永樂帝の時國王が妻子頭目等を率ひ、親しく支那に來朝、珍玉、玳瑁等を獻じたが、東洋列國考に「彼國値歲多珠時。商人得一巨珠携歸。可享利數十倍。……夷人慮我之不再往也。輒返梓輙留數人。爲質以冀後日之重來」とあるが。此により兩國間の關係が知られて面白い。

以上により見るに、唐代より明の中葉頃迄の支那對南洋貿易は當、時支那の主權が遠く是等の地方に迄及んだ事、及兩地間が海を隔てゝ居るとはいへ割合に近距離にあつたが故に、隆盛に赴いたので、就中一番盛大だつたのは明の中葉である。又宋時代にあつては前記市舶司を各要地に置いて外商を招致したのが隆盛の主因をなし、明時代では福州、廣東地方の商人が冒險的に此の方面に渡航、貿易に從事したのが其の原因となつて居る。

要之明朝嘉靖年末西洋人の來航以前數十年迄は華僑、即ち支那居留民の手で南洋貿易は獨占されて居たといふ風であつ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

たが、其の後政府の力衰へ、保護充分ならず、且つ國外に出る者をば匪賊と同一視する有樣となり、加之西力の東來、漸次強烈となり來り、遂に衰退の餘儀なきに到つた。

最後に日本との貿易であるが其の隆盛に赴いたのは隋、唐以後の事である。唯兩國間の交通は非常に古くから行はれて居たので史記の封禪書によれば、戰國時代齊の威王、宣王、燕の昭王等は日本に使を遣して神仙を求めたと有り、秦の始皇は徐市をして海に入らしめた(多分日本に傳へらる九州に不老不死の藥を求めに行つたといふ傳說であらう)とあり、前漢、後漢書に所載の倭國入貢云々は此の事を如實に證明したものである。併し當時はたゞ交通して居たといふに止り通商上見るべきものはなかつたが、秦王の時符堅が佛像及經文を齎して先づ高麗に到り、轉じて日本に渡つて以來支那の文物勢力次第に渡來、商業上の發展亦段々見るべきものあるに到つた。今兩國の貿易を三期に分けて說明すると次の樣である。

(a) 第一期は日支兩國間國使の交換時代とも稱すべきで、卽ち隋の煬帝大業三年に日本推古天皇が大禮官小野妹子を遣して佛教を求められたので、翌年帝は裴世清を派遣して之に報いた。其の翌年日本の使節又來り學生及學問僧八人宛之に隨伴したが、爾後留學生は漸次增加、通商貿易亦從つて發達した。今日本淺井虎夫著、支那日本通商史、及木宮泰彥著日支交通史の二書により、當時に於ける兩國間の貿易狀態、港灣、船舶、商品、通商方法を述べん。

一、通商港　當時日本から渡航の船舶は多く寧波、楊州の二港に入港したのであるが、大抵是等の船は博多灣を根據地とした。

二、船舶　此の時代貿易や使節交換に使用の船は支那船にあつては長さ約二十丈、水上の高さ二三丈、七百人餘の搭載量有り、之によつて見るに當時支那の造船術は餘程進步して居たらしい。

三、商品　日本より支那へ致す物は綿布、砂金、絹絲、銀器等が主で、支那よりは書籍を主に輸出した。

四、通商方法　其の頃は以上の貿易品は商人でなく、兩國の使者により齎さるゝ所謂贈物(贈答品)にすぎず、從つて一旦官が受け入れた上、一般人民に拂下ぐるといふ風であつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

産業振興と國産の愛用

工學博士　加茂正雄

今回機械學會の會長として參りましたのでありますが、私の講演の初に一寸機械學會のことを皆樣に御披露申上げて置き度いと思ひます。此の會は明治三十年六月の創立でありまして、今迄満三十一箇年近く繼續致して居ります。其の間に極めて健全なる發達を遂げまして、現在會員數は約四千八百人、其の事業として、會誌の發行、術語の選定、最近「メートル法」に依つて「ポケツトブツク」の編纂、と云ふ樣なことから、政府の事業に對して少からぬ援助により調査等も致して居り、毎月講演會を一回づゝ東京で開いて居ります。是は會員相互の研究發表を主として居ります。其の他に大正九年以來地方に於ける講演會を催すと云ふことを始めまして、地方の講演會は單に會員相互の智識の交換若くは研究の發表に止めず、成る可く充分地方に適切なる講演を致しまして、夫れに依て國民の工業常識の涵養に資することが出來れば幸ひ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と思つて居ります。是迄東京以外に濱松、名古屋、京都、大阪、神戸、呉、廣島、福岡、長崎、大牟田、八幡、北に參りましては仙臺、並に札幌、に於て講演會を開きました。更に朝鮮滿洲方面に於ては平壤、撫順、大連、旅順等にも講演會を催したのであります。殆んど日本の領土の主なる所全體に涉つて講演會を開いたに不拘、我が國の寶庫と稱へられて居りまする臺灣に機械學會の罷り出ないのは不都合であると會員の御叱りを受けたので、會員諸君の御厚意で今回此方に參りました。會員の數は非常に尠いのでありますが、今日此方に開きました講演會も會員を主としてしたのでなく、會員外の方に吾々の考へ、又機械に關係あるところの智識を御吹聽申上げて、此の方面に於ける工業常識の涵養に資し、並に將來に於て吾々が機械學會に對する諸君の御後援御指導を希望致し度いと云ふ考へを以て、玆に催されたのであります。是から申上げる私の話は全然通俗的のもので、何等機械と云ふ專門に關係したものではありません。今日は時刻も大分移りましたから御遠慮致し度いと思ひましたが、御世話役から、一端發表したものをやらぬと云ふことは詐欺である、臺北市民に噓をついては相濟まないと云ふ御答を受けましたので蛇足で、私の考へて居ります丈けを申述べて見度いと思ひます。

玆で私が事新らしく申上げますまでもなく、我が帝國は明治維新以來約六十箇年、國民の協同一致の努力に依つて世界に於ける新興國と稱へられて居るに不拘、現在に於て立派に一等國の班に列して居ります。近頃度々催される國際會議に於きましても、或は理事國の中に這入り、或は幹事國となり、或は我が國の大使は國際會議の議長を務めると云ふ樣な榮位を擔つて居ります。私の體驗しました例を申しますと、大正十三年に倫敦に於ける第一回世界大動力會議に於て、參加國數が四十四箇國である。其の開會式に英國の皇太子殿下が特に親臨せられまして、出席委員は歡迎並に激勵の御言葉を賜はつたのであります。此の殿下の御言葉に對して奉答する榮譽を得たのは僅かに四箇國であります。日本は其の四箇國の中の第二番目に這つて居ります。是などは全く吾々の豫期しないところであつたのであります。愈々明日開會式と云ふ前晩

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の九時に、日本は明日殿下の御言葉に對して奉答するのであると云ふことが私のところに著いた。翌日開會式に臨む迄で殿下の御言葉に對して如何に奉答したら宜いかと考へつゝ出たのであります。其の席上に於て私は二番目に御話をすることになつて居たので、成る可く後に居つて原稿でも書かうかと考へたところが、君は「スピーカー」だから一番前に出なければならぬと云ふことで、結局考へることも何にも出來ない位のことでありました。尙ほ一昨年でありました。瑞西に開かれた第二回の世界動力會議に於て、當時は共和國でありますので皇族方の御臨席はありませんでしたが、開會式の當日晩餐會の席上に三十八箇國參加した中に、十一箇國が代表的の演說することになつた。其の時の順序は佛蘭語で書換へましてアルハベット順によると云ふことであります。最初にアルメニヤ、第二西班牙、第三北米合衆國、第四が佛蘭西、第五英吉利、第六和蘭、第七伊太利、第八番目に日本であります。次ぎに諾威、ルーマニア、瑞典と兎に角十一箇國話をするので、五分づゝでも一時間であります。初めの内は獨逸がやり、佛蘭西がやり、英吉利がやり、主なる國であるところの國は總て話をした。和蘭が話をする時分から喧々囂々會場は非常に騷がしかつた。全く聽こゑない樣な狀態であつたが、斯樣な狀態の下に第八番目の日本が立つ樣になつた。殊に皆樣から見れば私の體は小さな立つて居るか坐つて居るか殆んど判らぬ。苟くも話をすると云ふことは人に聽かす爲めに話すのである。聽こゑない樣な話はする必要はないと思つて、私は座長の許を得て椅子の上につ立つて話を始めました。夫れ迄は非常に騷がしかつたのが、私が立ちましたら極めて靜に歸しまして、約十一分間私の思ふ存分充分に意思を發表することが出來たのであります。私は非常に愉快に感じますと同時に、畢竟するに陛下御稜威の然らしむるところで、國威の煌々と輝いて居る賜物であると衷心から感激の念に堪ゑなかつたのであります。唯に夫ればかりでなく、後から列席の婦人、或は亞米利加佛蘭西の代表からも、實に私は當ることの得ない樣な賞讚を受けた樣な次第であります。此の位に日本は今日國際間に重きを爲して居ります。是丈け新興の國が國際

間に重く認められる樣になつた其の有力なる端緒は何であるか。私は日清日露の兩戰役の戰捷にあつたと申上げ度いのであります。聞くところによれば、日清戰爭の前に日本の使臣の外國に駐在して居る者が、外國人から進んで握手を求められると云ふ樣な例は一つも無かつたのであります。日清戰爭後に於て態度が一變し、日露戰爭に於ては總ての國から尊敬を受くると云ふ樣になつた。然しながら私は如斯く大なる著しい結果を招たのには、二つの戰役の勝利は必ずしも軍人のみの力によつたものではない。素より直接戰鬪に從事された將校下士卒の勇敢なると、參加をした司令官參謀其の他智略作戰其の當を得たことは疑ひないのであります。其の結果立派なる勝利を得たのでありますが、最も大なる原因は國民が擧つて出征の軍隊に熱誠なる後援を與へたことゝ信じて居ります。私の友人の名古屋控訴院の檢事長をして居られる皆川博士が、恰度日露戰爭の第四軍に國際法顧問として、司令部と共に出征をせられた時の話を聽きました。軍隊の輸送列車に會ふと、都であれば國民が出て來て萬歲を連呼して居つたさうであります。第一列車が岐阜の郊外に出た時に、田の中に草を採つて居た一人の婆さんが、軍隊輸送列車が通るのに氣が附いて、田の水で泥手を洗つて畦の上で端坐合掌して無言の儘其の列車を俯し拜んださうであります。此の時に於ける列車の中の光景は、未れ迄とは全く違つて一人も聲を發する者も無く、車の奧には啜泣の聲さへ聞えたと云ふことであります。此の精神、此の婆さんの擧動に現はれたところの精神が、即ち我が軍をして强からしむる最も大なる原因をなすものと私は信ずるのであります。建國以來二千五百有餘年間、我が國は國民一般に戰爭の如何なるものであるか、其の勝敗の及ぶところ如何ものであるかと云ふことは能く了解をして居りまして殆んど目に一丁字もないと云ふ樣な者の考へも、田舍の老婆すら出征の軍人に對して最深の敬意を拂ひ、赫々たる勝利を得て目的を達することを祈つて居ります。是が爲めに我が國は戰に强い。畢竟するに、戰爭に際し國民は如何なる犧牲努力を拂つても對手國に對して必ず勝たなければならぬと云ふ考へを以つて、協同一致の努力をするのであります。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

平時は必ずしも國民の努力が戰爭の場合に於ける如く、國を土臺にして一致することは保證が出來ない樣な有樣でありますが、戰爭は吾が大和民族の一致するところの、是迄の歴史に於て良い機會であつたのであります。過ぐる歐羅巴の戰爭に於て、その殘虐なることゝ極めて烈しいものに鑑みて、世界の各國は、將來民族間の葛藤は成る可く之を干戈に訴えないで、平和の手段に據つて解決仕樣と云ふ考へが一致致しまして、國際會議の結果軍備の縮少なるものが斷行されたのであります。我々が民族の協同一致の實を擧げるに極めて都合が宜いから、戰爭は將來成る可く行らないことに仕樣ではないかと云ふ相談が纏まつたのであります。併ながら、此の戈を執つての戰爭が無くなつたからと言つて、決して國民間の競爭は已まないのである。一方に血を見ることの戰爭が無くなつても、其の反動として平和的の戰爭、即ち經濟戰爭が益々激甚を加へると云ふことは吾々が覺悟しなければならぬ。平和の戰爭とは何ぞや即ち產業戰であります。將來此の產業戰に、平和の戰爭に於て我が國が立派なる勝利を占める覺悟が無かつたならば、今日に於ける一等國と云ふ名前、「ベルサイユ」會議に於ける五大强國或は八大强國と云ふ名前と位置を失ふと云ふ覺悟をしなければならぬのであります。而して此の軍備が有形に縮少された今日に於て、工業なるものは隱れたる軍備で、立派なる軍備である產業を盛にし經濟戰に勝利を占めると共に一方に於て吾々が國防を充實することに努力しつゝあると云ふことになるのであります。(續)

博物館の使命

臺北帝大教授　早坂一郎

博物館創立二十年の記念の講演會に御招きを受けて何か御話をせよと云ふことですが、御承知の通り私は未だ臺灣へは來たばかりでありまして、臺灣のことは殆んど何も存じませぬ。乃で實は私の專門として居ります地質學方面の、何か面白い材料でも持つて來まして皆さんに御目にかけ、夫れに關連した學問上の御話でも申上げやうかと云ふ積りで居たのでありますが、大學は御承知の通り未だ場所も御座いませぬので、來た荷物も未だ解かずに居る樣な次第であります、同時に此の博物館にも適當な講演の場所がないと云ふことで幻燈など影して御目にかけると云ふことは不可能であると云ふことでありましたから、さう云ふ話を止めまして、博物館の使命と云ふ樣な極めて平凡な題を掲げまして一寸御話を申上げ度いと思ふ次第であります。

博物館の紀元と云ふことは、或は疾に御承知かも知れませぬが、御話の順序として申上げてみやうと思ひますが、此の昔、希臘の時代にミユーズの神樣の御宮が、變化してミユジユアムとなつたのであります。ミユーズの神と云ふものがミエジユアムと云ふ名の興つて來た原因であります。是は恰度希臘の黃金時代のことであります。夫れから次第にミユジユアムと云ふ意義が興つたのであります。アレキサンダーの時代に宮殿に於きまして、特別に學問の研究の爲めに或る部分を區劃されて、夫れがミユジユアムと呼ばれたことがあります。此のアレキサンダーのミユジユアムに附屬しまして歷史上有名なアン、ライブラリー、アレキサンダーの文庫と云ふものが附屬して居たのであります。此のアレキサンダーのミユジユアム

と云ふのは、詰るところ今日の言葉で謂ふユニバーシティー卽ち、大學の樣なものであつたと言はれて居ります。此のアレキサンダーのミユジユアムの中でも澤山の學者があり文學者もあり科學者もありましたが、更に角一つ建物の中に住つて居りまして、國家の費用を以つて生活の道を保護され、主として自分達は研究に沒頭して居るのであります。此のミユジユアムは當然お互ひの研究の種類に依つて樣々の部門に分れて居ます、是は今の大學の學部に相當するものでありませう。博物館研究の大家の一人であるグッドと云ふ、亞米利加の學者があります。此の人は博物館の沿革を書いた書物の中で斯う云ふことを言ふて居ります。有名なアリストートが紀元前四世紀頃に立派なナチユラル、ヒストリー、ミユジユアム、植物、地質に屬するさう云ふ方面の博物館を造つて居たに相違ないと云ふことを文獻的に調べて述べて居ります。此のアレキサンダーの博物館と云ふものは仲々旺なものでありまして、非常に大げさなものであつたのでありますが、此の博物館はやはり時代の變遷と共に破壞されてしまつたり、火事で燒けてしまつたと思つて居ります。夫れから希臘、羅馬と續いたところに政治的、科學的に或は美術的の文明と云ふものが沒落しまして、夫れに加へて北方の蕃族が押寄せて來て盛んに掠奪を恣にしたと云ふ樣な歷史上の事實があります。かてゝ加へて基督敎、マホメット敎と云ふ樣な宗敎に對する宗敎的の振興を見るに至りまして、是が又一つの時代の風潮をなした。其處に所謂歐羅巴の歷史上謂ふ所の大暗黑時代が現はれたのであります。恰度四世紀から十五六世紀頃であります。此の時代の歐羅巴からは大學であるとか敎育博物館であるとかと云ふ樣な考へが全く消え失せてしまつた。併しながら十四世紀から十六世し紀位に當るところの所謂文藝復興の時代の精神が又仲々旺になつて來まして其の精神に刺激されまして藝術の作品であるとか樣々の文藝上の創作と云ふ樣な、一言にして言へは珍らしい物、或は骨董を集めると云ふ樣な趣味が盛んになつて來たのであります。日本では既に私も二三度申しましたが、ナチユラル・ヒストリー・動物、植物學と云ふ方面、是は博物學と謂ひます。同時にミユジユアムを博物館と

呼んで居ります。恰度言葉の偶然な一致と云ふことを申しますが、博物館と云ふものは本來博物學的の方面のものゝ爲めに出來た場所であると云ふ風に考へ易いのであります。併しずつと昔からのことを考へてみますと、實は博物學の爲めのものとしての博物館と云ふものは、ずつと後世の産物でありまして、本來は藝術品の陳列場所或は保存場所であつたのであります。夫れからして昔の希臘時代の博物館に於きまして、研究されました事項は主として言語學方面のことであつたと云ふことを言はれて居ります。ずつと後になりましてから歐羅巴の諸侯、貴族と云ふ様な人達が競つて骨董的の物を集めることを始めたのでありまして、其の時に集められた物の主なる物は繪畫、彫刻と云ふ様な種類の物であります。今日吾々が歐米に洋行を致しますと、先程移川教授の御話のありました様に、種々の彫刻であるとか繪畫であると云ふ物は陳列場があります。是は其の時代以來の産物であります。何れも立派な建物の中に保存されて居る。夫れから昔の宮殿を見に行きますと、其處には到る處に立派な繪畫、彫刻と云ふ様な物、吾々が寫眞とか繪で見て居る様な種類の物が澤山に列んで居ります。是のことに關して今思ひ出しましたが、或る獨逸の學者の書きました博物館に關するものゝ中に斯う云ふことが書いてある。藝術品の蒐集に於ては先づ世界で第一と謂はれます巴里のルブルの博物館であります。是は曾てナポレオン博物館と云はれたものでありまして、其の内容はナポレオン全盛の時代に世界各國を馳廻つて居る間に各國で盗んで來てさうして集めて造つたものが、今日のルブルの博物館の基をなしたものである、と斯う云ふことを書いて居ります。獨逸と佛蘭西の國民の間に感情が打解けないと云ふことは歴史的に原因があります。今日吾々が歐米を旅行してさう云ふことを感ずるのであります。其の爲めに獨逸の學者が事更らに激しい言葉を使つて、ナポレオンが各國を盗み廻つて集めたものがルブルの博物館の元だと云ふ様なことを書いてあります。兎も角も博物館の本來の出來方は先づ第一に陳列すべきところの内容物の蒐集でありまして、夫れに對する建物が出來たのはずつと後のことに屬するのであります。博物館と云

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ふものは本來藝術品の蒐集場所でありましたのが、次第に自然科學の方面のものを集める樣になりまして其の動機は、亞米利加即ち新大陸の發見されたところに間接ながらあるのであります。歐羅巴の當時の人にとりまして亞米利加と云ふ樣な新らしい大陸が遙か先きの方にあると云ふことは非常な興味であつたのでありまして、從つて澤山の人達が亞米利加を見物に或は探見に出掛けたのであります。其の度び毎に色々な物を持つて歸つた。主に植物並に動物であります。是は人の目につき易いものであります、是が歐羅巴に持ち歸られて自然科學方面の珍らしい資料として保管される樣になつたのであります。其の中心になりましたのは英國であります。其處では陳列して公衆に示したばかりでなく、夫等に關しての研究も行はれたのであります。倫敦の人でスロームと云ふ人があつたのであります。此の人は亞米利加の動植物其の他の物を集めることに非常に努力をし、澤山の物を集めたのでありますが、其の全體を千七百四十九年に英國の國民に捧げると言つて全部提供したのであります、之を受けました英國の國家は、遂に千七百五十三年に今日のブリテイシユ・ミユジユアム即ち大英博物館の施設の豫算を通過したのであります。此の博物館は誇るところスロームと云ふ人の寄附行爲が動機となつたのであります。博物學の博物館、ナチユラル・ヒストリー・ミユジユアムの内に殘つて居る物の內で、一番古いものは千六百六十七年に創設されましたところのオツクスフオード博物館であります。ブリテイシユ・ミユジユアムの方はナチユラル・ヒストリー博物館としてこそ置かれた譯であるが、斯う云ふ物を主に蒐集したものとしては最も古いのであります。要するに新世界の探見と云ふものが、樣々な物を歐羅巴に持ち歸りまして、先づ英國に博物館を造り、其の博物館の考へが更らに歐羅巴の諸國に擴がりまして、同時に夫等の物の產地であるところの亞米利加に傳はりまして、今日吾々が見る樣な立派な博物館が各地に見られる樣になつたのであります。博物學と申しますると云ふと、御承知の通り動物學、鑛物學、植物學、斯う云ふ物を含んで居るのであります。昔は夫等の區別が無く何も彼にも一緒にして取扱つ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

て　たのでります。併し其の内に鑛物學と云ふのは、先づ第一に一つの獨立した學問になつたのであります。昔鑛物學と申しました中では、今日の所謂化石、何う云ふ物を一緒に取扱ふと云ふ譯であるかと云ふと、總べて地中、岩の中から出て來る物一切含まれて夫れが鑛物であつたのであります。其の後になり段々研究され學問が次第に分れて來まして、遂に今日吾々が呼ぶところの地質學と云ふものゝ完全な系統にまで進化して來たのであります。今申上げました樣な廣い意味の鑛物部に化石も鑛物と認めるところの大きな採集が遂にミクサス第五世に依つてなされたことがバチカンの宮殿に付屬して居るところの博物館に收められて居る。千五百七十四年に精しく記載され、夫れから以後つけられて公にされて、之をメルカチーと云ふ大學者がやつたのであります。一寸御話が横に這入りますが、恰度鑛物として扱はれて居る樣々の中から、化石、動植物の化石であるところの化石、夫れが分離され別の物であると云ふ取扱ひ樣になりかけた頃、其の頃に面白い話があるのであります。獨逸のビユルブルクと云ふところに大學がありまして、其處にベリンガーと云ふ教授が居りました。其の人は非常に熱心に化石の採集に務めたのでありますが、其の當時世の中に行はれて居たところの思想と云ふものは基督教に支配されて神秘的のものであつたのであります。つまり化石と云ふものは舊約全書のノアの大洪水の時に埋もれたところの生物の跡であると云ふ風に考へた。併し兎も角も本當の鑛物と區別することは進歩であつたのであります。ところで此のベリンガーは非常に化石と云ふ物の意義を高調し熱心に採集した。其の熱心振りは當時氣狂の樣に見えたので夫れで弟子達の或は其の他の人達の中にベリンガーの態度を馬鹿にする樣になつた。ベリンガーの始終採取に行くところの場所に樣々の石に動物の形に彫つたもの斯う云ふ物をどん〳〵振り撒いて埋めて置いたのであります。ベリンガーは益々違つた樣々のものが出るのでノアの洪水の時に埋もれた殘りに相違ないと考へまして遂に千七百三十年頃にさう云ふ物を記載し叮嚀に繪を附けまして立派な報告文を出版したのであります。報告文は實物は私は亞米利加と夫れから

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ミユーベーベ見て居ります。夫れから其の學生の彫刻した彫物を見ましたが實に奇拔な物が、蜘蛛の巣の形であるとか其他羊、牛、夫等の物を皆彫り込んであつた。最後に惡戯の學生がヘブライの文字を彫り込んで置いた。之を見たベリンガーはノアの洪水の際に埋もれた其の時代の一つの寶物であると考へたのであります。ベリンガーは非常に喜んだのであります。然るに或る時其の採取場所に行つて見ましたところが石の缺けらに自分の名前が彫り附けてあつた。之を採取したベリンガーは非常に怒つたのであります。と同時に非常に失望しました。自分の出しましたところの報告を各地に配つた之を非常に熱心に買戻しを始めたのであります。大部分はなかつたのでありますが數部殘つて居たので其の頃再版が出版されて古董として彼方此方に出版されましたが其の原書は極めて稀であるのであります。斯う云ふ面白い話があります。

御話が元へ戻りまして鑛物學のことになりますが、鑛物學が一つの獨立した學科として本當に組織立てられましたのは、ウエルナー是は獨逸フライブルクのウエルナーのことを御話する序に、其の當時歐羅巴の教育界にあつたところの學問上の一つの面白い論爭のことを御話しますが、ウエルナーはフライブルクの教授として鑛物學を研究して居た人でありますが、餘り此の人は自分の鄕里から遠方の方へ出て行かなかつたのでウエルナーの學説は主として自分の故鄕の近所で研究したのであります。夫れで樣々な地質學的の現象を見ました。夫等は總べて水が原で起つたものであると考へた。今日我々が水成岩と火成岩と云ふ物を區別しますが、此の水成岩も火成岩も泥も全く水の沈澱して出來た物であると云ふ考へをもつてウエルナーの學説と云ふものはネプチマニフ混水學説と云ふ風に呼びます。是に對してスコツトランドにバツトンと云ふ學者があつた。此の人は本來は御醫者さんでありますが、非常に自然の觀察が好きでありまして、樣々の地方を旅行して樣々の現象を見たのであります。其の結果地球の面表に行はれるところの樣々の現象は、地球の内部にあるところの火の働きに歸すべきものであると主張したのであります。例へば花崗岩の樣な物にしても確かに水で出來たものと石灰

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

岩の樣な物を連ねて居る場合が數多く見ます。此の花崗岩と云ふ樣な物、其他の火成岩と云ふ樣な物は、火の力に依つて、謂はゞ火山作用に依つて出來た物であると說いたのであります。水成岩、之を考へると矢張り地球内部の火の作用に依つて結果された物であると云ふ主張をしたのであります。變化論であるが此の火と水との學說が鎬を削つて爭つたのであります。ウエルナーの考へは見た世の中が狹かつた爲めに非常に主觀點が遊ひまして、結局はウエルナーの學說は顧られなかつたのでありまして、總て鑛物學の方面の鑛物學を系統立つた學問に引上げたと云ふことのウエルナーの功績は永久に殘つて居るのであります。斯う云ふ譯で歐羅巴ではフライブルクの鑛物の陳列館は博物館の陳列場として先鞭を附けた感があるのであります。是に從つて植物學、動物學の陳列場が出來たのであります。それから先程移川教授の御話のハンブルヒの土俗館、さう云ふ方面の物、或は最近になりましては交通機關の博物館であるとか、海洋の博物館であるとか、或は機械類の博物館であると云ふ樣に樣々に置かれて來たのであります、歐米の各國の博物館に付きまして、實際に觀ますと非常に數が多いので、言迄もないのでありますが、其の種類も非常に多いのであります。文藝方面の博物館、一方には自然科學方面の博物館があり、其の中間を行くとも言はれる樣な土俗人種と云ふ樣な方面のものもありまして、其の種類は實に多いのでありますが、夫れ〳〵の博物館が物を集める範圍から見ますと云ふと、地方的の博物館とそれからして全國的若しくは全世界的とも申す方に大體分けることが出來ると思ふのであります。局部的の、地方的の物と云ふと亞米利加を旅行すると各州の竹の天產物或は其の他の物を集めたと云ふ博物館が屢あります。是等はローカル博物館であります。歐羅巴に參りましても矢張りさう云ふ樣な種類の地方的の資料を集めた博物館があります。此の場合は地方的の博物館は當然其の地方の天產物と云ふ樣なことの關係を有つのでありますが、餘り文藝方面のことの蒐集と云ふことは見ないのであります。動植物方面或は地質、鑛物方面でも主として同じ方面の物が列べてある。是に反しまして廣い世界的な、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

全國的の博物館と云ふものは所謂物を集て置きまして、詰り昔の博物館と大分趣を異にして、是は無論獨逸なり、英國などで見るやうな學問に從つて別々の一つの建物がありますが、其の間を一つの博物館として連絡をとつて居るものが多いのであります。世界的な博物館の代表者ともみるべきものはブリティシュ・ミュヂアムであらうと思ふのであります。能く是は人の知つて居ることてあります。例へは日本の浮世繪の樣な物も此處に多數の本物が行つて居ります。日本から態々夫れを調べに行くと云ふことを屢聞きます。博物學の外に於て、東洋殊に支那、印度夫れから日本、南洋と云ふ方面の物が仲々澤山ありまして、而かも歴史が古いだけに學問的の名も附けてあると云ふやうなことであります。併し吾々は夫れ等の物を見に、夫れ等の物と後の物と比較しに行かなければならぬと云ふやうなことが起るのであります。夫れから博物館の立場に色々ありまして例へば組育の博物館、是は自然科學方面の博物館であります。此の博物館の樣に夫れ自身一つの陳列場であり又研究所であると云ふ樣なものがあります。又獨逸、殊に伯林等の博物館で見るやうな、大學と博物館とが一緒にやつて居ると云ふやり方もある。例へば伯林の大學の地理學科は海洋博物館の中にある。夫れから地質、鑛物方面の學科が恰度地質鑛物博物館と同じ建物であります。斯う云ふものが屢見られる。夫れから英國の大きな博物館が學問研究の中心である。大學の教授と云ふ人達は研究の爲めにブリティシュ・ミュヂアムに出掛けて來ると云ふ樣なことになつて居るやうであります。英國の大學は一世紀位前の時代の精神が殘つて居るのでせう學生の養成所でありまして、研究所と云ふことを第二に置いて居ります。從つて獨逸風の流れをくんだところの者の大學とは一寸樣子が違つて居ります。博物館に行つて見て、貴重なる標本類或は書物と云ふやうなものを蒐集する。乃で各地からやつて來て、研究すると云ふところのシステムがあります。私も四月五月居たのであります。其の研究室の中で豫て名前だけ知り合つて居た印度の學者であるとか獨逸の學者、佛蘭西の人などに遭つて、同じ机の上で仕事を仕合つて居たことがあります。さう云ふことが起る。

殆んど語り博物館と云ふものは重要な位置を占めて居るのであります。第一の種類の博物館では標本の立札などに色々說明があります。併し極めて通俗的な說明が附けてある。外の方は能く存じませぬが、地質の方の陳列場を廻つて見ると大きな爬蟲類の化石があると何々の時代、何千萬、何億年前と云ふ風に書いてある。或は小さな昆蟲の化石、是は何十萬年古いとか或は哺乳動物は哺乳動物だけ飾つてある。何萬年前と云ふ風に書いてある。斯う云ふところに非常に通俗味があります。博物館に屢之を見たのであります。歐羅巴に來ますとさう云ふ說明札が學問的に寧ろあつても無くても宜いやうなものは書いて無いのであります。其處に著しい相違があります。ミユンヘンに在りますところの獨逸の博物館は近年出來た物でありまして、其の目的は學問の研究所としてゞ無く、寧ろ民衆の敎育機關として出來た物で斯う云ふ所に行くと多少通俗的の說明が見えます。其處の陳列方法の一つの目に附く特長は、總てのことを歷史的に樣々に廣告でもよし、或は山業の方面のことでもよい、昔の極く原始的の物から最近の極めて進歩した方法までずつと列べてある。斯う云ふところの通俗味があるのであります。博物館の目的を達するに最も直接のことが含まれて居ります。自轉車の發達の例を申しますと、是は原始的の物から三輪車、今の二輪車に變つて來たと云ふことがあるのであります。博物館の中でブリテイシユ・ミユヂユアムはなんと言つても一番理想的だらうと思はれるのであります。ブリテイシユ・ミユヂユアムの出版物の中には夫れ〳〵の學問に關する精しい案內書があります。此の案內書は一々陳列してあるところの標本の番號に照し合はして見ると樣々の現象が分ると云ふ風に出來て居る。でありますから案內書を持つて一二年或は半年でも宜いでせう、日參して居ると大學で習つた位のことは誰でも分つてしまふと云ふやうに出來て居る。屢學生が卒業試驗前などには標本箱の前に寄掛つて眺めて居るのを見ます。ブリテイシユ・ミユヂユアムの樣な整頓した博物館を見ますと吾々の、外國人でありますが、吾々の有つて居る物で學問の爲めにならぬものならば寄贈して行く位

い考へにはなるのであります。現に日本の人でも可成り多くの人が様々の日本の資料を寄附して居るやうであります。

以上順序も無く申上げましたが、其の中に大體博物館と云ふものはやるべき仕事がどんなことであると云ふことが御解り下すつたこと丶思ひますが、先程引合に出しましたグット博士の書いた物の中に斯う云ふことがあります。世の中には博物館と云ふ物は隨分少數の人の爲めの物だと考へる人があらう。併ながら實際は是は民衆の爲めの物でなければならぬ。民衆の爲めに開かれたところの眞のユニバーシティーであるのであります。民衆の此のユニバーシティーは學者が集つて様々の研究をし或は教育して居るところの様々の研究所、或は大學と云ふところに較べて遙かに範圍の廣いものでなければならぬ。博物館は字の讀めないやうな、目に一丁字もない人でも其處へ行つて物を見れば何か解る。必ずや覺えると云ふことあるべきである。夫れから又隱れた研究に依つて立つところの實際の物を博物館に行けば見られると云ふ様なものでなければならぬと云ふて居ります。博物館と云ふものは進歩した文明の重要な活動の一つでありまして、最も嚴密に系統立てられたところの智識の倉でなければならぬと云ふことがグットの博物館に關する見方で、是は吾々も同感に思つて居ります。尚ほグットは續けて申します。同時に博物館と云ふものは年々歳々時と共に學術の中心であると云ふことを認められて居なければならぬ。詰り學術の中心としての業績が年々歳々顯はれて來なければならないと云ふことであります。で是迄博物館と云ふものが何であるか、或は何とすべき處であるか、博物館の使命は何處にあるかと云ふことを總括した言葉であるのであります。臺灣の此の博物館のことを考へて見ますと、私は未だ充分に此の博物館は實は見て居ないのでありますが、隨つて此の博物館の全體のことを精しく彼之批評することも出來ないし、又する必要もないと思ひます。既に二十年の歴史を有つて居る此の博物館は先程移川教授の御話もありましたが、地理的關係からしまして特別に重大な使命を有つて居るのであります。日本には一體博物館が少ないのでありまして、上野の博物館と夫れから枝分れをしまし

て御茶水東京博物館、是は主としてサイエンス・ミユチユアム、科學の博物館で是等がめぼしいものでありまして無論其他の地方にも個人の經營若しくはプライベートの博物館があるやうでありますが是等は大體に於て古董を列べて置くと云ふに過ぎないのでありまして、移川教授の御話の非博物館的性質が破壞されて其處に、もうちつと新しい精神が這入り込んで來たと云ふことに對しては非常に喜ばしいことであります。博物館と云ふもの丶價値は未だクエスチヨンであるのであります。東京の博物館と云ふのは日本で申して日本の全國的の博物館でなければならぬ。又其の積りで經營されて居るのであります。是は當然さうあるべきでありまして、地理的に言つても日本の隅々の物を網羅し、蒐集され、考古學、自然科學的の或は文藝の物總てを博物館に網羅すべきでありませう。夫れから臺灣の博物館は特に臺灣並に其の附近を中心とするところの博物館として建てられたものであると思ひます。日本は是から南方に向つて發展するでありませう。日本の爲め南方發展の門戸として横たはつて居るところの臺灣の博物館の目的の爲めに充分な努力をしなければならないと云ふことになります。此の建物を見ますと云ふと是だけ立派な建物が内地の博物館にはなからうと思ひます。外國の博物館に較べましても大きさの點は兎も角、此の立派な建物は決して恥かしくないのであります。内容に付きましては、併ながら恐らく今日の目から見て遺憾の點が少なくないだらうと思ふのであります。例へて申しますと此の博物館は一週りしても見ても植物の方の採集品が殆んど見當らないのであります。臺灣は熱帶に近い地方であります植物にしても内地に見られない特種な物ばかりで、此の方面の植物の採集品が此處に列べてないと云ふことは何としても物足らない。其の外色々細かく申上げたい點は内容の點であります。夫れからして、臺灣に特に著しい、此の例へば樟腦製造、砂糖の製造、鹽の製造と云ふ様な、夫れからして臺灣特有の陶器であると云ふやうな様々の物が、様々の事業が行はれて居るのであります。夫等の事業狀態が本來ならば此の博物館に來れば先づ大様を呑み込むことが出來る様になつて居るべきと思ひます。成る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

程停車場から出ますと正面に立派な建物がありますが併し、もう少し內容を充實したならば多くの人は建物の印象以上に內容の印象を受けられるのじやないかと考へるのであります。亞米利加の雜誌に出て居たことでありますが、英國の汽船の下級船員が紐育に著いて數日間碇泊して居る間に、能く先程申上げました紐育の博物館に參りまして二日三日を過ごす。斯う云ふのが澤山あります。是などは博物館を最も有效に利用されて居る證據であります。吾々が外國の博物館に行つて見ますと見物に來る人が澤山居りまして、研究に行つても、屢迷惑を感ずるのであります。斯う云ふことは吾々も何時かあつて欲しいと思つて居るのであります。私は二十年の記念の機會に決して此の博物館の悪口をつくのではありませぬ。過去二十年間に於きまして此の狀態迄發達して來たところの博物館が將來の二十年に於きましては更に著しい進歩を遂げて、今日歐米に見られるやうな大規模のものにならないでも內容に於ては非常の權威のあるものになつて欲しいと思ふのであります。特に此の先程申上げました、臺灣と云ふ特別な地理的關係を考慮して健全なる發達を願ふ次第であります。先般大學の爲めに購入した標本類を通關の爲めに稅關へ著けたのであります。其の時に或る稅關吏が申しますには、此の標本は大學の參考品としては程度が低いやうだと言ひました。是には少々度膽を拔かれたのであります。斯んなことをぼつ／＼でも聞くと云ふことは益々博物館の必要を感ぜしめる所以であります。過去に於て此の博物館を今日迄發展せしめて來たところの臺灣の官民諸君が、今後に於きましても益々援助を與へて健全の發展の爲めに御盡力あらむことを、私は博物館の者ではありませぬが、博物館に興味を有つて居り又其の使命を深く感じて居る者の一人として特に御願ひするのであります。（終り）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

歐米の實感

横 光 吉 規

私が横光であります。今晩私の海外に旅行致しましたお話を皆樣に聽いて戴きます機會を得ましたことを私は深く幸に存じます。私のお話をすることは餘り面白くありませず暑氣の折から或は却つて御迷惑かと存じますが暫く御淸聽を御願ひ致し度いと存じます。恩に著せて眞に申譯ありませぬが實はお話をせよと云ふ御相談を受けまして以來少しく多忙に逐はれて居りましたので纏つて居ないので甚だ申譯ないと思つて居ります。どうかまあ半分以上は一つ御推察で御間に合せを願ひたいと思ひます。

此の演題に就きまして歐米の實感と云ふことになつて居ります。實感と申上げましても別段深く感じ、論ずべきやうな考へも持合せて居るのではなく、唯到る處で色々の物を見る度每に何とか一言言はなければならぬ、考へなければならぬ私の性質でありますが故に、チョイ／＼色々なことを思つて見た。併し今度此方に歸つて見ますと考へたことも何處に飛んで行つたか、一向纏りがついて居ない、唯つまらない極小さなことは時々旅行中の實見氣分に引きいられて考へたものと御想像願ひまして御聽取願ひます。お話の都合、私自身の申上る都合上何處を旅行して居るのか自分自身の纒まりがつき兼ねますから、私は印度を旅行して居ります途すがらに就きまして其の考へたことを申上げますが、チョイ／＼何方此方飛び廻ることゝ思ひますがとにかく愚見を申述べたいと思ひます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

印度と申しまするど、無論印度の地理の講義をする譯でありませぬが、大體の概念として無論御存じのことゝは思ひますが私自身以外に思ひましたことを申して見たいと思ひます。何時でも大概の方は、又私自身も印度と謂へば暑い所と聞いて居たのであります。ところが行つて見まするど私の印度に到著致しました所は印度と申しましても南の端の錫蘭島の「コロンボ」に到著したのであります。其の日は十二月二十八日であつたのであります。恰度私は亞米利加の方から先きに廻りましたので次ぎに亞米利加から歐羅巴に渡り歐羅巴の北から南に大體歩き廻りましてそれから伊太利の「ナポリ」から船に乘りまして埃及に立寄りまして「ポートサイド」から十日間海上に暮しました。そこで錫蘭島の「コロンボ」に著いたのであります。其處で私の乘つて居りました香取丸を捨てゝ「コロンボ」に上陸しました。十二月とは申しましても成程我々が考へて居た如く相當暑いのであります。臺灣の一月よりはもつと暑いのでありまして恰度臺灣の三月の終りか四月頃の暑い日位に感じたのであります。錫蘭島に居りますこと殆んど十日間にして錫蘭から此の印度に渡りまして「マドラス」から印度の東海岸に出たのでありますが其處から西海岸に寄つた方、殆んど中央と申上げて宜いかと思ひます、西海岸に寄つた眞西の方面の「マイソル」或は「バンガロル」、首府ではありませぬが古い首府に近いところがありまして皇帝が時々其處に居住せられたその「バンガロル」に到る、其處からまあ海岸ではありませぬが西海岸に線路をとりまして孟買から更らに北の方に印度の舊都「デリー」に行つたのであります。孟買に參りました時に殆んど未だ夫程暑いとは考へて居りませんでしたが寒いまでに考へては居りませんでした。殆んど「コロンボ」位の暑さであると考へて居りました。併し一晝夜過ぎまして「デリー」に上つた時は急に寒さを感じたのであります。私は冬の用意もして行かなければならぬと云ふことを注意されましたから、忽ち冬服の厚い「オーバー」を出して著ましたので震へると云ふ狀態は免かれたのであります。私が連れて參りました「ボーイ」でありますが、是は「コロンボ」から傭ひまして連れて廻つたのであります。夫れなどは

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

寒さで震え上つて盛に私の部屋で「ストーブ」を焚いて側に附つて寒い〳〵と言ふて居りました。「コロンボ」から「デリー」に參りますに約どれ位日數が掛るかと申しますと直ぐに參りますと、約六晩位汽車に乘つて寢なければならないと記憶して居ります。六晩汽車の中へ寢てさうして「デリー」に上つて見るとさう云ふ氣候であります。故に印度が如何に廣いかと云ふことを大體御想像が出來ると思ふのであります。歐羅巴の殆んど全體と申して居ります。歸りまして二三月前に緯度を調べて見ますと恰度印度の最も北に横行して居る緯度は日本の盛岡近所を通つて居るやうに考へます。大ザツパに地圖を見たので適確ではないと思ひますが先づ其の邊に考へられます。さうして南の方は「コロンボ」の端の方を見てみますと比律賓の「ミンダナオ」島の近くが、比較としてはお解りにならないかも知れませぬが、暹羅の南の邊を通つて居るのであります夫れだけの上下の幅を有つて居るのでありますから廣い所であると云ふことだけ御想像願ひたいと思ひます。さうして臺灣を是に比較して見ますれば恰度北回歸線が通つて居ります嘉義の邊り、其の邊りが「カルカツタ」の少し北の方になるか知れませぬが孟買よりはもつと上の方向であります。さう云ふところでありますが故に、唯今申しまする如く「コロンボ」から「デリー」に行つて寒くなるのは當然のことであらうと考へられるのであります。さうして氣候と申しますると其の氣候はどうしても大陸のことでありますからして大陸的氣候であることは當然であります。相當暑い時も臺灣よりは暑いのであります。寒さは臺灣より當然寒くなければならぬと思ひます。私は單に素通りでありますからして私の經驗からは「デリー」が其の程度に寒かつたと云ふことしか申上げることは出來ないのであります。そこでボツ〳〵印度の旅行に取掛ります。

先づ錫蘭に私は十日間ばかり居りました故に錫蘭に就きまして一寸申上げたいと思ひます。錫蘭に著きまして「コロンボ」に上ります時に、上陸する時に「パスポート」を調べに參りました。旅券を調べに來たのであります。旅券とさうし

て旅行用具を調べるのは何處の國でも同じであります。自分でも用意して居たのであります。ところが旅劵を見まして係官が「此の旅劵には錫蘭の査證がないから上げることは出來ない。併し上りたいならば此の旅劵を自分に渡せ、さうして明日何時迄に役所に出て來い」。斯う云ふのであります。私は此の印度旅行に對する査證は淡水の領事にして貰つて居りますが「故に査證は此處にちやんとあるではないか。」「ところが是は印度の査證である。錫蘭の査證がない」私はどうも不思議に思ひまして錫蘭と謂へは印度の一部であると考へて居りました。尤も皆様は既に御存じであるかも知れませぬが私は甚だぼんやりして居たのであります。錫蘭と印度とは政廳が違ふ故に別々の査證を受けなければならぬやうになつて居つて同じく關稅圏内を異にして居りますが故に稅關の手續を夫々しなければならぬ狀態になつて居ります。先づ其處で上陸早々に一寸まごついたのでありますが併し幸に頗る親切に扱つて吳れましたので其の儘何無く上りまして明日役所に行つて査證を受けた次第であります。其の日の如き大體歐羅巴から歸り若くは歐羅巴に行く人は「コロンボ」に下ります。「コロンボ」に寄航致しますと必ず「キヤンリー」と申しまして「コロンボ」から七十四哩ありますところのお寺を見物に行くのであります。此の日もやはり同じ船に乘つて居りました同船の人十二人が一團體を作りましてさうして「キヤンリー」見物に行かうと云ふことになりまして私も夫れに加はりましてさうして出掛けたのであります。三臺の自動車を用意致しまして各便乘致しまして七十四哩を三時間で走つたのであります。「キヤンリー」に參りますと其處には唯今申上げました如くお寺があります。釋迦の歯を奉安して居ると云ふ話であります。見るところと致しましては殆んど夫れ丈けであります。併し此のお寺が大したお寺でありませぬが構造は大したのでありませぬが先づ私の印度に上りまして初めて見る佛教に因緣ある寺であります故に注意して見ました。大體を申上げますると本殿は木造で出來て居り御堂の周りは中々名工の彫刻が盛にしてありますが、其の彫刻が新らしく何か「ペンキ」のやうなもので塗り潰してあるのは少々惜しいこと

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

をしたと云ふやうな感じがしたのであります。前の方の扉を見ますと扉の幅が二尺ばかりありますが杉の一枚板であると云ふ話で實に大きなものであると驚いたのであります。其の前に信者が坐つて禮拜して居るのでありますが手を擧げたり下げたり頻にやつて居ります。私共は其處を一通り見物致しまして前の方に行き所謂御釋迦樣の齒の奉安してあるところを見たのであります。夫れは三層の樓になつて居る、三層かゝつて居るやうではありませぬが中二階のやうな卒塔婆のやうな形が出來て其の中に御釋迦樣の齒が祀つてあるさうであります。三層に參りますと其處か胸像になつて居ります其の胸像の中には我が明治天皇の御眞影が英國皇帝、暹羅皇帝と竝べて揭げてあります。是には何とも言へない嬉しい感じが一寸致しました。それから中は見物と申してもそれで終つてしまふので門を出て前を見ますと卒塔婆があります。卒塔婆を「ダクバ」と云ふやうなことを言つて居りました「アダムダクバ」と言つて居りました。其の卒塔婆は白く塗つて居りまして總て佛骨を奉安して禮拜の對照となすものが作つて居ります。卒塔婆としてさう云ふ風に作つて其處には菩提樹が繁茂して居ります。菩提樹と佛教とは相當因緣があるやうであります。何處でも佛教のお寺のところに必ず菩提樹があります。話に依りますと印度に未だ佛教のなかつた時には菩提樹を禮拜したと云ふことであります。そこで同寺の前の道路に、何處にもあることでありますが乞食が金を吳れと隨分五月蠅く附き纏はれたことで、日本でもあることでありますが、受身になつてみると餘り良い心持はしなかつたのであります。それから「キャンリー」の「ホテル」、其處には「ホテル」としまして中々大きな廣い立派な「ホテル」があります。其の二三軒ありました其の中の最も大きい「ホテル」に行きまして晝飯を致しまして再び自動車で「コロンボ」に歸つたのであります。私は此處で必ずしも申上なければならないことではありませぬが各處で常に感じて居たことでありますが道路に付てのことであります。「キャンリー」迄七十四哩ある所でありますのに自動車で三時間で走り得るやうに道路が出來てあります。それは「アスハルト」で出來、山地の勾配が

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

あるところでも何等のガタスタも無く極く滑に走り得る道路になつて居るのであります。歐米何處へ參りましても唯私は常に何も感心したものはなかつたのでありますが、尤も私は最も負けおしみの強い人間で同じやうな物を見るに日本に比較して見て何是は大したものではないと云ふことが私の癖でありました。遺憾ながら道路を見ます時に如何なる所でも常に羨しく感じて來たのであります。先づ米國に渡ります時に布哇に立寄りました。布哇の殆んどずつと總べて「アスハルト」で綺麗に塗つてあるのであります。さうして如何なる田舍までも自動車で驅廻れるやうに出來て居ります。先づそれで非常に羨しい感じを植付けられましてそれから亞米利加に渡つたのであります。無論亞米利加に行きますと是は申上げるまでもありませぬが道路は「アスハルト」若くは「コンクリート」で固めてないところは道路で無いと云ふ如き何處もかも綺麗に出來て居るのであります。亞米利加の西海岸の南の方に當ります「ロスアンジエルス」に廻つたのであります。その「ロスアンジエルス」に參りました節「サンヂエゴ」を見物に行つた序でに墨西哥に一寸這入つて來たのであります。矢張り「サンヂエゴ」から自動車でも汽車何れでも行くことは出來ます。行く時は私は汽車で參りました。「サンヂエゴ」から既に墨西哥に參ります、私の行先きは「チワワ」でありました。ほんの國境を一寸這入つたところであります。亞米利加の自動車が「サンヂエゴ」を出發致しまして國境迄參ります間に道路は何等所謂米國の道路でありまして綺麗な道路に出來て居るのであります。國境より一歩墨西哥に這入りました時に全く事情が違つたのであります。無論「アスハルト」も「コンクリート」も何にもしてありませぬ。先づ此所の御成町方面と同じでありました。もう少し參りますと迚もお話に凸凹な道であります。而かも川のやうなところがありましても川は別に橋も架けてないので川の中を自動車が渡つて行くので同じやうな「レベル」に於て交叉して居るのであります。「チワワ」の町には或部分は「アスハルト」で出來て居たのであります。併し未だ半分以上の町が矢張り日本のやうな道路で泥を捏上けるやうな道であつたのであります。其の節に非常に道路の惡い

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ことゝ非常に貧弱の墨西哥を感じたのであります。如何にも道も墨西哥は貧弱の國であると云ふ風に貧弱さを感じたのであります。翻つて日本を考へて見ます時に甚だその設備が貧弱であると云ふ感じがしたのであります。どうしても是は道路だけは日本も相當に考へて所謂自動車の通る道に相當する位の道を造つて行くやうに將來はなつて行くことを最も望ましいことではないかと考へるのであります。殘念だノヽと思ひまして歸りまして明治神宮の外苑邊りを通つて見たのであります。此の邊に參りますと實に私の出發致します當時とは全然面目を一新致して何れの外國の狀態とも比べて見まして何等恥かしくないのは甚だ意を強うしたのであります。願くば臺灣に於きましても少なくとも基隆臺北間位は自動車で自由に往復出來るやうになりたいものであります。黃塵萬丈後から自動車の黃塵を排することなしに又外間の方に對して恥かしからぬ狀態にならなければならぬと考へて居るのであります。尙ほ道路に就きまして自動車が大變課稅を賦課しますが自動車に付きまして是はもう少し贅澤視することなきやうな狀態になつて行くことを希望するのであります何となく現在のお互ひの感じに於きましては自動車に乘つて步く奴は甚だ贅澤のやうにお互ひに感ずるのであります。冷靜に考へて見ますと交通機關に、性質が交通機關であるものは是は產業の上にも助長する一つの用具として考へるものでないかと思ふのであります。尙ほ汽車或は電車等の交通機關はありまするけれども殊に自動車の如き自分の欲する處に、欲する時間自由に欲する方向に向つて行き得る道具でありますが故に斯う云ふものがもう少し普及しもう少し安く自由に乘廻り得るやうになればお互ひが將來の生活の上に於て產業の發達の上に於て餘程稗益するところがあるじやないかと思ひます。殊に都會生活に集まる傾向も是が自由になることによつて更にお互ひは田舍に住んで何等の不自由を感じない狀態にもなり得るのでないかと思ふのであります。餘り此の自動車を褒めますと御異議が起ることもあるかも知れませぬから此の邊で止めます。(未完)

大學經營の成功者

幣原坦

大學の經營は、誠に容易な事でない。それを立派に成し遂げて業績を擧げ得た人は、どういふ人であつたのであらう。昨年八月物故した、ハーバード大學のエリオット總長の如きは、かの國の人も許してゐる偉人だけあつて、四十年の長い間、一意專心、同大學の爲めに力を盡し、九十二歳の天壽を以て、その生涯を終へた。長命であつたことも尋常一樣でないが、業績も亦尋常一樣でなかつたのである。今玆にその長い生涯と、その生涯を飾るところの業績の大略を述べ、併せて學ぶべき言行の一斑について、お話をして見るのも、決して無益ではなからうと思ふ。

エリオット博士の生涯

博士は、西暦一八三四年(我が天保五年)三月二十日、ボストンに生れた。これが、博士の長い生涯の始まりである。十五歳の時、ボストン・ラテン學校を卒業し、それからハーバード・カレッヂ(この頃にはまだユニバーシチーとはなつてゐなかつたが)に入學して、四箇年の後ち、こゝをも卒業した。頭が明晰で、數學がよく出來たので、ハーバード卒業の後ちは、その數學教師に任ぜられた。

彼れは更に勉學を繼續して、クーク教授と共に、高等化學の研鑽に從事した。さうして、ハーバード卒業後の六年目から、五箇年の間は、同校のロウレンス理學校に於て、數學及び化學の助教授を勤めた。それから二箇年間は、歐洲に在留して、教授の方法を研究し、又化學の實驗に沒頭した。

歐洲から歸ると、マッサチュセッツのロウエル棉花會社

から重役に招聘しようとしたが、彼れは之を固辭して、一生を教育に捧げようと決心した。さうして、マツサチユセツツ工藝學院の教授として、分析化學を擔當することを承諾した。二箇年の後ち、再び歐洲に赴いたが、その翌年、彼れの母校たるハーバード・カレツジの監督部委員に選任せられた。

この時ハーバードの總長は、トウマス・ヒルといふ人であつたが、急に辭職したので、後繼者が見當らず、學校も困り、監督部も困り、卒業生の團體も困つてゐた。その頃エリオツト博士は、雜誌の上で、米國の教育方針を批判したことがあつて、それが世間から大に認められた。そこでこの人を、ハーバード・カレツジの總長にしたらばどうであらう、といふ議論が起つて來た。

然し彼れは、まだ漸く三十四歳の若輩である。總長としては、あまりに若過ぎるといふ説もあつた。ハーバード評議會中の主要なる六人は、いろ／＼と詮議を重ねた末、いよ／＼彼れを總長に選ぶことに決して、その決議を發表した。監督部に於ては、今少し考慮の餘地があるといつて、容易に之に贊成しなかつたが、六人組は、どこまでも原案を主張し、いつまでもそのやうな事をいつてゐたならば、總長の空位の補充せられる時機はなく、又今のところ、エリオツト博士より適任者はないといつて、その主張を貫いたので、監督部でも遂に之に從ふやうになつた。

正式の選擧が翌年五月に行はれて、その時彼れは、いよ／＼總長に當選し、十月になつて、公然の任命を見るに至つた。これから彼れの改善と創造との事業が始まつた。さうしてその經營は、極めて順調に進行し、職員も學生も、共に滿足して歩調を合せた。その内に五年や十年は、またゝく間に經過して二十五年目に記念式が擧行せられ、卒業生一同から、金牌を彼れに贈つて、その功勞を感謝した。

これから猶ほ十五年間、依然として總長をしてゐたが、在職四十年に達すると同時に退任した。タフト大統領は、彼れに特命全權大使たることを希望したけれども、彼れは之を辭して、閑地に老を養つた。然しながら、活動はこれで止まつたのではなく、却て今までよりも、自在に著作もし、演説もし、講義もしたから、名聲は、更に一段高くなつた。尋常の人ならば、七十歳以上にもなると、何も出來なくなるのであるが、彼れはこのやうに、一層の活動振りを示したのは、慥かにその心身が人に傑出してゐた一の證據であらう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

退職の後ち十五年、常に青年の指導者として、又米國々民性の伸暢者として、社會に貢獻したことの多いのを認められて、ルート氏や、ホームス氏と共に、ルーズベルト章を授けられ、又日本からも、勳一等旭日章を贈られた。さうして昨年八月二十二日、メインに於ける別莊で、永眠したのである。

その業績

彼れが總長に任ぜられたのは、三十五歲の時であつたから、ハーバード歷代の總長中で、最も年少者であつたのである。否、何れの大學の總長と雖も、これより若い人はあるまいと思ふ。そこで就職までは、どうであらうかと危ぶまれたのであるけれども、一旦職に就くと直ちに改善にとりかゝつて、次第に效を奏し、最高の理想を大學の事業に傾倒して、己れの利害を忘れて經營に當つたから、校運は大に發達した。さうして、カレッジであつた時代にハーバードを引受けながら、立派な大ユニバーシチーとして、之を後繼者に引渡した。

彼れは講演式を自習式に代へ、記述試驗を口述試驗に改め、學科選擇法を實施して、宗教禮拜の強制を全廢した。醫學部の程度は引上げられ、法學部の内容も、改善せられた。神學部は、もとユニテリアン派の僧侶の教養所であつたが、全く變形せられて、各宗派の代表者が、教授となつて敎へもし、又學生となつて勉强もするところとなつた。

中には彼れの改革を評して、偶像破壞だなどゝ陰口をいふ者もあつたが、彼れの理想は、唯その大學をして、學問の寶庫たらしめ、學生を敎導して、世間の役にも立たしめるの外、何物もなかつた。それには圖書館も必要であり、博物館もなくてはならず、出來るだけ根本的の研學機關を備へて、一般に廣く、研鑽の機會を提供することを努めたのである。

學生は、面倒な問題が起ると、直ちに彼れに處理を乞ふのが例であつた。それは、彼れが常に愉快な裁決者として、學生の尊敬を受けてゐたからであつた。彼れは大學に於て指導すべきことゝして、いつも德操・信仰・義務・正義の觀念を高唱しだ。又學問の研究は、個性に順應して、始めて成就すべきことを信じ、遂に學科選擇法を實施したのであつた。

かやうな事をば、四十年間引續いて實行したが、とかく敎育の事は、政治や軍事の如くに、華々しくないから、彼

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れの大學經營の苦心が、どのやうであつたかを知悉する人は、たとひ多くなかつたにせよ、何としても長い間の總長であるから、名聲のみは世界に聞えた。

退職の後ち、大使に推された時の如きも、新聞紙は、一齊に適任者と稱讃し、又米國民のよい代表者であるといひはやした。然し彼れは、之を受けずして退隱した。カーネギー平和財團は、彼れの世界平和に對する功勞を認め、一九一一年から翌年にかけて、彼れに旅費を提供して、その夫人及び孫娘と共に、世界一周旅行をなさしめることゝなつた。彼れはこの旅行中、特に東洋に長く滯在して、世界の平和を促進することに力を盡した。我が日本に來たのも、この時であつたのである。

旅行を濟ませて國に歸つてからは、著作や、演說や、講義などに忙がしかつたが、その際刊行せられた「ハーバード古典」といふ書は、讀書界の興味をひいて、古典耽讀の風を生ぜしめた。又時事問題の演說や論文は、觀察の廣さに於て、考慮の周到に於て、措辭の妙に於て、大に世の注意するところとなり、米國市民の第一人者であるといふ評判が、益高くなつた。晩年には、主として國際平和問題・勞資問題・宗敎問題等に沒頭し、その發言はなか〳〵大膽であつた。

彼れの著書は、「ハーバード古典」の外猶ほ甚だ多い「文明に對する米國の五貢獻」もある。「敎育の改革」もある。「公立學校への增資」もある。「幸なる生活」もある。「ジョン・ギレイ」もある。「生活の久遠の滿足」もある。「平和への道」もある。算へ立つれば、なか〳〵盡きない。總長在職中、年々筆を執つた「ハーバード學報」も、又多くの人に讀まれた。化學に關する著述は、總長就職以前に成つたものである。

學ぶべき言行

一 恬淡

彼れは徹頭徹尾一生を敎育に捧げ、物質上の慾望をあまり持たなかつた。もしそれを持つてゐたならば、歐洲留學から歸つた時、マッサチユセッツの綿花會社から迎へられた頃に、もはや實業界に投じてゐたかも知れない。何となれば、その收入からいへば、區々たるマッサチユセッツ工藝學院の敎授よりも、遙かに多かつたからである。然るに彼れは、斷然會社の方を辭して、學校の方を取つた。これ彼れが年少の時より恬淡であつて、之に加ふるに、一事に

專心である天性を以てしたからである。

二　專　心

彼れは專心にして、一事に精神を集注し得る性質であつたればこそ、四十年といふ長い間、總長を勤め了したのである。大抵の人ならば、二十年と勤續し得られないのに、それを四十年間も、脇目をふらずに勤め了するといふのは、よほど偉い人である。又人格の卑いものならば、たとひ勤續しようと思つても、そのうちには破綻の出るものである。四十年も無事に、否、赫々たる名聲を保つて、大學の業績を擧げたのは、彼れの人格が尋常一樣でなかつたのに因らねばならぬ。彼れが在職二十五年の記念式に於て、ノルトン教授が演說して「この大學の進歩に貢獻したものは、エリオット總長の人格より、ヨリ大なる何物もない」と公言したのは、決して一片の諛辭ではない。

三　忘　我

玆にこの人格の片鱗があり〳〵と閃めいてゐる一例がある。それは、彼れが死に先だつこと三箇月、或雜誌記者に會見した時の談話の一節である。曰はく、「現代の青年に對して、若し私に最後の言をなさしめるならば、かやうにいひたい、卽ち、已れの事をあまりに多く考へてはならぬ。平生考へてゐることが、已れの事ばかりであるならば、それは旣に身を誤つてゐる證據であると。」

これは實に服膺すべき金言で、殊に一部の米人には、最も適切であつたに相違ない。彼れは常に、このやうな忘我的の氣分でゐたのであるから、長い總長在職中、人に飽かれもせず、否、人から非常な尊敬を受けて、大學の成績を擧げることが出來たのである。

四　政治よりの獨立

彼れはまた、終生政治から獨立してゐた、彼れの如き人望があつて、若政治上に野心があるならば、何時でも希望する位置に就けたであらう。然るに、彼れはそれをしなかつた。さうして、教育の爲めに一生を捧げた。是れ退職の後ち、全權大使に推された時も、固辭して受けなかつた所以である。最も彼れは、公共的の性質に富み、公共の事を論議することを好み、時事問題について演說したことも、頗る多かつたが、それは大教育家としての立場から、或は教育を論じ、或は宗教を說き、或は勞資問題についての意見を述べ、或は平和に關する所信を披瀝したのであつて、政治圈内に入つたのではなかつた。故に政敵もなく、どこまでも政爭から獨立して、物がいへたのである。

五　持論の主張

彼れの持論の主張は、可なりに强かつた。教育上の主張としては個性順應といふことであつた。卽ち人間は、個性と年齡に相應すべき、適當なる學課を選んで、力の及ぶ限

り之を勉強するのがよい、といふ論である。隨つて天賦の能力と、智識發達の程度とによつて、級を作るべきであり、さうしてその進級も、個々別々で然るべしと考へた。そこで、學生に學科を自由に選擇せしめ、自分で自分の一生の進路を定め、學ぶべき學科を極めるやうにせしめたいといつて、ハーバードに於て、率先して選擇制を實施したのであつた。かやうな主張であつたから、自ら公言して、「劃一は米國教育の禍である」とまでいひ放つに至つた。

彼れの發言の大膽であつたことは、禁酒法が米國に布かれた時にも、開口一番、酒や麥酒は發賣を許すがよい、といつたのでも知れる。

六　寬　容

持論の主張は强かつたに拘はらず、少しも狹量ではなかつた。我が國に來遊した時、案内の日本人に問うて、「日本は何を基として道德教育を施してゐるのか」といつたので、案内の人が答へて、「日本の思想界は、嘗て混沌として適從に迷つた時代もあつたけれども、明治二十三年教育に關する勅語が煥發せられて、忠孝を基とする大本を示されたのであるが、實に日本は、建國以來の歷史によつて、この忠孝の教を以て、國民道德の基本としてゐるのである。」といつた。さうすると彼れは、一概にキリスト教主義を持ち出さないのみならず、却てそれを尤もなりとして、かういつた。「それは結構なことで、さうなければならぬことである。凡そ一國の道德は、各その國の歷史に基き、又その國民の信念によつて、おのづから標準が定まるもので、世界共通といふ譯にはゆかない。」と。

七　未來への考察

彼れは常に、過去を說かずして未來を考へてゐた。これ畢竟、進步的の人であつたからであらう。又長壽の一原因も、この性質にあつたことは、疑はれないところである。尤もその長壽が、主として身體の壯健から來たことは特にこゝに云ふを待たない。別莊で死ぬより三箇月前に、病氣の報知が傳はつた時、家族の一人でさへ、それは虛傳であるといつて、信じなかつたほどである。

八　自　制

身體が壯健であるから、精神も亦壯健であつた。その上に、その心身の壯健を保持するの自制が、誠に行屆いた。常に善行を豫期する從容の氣象を養ひ、新鮮なる大氣の中に日々の運動を怠らず、大雨や怪我にかゝらぬ用心を深くし、食事の中庸を守り、酒や、煙草や、コーヒーなどの、刺戟物を避けた。さうして舟を漕ぐことゝ、自轉車に乘ることは、平生好んでゐたところであるといふ。

右のやうな事は東京の或雜誌の爲めにも、話したことがあるけれども、意に滿たぬところが多かつたので、更にこゝに改訂して、實業時報編輯局の請囑に應ずることにしたのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺俗百話 蓬萊物語（八）

西岡塘翠

面白い祭氣分

神の祭祀、全島到る所に所在して居る神廟に奉祀して居る神々は、その數に於て夥しく、その神々が各自祭祀を異にして居る爲に、今日も祭祀明日も祭祀、臺灣人は年中祭祀に忙しく、稼ぎ働いた金錢は愚か、蓄へた餘財もこれが費用に消して而も敢て意としないと云はれ、臺灣はお祭の國とか、臺灣人は祭好きな民族とか云はれる。然り事實が眞實然うであるから已むを得ぬ。而して神廟に於て行はるゝ神々の祭祀は、城隍爺祭と孔子祭と媽祖祭が、その祭事に於て異つて居るが、その他諸神廟で行はれる祭祀は大同小異である。即ち神廟で在住して居る所謂廟守が、早朝から廟内を整理掃除して、神靈位の奉安してある神棚とも云ふべき正面の祭壇に、香華を供へ献燭して參詣者の來るのを待つ。かくして廟の管理人が集まり、牲醴を供へ爆竹を放ち焼金を行ひ、跪拜して神靈位を拜して祭事を行ふので內地に於ける神社の祭事の如く、神官が行ふが如き儀式はない。然うして祭事が行はれた後は、管理人等は別室に控へ、茶菓を共に喫して、午餉も終り夜は祭宴を張る。而して信者その他の參詣者は、老若男女思ひ〳〵に廟に參じ、携へた牲醴を祭壇上に置き神靈位に供へ、献燭焼香焼金を行ひ、廟の廣場で爆竹を放ち、一々奉祀さるゝ神に跪拜して、招福邀利の祈願をし、これを終へると、一度神前に供へた牲醴を下げて再び手に携へ家に歸つて、それで一家相集まり卓を圍んで會食し、男は酒を酌んで小宴を催す。而して多くは午後に參廟するから、下げて携へ歸つた牲醴は夕餉の食菜に充る。臺灣の神廟にはその廟に主神があつて、他の神々が共に祀られてある。その祭祀の當日は祭神を主として參詣するのであるから無論、第一に祭つるべき神に牲醴を供へ香華を献し點燭して跪拜祈願するが、參詣の序と云ふわけでもあるまいが、必らず祭神拜後他の神にも拜するが、この場合は焼香點燭するのみである。而して管理人は祭祀とあつてまづ餘興と云つた格で、必らず地廻りの戯班即ち村芝居然たる芝居を開催して、廟所在の附近に居住する人々に、開放無料觀覧せしむるの例である。

神廟で祭祀を行ふ費用と云ふのは、神廟所屬の財産が生む財源と、管理人初め信徒衆が組織する祭祀團、神明會の如きを設けて、祭祀の費用を支辨して居るから、個人的に寄附金の募集は普通は行はない。それで祭祀の日に牲醴を携へ神前に供へ、獻燭燒香例の金紙を燒いて跪拜する參詣の信徒は、この祭祀の日には家々で内宴を開き、樂しき團欒の會食をなし、又親戚友人やその家族を招き請じて共に神前に供へた牲醴に舌皷を打つゝ樂しく食卓を圍み歡待するのが例であり、又恁うした親戚友人の家族にその招請されるのを樂しみに好んで往訪もするし、それと知らずに訪ねた人々も共に招き請じて、座の賑ふのを好いことにするし、その饗應の費用の多いを厭はぬばかりか、寧ろその多きを誇るの風がある。恁うした傾向は内地人の祭事に於ても屢々見る所だが、臺灣人のそれの如く甚しくはない。けれども祭祀の日は恁う事情の下に、家々には往訪の客の姿が多く見られて、所謂氣分を示すのも、臺灣でないと見得られぬ點である。而して内地の祭祀には、神輿の渡御や氏子町内の献燈、さては山車や樽御輿、萬燈と云つた、町内競ふての催物に、お祭氣分を濃厚ならしむるが、臺灣の祭祀には普通の場合は恁うした類の、所謂町内催物的のことがなく、前記の如き狀態だが、時には或は米商の祭神を地方五谷先帝祭と云つたが如き場合とか、何々の爲めにとか云つた工合に、特別の意味の祭祀を行ふ際には、可なり大奮發で、例の大壇と云つて一種の宮殿樓閣とも見るべき、壇を造り、それに種々の意匠を凝らした裝飾を施して、美觀廣大なのを競ふばかりか、壇には家代々傳ふると云つた珍藏の書畫骨董を陳列して、その珍品の多きを誇るのである。而してこれは幾日間は一般公衆に觀覽を許し開放するもので、觀覽者はそれ〴〵その裝飾の美しさ、構造の壯大さやさては其處に陳列展開された書畫骨董類の逸品珍物を彼是比較して稱贊するが、陳列展開された逸品珍物も書畫を鑑識するもの尠く、寧ろ骨董類に就いて、その逸品珍物振を敬嘆稱贊する者が多い。これは一般臺灣人は書畫の妙味や珍逸さを賞翫する態の人は尠く、從つて衆目が多く骨董の方に傾くのも當然で、風流韻事を解する人が多からざるに因るのであらう。この壇なる催物は、決して年々歲々行はれる神廟の祭事には行はぬもので、幾年毎に或は數十年毎に一囘行ふので、それ故それが爲めには驚くべき費用が投ぜられるのである、この催物は正に臺灣人の催物らしく、支那的色彩の極めて濃厚なもので、臺灣特色のもの丶一つと云

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つて可い。

内地の神輿渡御に類したものに遊境、或は鬧熱又は迎神明と云ふものがある。これは祭神の神像を神輿に載せて、行列整へ音樂隊の囃子を先頭に賑々しく街々を練り歩くので、遊境の意は神が自らの氏子内即ち境内を遊巡すると云ふので、鬧熱はこの神輿渡御は賑々しく長い行列が練り歩くし、それを迎へ拜さうとする氏子中の信徒や、その神輿渡御の行列見物の人々で、練り歩く街々は何れも人の山、群集の蠢めきで大雜沓熱鬧を極むる盛況を呈するからの意である。而してこれを迎神明と云ふのは、讀んで字の如く神明は即ち神でこれ神輿に載つて練り歩く、それを人々が迎へるから云ふので、この神輿渡御の遊境が行はれて行列が過ぎ行く街々は、物見高いは人の常とは云へ、殊の外物見高い臺灣人、それに大聲高語して憚らぬ彼等のことゝて喧噪も甚しく先頭の音樂隊の吹奏のどんちやんぴう／＼の囂々として相交錯して、いやが上にも混雜喧噪の度を募らすので、この遊境の行列こそは確かに支那的色彩が濃厚で、臺灣人らしいもので臺灣のお祭氣分を示すものであるが、我等内地人には珍しい奇妙なものゝ一つで、初めて見た者は異驚の眼を放たぬものがない。全く獨特の色彩を見せて居る。而して遊境と云ふのは幾多の隨神と奏樂隊、旗幟幾十旒、壯觀なもので儀仗も盛大で、神輿に隨從する所謂善男善女が神妙に隨侍するから賑かなこと、行列も盛大なのは十數町の長きに亘ることが珍しくない、普通は相當格式があり信仰の可なり深厚で、祭祀に支辨し得る財力の豐裕な神廟では一年に一回位行ふが、それが出來ない神廟では三年に一回或は五年に一回行ふが、かの福徳正神と云つた土地公やその他の神でも遊境を行はぬのも多い。遊境を行ふと可なり費用が入用なのは、その行列の次第でも判る。それ故に年一回と定められてはあるものゝ、場合に依つては二回行ふこともあり、又惡疫流行やその他忌むべき事故の生じた時、これを驅除して貰ふ意味で祭祀を臨時行ひ、遊境を臨時に行ふことがある。儀仗の盛觀を呈する遊境の行列は、第一に路牌にて行列の進路を示す板の牌で先頭にこれを押立てゝ行く、第二提灯これは高張だが内地のとは形を異にして多く圓形で朱塗の棒狀の竿の上に附けてある。第三は大强吹でこれは奏樂の一隊だが、殊に强く響く高音の樂器を用ひて吹奏するもの、第四武官は支那時代の武官服を纏ひ、武人に擬した一隊が騎馬で行く第五獅陣は武器無論支那時代用ひたもの、それを持つた一隊で俗に

八將と云ふ、かの有名な稗史小說三國志から案出したものか、三國時代の武人の風を模しこれに扮し八人の一隊が二列に、各自思ひ〳〵に鎧甲を着流し、將佐尉の三階級に分れて居つて、中には行列を進めながら演武するものもあれば、巧に蛇を使ふもの、又た繼光餅とてこの菓子を食すれば運勢開け罹疾せぬと云ふ迷信から、子供に食べさせるその菓子の入れた袋を頭から下げ步き行く途中に乞はるゝ儘に子供に頒ち與へるものもある。第六は閣臺でこれは內地の山車に擬するものだが、全然趣を異にして珍しいものゝ一つである。而かも支那式のものであることは、臺灣人が支那民族なる故である。これは支那劇の劇題に因み種々意匠を凝した造物に、十二歲乃至二十歲の藝姐卽ち藝妓に、その意匠に配する人物に仕立て、絹帛綾羅を纏はしめて、一つの飾物にしてこれを臺上に載せ、舁せたり曳かせたりする。藝姐が乘るので一つに藝閣とも云ふが、何も藝姐に限つたことはない、時に良家の子女がこれに當る例もある。加之近來は時に支那の劇題に因まずに特獨の嶄新な意匠を施すのを見るやうになつた。それで近來各地では、この催物があるとこの意匠に對して優劣の等級を審査決定して賞を授ける風が盛になつて來た。而して又蜈蚣閣と云ふのは、閣臺の一種であるが一臺に仕立る人物が十數人の多きに及び從つて、人物が配する裝飾も長大な面積を要し、長く多人數で舁かねばならず、曳く車體も長く幾輛の荷車の如きものを連結することになり、その形が蜈蚣に似て居るからかくは名づけたものである。第七は鼓吹で強大な音響を發せぬ普通の奏樂隊である。第八は文官で支那の文官に擬しその服裝をした一隊が騎馬で續く。第九は神の名を記した大牌第十が壯觀を呈する旗幟で無論支那式のそれで、よく支那軍隊が押立て步くそれと同じで種々の縫箔を施し巧妙美麗なものである。但し近時は電信電話の柱が到る所に延てられたので擔き步くことが充分出來ず、多く橫倒にして擔き步く。第十一帳矮でこれは有名な謝將軍と范將軍で、帳爺矮爺とも云ひ、今では內地の博覽會には臺灣名物の一つとして、この人形が姿を見せ、會場內を悠々闊步して內地の各地でその異彩ある姿を見せて、あつと云はせて喝采してお馴染の、脊高人形と脊低人形、說明するまでもあるまいが、本名は帳爺の謝將軍は謝必安又は紅面將軍、身長丈餘一人の男が胴の中に隱れて擔ぎ步むのであり、其面か紅いから紅面將軍と云ふ。矮爺は范無、又は烏將軍、これは謝將軍と反對に身は短く卽ち矮であり、面が黑いから烏

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

面將軍の別名がある。これも一人の男が胴の中に隱れて擔ぎ歩く、何れも支那の武人姿であるのは勿論で、これなどはいよ〳〵支那色彩が濃厚で、臺灣人が支那民族であること云ふを適確に示して居る。第十二が神馬でこれは何も廟に常に飼養して居る馬ではない。內地の神社に飼養されて居る神馬とは同一ではないが、祭祀の時に特に篤志家が己の馬を一時貸與するのだが、馬を飼養すること甚だ稀な土地柄神馬として用ゆる馬匹が得難いから、神馬を描いた牌を以て代用するものもあれば、全然これを行列から省くのもある。第十四は神輿であるが、內地の神輿とは全く趣を異して居つて、臺灣のは裝飾を施した轎に、神像を奉安し神前に香爐などを置いもので、その轎を壯丁が舁き步くのである。第十五に行列の最終で芭蕉扇と云ふのがつゝく、これは芭蕉の葉の形に擬した大形の扇で、朱塗の棒につけたものを擔ぎ行く、而してこの次には善男善女が殊勝にも隨香として、隨從して步く。遊境も恁うした順序で行列をして行くのは所謂正式だが、略式が時に行はれることがある、それはこの行列の二三を省くので、これは費用その他の關係事情に困ると云はれて居るのだ。遊境以外に祭祀の際には、信徒が相集まり氏子達が太鼓吹を先頭に旗幟、それから藝閣、鼓吹、次いで例の謝范將軍等を以て行列を作つて練り步くのもある、普通よく街々を賑に練り步くのはこの式の行列で、これは幾組も編成されて、思ひ〳〵に盛儀を競ふのである、また個人的とも云はうか、恁うした行列はせずに、頗る簡單に鼓吹と旗幟を以て廟に行くのもある。殊に陪神と云つて、他の廟に奉祀されて居る神が、この祭祀に際して、共に行列即ち遊境中に陪行するの意で、これは信徒に依つて遠き廟から舁き出されて、これに加はるもので、恁うなると、遊境の行列はなか〳〵盛大で、蜿蜒として十數町以上に及び、雜鬧混雜も名狀すべからざるの光景を呈するが、恁う祭祀は靈驗顯著で信仰の深厚な、評判の繁昌する神に限るのであつて、陪神を見るが如きことは餘りに多くないと云はれて居る。而して恁うして賑かにお祭氣分を濃厚せしめる臺灣人は、眞にお祭が好きでもあり一つには迷信の力に支配されてのことで、神の祭事を盛にすれば必らず、福利が得られると云ひ、懸命に奉修するも殊勝らしい。これに彼等は祝酒とあつて酒宴を家々に催すが、決して泥醉やら亂醉はしない、それで祭の夜まで決して何處にでも泥醉した一人さへ見えぬもの珍らしいが、酒に醉ふて他人の目に觸れる場所では決して醉態を演じない。これは一つ美しい臺灣人の習慣であると思ふ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

規尼涅トラストの規尼涅差押へと比律賓に於ける規那の栽培

（比律賓ダバオ日本人栽培協會をして規那栽培試驗を行はしめ比律賓土地法の解決を策すべし）

總督官房調査課

一、規尼涅と規那皮

規尼涅がマラリヤ其他熱病の特效藥として、藥品中特別の位置を占めてゐることは、世人の熟知せる所である。元來、此規尼涅には、硫酸規尼涅の外、煎汁、丁幾劑、越幾斯等調劑用として用ひらるゝものがある。然し、硫酸規尼涅（又は鹽酸規尼涅）は、今日市場に於て取引せらるゝ規尼涅の大部分を占めてゐるのであるから、今此硫酸規尼涅に就て、今日其

れが何程の數量世界に於て製造せられてゐるかを見ると左の通りである（數量に關する數字は、蘭領東印度農商工務省一九二六年十二月發行の Korte Berichten に依つたものであるが、下段の數字は、規尼涅の時價と見るべき一基瓦當り四十圓を數量に乘じて假りに算出したものである）。

年次	硫酸規尼涅の生產高（基）	其價額（圓）
一九二一年	五一三、六〇〇	一八、六〇六、〇〇〇
一九二二年	五三四、五四五	一八、七〇九、〇七五
一九二三年	五三四、六二四	一八、七一一、八四〇
一九二四年	五六六、五〇〇	一九、八一七、五〇〇
一九二五年	六二一、八〇〇	二一、七六三、〇〇〇

右に擧げたるが如き規尼涅は、Cinchona 屬中に於て發見せらるる數十種の樹木、就中 Cinchona Ledgeriana 及び Cinchona Succirubra 種の樹皮中より化學的作用を施して得るものであつて、世界に於て供給せらるゝ規那樹皮の九二パーセントは、蘭領東印度の爪哇スマトラ（就中爪哇）から供給せらるゝものである。今日規那皮及び規尼涅が世界の問題となつてゐるのは、其れが藥品として絕對必要なるものであるといふばかりでなく、爪哇が規那皮の全金額の九割以上も供給してゐるといふことにあるから、次に爪哇が如何にして世界に於ける供給の九割以上もコントロールするやうになつたかの概略を述ぶることとする。

二、蘭領東印度（主として爪哇）に於ける規那の栽培

和蘭は、東洋に於て廣大なる殖民地を有し、而も其れが熱帶圏內に介在するが爲め、マラリヤ其他の熱病が勢ひを逞

ふし、多數住民の之れが爲めに窘めらるゝものあるが爲め、ドクトル・ブルーメ（Dr. C. L. Blume）は一八二九年に、コルトハルス（Pieter Willein Korthals）は、一八三〇年に、既に熱病に對する良藥として既に世間に周知せられたる規那皮の母樹を爪哇に試植することを政府に獻言したる結果、政付は秘露及び智利に駐在せる和蘭領事に命令し、規那樹及び種子を入手し、本國に送らしめんとしたが、南米諸國は、政策として規那樹及び種子の輸出を禁じてゐたから、蘭國政府は其の目的を達することが出來なかつた。

◆然し、政府は依然規那樹を蘭領東印度に輸入する希望を繼續してゐたのみならず、之れが調査の爲め南米に赴き、治くボリビアの地方を跋渉したことある英人植物學者ウエッデル（Hugh Algernon Weddell）等が頻りに規那樹の移植を慫慂するので、植民大臣パフド（Ch. F. Pahud）の時代に遂に意を決して之を實行することになつた。パフドは、爪哇に滯在したることあるユングフーン（Franz W. Junghuhn）を原産地たる南米に派遣したかつたのであるが、ユングフーンは、爪哇ボイテンゾルフ植物園の職員で、當時和蘭に歸省中であつたハスカール（Justus Karl Hasskarl）を推薦したので、植民大臣は、ハ氏に規那の苗木及び種子を南米に於て採集することを依囑した。ハ氏は一八五二年十一月南米に向つて出發する筈であつたが、獨逸ハムブルグの一新聞が和蘭政府の企擧を暴露し之を妨害したので、ハ氏は、ミユラー（J. K. Müller）なる變名の下に旅行することになつた。

ハスカールは、巴奈馬の地峽を横過して太平洋岸に出で秘露の主要港カリヤオに到り其れからアンデス山の方に掛けて一年餘り採集に從事し、最初多數の種子と五十九本の苗木とを爪哇に送つたが、苗木の方は數箇月間巴奈馬に抑留せられた爲め全部枯死した。が然し、種子は大部分無事に爪哇に到著したので、植物園では其一部をゲデ山の傾斜地に蒔いたが、蒔方が當を得てゐなかつたゝめ發芽せず、ボイテンゾルフ植物園が特別の注意を以つて蒔いた他の一部が發芽した

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ので、苗木はナボダス高山植物園に植付けらるゝことになつた。ハスカールが和蘭に送つた種子も、ライデン植物園に依て取扱はれた結果幾分發芽したので、其の苗木は當時（一八五五年）和蘭にあつたユングフーンに依つて爪哇に送られ、今日官營規那園の所在地たるチンイルアン（Tjinjiroean）に移植せらるゝことになつた。ハスカールは、實に爪哇に於ける規那栽培の鼻祖といふべきである。

ハスカールは南米滯在中、再び多數の苗木を蒐集したが、今回は以前よりは更に多くの注意を以て之を爪哇に運搬することの必要を認め、本國政府に向つて軍艦をカリヤオ港に派遣することを請ひ、軍艦（プリンス、フレドリク、デア、ネーターランデン號）が同港に到著すると共に、五百本の苗木を携へて之に便乘し爪哇に向ふことになつた。一八五四年十二月航海三個月有餘の後、軍艦がバタビアに到著せる時、五百本の苗木中僅々七十五本のみが生殘してゐたに過ぎなかつたが、直ちにナボダス高山植物園に移植され無事に發育を遂げた。然しハ氏が爪哇に向け送つた樹種は其の數十に上つてゐたが今日大規模栽培に利用されてゐるものは一としてあることない。只其中の Chinchona Calisaya といふのが、レッヂエリアナ種（工場用規那皮を出す最良の樹—後述す）が、蘭領印度に得らるゝ迄稍々見込ある樹種と見做されてゐたに過ぎない。

◆蘭領印度に於ける規那の栽培は、本國政府より多大の後援があつたに拘はらず、適當なる種類を得なかつた爲め、未だ以て成功せりといふことが出來なかつた。夫れが一新生面を開いて、今日の盛況を見るに至つたのは Chinchona Ledgeriana が發見輸入せられたるが爲めである。

此 C. Ledgeriana といふのは、規那皮の取引を業とせるチャールス・レッチャー（Charles Ledger）なるものが、ボリビヤに於て集め得た種子を兒ヂョーヂが僅々百盾（約八十圓）の値段で一八六五年和蘭植民省に賣却し、植民省は之を爪哇チンイルアン規那試驗場に交付することに依て買得せるもので、副アルカロイド少量なるが上に規尼涅の含有量多く、且つ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

之を遊離する方法も他に比較して容易に、育種栽培の方法も割合に簡單である。今日市場に於て取引せらるゝ所謂工場用規那皮(Fabriekbast)はレッチエリアナ種から得られたものである。レッチエリアナ種は、蘭領東印度の規那栽培をして今日あらしめた最有力の原因であると言つても差支へはない。

◆爪哇の規那栽培が今日の如き盛觀を致したのは、今述べた樣に優秀なる樹種が偶然和蘭人の手に入つたからではあるが、同時にユングフーン等學者、技術者の力に俟つて多いといふことも之を認めざるを得ない。卽ちユングフーンは、南米に於ける其の生育狀況から推察して、最初の豫定地であるチボダスを不適當と認め、プレアンガー洲のチンイルアンを中心として官營規那園の基を開くことにした。之は、爪哇の規那栽培を成功に導く一大動因であつたに相違ない。ユングフーンに亞ぐ規那栽培の功勞者は、彼の後を享けて官營規那園の管理者となつたドクトル・ファン・ホルコム(Dr. Karel W. van Gorkom)である。規那樹の輸入者であるハスカールにせよ、ユングフーンにせよ、規那樹は日影でなければ完全に發育しないといふ想像の下に、ダダップ(Erythrina種)などいふ影樹の下に規那樹の栽培を試みたのであつたが、發育が惡く、樹皮中に含有せらるゝアルカロイドの分量も少なかつた。ユングフーン等の此の方法を一抛し陽光の下に規那樹の栽培を試み、今日見るが如き方法の基を開いたものは、ファン・ホルコムで、過去七八十年間に於て拂つた政府の犧牲はさること乍ら、蘭領東印度に於ける規那栽培事業が成功した半分の原因は是等學者技術者の努力といふも過言でない。

三、規那の栽培とマーケティングの問題

如何なる生産事業と雖も、生産品の販賣方法宜しきを得ざるときは、充分に利益を擧げ得ることが出來ない。蘭領東印度の規那栽培事業者も、生産物の販賣に就ては、相當苦い經驗を持つたやうである。目下規那トラストとして世界製藥業

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

者の問題となつてゐる和蘭アムステルダムの規那ビューロー（Kina Bureau）の如きも、爪哇に於ける規那栽培業者及び規尼涅製造業者が販賣上に就て色々辛酸を嘗めた結果生れ出でたものである。今是れに付て蘭領東印度農商工務省發行 Korte Berichten（一九二六年十二月三日號）の述ぶる所を摘載すれば左の通りである。

「一八八四年後、規尼涅製造業者が規那皮を看り に買込み、旺んに規尼涅を製造したゝめ生産過剩に陷り、一八八五年には、一基瓦六十七盾（一盾の本價は吾が八十錢）に下落し一八二四年には一基瓦千三百五十盾であつた—一八九一年には更に二十二盾に下落し、其の後一時一ユニット（譯註）の相場が〇・〇六二盾に下落して居つた。

譯註 規那皮の取引價格を決定するには、取引せられんとする規那皮の中より見本を取出し、其中に幾ユニットの硫酸規尼涅が含有せられてゐるかを見、其れに依て品物全部の價額を決定す。其所謂ユニットは、硫酸規尼涅五瓦を指していふのである。右の記述には一ユニットの價格が〇・〇六二盾となつてゐるから、一基瓦の硫酸規尼涅を含む値段は其二百倍卽ち十二盾四十仙となる譯である。

然し、錫蘭に於ける規那皮の生産が減退した爲め、需給の關係は一時調節されてゐた。所が、世界に於ける重なる規尼涅の製造業者が市價釣上けの一策として其の市價を協定し、同時に共同購買の方法を取つたので、規尼涅の値段は上つたが、規那の相場は著しく下落したゝめ、爪哇に於ける規那栽培業者は非常なる苦境に陷つた。丁度其の時（卽ち一八九七年）に爪哇にバンドウン規尼涅製造工場（Bandoengsche Kininefabriek）といふのが設立せられた。此の規尼涅工場が出來、競爭して規那皮を買はなかつたならば、爪哇の規那栽培業者は大半破滅したに相違ない、一體、規那皮の値段は規尼涅の値段を竝行するといふのを原則としてゐる。而して、バンドウン工場が出來てから兩者の値段が竝行するやうになつた。卽ち一九〇〇年に於ける規尼涅のユニット價格は向上して〇・一〇盾となつた。

其の後暫らくして價格が復々下落し、一九〇二年の中葉にユニット價格が〇・〇四九盾となつた時、爪哇に於ける重なる

規那栽培業者は一團となつて協定を作り、爾後アムステルダムに於て規那皮を賣買するときは、ユニット價格を〇・〇六盾以下にしないことを申合せた。夫れで一時小康を得てゐたが、同業者中に協定に違背するものが出來たので、該團體は一九〇五年遂に解體せらるゝに至つた。而して其の結果規那皮の價格は大に下落した。併し此の度は規那皮ばかりでなく、規尼湼の値段も下落した。即ち一九〇八年には、規那皮の價格が、一ユニットに付き〇・〇三七盾、規尼湼が一基瓦十二盾五十仙に下落した。規尼湼の如き、一時アムステルダム、バタビアで十盾五十仙で取引せられざるを得ざる慘狀に陷つた。

此のマーケティングの問題を解決し、規尼湼の市價を維持すると同時に、規那皮の生產を確實なる經濟的基礎の上に置く爲めに、世界に於ける規那皮の生產と規尼湼の製造家とが、一九一三年相集つて一の協定を作り、アムステルダムに於ける前記規那ビューローをして之が實行の任に當らしめた。該協定の要點は、（イ）規那ビューローは、世界に於ける規那皮及び規尼湼の需要額を決定す。（ロ）其れに依て協定に參加せる規那園に對し生產せらるべき規那皮の生產額を通知す。（ハ）各加盟規那園は、通知を受けた生產額以上に生產しないことを確約す。（ニ）生產品は、全部規那ビューローに提供し、賣捌方を之に一任す。（ホ）其れに對し、規那ビューローは、規那園に對し、規尼湼の價格が一基瓦に就き十六盾八十仙以下なる場合と雖も、一ユニットに付き〇・〇五盾の代價を保障する。（ヘ）規尼湼の價格が十六盾八十仙以上なる場合には、之れに依て生ずる增收額を規那及び規尼湼の生產者に割戾す。（ト）規那ビューローは、規尼湼トラストに加盟せる工場の製造する規尼湼のクオータを決定し、トラストの定めたる價格にて之れを販賣す。（チ）規尼湼の價格を規那ビューローが決定する場合には、規那園の園主も之れに參加す。（リ）協定は五箇年間有效とす等々。

右の協定は、一九一八年迄繼續することになつてゐたが、協定後の成績が非常に良好であつた爲め、同年再び更新され

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

更に十箇年間繼續することになつた。然るに、一九二二年頃から、一般的物價高、不景氣に依る購買力の減退、日本に於ける星製藥會社の如く協定に參加せざる者の活躍に依り規尼涅の賣行き意の如くならず、規尼涅竝に規那皮のストック增加するに至りたるを以て、規那ビューローは其對應策として規尼涅の用途を世界に紹介宣傳し需要の增加に努力すると共に協定に參加せざる者をして之に參加する樣極力勸誘することゝなつた。而して協定に加入せざる製藥業者に對しては、規那皮の仕入を妨害する等の惡辣手段をも講じたのである。Iron Stock と稱して、オーバストックせる規那皮を協定參加の製藥業者に無理强ひに引取らせたのも其の頃(一九二二年)のことである。斯くて規尼涅トラスト(規那ビューロ)に對する世界當業者の非難は次第に高まつたにも拘らず、規尼涅の値段は一九二四、五年には四十六盾、二六年には三十七盾といふ鹽梅に大に騰貴した。

目下規尼涅トラストに參加せる製藥工場は其の數十五で其の內譯は左の通りである。

佛國	四	獨逸	三	和蘭及び蘭領東印度	三	米國	二
英國	一	瑞西	一	日本	一		

又規尼涅トラストに參加せる規那園の數は全數(蘭領東印度に於ける全數?)の九十五パーセントである。」(未完)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

獨逸實業家ヘルフイリッヒの印度經濟觀（承前）

山岸祐一譯

區々なる發達を爲すに至つた原因は明らかである。本原因の認識は自ら本狀態の改善を促がすものであるが、自働的には永久に改善されない。反對に之れを防害する各種の要素がある。卽ち歐人資本家側の自己の利益の爲の一致協同及嚴重なる經營組織の確立及土人側の不一致及放縱等が之であつて、一方は目的があつての努力であり他方は目的なしの勞働であつて單に極めて原始的な慾望を滿さんとするものに過ぎないのである。此處に論ずるところの問題は勞働問題ではない。土人の繁榮は勞銀を高くすることに依つて向上することが出來ると考へるのは、錯誤であり又土人の心理を誤解して居るもの〻云ひ分である。其の結果は單に勞働階梯の減退を來すのみである。之は土人にとつて何等の進歩でもなく、寧ろ彼等の社會に取つては害となるのみである。目的は、土人の勞働階梯を維持し且つ出來得べくんば、土人の繁榮を歐人のそれと平行に增長し以て進んで之れを向上せしめるにあらねばならない。繁榮改革及社會的支配に關しての政府の仕事は、熱帶國に於ては溫帶國に於けるよりも著く多種多樣である。

故に、土人の繁榮を向上する爲の金は政府に依託するが一番良い。政府は、之の金を最も良い方法を以て土人の爲めに費ふことが出來る立場にある。歐人大企業のそれに對する義務は所要の資金を政府に納入することである。彼等の國家財政に貢獻するところは、元來此の利益なるものは歐人の指導管理並に歐人資本に次いで先づ第一に肥沃なる土地若しくは鑛物を豐饒に埋藏する土地及安い土人の勞力の賜であるにも拘らず、蘭領印度に於て獲得せる利益に對する所得稅の大部分は外國に於て支拂はれて居る故に比較的尠ない。若し世界の何處かに資本收入に對する稅金を道德的に辨明して居る所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

があつたとしたならば、それ蘭領印度に於てゞある。資本投下に大なる危險が伴ふて居る限り如何なる税と雖も之を賦課するは不當な處置である。

危險に對する準備金は、現在蘭領印度に於ては幾重にも償却されて居る。多くの古い企業家は殆んど費用のかゝつて居ない價値ある永租借權並に農業租借地を有つて居ることに依り。非常な有利な立場にあり又對企業家も逐次此の機運に向ひつゝある。蘭領印度に於ける農企業は、現在に於ては最早暗の中に跳躍する様な危險なものではなくなつた。勿論各企業は多少に拘らず投機的性質を帶びては居るが之れは何れの地に於ても同じである。

企業家にも亦道德觀念が徹底して來て居る。之れは、各會社が農園の附近に住居して居る土人の福利を增進する爲に自發的に農園の費用を以て病院・學校・運動場等を設立して居るのを見ても明らかである。

併し本狀態は一般のものではない。例へば爪哇に於ける大多數の農園の險算に於て見るに、衞生に關する支出は最も尠なく計上されて居る項目の一つである。斯ることは慈善行爲としてゞなく土人の福利增進に貢獻する義務として爲すべきであつて、本義務は强制的、一般的規定を設けることに依つて始めて履行されるのである。資本收入に對し或種の税金が賦課されたところで、外國資本家は苦痛を感ずる様なことはなく、且つ本税は外國資本家が外國に於て支拂ふべき所得税の算定に當つて差引いても良いのであるから、適度の課税を爲した所で蘭領印度に於ける外國資本の流入を阻止する様なことはなからうと思はれる。」

歐人及土人の區々なる發達は、物質上に於けるのみならず思想方面に於ても同一の現象を呈して居る。後者に於ては前者とは正反對に、歐人は靜止の狀態にあるが土人は進步を示して居る。

生産時代に於ける歐人は最早以前の如くではない。大資本主義的發達は蘭領印度に於ける歐人分子を大に增加せしめた

が、同時に其れが必然的結果として、機械化、型式化及其の賞賛し難い組織とに依り、各個人の能力は低下せしめられるに至つた。總ての經濟問題の研究處置竝に決定を歐洲に移さうとする歐洲側の企圖は、東洋に於ける歐人當局を輕視するものである。彼に重荷を負はせ乍ら其の人格を剝奪するものである。斯くあるべきものではない。歐洲戰爭當時印度は全く獨立の狀態にあつて總ての決定は當地に於て爲されねばならなかつたのである。而して印度は總てを善處することが出來たではないか。ベシノ(Besino)企業家評議會(Ordernemersraad)規那ビユーロー(Kina Bureau)爪哇糖業者聯合會(Vereenigde Java Sinker producenter)の如き及其の他總て蘭領印度外に設置されて居る各種の現代的企業家組合は、印度に於ける歐人の個性を軟弱ならしめ、番頭制度を鞏固にし且つ印度に於ける經濟竝に精神的生活を低下せしめるものの甚しいものである。一例を擧げて見れば、護謨危機に際し英國の生産地に於ては栽培業者及貿易組合間に精細に亙つて意志の交換が行はれたに反し、蘭領印度に於ては一回たりとも重要問題に關する會議が開催されたことがあつたであらうか。護謨問題の解決は、歐洲の如き理論の地及財政的輕業を爲す地に於けるよりも寧ろ印度に於ける實際農學の地に於て爲すべきであるが、彼の歐洲に於ける機關に任せねばならないのである。猶現在の砂糖工業及砂糖貿易の狀態を見るに、爪哇産糖の半分は未だ賣却されて居らず、工場は製造せる砂糖を積んで置かねばならない。

和蘭に於ける爪哇糖業者聯合會の指導の目的に關しては、當印度に於ては暗の中に手搜りする樣なもので皆目判斷がつかない。當領の生産者が受取る唯一の報告は、爪哇糖生産者聯合會の週報のみで、其の價値は、慇懃に開封で送附されるのを見ても想像出來る。

以上視る時は、砂糖工業の利益及損失は絕對に其の大部分が蘭領東印度外の地に住居する株主にのみ影響を及ぼすものであると云ひ得る。然し之は正しくない。砂糖工業の利益、損失は砂糖工業に働く數千の勞働者及一般利益にも亦影響を及ぼすものである。數箇月以來爪哇糖業者聯合會當局は、生産者側の立場より見る時は不必要であり且つ無責任な投機を行つたが、其の結果數百萬盾を失ふに至つた。然るに、之を爲すと云ふことに就いては印度には更に豫告されず又何等

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

意見の交換も行はれなかつたのである。

大企業者團體當局は彼等の卓識を誇つて居るとは云へ、それが常に效果在來を齎らすものとは云へない。彼等は東洋に住んで居る吾々と異り別世界に住んで居るのである。

蘭領印度は今日に於ては經濟上に於けるよりも政治的に獨立して居る。憲法は私人事業界の法律よりも寛大である。憲法は蘭領印度に於ける自己の生命を保障して居る。政府は社會的精神に立脚し、門戸開放政策を支持して居るが、大資本企業の當局は反之し、其の大部分は獨占主義者的・保護主義者的及國民主義者的思想に捉はれて居るのである。

大資本企業は、最も一般的形式卽ち株式會社なるものが表示して居る如く非個人的のものであつて、更に所有者、指導者及彼等の機關が現業地に住居又は設立されて居ないこと、卽ち所謂不在主義が之に伴ふに至つては純然たる非個人的のものとなる。從つて一方に於ては國土と住民との接觸を缺き他方に於ては其の機關を賴りとする結果現業地卽ち蘭領印度に於ける確固なる獨立的精神の構成を不可能ならしめる。

卽ち今日蘭領印度に於ては、大資本の圏外に於ては進步は最早之以上不可能である故に、結局大資本企業は蘭領印度に於ける確固な人格の隆興を一般に妨害するものであることが判る。

戰後當地に渡來せる歐人が現情をその儘引繼ぎ以前より當地に住居して居る。歐人は概ね自覺するところなく凡々と生活して等の關係に依り、東洋に於ける歐洲人の人生觀、目的生活の理想は一變されるに至つた。過去に於ける好景氣も亦何等大なる刺戟を與へることなく過ぎ去つた安樂な生活を送られる身分になり乍ら誰か冒險、不足及自己を危險に陷れる樣なことを考るであらうか。宏大なる人生觀を放棄することに依り、光榮も亦永久に失はれ、同時に以前に於ける歐人の光榮、主權及勢力も失はれるに至つた。

東洋に於る歐人の體面が毀されたのは歐人婦人の薄い着物に依つてゞはなく、以前に於てはそれが彼等をして土人の目に偉さうに映ぜしめた地位及特性を失つて居る現時の歐人男子を赤裸々に暴露した事に依るものである。勿論現在蘭領印

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

度には、以前より發達程度の高い多くの歐人が住んで居るが、其の智識及能力は人格及理想を向上せしめる力がないのである。人格なる語は歐洲に於ける平等の地に於けるよりも東洋の如き不平等の地に於てはより多くの意義を有つて居るものである。歐人が人格を維持することを止めた時は彼の時代は去り、若し白色人種の地位に褐色人が人格として立つに至つた時は猶更のことである。

今來土人の高等官吏、醫師、法律家及技術家は續々增加しつゝある。又蘭領印度に於ける土人の智識階級は土人の向上に大に努力して居る。吾人は、土人に於ては漸進的ではあるが間斷なき分化を、歐人に於ては平凡化を、又歐人に於ては物質主義を、土人に於ては初步であるとは云へ理想主義を見る。歐人及土人間の距離は益々短かく又兩者を絕緣する溝は逐次深くなつて來た。

歐人が蘭領印度に於いて委任されて居るものは大きく、彼等に負はされて居る責任は重い、歐人の印度に於ける使命は指導者たるにある指導を放棄すると云ふことは自己を放棄することを意味する。歐人が未だ免狀を與へて居ないのは彼等の人種のみである。蘭人は良い意味に於ける先輩として彼等の人種に免狀を授與すべきである。彼は以前の如く大なる目的を設け、萬難を排して其の目的に到達する樣最善の努力を盡すべきである。歐人の使用の遂行は、今日に於ては最早昔の東印度會社時代に於けるが如く、怒濤と戰ひ、原住民と戰ふにあるのではなく、又栽培先導者時代に於けるが荒凉たる原始林の中に働くにあるのではなく他の方面にあるのである。原始植民地時代は最早過去の事實に屬する。歐人の使命は消極的政策のみであるべきでない。歐人の高遠なる目的は單に進步と云ふことにのみあるべきである。

世人は、世界が餘りに小さくなつたと云ふことを信じない。世人は、世界が餘りに利口になり、且つ餘りに物質主義的になつて來て、理想主義を缺いて居ると云ふことを信じない。理想主義は常に何事に依らず最大の創造力である。活眼を開いて最近二十五年間に蘭領印度に起つた經過曲折を觀るものは、又今後起るべきの解決を待つて居る諸問題が如何なるものであるかを知覺するであらう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

最近に於ける支那實業の發展（承前）

小林一馬譯

三、毛織工業

毛織工業の起源、吾が國に於ける新工業中發展の最も速かなるものは、卽ち棉織工業なり。然れども起源の最も早き新工業は、卽ち毛織工業の他に之れを見出さず、四十五年以前に在りて、已に大規模の工場を設立せるものにして、吾が國に於ける各種の實業工場中、洋式法を採用し、機械を利用せるは、實に此の工場の他に無く、卽ち吾人の知れる甘肅織呢股份有限公司是れなり。該公司の原名に甘肅織呢總局と稱し、光緒四年の創立に係り、其の創立者は左宗棠氏なり。其の時は適々西疆平定の時なりしを以て、其の性質は官營となし、發動機鍋鑪二箇を設け、計二百四十馬力の動力を有し、製織機二十二臺設備しありしが、惜しむらくは光緒十一年閉塞せることとなり。現在の甘肅織呢公司は、卽ち民國九年民間に於て資金を集め、官廳より全工場を借入れ開業せるものにして、利益の十二分の二を借入れ金として納め、繼續經營中なるを以て、今日尚ほ官廳の回收し得ず、民營たるものなり。吾が國に於ける大規模の毛織物工場は、卽ち此の工場を以て嚆矢と爲す。

甘肅織呢局より以後の工場は、卽ち上海の日暉織呢廠なり。同工場は光緒三十二年の創立なれば、其の創立は實に三十年の後に當れり。此の工場は民營の會社にして、株式の實收は二十六萬兩、羅紗織機四十臺、メルトン織機四臺を設置せ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

り然れども之れも亦宣統二年に閉塞せり。民國八年に至り、始めて債權關係を以て、買收せられ國有となり、財政部の保管となりしが、而かも民間より政府に對し借用を出願し、一箇年の借入金一萬五千兩を納むることにより借用を許可せられたり。卽ち今日の上海中國第一毛絨線廠是れなり。

日暉廠に次ぐものは、卽ち光緒三十三年に創設せられたる溥利呢革公司にして、卽ち今日の北京清河の陸軍織呢廠は、民國四年陸軍部に於て回收せるものに係り、近年來、營業頗る發展し、經營も亦甚だ良好なり。此の外尙ほ湖北氈呢廠あり、張之洞氏の創設せるものにして、光緒三十四年の成立に係り、其の性質は官民共營なれども、之れ亦損失により、民國初年閉塞し、今日に至るも尙ほ恢復せざるなり。其の他の工場は、北京の興華呢服公司・北京工藝局・開源呢絨工廠・仁立地氈號、天津の北洋習藝工廠等の如きものありて、間々毛絲を織ると雖、然かも資本の最も多額なるものにて、尙ほ三四十萬元、織機數十臺を有するに過ぎざるを以て、發達せりと言はんと欲するも、尙ほ云ふこと能はざるなり。毛織工業の進步の遲頓なることは、之れに依るも知り得べし。

敷物業の發展　毛織物工場中、其の比較的發達し、且つ有望なるものを求めんと欲すれば、敷物業の他に無し。惟ふに敷物業の起源は、一八七一年にして、同治十年、喇嘛僧數人西藏より京北に來り、敷物製織傳習所を報國寺に設け、貧苦なるもの丶子弟を集めて敷物の製織技術を授けたるものにして、一時學習者は、極めて踴躍せり。之れより以後、此の種の技藝は逐次發達し、今日に至りては、北部各省の比較的大なる都會に在りては、殆んど之れ無き處無し。

敷物の原料中最も重要なるものは、羊毛にして、其の他の毛類卽ち駱駝毛の如きも亦、適用せらるなり。中國の羊毛中、河南產の寒羊毛は最も佳良にして、最も上等の敷物を製織するに用ひらる。之れに次ぐは、卽ち直隷の順天府及び石家莊に產する秋毛にして、品質も亦比較的佳良なれば、普通の敷物は、均しく此の毛を用ひて製織す。產出量の比較的多き張

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家口の羊毛は、卽ち品質粗硬なるを以て、製織用として甚だしくは良好ならざるなり。西寧産の羊毛は、卽ち甚だ遠隔の地に在るを以て、運輸不便なれば、原價高となり、之れ亦收支償はざるなり。山羊毛駱駝毛は、共に用ひ得べきも然かも、綿羊毛の優良なるには及ばざるなり。

此の毛布式敷物工業は、新工業及び舊工業兩者の並行せるものと謂ふべし。新工業の工場は、資本の比較的大なるものにして、甘肅織呢公司・湖北氈呢廠等の如き之れに屬し、機械は獨逸・白耳義の各國より購入せるものに係れり。然れども是等の工場は、全國に就き合計するも、其の數は數軒に過ぎざるなり。舊工業に至りては、卽ち北部各省共殆んど各地に遍し。毛布式敷物の製織は、純然たる職工の作業にして、其の組織は尙ほ學徒制度に係り、一種の數人或は個人經營の家庭式工業なり。工場中の職工は、均しく學徒より昇進せるものに屬し、學徒の初めて工場に入る時は、其の父兄より工場主と契約を締結するものにして、大概學習期間は、約三箇年なり。此の期間内に於ける、學徒の作業に對しては、概して工賃を給與せず、衣食は卽ち工場の供給に歸せり。三箇年の期限滿了すれば、卽ち始めて工賃を給與するものにして、工賃の計算は、多く各人の製作品の多少により一定せざれども、大體一月約二角乃至三角なり。若し職工一箇月間の製作品にして、規定の製作數を超過すれば、四角乃至五角の特別工賃を給せられ、之れを超工と稱し、規定の數に不足すれば、其の工賃は不足數に應じて控除せらるものにして、之れを虧工と謂ふ。此の種の學徒制度は、殆んど全部の舊式工場に於て盛に行はるゝなり。而して近來の新式工場の機械を用ふるものも、亦均しく完全に此の風習を脫離すること能はず、卽ち數十名乃至二百名の學徒を使用せり。蓋し工場主の考へは、多數の學徒を採用しなば、作業を增加し得るのみならず、而かも工賃を支拂ふ必要無きを以て、大いに經費を節省し得るといふものゝ如く、學徒の初學なるものは、其の技術に於て甚だ遜色あり、從ひて其の製作品も大いに劣等なるべきことを思はず、優良職工は、殆んど採用せざるを以て、學徒に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

して、三箇年經過しなば、其の技藝は稍や精練せらるれども、久しく留まること能はず、從ひて永く優良品の產出せらるべき日無きものなれば、此の風習を改良すべきや、論無き處なり。又工場は、多く舊式建築にして、屋内は光線暗く、空氣の流通も亦惡しく、職工の衞生方面は、均しく未だ注意せられざるなり。

敷物業の最も發達せる地點は、當に北京なるべく、民國九年實業促進會の調査に據れば、三百五十四所ありしと、又同十四年五月の調査に據れば、二百六所あり。工場數は多しと雖、然かも大部分は極めて小規模の組織にして、資本百元、學徒數人を有するのみにて設立し、設備の如き甚だ完備せず、織機數臺を有するに過ぎざるなり。

敷物の販路　年々敷物業の經營者は、日々益々增加し、販路も亦極めて發達せり。需要方面は、國内に於ける購買者は、以前に比して稍や增加せりと雖、然かも大口の販路は、多く外國にして、西洋人は爭ひて吾が國より購入せり。歐洲大戰以後、其の需要は更らに增加せるを以て、製織者は極めて多し。海關報告を根據とすれば、敷物の年々の輸出は、左表に示すが如し。

年次	箇數	價額（兩）	年次	箇數	價額（兩）
民國二年	一二、三九六	九九、八六三	民國十一年	—	三、二九九、七二七
同三年	九、九二三	一〇三、七七六	同十二年	—	四、六九一、〇五二
同八年	五一、二〇五	四六〇、五五〇	同十三年	—	五、九八九、八〇八
同九年	七四、七二五	一、四二四、二三七	同十四年	—	六、三六二、六三三
同十年	九〇、四五九	九七五、三二七			

上表より之れを觀れば、敷物の逐年增加せるを知るべく、民國十四年の數は、價額に於て民國二年に比し六十餘倍となれるを以て、發展せりと謂はざるを得ざるなり。最も吾が國の貿易は日々失敗に趨き、年々下り坂（生絲・茶の如し）の時に當り、獨り敷物の此の成績を有するは、寧ろ奇異なる現象と謂ふべきなり。輸出の國別は、多く歐米にして、米國及び

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ホノルルに仕向けらるもの最も多く、日本々土及び臺灣之れに次ぎ、英國又之れに次げり。惟ふに敷物は、本來歐米各國の特産にして、而かも毛織物は歐米に於て昔より已に重要視せられ、且つ棉織工業以前に勃興せるものなり。然るに吾が國の敷物の反りて賣れ行き良好にして、而かも其の重要なる販路たるや、毛織工業の發展せる英・米諸國なるは不思議にあらずや。惟ふに其の原因は、機械を以て製織せる敷物は、粗にして薄く堅牢ならず、職工の手にて織りたる堅密にして經濟的なるには遠く及ばず、若し歐米に於て職工をして之れを織らしむれば、卽ち工賃多額となり、自然原價高きに失するを以て、吾が國の敷物を輸入せざるを得ざるなり。故に吾が國より決定的に輸入するもの極めて多し。敷物は、吾が國に在りては奢侈品に近きも、而かも歐米に在りては卽ち陳設上缺くべからざる品なれば、將來の需要は必ず大いに增加すべし。吾が國は工賃低廉なるを以て、此の如き良好なる機會を利用し、苟しくも巨額の資本を投じ、優良なる技術工を招集し、大規模の製造に著手し、染色を研究し、模樣を改良しなば、卽ち將來の希望は、頗る大なるものなるべし。聞くに近來外國人は、此の種工業の歐米に在りて第一位を占むるを知り、多く吾が國土內に在りて、工場を組織し、良好なる職工を招集し、自ら製造を行ひ、外國に販路を求めんと欲せり。若し斯くの如くなれば 卽ち吾が國は此の種の好機會に於て、又拱手して人に讓ることゝなるべし。若し直ちに奮起し、組織を改良するにあらざれば、卽ち現在の小工場は、資本既に僅少なれば、優良なる技術工は、彼等の爲め招集し去られ、一大競爭勃發するも、必ずや失敗に歸すべきを以て、大いに注意せざるべからざるなり。

毛織物業の將來　上述せる所を綜合して之れを觀れば、吾が國に於ける毛織工業の情態は、所謂毛織物業と稱するより、寧ろ敷物業と稱すべきにあらずや。蓋し各工場の中、衣服材料及び毛絲を製造するものありと雖、然かも其の製産品は、多くは軍服材料及び粗惡なる毛絲にして、且つ製産量は極めて少く、僅かに國內の或る少部分の需要に供せらるゝのみにして、敷物業の逐年進歩せるには遠く及ばざるなり。然り而して此の種の優良なる衣服材料は、吾が國に於て固より製織し得ざるなり。此の種物品の需要程度の如何及び此の種製産原料の外國向け輸出情態に對しては、卽ち吾人は大いに注意

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

せざるを得ざるなり。

吾が國に於ける衣服上の綿織物は、素より輸入の主要なるものなり。近年來、漸次毛質品の需要增加せしや否や、或は毛質品の需要甚だしからざるやは、海關統計中に之れを求むべきなり。即ち毛質品の輸入價額は左の如し。（單位海關兩）

年次	輸入額	年次	輸入額
民國元年	三、八八七、三三二	民國十一年	八、七九三、七〇七
同 三年	三、三一九、四三三	同 十二年	一九、〇四二、四一三
同 五年	二、二九三、五五八	同 十三年	一七、六九二、六三九
同 七年	三、二〇一、三二九	同 十四年	一五、七九七、八七七
同 九年	四、七九〇、五一二		

輸入の最も多きものは、衣服用羅紗にして、之れに次ぐは毛絲なり。增加の速なるは、即ちフランネル其の第一位を占め、民國十二年の價額は、同三年に比して二十三倍（民國三年は一四、五九一海關兩なりしが、同十二年には三三九、六〇八海關兩となれり。）の增加を示せり。之れに次ぐは即ち衣服用羅紗にして、民國十二年の價額は、同五年に比して約十倍（民國十二年は六、八一七、一〇四海關兩なれども、同五年は六六一、二八九海關兩なり。）の增加なり。是等に見るも其の增加の速なることを知るべし。

上述せる所より之れを觀れば、吾が國に於ける毛質品輸入の激增せることを知るべく、即ち吾が國は僅かに綿織物の需要激增せるのみならず、毛織物の需要も、亦逐年增加せるものなれば、以て之れを證明するに足るべし。其の增加の速なることは、民國十二年の輸入は同十年に比して四倍多く、而して同十三年秋季は夏季に比して又六倍多きを以て、其の速なることを見るに足るべし。英國は毛織物の輸出最も多く、中國に於ける毛織物市場に對し甚だ優勢なれば、甚だ樂觀を抱き居れり。故に之れを以て又其の狀況を知るべし。

臺灣蔬菜園藝講話（八）

臺北帝國大學附屬農林專門部教授　芹澤　立

第三章　球莖甘藍

別名　蘇鐵菜

往々本種は、蕪菁甘藍と誤稱せられるが、本種の需要部は莖であり、後者の需要部は根であるといふ、明かな差違が、その間に存するのである。

英名　Kohl-rabi.

學名　*Brassica cauls-rapa, L.*

科名　十字花科

第一節　由來・性狀・用途

由來　球莖甘藍の原產地は未だ、不明であるが、本種が野生甘藍の一變種であるところより、甘藍に準じて歐洲に原產したものであらうといふ。

内地の都會附近におては、近來之を栽培するもの稍々多きを示し、また本島にては、その栽培頗る容易にして、よく良品を產し得るものである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

性狀・用途　二年生の作物で、その性狀はよく甘藍に似て葉は平滑・濃綠色にして白粉を裝ひ、また長き葉柄を有し、粗に着く。莖部は異常に發達して扁球形を呈し、その周圍に葉又は葉痕を存し、よく肥大して直徑約三、四寸に及ぶ。また皮色には、白・紫・綠等の別あるが、何れも肉は白色乃至淡綠色である。

之を三杯酢漬又は一夜漬になしたものは、頗る歯切れよく、味淡白にして、風味賞するに足る。また煮食に供せば、蕪菁に髣髴たる味を具ふ。

第二節　品　種

球莖甘藍には、品種の數少なく、その皮色によりて、白色・綠色・紫色の三種に分たれ、その中白色種最も優る。

1. ホワイト・ウヰーン White Vienna.

葉數稍〻多く、球は外皮綠色を呈し、扁圓形をなし、その形大である。また纖維少なくして、品質最も優る、稍〻晩生の米國種である。

2. パープル・ウヰーン Purple Vienne.

外皮濃紫色を呈する以外には、その特性よく前者に似、また品質優良なる、稍〻晩生の米國種である。

3. ラージ・ホワイト La ge White.

葉數稍〻多く、球は外皮綠色・扁圓形にして、纖維少なく、その形前兩種に比して更に大である。また收量多き、優良種であつて、之亦稍〻晩生なる米國種に屬する。

右の外に、早生の品種もあるが、何れもその收量・品質共に劣る。

第三節　栽　培　法

一、氣候・土質

球莖甘藍は、氣候冷涼にして、常に適濕を含む砂質壤土に最適し、而も排水が良好でなければならぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二、栽培法

之を栽培するには、略ゞ甘藍に準じて差支なく、先づ地床に播種して育苗し、次で本畑に定植するを一般となし、殆んど直播法には據らぬのである。

普通秋季九月より早春一、二月頃迄の間に、地床上に坪當り約二勺の割合に撒播、又は條播を行ひ、反當約一合二勺許りの種子を要する。

播種後四、五日内外にして、發芽を初むるを以て、間引・除草等に注意しつゝ、約一箇月間苗床で育苗し、本葉五、六枚位發生したる頃、高畦―排水が良ければ、平畦でも差支ない。―を設け、甘藍に準じて厚肥を施し、次で畦幅一尺五寸乃至二尺、株間一尺内外の距離に、定植するを普通とする。

また生育の模様によりて、一、二回程追肥を施し、中耕・除草を行ひ、且つ隨時除草に注意するが良い。

三、收穫

定植後四、五十日位を經ば、球はよく三寸内外の直徑に達するであらう。その中肥大なるものより、順次に之が收穫を行ふ。若しその適期を逸すれば、纖維粗剛となり、球裂けて、その食味を劣變せしむるの虞がある。

收量は、品種と栽培法とによつて異なるが、反當平均三、四百貫匁許りである。

第四章　菊芋（きくいも）

英名　Jerusalem Artichoke.

學名　Helianthus tuberosus, *L.*

科名　菊科

第一節　由來・性狀・用途

由　來　菊芋は北米合衆國に原産し、十七世紀頃佛人によりて、歐洲に傳へられたものであるといふ。また一説に波斯(ペルシャ)に、原産したものであらうと。何れにせよ、文久元年頃に、歐洲人によりて始めて我が國、特に横濱に齎らされたものである。

性　狀　木本性の宿根作物にして、莖粗硬、毛茸あり、また分枝性を有し、その高さよく七、八尺に及ぶ。葉は粗にして厚く、尖卵圓形を呈し、また夏秋の候に至らば、各枝の先端に、姫日向葵の如き黄色の大花を開き、種子を結ぶ。

地下莖は、肥大して薯を形成し、その形略ぼ楕圓であるが、よく瘤を生じ、また瘤の中には、多くは二箇の芽を存する。薯は外皮薄く、その色淡黄、肉純白にして、菊科特有のイヌリン Inulin を含む。

用　途　薯は美味といふを得ぬが、之を三杯酢漬・糠漬に供せば、齒切れよく、味淡泊にして、食するに足る。また精進揚・煮食・炙燒及びその他諸種の調理に適する。加之、家畜の飼料に供するを得、且つ酒精・澱粉の原料となる。

第二節　栽　培　法

菊芋は、その性强健にして、よく野生的に繁茂し、從て殆んど風土を選ばぬのである。

之を栽培するには、春二、三月頃に、畦幅三尺、株間一、二尺の距離に植穴を穿ち、基肥—反當堆肥五百貫匁許り—を施して、種薯を植付けるが良い。種薯は、反當約二十四貫匁内外を要する。

その後十五日内外で發芽を始め、一株によく二、三莖宛を發生すべきを以て、追肥—反當人糞尿約百貫匁—を施し、また一、二回程中耕・培土をなし、且つ隨時除草を行ふの外、之が管理には、さして手數を要せぬ。

その生育中は、莖の倒伏を防ぐが爲めに、支柱を立つべく、また花蕾を生せば、直に之を摘除して、薯の發育に資するが良い。

斯くして莖の枯死したる後、卽ち秋季十月乃至翌春一、二月頃に於て、必要に應じて之が採收を行ふのである。

一反歩につき、大約一千貫匁以上の收量を得らる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第五章　甘露兒(ちよろぎ)

別名　草石蠶・石蠶・地蠶・地環・土蛹。
英名　Chinese Artichoke, Japanese Artichoke, or Knot Root.
學名　Stachys Sieboldii, *Miq.*
科名　唇形科

第一節　由來・性狀・用途

由來　甘露兒は東洋に原產したものである、と一般にいはれ、古來本邦各地に廣く栽培されてゐるが、本島内では未だその栽培を見ぬ。
また歐羅巴に傳はりしは、一八八二年にして、獨逸人某が、支那の北京より、之を自國に齎して試作せしを、その嚆矢となし、その後各地に傳播した。

性狀・用途　宿根性草本にして、葉は濃綠色・披針形を呈し、對生し、その狀稍〻薄荷に似、また莖細く、毛茸密生し、方形をなし、その丈け二尺内外に伸び、地表を匍ふ。
夏季七、八月の候に至らば、その葉腋より花穗を出だし、紫色の小花を簇生する。
また秋季その根株を掘起さば、蠶蛹狀の塊莖の群生せるを見る。
塊莖は、皮肉共に白色を呈し、質緻密、味淡白にして、而もその形珍奇なるが爲めに、梅酢漬・紫蘇卷・砂糖漬等となして賞味さる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第二節　栽培法

一、氣候・土質

甘露兒はその性强健にして、あまり風土を選ばぬが、併し氣候溫和にして、有機質に富みて肥沃なる、砂質壤土に好適し且つ稍〻濕氣あり、而も排水可良なるを要し、特に過乾・過濕を忌む。

二、栽培法

二、三月頃畑地を耕耘し、約二尺の幅に作條を設け、基肥―反當堆肥約三百貫匁許り―を施し、次で五、六寸の株間に、種球を一箇宛植付け、約一寸の厚さに土を覆ふ。種球は、反當約十貫匁許りで足る。

栽植後約一箇月を經ば、發芽を始むべく、莖の三、四寸位に伸長したる頃より、三、四週間隔てに二回程、人糞尿―一回に反當約百貫匁許りづつ―を追肥として施し、且つ二、三回位中耕・培土をなし、また隨時除草を行ふのである。

夏季若し繁茂に過ぎて、塊莖の發育を阻害する虞ある場合には、之が枝先を摘除して、その生育を抑制するが良い。

土地陰濕に過ぐれば、往々白絹病の被害あり、また驟雨屢〻降りて、惡水停滯の虞あらば、根こそぎ枯死することあるを以て、之が排水には、特に注意せねばならぬ。

三、收穫

秋季十、十一月頃に至らば、その莖葉枯死すべきを以て、翌春發芽前迄の間に於て、隨時之が收穫を行ふ。

その際に、塊莖の一部を殘して置けば、春暖の候に至りて、再び發芽伸長して、塊莖を生ずるものである。されば之に適宜の手入をなす時は、爾後植付の勞なくして、數箇年間引續き收穫することが出來る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

島情

臺灣貿易統計（昭和三年八月）

臺灣總督府稅關

◆貿易額比較

（其ノ一）

	三年八月	二年八月	三年累計	二年累計	増減(・)
外國貿易					
輸出	二、九三六、二〇七円	三、六二七、二〇二円	二一、六〇八、〇二七円	二七、六三一、二九一円	・六、〇二三、二六四円
輸入	二、七三六、四〇〇	五、一七九、二六七	二五、九三一、五四二	四六、三三六、三七七	・二〇、四〇四、八三五
計	五、六七二、六〇七	八、八〇六、四六九	四七、五三九、五六九	七三、九六七、六六八	・二六、四二八、〇九九
輸出(入)超過	(入)一九九、八〇七	(入)一、五五二、〇六五	(入)四、三二三、五一五	(入)一八、七〇五、〇八六	—

（其ノ二）

	三年八月	二年八月	三年累計	二年累計	増減(・)
內地貿易					
移出	一〇、七一九、九八八円	一〇、八三八、〇〇二円	一六一、九四一、四八四円	一五三、六四六、七八一円	八、二九四、七〇三円
移入	九、六六九、七九九	一〇、〇五三、八四六	八三、五八一、六五〇	七五、〇二一、一六三	八、五六〇、四八七
計	二〇、三八九、七八七	二〇、八九一、八四八	二四五、五二三、一三四	二二八、六六七、九四四	一六、八五五、一九〇
移出(入)超過	一、〇五〇、一八九	七八四、一五六	七八、三五九、八三四	七八、六二五、六一八	—

◆輸出

品目		七月 数量	七月 価額	三年累計 数量	三年累計 価額	二年累計 数量	二年累計 価額	増減(•) 数量	増減(•) 価額
包種茶	斤	九九〇,七四〇	円 七三五,四六四	五,四一一,三九九	円 四,〇七一,二八〇	五,一三〇,〇三五	円 三,八一三,三九七	二八一,三六四	円 二四三,九八三
石炭	噸	二五,三一七	二八二,八四六	二八三,八三八	三,〇七五,四九七	三九四,七四一	四,三六九,四三六	•一一,九〇三	•一,三一三,九九九
烏龍茶	斤	一,一七八,五七二	八〇四,二一〇	一,九三六,二〇一	一,三三八,七七九	四,四八九,三三六	二,九九七,八四〇	•二,五五三,〇七五	•一,六六九,〇六一
鹹魚及乾魚	同	五七七,七九七	一三〇,三八八	四,三三九,一四九	八三三,五三九	一九,三九四,六六〇	三,三四五,七六三	•一五,一六五,五二一	•一,五一三,三二四
綿織物	碼	三二一,三三七	四九,六七七	八,五〇七,七三九	一,九二〇,五一五	七,四三〇,九九三	一,五三九,五三六	一,〇七六,七四六	四〇〇,九九九
砂糖	斤	五八一,五三九	六二,五八五	一三,五五二,八八六	一,一八三,七〇〇	一七,五五四,七一七	三,三九〇,四三六	•五,〇〇一,八六一	•一,一〇七,七五六
鰑	同	六八,五九五	二八,三八三	八〇五,九五六	三三一,九七七	三,〇五六,九七八	一,三三〇,四七九	•二,二五一,〇三三	•八九八,五〇三
樟腦	同	二四五,五〇〇	二四四,三七四	一,九六六,七〇七	一,九〇七,一三七	七一五,八〇〇	九一三,三三四	一,二〇〇,九〇七	九九三,八〇三
酒精	升	二八,九二〇	七八,八六三	四,六五三,三五五	一,三三六,八四九	四,一二三,三六〇	一,三〇一,八〇八	五三八,九九五	•六八,九九九
セメント	斤	三八四,四五五	七,一三三	三三,一五〇,二七三	四三五,四九八	三八,七九六,七六九	七五三,八四二	•一五,一四五,四九六	•三一八,三四四
絹及絹綿織物	碼	四九,〇五九	一九,八六一	八〇〇,五九九	五一,八九	七〇三,九八五	四六一,六三六	五七,六七四	九〇,二八三
貝柱	斤	三二,〇二〇	三七,六五〇	一八九,七五七	二三〇,三六八	三五七,〇一〇	四三六,一一八	•一六七,二八三	•二〇五,八五〇
苧麻	同	一一五,八九〇	三七,九九九	八〇五,六三九	二七三,五四三	一,一八三,六六七	四九〇,一〇八	•三七八,〇四八	•一三六,四七五
構寸	哥	六〇,七六七	四一,八四七	四三二,〇〇九	三八四,六三四	四六五,九八三	三〇三,一一九	•三四,九七四	•一八,五五五
糖蜜	斤	四四四,六三〇	四,四三七	一三,八七四,六七五	一六〇,七一四	一八,八三七,九七六	二六九,四七一	•四,八六三,三〇一	•一〇八,七五七
其他諸品		—	三五一,七三〇	—	三,八二一,一八	—	四,九六〇,九八	—	•一,〇八四,九一〇
計		—	二,九六六,三三七	—	二二,六〇六,〇三七	—	二七,六三一,二九一	—	•六,〇三五,二六四

◆輸入

品目		八月 數量	八月 價額	三年累計 數量	三年累計 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	增減(•) 數量	增減(•) 價額
米	斤	三、九四八、五九九	三六一、三四三	三、一五八、八一六	二六〇、四一七	一六、八三九、八九九	一、三六五、八五八	•一三、六八一、〇八三	•一、一〇五、四四一円
大豆油槽	同	五、四六六、五六〇	一六〇、七六一	一四、九九二、七六九	八六三、〇九一	三二、〇七一、九六六	八九三、五六五	•一七、〇七九、一九七	•三〇、四七四
硫酸アンモニウム	同	五二〇、六七七	二七四、三八三	七三、八八六、七三三	五、五八三、四八五	五三、八四二、三四二	四、二四九、二七一	二〇、〇四四、三九一	一、三三四、二一四
砂糖	同	—	—	三、六六〇、五〇四	一、二五一、七四九	三一、一八六、九六四	二、八二五、〇二一	•二七、五二六、四六〇	•一、五七三、二七二
木材	立方尺	一六一、九一四	一〇七、四九九	二、四八三、一〇七	一、六八七、一四六	二、六六〇、八〇一	一、八一七、一三七	•一七七、六九四	•一二九、九九一
大豆	斤	三、六三三、一四二	二三八、八三〇	三七、九一七、九八四	二、三三一、一〇六	三〇、三二九、四四二	一、七八七、〇六六	七、五八八、五四二	五四四、〇四〇
ガンニー袋	個	四〇、〇五一	一八、六六三	二、五二六、五八二	一、二七四、九一一	二、四〇一、六八九	一、一六四、六六九	一二四、八九三	一一〇、二四二
燈油	ガロン	三一〇、二四〇	一六一、九三八	一、六七六、〇五〇	七五四、七六五	二、一九五、三〇九	一、〇一八、二六六	•五一九、二五九	•二六三、五〇一
麥	斤	三、八七六、七三九	一四五、一三三	二三、八七七、九九七	八九〇、四一七	二四、三五九、九六七	九三四、三五一	•四八一、九七〇	•四三、九三四
小麥	同	五六九、〇九四	三八、四一四	一〇、三六五、一九五	六九九、三七六	一一、〇五三、七六七	七六三、一五〇	•六八八、五七二	•六三、七七四
葉煙草	同	一〇八	三〇	四七二、〇六六	二九二、一八五	一、八三九、九七四	七七六、一三四	•一、三六七、九〇八	•四八三、九四九
阿片	同	六、〇四八	一一、三四一	二四、一九二	四五一、二四一	一三、五〇〇	二二七、〇〇〇	一〇、六九二	二二四、二四一
鐵	同	一、五三九、〇〇七	一〇三、二二七	六、八二三、五八二	五四九、〇五〇	六、六九九、四〇六	五三九、八八一	一二四、一七六	九、一六九
包蓆	枚	二五四、四〇〇	二〇、六六六	三、一八二、四九〇	二八六、〇一八	二、九四一、五〇三	三五三、一六三	二四〇、九八七	•六七、一四五
原油及重油	ガロン	四六、八〇八	八、七五五	四、一八三、九六七	五七一、九九八	九四九、一〇一	一九〇、二五七	三、二三四、八六六	三八一、七四一
石炭	噸	四、四三六	六八、三九〇	二五、四六八	四二一、三四三	一九、八九九	四七〇、一九六	五、五六九	•四八、八五三
禮拜紙	斤	八一、〇五九	二三、四四八	八三二、三七七	二〇七、五七五	一、一三〇、二七七	三六二、五六九	•二九七、九〇〇	•一五四、九九四
綿絲	同	一九、八六六	一〇、三二二	一五一、七一七	七一、四〇六	二九九、二七五	一二七、六三一	•一四七、五五八	•五六、二二五
綿織物	方碼	八、七〇五	四、〇九五	四三八、三七九	二四五、三〇〇	三六七、〇四八	二四六、五二三	七一、三三一	•一、二二三
毛織物	同	八四六	一、五〇六	六四、三九四	七六、四三三	一四三、三三五	一六八、九五九	•七八、九四一	•九二、五二六
鹽	斤	一八、六一四	二五、四四三	一二三、〇六一	一八二、八七三	九二、三七三	一六五、一一三	三〇、六八八	一七、七六〇
揮發油	ガロン	—	—	一五二、八七九	一二三、八八八	一五四、二一〇	一三八、七九二	•一、三三一	•一四、九〇四
[illegible]	方碼	一六八、四七七	二九、六二六	一、一六五、〇六一	二六三、八四一	九二六、一六六	二〇四、〇八八	二三八、八九五	五九、七五三

綠豆	斤	三四二、二三二	二八、六六六	二、四五三、九七七	一七九、一二三	二、六〇二、一五七	一六八、五三四	●一四八、一八〇	一〇、五八九
陶磁器		—	一〇、九一一	—	一五一、八六九	—	一三三、九八六	—	一七、八八三
唐紙	斤	一三三、一三二	一四、六一三	一、三八五、一二五	一〇七、一六一	一、三一二、八四七	一〇五、三五一	七二、二七八	一、八一〇
胡麻子	同	二六、六一四	四、四〇八	八九四、八二〇	一二九、八八五	五六四、五六二	一〇一、五五一	三三〇、二五八	二八、三三四
豆索麵	同	六八、一二三	一七、一二八	一九七、九九五	五二、四三四	三七三、九七三	一〇二、二三六	●一七五、九七八	●四九、八〇二
黃麻	同	一四二、四三八	二〇、三六四	二、四二五、八〇五	三四五、五六七	三七九、四八四	五三、六〇三	二、〇四六、三二一	二九一、九六四
鹹魚	同	—	—	三、四七九、三七四	二三四、二八五	一、三三八、五四五	一〇〇、四五九	二、一四〇、八二九	一三三、八二六
其他諸品		—	六三八、三二九	—	五、二八一、一一八	—	四、五七二、七九九	—	七〇八、三一九
計		—	二、七三六、四〇〇	—	三五、九三三、五四二	—	四六、三三六、三七七	—	●一〇、四〇二、八三五

◆移出

品目		八月 數量	八月 價額	三年累計 數量	三年累計 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	增減(●) 數量	增減(●) 價額
砂糖	斤	七〇、二八〇、五〇〇	八、二三六、〇二七円	八五七、九六四、六四五	一〇七、七八一、〇三八円	六五〇、五七六、五六一	九〇、六六五、七七四円	二〇七、三八八、〇八四	一七、一一五、二六四円
米	同	六六、八三九、八九〇	六、三五九、二三九	二八五、三九七、六〇五	二七、六〇一、三四〇	三四八、二六一、四六一	三六、一〇八、二九五	●六二、八六四、八五六	●八、五〇六、九五五
芭蕉實	同	一四、三八四、一一〇	六九八、〇二三	一二五、八二九、八一〇	六、九四八、〇六〇	一一三、八二三、九四八	六、七九九、五三九	一二、〇〇五、八六一	一四八、五二一
酒精	升	六二四、八〇〇	二七九、二九一	四、九二三、二五〇	二、三五七、一六五	四、六一七、五九〇	二、四三五、五八六	三〇五、六六〇	●七八、四二一
鳳梨罐詰	打	一七三、〇二一	五五四、四一三	七〇八、九四六	二、三三一、八八四	六五七、三三四	二、三五八、〇〇六	五一、六一二	●二六、一二二
木材	立方尺	六一、三〇五	一三二、八五一	六一五、八九〇	一、一七三、一二三	九二九、六一六	二、〇八六、二九四	●三一三、七二六	●七三、一七一
切乾薯	斤	七、八四四、七〇〇	二〇四、六九五	三四、四一六、一三〇	一、一五九、三三五	三二、八二〇、一五〇	一、二四三、九八七	一、五九五、九八〇	●八四、七五二
樟腦油	同	六六四、八八四	一五八、九九二	四、〇八八、二六五	一、一六三、九八七	三、五六〇、二二一	一、二三四、〇〇七	五二八、〇四四	●七一、〇二〇
鰹節	同	三二一、八〇八	二五五、七三一	一、三七七、六三一	一、〇五九、四五四	九四五、四七四	八八二、五六七	四三二、一五七	一七六、八八七
礦石	同	二、七五七、一六九	三三三、一二〇	七一、五六八、三七二	一、二一六、七八〇	六六、六二五、八六六	九四八、二九四	四、九四二、五〇六	二六七、四八六
石炭	噸	九〇、二〇七	一一二、二六五	六六二、八九四	七五三、九四〇	九四四、二一三	一、一五四、四一三	●二八一、三一九	●四〇〇、四七三

品目	單位	八月 數量	八月 價額	三年累計 數量	三年累計 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	增減(•) 數量	增減(•) 價額
鮮魚介	斤	—	—	二,九二七,一五五	九〇二,七〇七	二,七三四,〇四五	八一〇,〇五〇	一九三,一一〇	九二,六五七
模造パナマ帽子	箇	四三六,六〇〇	二一三,三〇〇	二,四〇四,四〇〇	一,一五四,八〇一	一,四六三,三〇〇	六七四,四一〇	九四一,一〇〇	四八〇,三九一
樟腦	斤	—	—	六八一,九〇六	八三八,三六〇	三八四,八六五	五八八,六三一	二九七,〇四一	二四九,七二九
食鹽	同	二九〇	一九	三七,〇三九,〇七〇	三五一,三四八	五七,四〇三,三九〇	五一四,八八二	•二〇,三六四,三二〇	•一六三,五三四
其他諸品		—	五九,六〇五	—	四九九,三八二	—	四八一,〇七六	—	一八,三〇六
計		—	一,〇七一,六九八	—	一六一,九四一,四八四	—	一五三,六四六,七八一	—	八,二九四,七〇三

◈移入

品目	單位	八月 數量	八月 價額	三年累計 數量	三年累計 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	增減(•) 數量	增減(•) 價額
綿及絹織物		—	八六一,八五五円	—	八,九五二,七七七円	—	八,七二八,九八六円	—	二二三,七九一円
鐵	斤	六,六五三,九六三	六五〇,四七四	六三,四八一,四九三	六,〇八四,九九〇	五五,〇五四,四四七	五,三八五,一五〇	八,四二七,〇四六	六九九,八四〇
鹹乾魚	同	一,九四九,九五二	二四六,三四二	二〇,一五一,四〇三	二,八七八,三二〇	三〇,七四五,一六二	三,八二五,四〇一	•一〇,五九三,七五九	•九四七,〇八一
肥料	同	八,五二〇,二三六	三一六,〇六一	七七,六〇四,七六三	三,三二八,六五五	六二,〇二三,九七〇	二,七九二,八五四	一五,五八〇,七九三	五三五,八〇一
木材	立方尺	三三四,五三三	三六九,一三七	三,七二〇,二〇三	三,八九九,三四七	三,〇五四,七九四	三,三七七,七七五	六六五,四〇九	五二一,五七二
鐵製品		—	二四四,八六三	—	一,一八二,三四一	—	一,〇八四,〇六八	—	九八,二七三
紙		—	二五〇,五九八	—	二,一六五,七六八	—	一,八七五,七三三	—	二九〇,〇三五
小麥粉	斤	一,五六四,三三〇	一五七,一七三	一八,九一〇,三五九	二,〇六九,三一三	一七,三八九,四四一	二,〇〇三,五〇五	一,五二〇,九一八	六五,八〇八
麥酒	打	六五,一六八	三一三,七八六	五四三,六六三	二,六九二,七八八	四一三,六〇三	二,〇八六,〇一六	一三〇,〇六〇	六〇六,七七二
紙卷煙草	千箇	九四,〇四〇	二三〇,五六二	六七八,七六〇	一,五八二,六四一	五四七,八六〇	一,二六八,六一〇	一三〇,九〇〇	三一四,〇三一
鹽	斤	二九一,六〇〇	一三七,一七〇	二,三五三,一四七	一,〇四八,九八三	三,〇八六,六二九	一,二三七,〇八〇	•七三三,四八二	•一八八,〇九七
各種ノ罐詰		—	一八九,七二九	—	一,三一一,四〇六	—	一,二五八,三九九	—	五三,〇〇七
メリヤス肌衣		—	一四八,五八九	—	三七九,六九六	—	五四二,五七七	—	•一六二,八八一
錻類		—	一七四,七三七	—	一,一一三,七〇四	—	一,〇四五,〇〇五	—	六八,六九九

清酒	打	一一,三四〇	一〇六,一五八	九七,一一三	九二九,二四八	七九,八六九	七二九,二二四	一七,二四四	二〇〇,〇二四
自轉車同部分品及附屬品		—	一五九,八九七	—	一,三六二,五五二	—	九五七,一一一	—	四〇五,四四一
ガンニー臺	箇	二〇〇,四〇〇	一〇一,一七五	一,七三八,五七〇	七一三,一三三	二,三五三,九五〇	一,〇五五,四〇九	•六一五,三八〇	•三四二,二七六
燐寸	羅	一五七,六三三	一〇〇,七二七	一,四八二,六八二	一,〇四九,九八〇	一,〇九三,九三八	七八六,四七一	三八八,七四四	二六三,五〇九
麥	石	三,六五七	六三,〇二八	二八,三七五	五〇六,二二五	三九,〇三四	七七七,一九七	•一〇,六五九	•二七〇,九七二
毛織物		—	一〇六,九三〇	—	五九六,五八二	—	三九六,一一三	—	二〇〇,四七〇
コンデンスドミルク	打	二五,二二六	一三〇,六三〇	一八七,五二四	九一四,七九六	一一八,〇三六	六三四,九八四	六九,四八八	二七九,八一二
陶磁器		—	五九,六〇一	—	七八〇,四七九	—	六一一,四五一	—	一六九,〇二八
菓子類		—	五七,九七七	—	六二九,八四六	—	五九九,九六三	—	二九,八八三
自動車同部分品及附屬品		—	一三八,五八三	—	一,〇四九,二二三	—	五六九,五一九	—	四七九,七〇四
砂糖	斤	五八九,一〇〇	一二四,七三八	三,三九六,八六六	六〇四,〇四八	一,九九八,七三六	四六〇,五三四	一,三九八,一三〇	一四三,五一四
石鹸		—	九二,一九二	—	七五二,二一七	—	五四六,八四〇	—	二〇五,三七七
醤油	石	一,三八三	八七,一五一	九,一五九	五五三,三九三	七,七三一	四五三,三五九	一,四二八	一〇〇,〇三四
セメント	斤	一,四六六,三八四	三三,一〇九	三,五一九,五〇三	五八一,六二四	二,六二五,三三八	四三七,二三一	八九四,一六五	一四四,三九三
燈油及輕油	ガロン	九二,三七〇	四五,六〇九	八八九,〇七八	四三七,七九二	九三一,〇一五	四四七,九五二	•四一,九三七	•一〇,一六〇
米	石	八三五	二八,三六三	二〇,五三六	四〇三,五一五	一二,一七八	四二七,五〇二	八,三五八	•二三,九八七
其他諸品		—	三,九〇三,九三五	—	三三,一三五,四三八	—	二八,六二七,三五〇	—	四,五〇八,一八八
計		—	九,六六九,七九九	—	八三,五八一,六五〇	—	七五,〇二一,一六三	—	八,五六〇,四八七

◈港別貿易額（其ノ一）

港別	輸出	輸入	計	三年累計	二年累計	増減（•）
基隆	一,一五八,八三一円	一,一八〇,八六〇円	二,三三九,六九一円	二七,四六二,八六五円	四一,四一四,八八二円	•一三,九五二,〇一七円

臺北	一、五八一、二四六	八四、五八四	一、六六五、八三〇	七、一四八、九〇〇	八、三三二、三三四	•一、一八三、四三四
淡水	五五、四九五	八七、九〇〇	一四三、三九五	二、三六四、一〇五	二、四八七、四二六	•一二三、三二一
安平	—	三七、七一二	三七、七一二	七八七、七三三	一、一〇七、五二九	•三一九、八〇七
高雄	一、〇八三、三四一	一、三九八、〇八四	一、四〇六、四二五	一八、九〇八、一七二	一九、七五四、六九五	•八四六、五二三
其他諸港	三二、四二四	四七、二六〇	七九、六八四	八六七、八〇五	八八〇、七九二	•一二、九八七
計	二、九三六、二三七	二、七三六、四〇〇	五、六七二、六三七	五七、五三九、五六九	七三、九六七、六六八	•一六、四二八、〇九九

（其ノ二）

港別	移出	移入	計	三年累計	二年累計	增減（•）
基隆	七、九六八、四二七円	六、四八九、五二九円	一四、四五七、九五六円	一二三、七三二、二九八円	一二二、九七九、九二三円	一、七五二、三七六円
臺北	—	—	—	—	—	—
淡水	—	二、四〇〇	二、四一〇	四四、三五四	三、〇〇〇	四一、三五四
安平	四、八九二	五〇二、一五四	五〇七、五四六	六、六八三、一三〇	六、五九二、七九五	九〇、三三五
高雄	二、七四六、六六九	二、六〇九、六九一	五、三五六、三六〇	一三四、三二一、〇九六	一〇八、八六三、六四九	二五、四五八、四四七
其他諸港	—	六五、五一五	六五、五一五	七四二、三五六	一、二三九、五七八	•四八七、二二二
計	一〇、七一九、九八八	九、六六九、七九九	二〇、三八九、七八七	二四五、五二三、一三四	二三八、六六七、九四四	六、八五五、一九〇

◆收入額

收入額	輸入稅	製茶稅	織物消費稅	砂糖消費稅	噸稅	其他諸收入	計
入月	二三五、五六一円	五三、一五九円	三、三一〇円	二、四一六円	五、三三二円	四、一七六円	三〇三、九七七円
三年累計	二、五八三、七四五	一八〇、三三三	四二、二八二	二九四、六九七	四三、五三七	四〇、七八七	三、一八五、三七〇
二年累計	二、七八五、四八八	二三四、五二〇	四七、三二四	三九〇、七五四	五一、四五八	二九、四二八	三、五三八、九六二
增減（•）	•二〇一、七四三	•五四、一八八	•五、〇四二	•九六、〇五七	•七、九二一	一一、三五九	•三五三、五九二

金融統計

◈島内各銀行内外爲替取組高表（昭和三年七月中）（單位圓）

（其ノ一）

摘要	收入					
	島内		内地		外國	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額
送金爲替	二九,三八三	三八,六九六,九九三	四,三一六	八,八四五,八九一	五二	二八〇,二三五
割引手形	七〇九八	三,九三三,一七八	二,〇二一	一,六五七,九九八	—	—
荷付爲替手形	一,四八二	一,二八〇,一八二	一,三四七	二,三五八,〇五九	七二	六七七,五八八
買入外國爲替	—	—	—	—	六三	五四九,一六〇
利付爲替手形	—	—	—	—	—	—
代金取立	二,七九六	四,六九五,七五五	九,七六九	三,七八九,一九四	三三	一〇五,〇一〇
計	五〇,六五九	四八,六〇五,一〇八	一七,四五三	一六,五五一,一四二	六七七	一,六一一,九八三
前月	四八,五四三	四一,四五九,七四〇	一七,五三二	一五,七四八,三一四	七七八	二,四五六,六三八
前年同月	五〇,四五六	四六,三四九,二二八	一五,七九三	一四,九六六,一六八	六三五	一,九〇三,九四六
本年本月迄累計	三五二,九四五	三〇一,三六八,二七五	一三六,二五二	一二九,〇二五,三四九	五,六七三	一四,四八二,八八四
前年同	三四一,九〇二	二八八,五五一,七一五	一一五,三〇六	一三三,七三三,〇四六	四,八九四	一〇,七四五,三五六

（其ノ二）

摘要	支出 島内 口數	支出 島内 金額	支出 内地 口數	支出 内地 金額	支出 外國 口數	支出 外國 金額	收出(△)超過 島内	收出(△)超過 内地	收出(△)超過 外國
送金爲替	三六、八五九	三二、七七八、二〇一	一、八六五	一一、〇四四、八二四	四六	四九一、八六五	五、九一八、七九二	△三、一九八、九四三	△三二一、六四〇
割引手形	七、三八九	三、八五九、二八九	四〇	八六〇、五一六	—	—	七三、八八九	七九七、四八二	—
荷付爲替手形	一、五〇一	一、二五二、五〇〇	一、四二一	六、〇六四、四三四	八	八三、五二九	二七、六八二	△二三、八〇六、四六五	五九五、〇五九
買入外國爲替	—	—	—	—	二五	二七〇、三三〇	—	—	二七八、八四〇
利付爲替手形	—	—	—	—	二四	二四、二〇一	—	—	△二四、二〇一
代金取立	二、八八八	四、四七九、四〇〇	四七〇	四三九、二二五	三三	一三五、二七七	二、六三五	三、三五〇、〇六九	六九、七一三
計	四八、六三七	四二、三六九、三九〇	三、七九六	一八、四〇八、九九九	一三六	九九四、一九二	六、二三五、七一八	△一、八五七、八五七	六一七、七九一
前月	四八、〇六六	三九、五三一、六三三	二、八〇八	一三、八六五、〇〇三	四九三	一、四七〇、〇二三	一、九二七、九一七	一、八八三、三二一	九八六、六〇五
前年同月	四五、九七七	四八、七四四、七六六	三、七八七	一九、七九三、〇〇六	五九二	一、一〇〇、七八五	三、三九五、四四八	△四、八六六、八六八	八〇三、一六一
本年本月迄累計	三三七、七九九	二八七、一三八、九九二	二〇、三四一	一三五、一八一、五〇七	三、七七五	七、六三五、三三六	一四、二三九、三五四	三、八四三、八四二	六、八四七、六五八
前年同	三一〇、七八五	二八五、一六七、三二一	三一、〇〇七	一三七、三三四、〇五一	四、四〇〇	八、七六〇、八九六	四三、三八四、四〇四	△四、六〇一、〇〇五	一、九九四、四六〇

◆臺北物價指數表（昭和三年八月中）

品目		本月	前月	前年同月
白米	(十)	二〇三・二四	二〇〇・四三	二四六・〇一
玄米	(十)	一八七・八九	一五七・〇一	一五〇・〇〇
清酒		三二一・四三	三二一・四三	三二一・四三
麥酒		一七二・〇〇	一七二・〇〇	一七二・〇〇
紅酒		三三三・三三	三三三・三三	三三三・三三
澤庵漬	(十)	二七七・七七	二五九・二五	二二二・二二
小麥粉	(一)	一四二・四二	一四五・七六	一六〇・五八
砂糖	(十)	一三五・二七	一三三・七五	一四七・〇九
綿布	(一)	二一八・一七	二二一・三九	二一六・〇六
洋紙		一五六・五二	一五六・五二	一六九・五六
日本紙		二五三・五九	二五三・五九	二五八・六八
杉板		一六六・六六	一六六・六六	一六六・六六
杉材		一六二・五〇	一六二・五〇	一七五・〇〇
洋鐵		一五〇・一一	一五〇・一一	一六五・八一
鉛		一〇六・二五	一〇六・二五	一三一・二五
銅	(十)	一二四・四八	一二二・四四	一二六・三三

鰹節	(十)	二〇五・二九	一九二・四八	一九八・二四
味噌	・	一三三・〇七	一三三・〇七	一三三・八四
醤油		一五四・九一	一五四・九一	一五四・九一
鴨卵	(十)	二〇〇・〇〇	一七七・一四	二〇〇・〇〇
落花生油		一四一・〇三	一四一・〇三	一三〇・五一
鹽		一四〇・九一	一四〇・九一	一四〇・九一
煙草		一八〇・〇〇	一八〇・〇〇	一八〇・〇〇
烏龍茶	(一)	九九・一九	一二五・七〇	一三七・〇四
包種茶		一四三・一三	一四三・一三	一四一・二七
白木綿		一三四・九二	一三四・九二	一四二・八五
煉瓦		二一三・八二	二一三・八二	二一〇・三一
内地瓦		一〇六・二五	一〇六・二五	一〇六・二五
板硝子	(一)	一〇〇・〇〇	一〇六・二五	一一三・五〇
セメント		一八二・二五	一八二・二五	一七三・五二
燐寸		二二三・三四	二二三・三四	二二三・三四
石油	(一)	一五〇・九〇	一五二・〇四	一五三・一八
石炭		二一〇・七八	二一〇・七八	二二三・四二
木炭		二三二・三三	二三二・三三	二五二・六六
薪		二四一・二八	二四一・二八	二五七・一四
平均	(十)	一七八・九四	一七三・八八	一七九・七七

備考　本表は大正三年七月戰前の物價を一〇〇として算出せり(十)印は騰貴(一)印は低落を示す

◈臺北物價平均指數五箇年對照表

月次	昭和三年	二年	昭和元年 大正十五年	十四年	十三年
一月	一七六・三四	一八三・〇八	一九〇・七九	二〇三・一三	一九一・八一
二月	一七五・四一	一八三・二五	一九〇・九五	二〇三・二〇	一九一・九四
三月	一七四・八九	一八二・六八	一八八・三一	二〇〇・六〇	一九一・三三
四月	一七四・二九	一八一・二八	一八八・二五	二〇〇・一三	一九一・五九
五月	一七四・二七	一八一・四八	一八六・〇三	一九二・五〇	一九四・一六
六月	一七三・九九	一八二・〇八	一八五・二〇	一九二・八七	一九二・七六
七月	一七三・八八	一八一・三八	一八五・一二	一八五・一〇	一九一・六一
八月	一七八・九四	一七九・七七	一八四・六六	一九五・二七	一九三・九二
九月	—	一八〇・三六	一八三・三五	一九五・六三	一九八・三〇
十月	—	一八〇・〇〇	一八二・五四	一九三・三八	二〇三・四一
十一月	—	一七八・五五	一八一・五七	一九三・一六	二〇五・〇三
十二月	—	一七七・〇八	一八〇・〇七	一八九・七四	二〇三・三三

◈各年月ヲ一〇〇トシタル本月平均指數

基準年月	三年五月	二年六月	大正十五年六月	十四年六月	十三年六月
本月平均	一〇三・九一	九九・五三	九六・九〇	九一・六三	九二・二七

◆市街地信用組合事業一覧表（昭和三年六月末日現在）

（其ノ一）

州廳別＼種別	組合數	組合員數	出資口數	資産 未拂込出資金	貸付金	土地建物什器	有價證券	預ケ金	假拂金	手形割引	其他	現金	計
臺北	九	六,五八〇	四六,六四四	五八,八七八円	五,八二二,六八二円	一五〇,二九六円	九二三,九〇八円	一,三四〇,二九二円	一三,九五三円	一六六,六七四円	二四,六二一円	五七,七三四円	八,六三八,〇三二円
新竹	二	一,三三一	一〇,三五一	四,六四一	一,〇三八,一〇八	三一,三八二	五〇	三七二,〇六五	五八〇	—	—	七,六八八	一,四五四,五一六
臺中	二	一,二二五	四,八四〇	一一,九九五	八五八,三二五	二一,三五二	二六,三三六	三五一,〇七〇	五〇〇	—	—	三,四二七	一,二七二,八八七
臺南	六	三,五七三	二六,九〇九	一二二,〇二九	二,六三〇,四一〇	八〇,一四九	一三一,三四七	八五四,二七一	五,八九七	五四九,六六七	六,七六四	二〇,八六一	四,三九一,四〇〇
高雄	一	四〇三	二,四六八	六五二	三四六,六〇九	二七,七三二	二二五	九六,三三七	—	—	四,五〇〇	二,一二七	四七八,一八四
澎湖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	一	一九三	四,〇八四	—	二八四,一三三	四,一六一	二,四一五	二五,八〇三	一,四四九	四二,八八七	—	二,三二五	三六三,一六四
合計	二二	一三,二九五	九五,二九六	一八八,一九七	一〇,九七〇,二六〇	三二四,九七四	一,〇八三,二七一	三,〇三九,八四〇	二三,三八一	七五九,二二九	三五,八七五	九四,一五五	一六,五九八,一八六
前月末合計	二二	一三,二五三	九五,四五三	一九二,〇〇九	一〇,八一〇,三一〇	三二〇,〇九九	一,一〇七,五九八	三,〇二四,九五一	一九,七五九	七四六,三五五	一四七,五一七	八一,〇七一	一六,四三九,六七四
△は減	—	四二	△一五七	△三,八一二	一五九,九四九	四,八七四	△二四,三二六	一四,八八九	二,六二二	一二,八七三	△一一一,六四一	一三,〇八三	一五八,五一二

（其ノ二）

州廳別＼種別	負債 出資金	貯金	準備金	各種積立金	未拂配當金	借入金	假受入金	其他	剩餘金	計
臺北	一,三〇四,七六〇円	五,九八一,九七七円	六一四,三八二円	一九六,〇八二円	八三三円	四二一,四九二円	三一,七一九円	四三,六五一円	二一四,六三二円	八,六三八,〇三二円
新竹	二〇八,二一〇	九七四,六一〇	三一一,一八二	八八,八八〇	一,四二五	一五,〇〇〇	二,九七九	—	三二,二二九	一,四五四,五一六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺中	二四二、〇〇〇	七五九、五六六	一三一、六〇五	八〇、一五五	二、六九五	―	一〇、〇五二	七二、一〇〇	四三、六一一	一、二七三、八八七
臺南	八九一、七七〇	二、九四九、八七五	二七八、一〇八	六三、九一三	四、五六五	五、一〇七	五、八三六	三六、六三一	一五五、五九一	四、一九一、四〇〇
高雄	六一、七〇〇	四〇九、〇〇一	一三四	―	―	―	―	―	七、二四八	四七八、一八四
澎湖	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
臺東	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
花蓮港	八一、六八〇	一八八、九〇五	五三、三二〇	一九、六四一	―	一三、〇〇〇	一、〇八八	―	六六、六二九	三六三、一八四
合計	二、九九〇、一二〇	一二、三五九、九三七	一、二〇八、七三三	四四八、六七三	一七、〇一九	七四、六〇〇	五一、六七六	八七、四八二	四五九、九四二	一六、五九八、一八六
前月末合計	二、九八三、四三五	一二、一九三、七九八	一、二一〇、〇一三	四五一、四四七	一七、九四二	六五、七七〇	五二、〇一九	八七、一六八	三七八、〇七九	一六、四三九、六七四
△は減	六、六八五	一六六、一三九	△一、二八〇	△二、七七四	△九二三	八、八三〇	△三四三	三一四	八一、八六三	一五八、五一二

(其ノ三)

種別／州廳別	貯金内譯				貸付金利率			貯金利率			借入金利率			預ヶ金利率			手形割引歩合		
	組合員貯金	第一條第三項貯金	第一條第四項貯金	計	最高	普通	最低	最高	普通	最低	最高	普通	最低	最高	普通	最低	最高	普通	最低
臺北	一、九二四、九七円	二、三〇三、七二円	一、八六三、六九九円	五、九八一、七円	三七厘	三五厘	二五厘	一八厘	一五厘	六厘	一六厘	一三厘	一八厘	二〇厘	一二厘	五厘	二三厘	二四厘	二三厘
新竹	三六八、一九六	四一七、五九二	二〇二、三五〇	九七四、六一〇	三五	三三	二九	三〇	一五	八	一三	一三	一六	一六	一三	六	―	―	―
臺中	一八一、三三二	五〇五、四五三	六八、七八〇	七五五、五六六	三五	三〇	二八	二一	一七	七	―	―	―	一六	一三	六	―	―	―
臺南	一、三四四、三三四	一、一五九、六七七	四四九、九一三	二、九一九、八七五	四三	三五	二八	二五	一六	一〇	一三	一三	六	一九	一三	六	二四	二〇	二三
高雄	二四六、四五五	九八、七五四	六三、七九二	四〇九、〇〇一	四三	四二	三〇	二一	一六	一六	―	―	―	一六	一三	六	―	―	―
澎湖	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
臺東	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―
花蓮港	七八、九三五	五三、三六五	五八、六〇五	一八八、九〇五	三六	三六	三三	二三	一六	一六	二四	二四	二三	三六	三六	三六	二五	二三	二三
合計	四、一三二、八〇〇	四、四六四、一四四	二、六六三、九九二	一一、二五九、九三七	四三	三五	二五	三〇	一六	六	二六	二三	六	三六	一三	五	二四	二四	二三
前月末合計	四、一六五、〇六四	四、四三八、三三七	二、五九〇、三九五	一一、一九三、七九八	四三	三〇	二五	三〇	一六	六	一六	一三	一六	三〇	一三	五	三六	二四	三〇
△は減	△三二、二六四	二五、八〇六	七三、五九七	六六、一三九	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◈手形交換高表（昭和三年二月分）

手形交換所々在地	手形枚數	交換金額	交換差額	交換枚數一枚ニ對スル平均金額
基隆	五、五五四枚	一、五七六、二三九円	三九八、五七四円	二八三円
臺北	二四、二七三	一三、一三四、七二五	四、二八五、三六九	五四〇
臺中	二、六五三	三、一二六、五二四	一、四四七、四八三	一、一七八
臺南	二、九三八	三、四二七、〇四二	八五三、三七〇	二六五
高雄	四、八九二枚	二、二一五、〇一三円	八九五、七一七円	四五二円
計	五〇、三一〇	二三、四六九、五五三	七、八八〇、五一三	四六六
前月	四八、一一四	二三、九〇一、三三四	九、五六三、三三三	四九六
前年同月	四八、五〇五	二五、〇八三、八三八	一〇、二九三、三七一	五一七

種類別島內各銀行預金殘高

種類別	昭和三年七月末	前月末	增△減	前年同月	增△減
當座預金	一五、一一九千円	一三、四七〇千円	△一、七三九千円	一四、二一四千円	一、〇八五千円
特別當座預金	四五、二六八	四四、三九二	△八七六	四六、四一〇	△一、一四二
通知預金	七、四〇四	四、四〇二	三、〇〇二	一、六六九	五、七一五
定期預金	二四、五六六	二四、一〇〇	四六六	二四、四六二	一〇四
別段預金	七、八二八	六、四七七	一、三五一	四、三〇二	三、五二六
貯蓄預金	六、九〇〇	六、七四五	一五五	六、一三四	七六六
小計	一〇七、一六五	九九、五八六	七、五七九	九七、一〇一	一〇、〇六四
日本銀行預金	九、三七五	九、三八七	△一二	二四、四四四	△一五、〇六九
合計	一一六、五四〇	一〇八、九七三	七、五六七	一二一、五四五	△五、〇〇五

種類別島內各銀行貸出金殘高

種類別	昭和三年七月末	前月末	增△減	前年同月	增△減
證書貸付	千円 一七、七六七	千円 一七、四八七	千円 二八〇	千円 二五、一七〇	千円 △七、四〇三
手形貸付	三六、六九三	三六、九三五	△二四二	四三、四〇一	△六、七〇八
當座貸越	三、六一三	三、五五九	五四	三、二四一	三七二
割引手形	一〇一、〇五七	九九、〇二四	二、〇三三	一〇三、九三二	△二、八七五
荷付爲替手形	九、五三四	一一、四五四	△一、九二〇	一六、四八八	△六、九五四
利付買入外國爲替	一、二〇九	一、二五六	△四七	七八五	四二四
貯蓄銀行貸付	一、四四二	一、四五七	△一五	一、二八五	一五七
小計	一七一、三一五	一七一、一七二	一四三	一九四、三〇二	△二二、九八七
勸業銀行貸付	五〇、八九一	五〇、二二四	六六七	四七、三八六	三、五〇五
合計	二二二、二〇六	二二一、三八六	△八二〇	二四一、六八八	△一九、四八二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

漢詩

草山雅集席上口占　水野香堂

海南風物水雲消。到處謳歌頌太平。今夜草山何限感。溪聲宛似故鄉情。

次潤庵雅兄韻　川村亞洲

爲政固明嚴與寛。經綸須計國家安。草山今夜諸星會。應作南瀛未有看。

呈香堂先生　小松天籟

錦帆掛逐海雲間。家國依然懷抱關。偶有林泉詩酒興。草山吟對七星山。

呈亞洲督憲

文宴草山今夕開。鹿鳴酒進共銜杯。最難賓主經綸選。艶說秋田富降才。

呈香堂先生　魏潤庵

多年廊廟著微勳。經濟文章兩出群。瀟洒草山今夕宴。不因軒冕棄松雲。

題香堂博士肖像

忙裏胸中日月間。輶軒一道訪松關。暫抛緯地經天事。夜雨瀟々對草山。

呈亞洲督憲

重來節制政從寛。水乳惟期上下安。公是今時羊叔子。草山當作峴山看。

題亞洲督憲肖像

東北西鄉望儼然。雪茄在手起雲烟。羣民期待明公切。王道從來在不偏。

題河原田總務長官肖像

壽府歸來知識新。胸藏無限好經綸。草山暝坐含微笑。氣象雍容萬古春。

戊辰夏日船中口占　西川萱南

笑踏蒼茫出雞籠。碧海粘天夕照紅。舵上回頭望蓬島。千山送我立雲中。

金剛山雜作六首

晩來驟雨若飛泉。凉透晶簾灑酒筵。忽有天風拂雲霧。金剛山上月嬋娟。

溫井里夜泊　一

嶺陽館裡氣如春。溫液玲瓏轉可人。奇勝探來玆沐浴。詩魂縹緲更淸新。

同　二

回崖疊嶂聳奔泉。萬象迎吾到絶巓。吟白天仙臺上望。無邊奇勝入新篇。

萬物相

奇峰競起幾千層。或似羊群或鳳騰。行訪漢源人迹絶。九龍激石響如崩。

九龍淵

山如太古秀靈鍾。日夕雲深不辨容。乘雪攀登驚化力。畫圖一萬二千峰。

金剛靈境幾崢嶸。古木寒泉不作鄰。若此江山世無匹。奇姿怪態駭神人。

抵京城宿柴田君邸樓係洋型層構高聳丘上左控北漢山右則關嶽後負山前隔城市而對南山眺望頗佳主人與余閒談慇懃待余快飲痛談留七日也

千里飛來憶八叉。故人邀我導新家。尊前閒話廿年事。月出南山照樓華。

閣面南山占一邱。京城天地兩眸收。引杯嘯詠忘賓主。乘興揮毫墨電流。

過鴨綠江

鴨綠江通黃海遙。獨筧今日我初超。請看中斷風帆過。乃是東洋第一橋。

抵光州宿日蓮宗大法山東方有峰眺望亦佳淹留旬日乘興揮灑

來宿蓮宗大法山。誦經聲絶白雲間。佳人席上助揮灑。幾幅書縑頒世間。

賞南齊仙自雞林返和金剛山詩並乃題短句歸趙

伊藤華溪

千里裝詩一錦囊。閒吟踏破自金剛。樂天自有名山業。紙價應看貴洛陽。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

俳句

孚江選

觀月句會句抄

—九月二十九日於蓬萊丸—

積き來る船あり月の玄海に　東洲
甲板や月の島々右左　水渓
月の灣ポン〱蒸汽通りけり　竹馬
明月や沖に横たふ無人島　金星
月代や椰子の葉風の徐ろに　専人
良夜とて艀舨多き港かな　古秋
はるかにも蕃歌きこえて秋灯　巨洲
蕃山に大きく月の上りたる　緑泉
明月や谷の底にも一部落　波光
月代や一雨來たる榕樹籬　壺陽
蟲賣りや夜店の端のくらがりに　夢南
降り出でし月の莚を仕舞ひけり　句童
繋りゐる蓬萊丸の秋灯　岬人
城壁に沿うて歩めば蟲の秋　南山
秋灯一つ見え居り繋り船　鷺城
蟲の夜となりし籬や佛桑花　しげを

木戸出でゝ月見の人となりにけり　玄外
月の出や轎を乗せたる渡し船　晴耕
秋の灯や朱塗あせたる廟柱　美津留
蟲鳴くや土壁に掛けし釣道具　思花
荷役する貨車の戸口の秋灯　たけを
月の土堤落しありける扇かな　零空
堤防の莚の上の月見かな　靜亭
街路樹に蟲啼き出でし一つかな　非文
月の濱足跡遠くつゞきけり　竹蓋
呼び合ひて舟近寄らず月の潮　素山
月の戸のみな締りゐる通りかな　瓦全城
くらがりの穂草見え居り蟲の原　月桃
藪越えて銅鑼の聞ゆる月夜かな　塘翠
船すでに西半球や月今宵　いづみ
月の道がじまるかぶる所かな　きゆう
たゞ一人月の大路を歩きけり　孚江

募集句より

春戸の月天人菊の花盛り　潮人

□募集　當季雜詠（十句以內）用紙葉書
時報俳句と明記のこと臺北市錦町一五五　ゆうかり社宛

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣日誌

自八月二十五日
至九月二十四日

八月

▼二十五日
・臺灣正米市場蓬萊米狂騰十七圓を摩す
・臺銀發行券五千萬圓突破す
・島內三新聞全休日設定を發表す
・全臺灣水上大會開始新記錄續出
・各州水產會開催す
▼二十六日
・全臺灣水上大會第二日新記錄十を得て終る
・嘉義郡竹林問題全く解決す
▼二十七日
・米價高により臺銀發行券高五千二十萬八千餘圓に達す
・少年野球南北爭覇戰臺南勝つ
▼二十八日
・臺灣電力總會を開く年六分配當に決定
・熱狂的繼買人氣の爲め二十七日と本日正米市場立會休止
正米市場に研究員五名を設く。
▼三十日
・奉獻の米と粟總督府に到着す
▼三十一日
・製茶稅撤廢を臺北茶商公會から陳情す
・高雄神社本殿上棟式行はる

九月

▼一日
・二百十日平穩裡に過ぐ
・簡閱點呼行はる
▲二日
・本島の麥酒專賣の機運迫る
▼五日
・正米市場受渡米に事故米發生
▼六日
・洪水により宜蘭線貨物車顚覆
▼七日
・暴風雨に全島荒る
・臺東武德殿竣成す
▼九日
・全島野球大會臺北圓山に開催　臺北十五A臺中四　高雄十臺南三
▼十日
・全島野球大會に高雄十二對三にて臺北を破る
・臺北州庶民組合創立總會開催
・臺灣日々新報全島街市早めぐり開始
▼十一日
・屏東農學校開校式擧行
・臺北基隆間道路開通式擧行
▼十三日
・釋放者保護デー
・臺日の街市早めぐり終了
・乃木祭擧行
▼十五日
・全島高專陸上競技大會第一日
・烏日溪鐵橋復舊して列車通過可能となる
▼十七日
・全島高專陸上競技會に高校優勝
・全島高專硬球大會に臺北高商優勝す
▼十八日
・貯蓄銀行臨時總會開催
・總督府大異動發表さる
▼二十日
・西部水產大會出席者著臺
▼二十一日
・西部水產大會臺北鐵道ホテルに開催
▼二十三日
・花蓮港のゴルフリンク落成
・體協臺北支部主催相撲爭覇戰に州市團捷つ
・臺北市內高專、男女中等學校水上競技會開催

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人事消息

樺山少年團　八月二十五日歸臺
原田次郎氏　八月二十五日歸臺
臺北工業野球團　八月二十七日歸臺
後藤高等法院長　八月二十七日歸臺
岩松檢察官長　同　右
大里臺中法院長　同　右
武田臺北高商校長　同　右
遠藤臺北高商教授　同　右
須田鐵道部庶務課長　八月二十八日京城へ
許丙氏　八月二十九日上京
藤田帝大教授　九月一日著任
新任要塞司令官　同　右
豐田內務局長　九月八日歸臺
久留島武彥氏　九月八日著臺
津久井誠一郎氏　九月十日離臺
白勢鐵道部長　九月十日歸臺
妻木栗造氏　同　右
藤野明糖專務　九月十日著臺
松方帝糖社長　九月十三日著臺
常吉專賣局長　九月十三日歸任
西部水產大會出席者　九月二十日來臺
山田拍採氏　九月二十日歸臺

任命

府報　自第四百六十一號　至第四百八十一號

○昭和三年八月二十七日
　　檢事　吉江潤國
任臺灣總督府法院檢察官
　　柳澤七五三治
任臺灣總督府法院檢察官
臺灣總督府技手陸軍輜重兵伍長
　　甘利哲郎
任臺灣總督府地方技師
(以上內閣)

○昭和三年八月十七日
　　臺北帝國大學助教授　工藤好美
赴任ノ途次東京、京都、宮城、福岡ノ二府二縣ヘ出張ヲ命ス

○昭和三年八月二十七日
　　臺灣總督府法院檢察官　吉江潤國
補臺北地方法院檢察官兼高等法院檢察官
　　臺灣總督府法院檢察官　柳澤七五三治
補臺北地方法院檢察官兼高等法院檢察官
　　臺灣總督府地方技師　甘利哲郎
高雄州勤務ヲ命ス

○昭和三年八月二十八日
　　臺灣產業技師　關野謙三
花蓮港廳產業技師ニ補ス

○昭和三年八月二十七日
　　臺灣公立中學校教諭　高橋伊次郎
任臺灣公立高等女學校教諭

○昭和三年八月二十八日
　　臺灣公立高等女學校教諭　高橋伊次郎
依願免本官(以上內閣)

○昭和三年八月二十七日
　　臺灣公立高等女學校教諭　高橋伊次郎
補臺南第一高等女學校教諭
　　臺灣總督府事務官　佐藤矢
總督官房文書課勤務ヲ命ス
　　臺灣總督府事務官　佐藤矢
上京ヲ命ス
　　臺灣總督府中央研究所技師　森下薫
東京、京都ノ二府下ヘ出張ヲ命ス

○昭和三年八月二十八日
　　臺灣總督府視學官兼臺灣總督府臺北高等商業學校教授　山口重知
朝鮮、關東州及南滿洲ヘ出張ヲ命ス

○昭和三年八月二十九日
　　臺灣總督府警務局長　大久保留次郎
　　臺灣總督秘書官　平島敏夫
(各通)
文官普通懲戒委員ヲ命ス
　　臺灣總督秘書官　平島敏夫
官國幣社神職尋常試驗委員ヲ命ス
　　臺灣總督府事務官　和田一次
　　臺灣總督秘書官　平島敏夫
(各通)
建功神社合祀者資格審查會員ヲ命ス
　　臺灣總督府事務官　山內繼喜
臺灣總督府州及廳警部、警部補特別任用考試委員ヲ命ス
　　臺灣總督府視學官　森谷一
教科書調查會委員ヲ命ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺北帝國大學助教授　[illegible]　吉永
臺灣總督府在外研究員ヲ命ス
一年六箇月間米、英、獨ノ三箇國ニ在留スヘシ

○昭和三年八月三十日

臺灣總督府技手　柴田　壯十
任臺灣總督府技師
臺灣總督府屬　三宅　雄
任臺灣總督府地方理事官
濱口榮次郎
任臺北帝國大學助教授
內藤　春吉
臺灣產業技師ニ任ス
臺灣總督府技師　柴田　壯十
殖產局度量衡所勤務ヲ命ス
臺灣總督府地方理事官　三宅　雄
花蓮港廳勤務ヲ命ス
臺北帝國大學助教授　濱口榮次郎
職務俸五百圓下賜
理農學部勤務ヲ命ス
臺灣產業技師　內藤　春吉
新竹州產業技師ニ補ス

○昭和三年九月一日

臺灣總督府事務官　石川　重男
臺灣電力株式會社監理官ヲ命ス
臺灣總督府財務局長　富田　松彥
臺灣電力株式會社監理官ヲ免ス

○昭和三年八月三十一日

臺灣總督府技師　小澤　寬治
同　柴田　壯十
臺灣總督府地方理事官　三宅　雄
依願免本官(以上內閣)

○昭和三年九月一日

臺灣總督府技師　森　三郎
支那廣東ヘ出張ヲ命ス
臺北帝國大學助教授　濱口榮次郎
臺灣總督府在外研究員ヲ命ス
二箇年間英、和、獨ノ三箇國及蘭領印度ニ在留スヘシ
臺灣總督府法院檢察官　吉江　潤國
滯京ヲ命ス

○昭和三年九月四日

臺灣總督府法院檢察官　三好　一八
東京、京都、佐賀、福岡ノ二府二縣下ヘ出張ヲ命ス

○昭和三年九月六日

臺北帝國大學總長　幣原　坦
臺北帝國大學教授　藤田　豐八
同　大島金太郎
(各通)
同　安藤　正次
臺灣總督府臺北醫學專門學校長堀內　次雄
臺灣總督府臺北高等商業學校長武田　英一
臺灣總督府臺北高等學校長三澤　糾
教科書調査會委員ヲ命ス
臺灣公立中學校長　小形　留吉
(各通)
同　三屋　靜
臺灣總督府交通局技師　片山　活三
朝鮮並南滿洲ヘ出張ヲ命ス
東京遞信局管內ヘ出張ノ序ヲ以テ仙臺、札幌ノ兩遞信局管內ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府臺北高等學校教授　河南　宏
上京ヲ命ス
臺灣總督府地方技師　有馬　桂
福岡、山口ノ二縣下ヘ出張ヲ命ス

○昭和三年九月七日

高雄州警部　工藤　折平
任臺灣總督府警察官及司獄官練習所教官給
臺北州警部補　楊　木水
兼任臺灣總督府警察官及司獄官練習所教官

○昭和三年九月十日

臺灣總督府視學官　山口　重知
朝鮮、關東州、南滿洲ヘ出張ノ序ヲ以テ京都府下ヘ出張ヲ命ス
臺灣總督府技師　松岡　冬樹
上京ヲ命ス
臺灣總督府地方理事官　大鶴　友彥
東京及京都ノ兩府下ヘ出張ヲ命ス

○昭和三年九月十日

任臺灣總督府技師
臺灣總督府技手兼臺灣總督府屬　土肥慶太郎
臺灣總督府交通局書記兼臺灣總督府交通局　田邊幸四郎
任臺灣總督府交通局副參事
陸軍步兵少尉　大崎　雄次
任臺灣總督府交通局技師
臺灣總督府專賣局書記　向井　威夫
任臺灣總督府專賣局副參事
臺灣總督府師範學校教諭　高丸　鐵敬
任臺灣公立高等女學校教諭
臺灣總督府結核療養所醫官　今田　貢一
(以上內閣)

○昭和三年九月七日

臺灣總督府技師　平間惣三郎
支那廣東省ヘ出張ノ序ヲ以テ佛領印度支那ヘ出張ヲ命ス

○昭和三年九月十日
臺灣總督府技師　土肥慶太郎
內務局地方課勤務ヲ命ス
臺灣公立高等女學校敎諭　高丸　靈敎
補新竹高等女學校敎諭
臺灣總督府結核療養所醫官　今田　資一

○昭和三年九月十一日
臺灣總督府在外研究員　今村　完道
在留國中支那國ヲ追加ス
臺灣總督府臺北醫學專門學校敎授　早田　五助
臺灣總督府在外研究員ヲ命ス
二箇年間佛、墺、獨、米ノ四箇國ニ在留スヘシ

○昭和三年九月十一日
任臺灣總督府技師　佐藤　敏
臺灣總督府中央研究所技手　高野　秀三
任臺灣總督府中央研究所技師
臺灣總督府技師兼臺灣總督府結核療養所
醫　官　梅本英太郎
任臺灣總督府結核療養所醫官兼臺灣總督府
技師
(各通)
臺灣總督府專賣局副參事　向井　威夫
臺灣總督府結核療養所醫官　今田　資一
依願免本官(以上內閣)

○昭和三年九月十一日
臺灣總督府技師　佐藤　敏
醫務局衛生課勤務ヲ命ス
臺灣總督府中央研究所技師　高野　秀三
(各通)
臺灣總督府臺北高等學校敎授　藤田孫太郎
同　竹井　藏健
文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス

臺灣總督府結核療養所醫官　梅本英太郎
松山療養所長ヲ命ス

○昭和三年九月十五日
臺灣總督府事務官　酒井　雪介
兼任臺灣總督府交通局理事　酒井　雪介
臺灣總督府州事務官　酒井　雪介
任臺灣總督府事務官
臺灣總督府事務官　角田　廣次
任臺灣總督府專賣局參事
臺灣總督府地方理事官　村田　三郎
任臺灣總督府事務官
臺灣總督府事務官從五位　橫光　吉規
任臺灣總督府州事務官
臺灣總督府屬　中村忠三郎
任臺灣總督府地方理事官
臺南州屬從七位勳八等　西川善三郎
任臺灣總督府地方理事官

○昭和三年九月十五日
臺灣總督府事務官　酒井　雪介
內務局地方課勤務ヲ命ス
臺灣總督府事務官　村田　三郎
總督官房文書課勤務ヲ命ス
臺灣總督府州事務官　橫光　吉規
補臺南州內務部長
臺灣總督府州事務官　猪股松之助
補臺北州內務部長
臺灣總督府地方理事官　中村忠三郎
臺東廳勤務ヲ命ス
臺灣總督府地方理事官　西川善三郎
臺南州勤務ヲ命ス

○昭和三年九月十四日
臺灣總督府技手　前田與三郎

○昭和三年九月十四日
任臺灣總督府技師
臺灣總督府技師　前田與三郎
殖產局特產課勤務ヲ命ス

○昭和三年九月十五日
臺灣總督府總務長官　河原田稼吉
臺灣總督府鐵道職員共濟組合審查會議長ニ
指定ス
臺灣總督府師範學校敎諭　藤谷芳太郎
東京、京都、大阪、愛知、熊本、鹿兒島ノ
三府三縣下ヘ出張ヲ命ス

○昭和三年九月十五日
臺灣總督府技師　前田與三〇
依願免本官(內閣)

昭和三年九月十七日
臺灣總督府地方理事官正六位　松田　茂
任臺灣總督府事務官
臺灣總督府法院書記　兵頭　高一
任臺灣總督府法院書記長
臺灣總督府法院書記長　伊藤　正介
任臺灣總督府地方理事官
臺灣總督府事務官兼臺灣總督府交通局理事
酒井　雪介
依願免本官竝兼官
臺灣總督府事務官　村田　三郎
(各通)臺灣總督府地方理事官　中村忠三郎
同　西山善三郎
依願免本官(以上內閣)
臺灣總督府事務官　松田　茂
內務局土木課勤務ヲ命ス
臺灣總督府法院書記長　兵頭　高一
臺灣總督府地方理事官　伊藤　正介
臺北州勤務ヲ命ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那及南洋情報

臺灣總督官房調查課

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

目次

支那

獨支新條約の全文……一
福建省近情……二
福州反日大會組織大綱……三
汕頭狀報……五
廣東情報……六
英領事の梧州行は何か……一二
廣西の兵農政策と委員會……一二
浙江地質調査第一期第一號……一三

比律賓

比律賓雜報……一八

佛領印度支那

印度支那時報……二三

一九二六年の印度支那鑛業(三)……二四

暹羅

二四七〇(一九二七—二八)年錫鑛採取狀況……三三
米に對する施肥問題……三五

英領馬來

新嘉坡に於ける支那人の排日ボイコットの經過並に將來(下)……三八
邦人漁業とボイコットの影響……四一

蘭領東印度

蘭領印度農鑛企業須知……四三
蘭領印度に於ける各國會社の資本……四七
一九二八年前半に於ける蘭印並に世界の護謨狀況……四八
蘭印雜報……五三

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

情報

支那

□獨支新條約の全文

中華民國政府とドイツ國政府は現存兩國間の親善關係を更に強固にし、通商關係を増進せんとする希望に促され條約を締結するに決し、外交部長王正廷及び駐支ドイツ公使エチ・フオン・ボルチをそれぐ全權委員に任命し、兩全權は下の條約を締結するに同意せり。

第一條　關税事項に關する取扱上絶對平等を期する目的を以て、また一九二一年條約中の取極を補足する目的を以て、兩締盟國は關税上の一切の事項が兩締盟國版圖に於て第三國に對する取扱に比し、差別的取扱を受くる事あるべからず。

兩締盟國の一方の國民は他の一方の版圖内に於て如何なる事情あるも輸出入貨物に對し、その國民または第三國々民の賦課さるゝ以上の高率の關税、その他の内國諸税の賦課を強要さるゝ事あるべからず従つて、一九二一年五月二十日の獨支協定附屬交換文書中の規定「輸入ドイツ貨物の關税は自主關税規則の一般適用以前に於ては現行一般關税率に從ふ」を廢棄す。

第二條　兩締盟國は速かに完全なる均等と平等待遇の原則の下に、通商航海條約を締結する目的を以て交渉を開始すべし。

第三條　本條約は支獨英三箇國語を以て作成す。その解釋につき相違ある場合は英語の本文によるべし。

第四條　本條約は速かに批准せらるべく、兩國政府がその批准を了したる旨を通知したる日よりこれを實施す。

（右は八月十七日南京に於て外交部長王正廷と駐支ドイツ公使フオン・ボルチとの間に調印された絶對的相互平和を基礎とする獨支新條約で、同二十日正午上海で公表されたものゝ譯文である）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□福建省近情

省政府新委員と追加　八月二十二日附中央政治會議を通過した福建省政府委員卽ち楊樹莊・徐梓・許顯時・程時煃・陳乃元・林知淵・陳培琨・林寄南・陳楚楠の九人は第一六一次の中央黨部常務委員會議を通過し、更に同廿四日國民政府第八八次會議をも通過したが、今同委員の動靜を觀るに、楊樹莊委員は九月初上海より南京へ赴き、蔣介石の歸京後を待ち種々打合せを爲し、舊曆中秋節切拔の爲め歸福すべく、徐梓委員は蔣介石の肝入りにて來福見合となり、許顯時委員は目下腸チブスにて重態漳州にて療養中である。陳乃元委員は海軍系並に獨立第十四師側に於ける反對の熾烈なるあり、陳培琨委員は財政困難の爲め現在財政廳長の席を去りたき感あるものゝ如く、林知淵委員は妻子を福州から上海へ迎へ往く程であるから新委員辭退の決心ありと見らるゝ。他の委員の動靜は未詳。猶九月六日の南京電報によれば省政府追加委員として丁超五・鄭寶菁・盧興邦・方聲濤の四名が同五日の中央政治會議を通過任命されて居る。丁超五委員は中央黨部執行委員にして現に建設廳長であるから、たとひ新委員、建設廳長の選に入らずとするも、其の倦怠なく部下を督勵し、部下も安心して職務を遂行しつゝある。鄭寶菁委員は現に主席代理を務めて、民政廳長の職に在り、其の位置絶對安全なるものゝ如くであり、又盧興邦委員は楊樹莊の親近者で、殊に黨部間で拘束された已むなく與黨の釋放方に力ありし楊氏に對するの感激は甚しい。次に方聲濤委員は今尚上海の租界地に無爲の餘生を送るものゝ如し。

日商に反物稅賦課　福州閩侯縣の教育費に充てる爲め、疋頭捐として反物稅を日商より徵收方を同縣から交涉署の手を經て總領事館へ依賴し來つたが、體よく之を拒斥されたに拘はらず、同縣は再度交涉署を經て本稅は消費稅であるから直接の負擔者は商人でなくて消費者の負擔である。且つ閩侯縣の教育費の支絀を補救せん爲め、省政府の許可を得て徵收する稅であるから、然るべく援助方を請ふと懇賴し來つたが、我が總領事館では默殺し居られたのに、支那側は默認された事と感違ひしたのであるか、日商の反物にも稅を課せんと試みたのである。（支那人反物屋も本稅には大反對中で、外商承認如何を見極めんとしつゝある際）

昇發洋行の反物再び押へられたが返還　八月二十五日昇發洋行（行主周題）の反物十二箱價格約五千圓が疋頭捐徵收處のモーターボートに依り、不意打に同處前の江岸に引張られ、疾風迅雷的に十二箱の反物を同處內奧深く押收した。事後之を聞きつけた周題は直ちに領事館に其の旨を報告し、我が警察官は卽時同處に出頭して其の不當を詰り、且つ返還方を要求し、樂群公會理事李熾己は早速現場に驅け附け同處責任者に強硬なる談判を開始し、福州公安局第二保安隊長李復及

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

び當該管轄第四署々長林貴鉉に大廟分署長・閩侯縣保安隊長等を首め武裝警察四五十名の示威的警戒中に在つて屈する所なく、正理に據つて不正の支那側に在ることを詰り、第一、我が總領事館の認めざる不當課税を敢行する事、第二、我が國人の商品を不當に押收する事、第三、不法にも武裝警察を以て威嚇する事、第四、別室に控へ居る反日學生を以て我に臨まんとし、且つ流血を見ざれば濟さじと聲言するに至つては不法の甚しきものである。啻にそればかりではない。あなた方は常に色眼鏡を掛けて我々臺灣人を見て居られるが、一體不當な點は誰にあるか考一考せられよ。臺灣人は僅かの數が此の福州に稼ぎに來て居るに過ぎないのに、始終無法に壓迫されて居る。然るに一方福州人が臺灣に出稼して居るものゝ多いのはどれ程であるか。臺灣公會が毎月六十名程の渡臺證明の勞を取りつゝあるは何故ぞ。且つ福州人が臺灣で毫も排斥を受ける事なく、泰山の安きに身家を置いて安々と營業せる、料理屋(庖刀)・仕立屋(鋏刀)・理髪屋(剃刀)の三刀業者は年々幾多の送金をして居るかを知らないのか。一方我々を排斥する代り、臺灣で福州人を排斥したらどうなるか。止むを得ないで我が公會からあなた方の不法を郷里に訴へ、　上述の三刀業の武裝解除となつたら、如何なる態度で失業者が歸國するかを知らざるか。あなた方には良心の呵責を感じないのかと云々と嚴重に談判したので、　遂に無條件返還を申出で來り、我が警察官の再出場の下に押收商品の受渡を濟した。(以上九月七日福州通信)

排日暴力團の兇刃　大正九・十年の交臺江汎の百貨商店雲章號の建築中、三井物産よりセメントを購入せし廉により其地主たる陳鳴岐(當時復興隆號主人)が自宅にて排日暴力團の兇刃に斃れたる刹那、其の實子も同じく斃された事がある。暴力團は無事に其場より引上げたが、陳鳴岐は現交涉署總務科長魏子淵の義父に當り居る爲め、魏は大に法的に暴力團と爭ひしにより、暴力團一同は逃亡した。此の團體は閩南系統の學匪で、福州人系のに比すれば頗強にして且つ直接行動の最たるべし。當時營業を廢し、徒らに福州に盤踞して强請强迫を能事として居る無頼團體である。爾來七・八年間消息を絶ち居たるところ、此度は大手を振つて來福し、且つ聲言して曰く、國民政府に吾々の愛國の微衷を諒とし居れば吾々の活動は決して從前の軍閥に蹂躪さるゝ事あるまじとて、盛に氣勢を揚げて居る。該團體は五六十名あるとか稱すれども、消息通の話では現に十五六名は南臺に出沒し居り、やがて日本人系統の買辦達を威嚇する事に着手すべしとか傳へらる。又一説には此の團體は反日會中の獨立團系統の爪牙となり黄炳武の腹心となりたるかの如しといふ。

福州反日大會組織大綱協議通過　八月二十九日總商會で反日正式大會を開き執監委員を選擧し、且つ福州反日大會組織大綱を通過した。選出された委員の顔觸は左の如し。

○正式執行委員十三名　黄炳武　夏禹疇　陳大章　葉國瑞　林步繁
羅遂愈　黄良藩　江秀清　蕭一健　潘同仁　鄭建魁　周學齡

○正式監察委員九名　許卓然　王哲某　史家麟　翁城　孫世華　郭詠榮　林東義　林梅坡　祝傳鏡　陳堪欽　魏道炳

○候補執行委員七名　黃展雲　翁與疏　林長森　林大同　林玉慶

○候補監察委員五名　何公敢　李挺蒼　鄧季明　陳東麟　吳巽則

○福州反日大會組織大綱は別記の如し。(以上九月七日福州近情)

□福州反日大會組織大綱

第一章　名稱

第一條　本會は福州對日問題研究會の議決案に根據して之を組織し福州反日大會と稱す。

第二章　宗旨

第二條　本會は全福州民衆の團結を圖り、革命の精神に基き、對日經濟絕交を實行するを以て宗旨とす。

第三章　組織

第三條　本會は福州各團體代表大會中より執監委員若干名を選擧し、夫々執監委員會を組織す。

第四條　代表大會は六箇月毎に一回召集す。

第四章　執行委員會

第五條　執行委員會は代表大會中より執行委員十三名、候補委員七名を選出し、之を組織す。

第六條　執行委員中より常務委員若干名を互選し、日常事件を處理す。

第七條　執行委員會は宣傳調査兩部竝秘書一處を設く。但し必要の時に遇へば各種委員會を組織し、其の組織條例は別に之を定む。

第八條　各部處の主任は執行委員中より互選擔任す。

第九條　執行委員會は毎週二回の常會を開き、必要の時或は過半數の執行委員の請求ある時は、臨時會を召集することを得。

第十條　執行委員の職權を左の如く明定す。甲、本會の對外代表たるべき事。乙、一切の會務及議決案を執行する事。丙、本會の財政を管理す。丁、代表大會召集の責に任す。

第十一條　執行委員の任期は六箇月を以て限とし、連選連任する事を得。

第五章　監察委員會

第十二條　監察委員會は代表大會中より監察委員九名、候補委員五名を選出し、之を組織す。

第十三條　監察委員の任期は六箇月を以て限とし、連選連任する事を得。

第十四條　監察委員の職權を左の如く明定す。甲、本會進歩を督促す。乙、本會財政を稽核す。丙、監察の執行に關する一切の職務。

第十五條　監察委員會は毎週一回之を開會し、監察を行ふべきの事宜を討論す。

第六章　經費

第十六條　本會經費は各民衆團體の共同分擔負擔とし、不足のときには外に向ひ募集する事を得。

第七章　會所

第十七條　本會々所は福州總商會內に之を設く。

第八章　會務

第十八條　本會々務進行は手に分ち發刊物にて之を發表し公覽に供す。

第九章　附則

第十九條　本組織大綱は若し完善を盡さざるところあらば代表大會に由りて之を修正す。

第二十條　本大綱は代表大會通過の日より公布施行す。

（八月二十九日福州大會通過）

□汕頭情報

排日罰款保管委員會　日貨排斥規約に違背したるものに對する罰金並に其の關係貨物の競賣代金等の保管の爲め、標題の如き委員會を九月十八日より組織し、委員は汕頭市黨務指導委員會・總商會・及政府側(?)より選出して其の保管に任ぜしめ、取扱規程に(一)毎週一回委員會を開會して收支を計算して公表すること。(二)保管金は他の機關の使用を許さゞること。(三)對日會に使用したる金員の外は、現金を中央銀行に預入すること。其の使用、支出は總て各界の公決による事等を議決した。しかして此の實權は實際に於ては市黨務指導委員會に掌握せられて居ると傳へらる。

仇貨偷運者懲罰と對日貿易取締規則の改訂　九月十九日第二十一次對日經濟絕交委員會執行委員會では對日行動違反者に對する罰則(九月十六日通報の分)を訂正して、民衆訓練委員會に會合方を申請し

たが原案通り發布せらるべきものと認む。イ、日本船により日本貨物を輸出入したものは、該貨物は沒收した上、第一次違反の時は同貨物原價の三倍・第二次は五倍の罰金とし、第三次は原價の五倍の罰金を課した上、其の店と經濟絕交す。ロ、日本船により各國の貨物を輸出入した場合は、第一次は同貨物原價の一倍・第二次は三倍の罰金を課し、第三次は三倍として以後經濟絕交す。ハ、貨物のマーク其の他を僞造して日貨を輸入輸出したものは同貨物を沒收して原價一倍の罰金とす。ニ、密に仇貨を輸出入したものは同貨物を沒收して一倍の罰金とす。ホ、現存仇貨調查表に記載の額、又は種類を超過するものは之を沒收す。ヘ、仇貨を船にて運輸し、又は荷揚げ荷卸したものには第一次は五十元・第二次は同船隻を沒收す。ト、仇貨を運搬したものは一元以上十五元以下の罰金を取る。チ、旅館にて日本船に客を搭載する手續を取つたものは、其の船賃の二倍の罰金とすり、上列各項の事項を發見差押へた調查員には、罰金の三割を賞與す。罰金なきものに對しては沒收貨物の價格に照して相當賞與をなす。ヌ、仇貨を密運せんとする事實を内報したものには處罰後一割半を賞し、調查員には同じく一割半を賞與す。

日本人の使用支那人の遊街示衆　幸坂商店の一使用支那人は同店に日本より到着した小包、郵便物を受領して歸店の途中調查員に捕へられ、種々交涉したるも、支那人であるといふ理由の下に、仇貨を偷運したものとして頭に紙帽を着せしめ街上を引廻された。

度量衡器の公定　國民政府の訓令により民政廳にすべてメートル法によるものとし、左の基準を發布した。訓練も準備もないので實行危まる。基準は　一公尺を一米トルとし、一公升を一立トル、一公斤を一千グラム、一公尺の三分の一を一市尺とし、一公斤の二分の一を一市斤とし、地積計算の時は六千平方尺を以て一畝とす。

罌粟私種の禁止　東區善後委員徐景唐は私に罌粟を栽培するを禁止した。其の理由は阿片は國民を毒するものであるといふに在るが、世人は他日收入增加の豫備手段であると傳へて居る。

市政廳教育局の革新事業　教育費の獨立及增加・全市中小學校の聯合運動會開催・同學藝會開催・兒童勞工學院の創設・市立圖書館の整頓擴充（海埔收入の半額を教育建設經費として稟請する事・保姆學校の開設・公私立學校の嚴密調查・不良私立學校及私塾を取締る事・各中等學校々長の講演會・辯論會組織・各學校聯合卒業試驗擧行・各學校生徒の制服着用記章佩用勵行・試驗に及第せざる黨義教師の黨義教授を停止する事等につき劃策中である。（以上九月二十三日汕頭通報）

□廣東情報

廣東に於ける國民黨と農工階級　廣東に於ける國民黨員の激減せることは去る七月擧行した黨員の新登記の結果に照らして明かである。北伐に成功した國民黨は自然に黨員の增加を來すべき筈であるのに反つて激減したのは同黨幹部連の均しく意外とする所で、其の原因は民衆が多く國民黨に對した程の利益を期待して居ないといふに在る。勿論政客・官吏・軍人等の入黨は多數であるが、學生及農工階級に在つては極めて寥々である。強いて言へば國民黨は社會黨たり革命黨たる本質を漸次喪失しつゝあつて、一種の政黨たる觀を呈してゐる革命黨としての本質存在が乏しくなつた同黨に對し、しかも共產主義思想を多分に植え附けられた學生及農工階級が離反したることは必然の結果である。李濟琛が親英的態度を取り、右傾派が實權を握る同黨がブルジョアー政黨化することは農工階級に壓迫を加へて民衆運動を禁止するが如き反動政策により充分に知り得られる。（八月六日—廣東新聞）

朱兆莘外交次長に就任　朱兆莘は八月三日外交部次長に就任し、四日より外交部に登廳、專ら條約改訂事務を處理して居る。

陳銘樞の軍人の政治不干涉通電　陳銘樞は軍人の非干政論を唱へ、軍機に在るものは政治黨務に干與するを得ずと爲して、國家百年の大計を定むべきであるとて、廣東省政府委員及中央政治會議委員を辭する旨の通電を發表した。蔣介石の腹心として、李濟琛を倒さんと刀を磨きつゝある陳銘樞にして、此の通電あらんとは奇異の感なきを得んやである。

對日絕交會の日貨檢查停止　七月二十九日から開始された日貨の檢查は商人に對して少からぬ脅威を與へた事は事實であるが、對日絕交會では八月七日限り日貨の檢查を停止し、何れ商工學各界から派出される檢查隊及督察員の組織されるを待ち檢查を始めると報ぜられて居るが、未だ正式の檢查隊及督察員が組織されない前臨時檢查隊を解散して日貨の檢查を停止したのは甚だ突然の事で、政府筋からの命令に本づくものなるは推測するに難くない。

廣東總工會の解散　廣東省工會聯合會の成立により廣東總工會は民政廳から解散を命ぜられた。同會幹部は黨國の爲め努力し淸黨運動に於ける功績は沒すべからずとて該解散命令撤回方を請願するに決した。

廣東市の戶口數　公安局の調査にかゝる五月現在の廣東市戶數は水陸合計十七萬六千四百三十六戶で人口は八十一萬一千七百五十一名である。其の內男子は四十七萬四千〇六十四名、女子は三十三萬七千六百八十七名である。又市內に居住する外國人戶數は百六十三戶で人口四百九十名である。（以上九月七日同）

北江地方の共產黨暴動　湖南郴州を占領した共產黨に響應し、廣東よりの討伐軍を牽制する爲め樂昌及乳源に共產黨の暴動が起つた。樂昌の共產黨は約七百名と稱せられ、先づ便衣隊を同縣城に混入させ內應せしめるに在つたが、事前に謀が洩れて守備隊の爲め便衣隊が捕へ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

られ、攻撃に向つた共産軍は劇戰數時間の後遂に撃退された。共産黨の計畫は始め乳源と同時に事を擧げる筈であつたが連絡充分ならずして齟齬を生し、樂昌の共産黨は乳源に入つて合同し、共に山中に隱れて政府軍を惱して居る。北江の共産黨は土匪農民と相通して暴動を起さんとする形勢に在るを以て、北區善後委員王應榆は黄紹雄に向ひ北江の狀勢が危急に在るを告げ、軍隊の增援を請うたので、廣西から一個師團を派遣することになつたといふ。(八月九日—同)

左派擡頭と廣東の禍機　蔣介石と汪精衛委員の提携により多數を占めた第五回中央全體會議の結果が廣東に對し如何なる反映を生ずるかは大見物である。李濟琛は左派委員の出席に絕對拒否の態度を爲せるに拘らず左派委員が出席せるに李濟琛が席を蹴つて立たないのは同會議破壞の張本人と目せらるゝを不利とするから、老猾なる彼は隱忍して居たのである。しかし蔣介石が陳銘樞を廣東の實權者に据へんとし、且つ左派が李濟琛を抑へさんとする策動を試みるであらうならば、廣東の前途には重大な禍機を醸すべき譯である。

第八路總指揮部取消說　第二回裁兵計畫として先づ第八路總指揮部の名義取消說が唱へられて居る。元來此の名義は唐生智軍を討伐の際兩廣の軍隊を指揮する爲め用ひられたもので、臨時的のものなるが現に北伐完成後なれば之を存在させる必要はないからである。しかし取消後如何なる名義に改めるかは李濟琛の歸廣後を待つて協商すべしといふ。(八月十二日—同)

海南島を根據とする共產黨暴動計畫　共產軍が湖南の西南部地方に勢力を有することは、廣東に侵入せんと欲することを目的とするに在つて、其の計畫は先づ廣東を奪取するに在るらしく、その活動に對し政府當局の嚴重な警戒と取締とは實に物々しい。今共產黨の暴動計畫なるものを聞くに、即ち(一)短期間に海南島を占領して根據地と爲し、海陸豐の武裝同志と反攻計畫をなすこと。(二)土地革命の宣傳を擴大し、資本階級と死戰して、人民に鬪爭の勝利を感知せしめソビエト政府を樹立すること。(三)赤衞軍の組織を擴大し、之を民衆化して勢力を增長すること。(四)敵人(國民黨)の兵變を利用して全部又は一部の勢力を破壞し、進んで兵士と農工との聯絡を謀り、兵變をして暴動化せしむる事。其の條件として兵士の經濟的痛苦によつて、誘ふに「發洋財」「回家去」の口號を用ひ、又兵士の愛國心を喚起する爲め、帝國主義者に抵抗し、同時に帝國主義に投降して居る蔣介石・李濟琛・陳銘樞の打倒を鼓吹すること。(五)反帝國主義運動の高潮せる際決死的前進を命じ、日貨檢査の機に乘じて騷動を起し、外國人を毆打して秩序を紊し、種々の暴擧を演ずること。(六)工人の經濟鬪爭を引起すこと。七、農村の鬪爭を助長して暴動化すること等の計畫を立て、夏期の稻作收穫の時に當り、農民をして小作爭議を起さしめ、之を煽動して各地に暴動を促進せんとするに在るが、其の實現は先づ以て困難であらう。(八月十四日—同)

北江方面の共產騷ぎ　北區善後委員王應榆に共產黨に備へる爲め

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新に軍隊の配置を行つた。即ち呂煥炎の第三師は坪石・仁化・樂昌・南雄・乳源・始興に・葉大森の第七游擊隊は仁化源潭地方に、王君碩の警衛團は小北江・連山縣に、周濟民の第十三軍第二師の一團は曲江碎石に、他の一團は英德に駐守することゝした。而して湖南郴州に駐屯する范石生軍は共産軍に參加せんとする形迹あり。但し湖南の共産軍は政府軍との正面衝突を避け、専ら北江方面に於ける政府軍の後方を擾亂し、機會の至るを待ち大擧して韶州を奪取せんとするにある。これは彼等の兵力關係上から出た方法である。

粤漢鐵道完成に對する廣東側の反對點　粤漢鐵道完成計畫に對し、武漢政治分會主席李宗仁は、工事資金として英國の團匪賠償金を充當せんことを提議したが、廣東鐵道局長馬超俊の計畫に依れば工事資金を得る方としては英國の團匪賠償金・公債發行・株金募集の外はあるまいが、英國の此の資金に頼ることは外交上の關係があり、且つ英國側では廣九鐵道と粤漢鐵道との接續を目的とするから、必然此の條件を要求すべきを以て事情困難なものがあるとて反對を表明して居る。

（以上八月十七日ー同）

廣東に於ける毎月の軍費　裁兵の第一次は臨時編成の軍隊であつたが基本軍たる第四・第五・第十一の各軍に對しては未だ手を附けない。廣東省に於ける毎月の軍費は四百三十六萬餘元を要するが其の内譯は即ち一、第八路總指揮部[illegible]十二萬元　二、第四軍（陳濟棠）三十七萬元　三、第五軍（徐景棠）五十萬元　四、第十一軍（陳銘樞）五十萬元　五、第七軍（黃紹雄駐粤軍隊）三十五萬元　六、第十三軍第二師五七兩團（周濟民）九萬元　七、第十六軍（范石生）十五萬元　八、第三獨立師（許克祥）十三萬元　九、工兵第一團（蕭祖強）五萬六千元　十、警衛團（李如楓）二萬五千元　十一、護士營（王君碩）九千六百元　十二、憲兵隊（呂定國）五千百八十四元　十三、經理處護軍隊（徐守元）二千六百五十四元　十四、工程教導隊（關若珍）一萬五千六百元　十五、軍樂隊（呂定國）一千五百四十六元　十六、衛戍司令部（鄧世增）一萬四千六百五十九元五十仙　十七、長洲要塞司令部（陳慶雲）六千九百二十四元　十八、虎門要塞司令部（潘文治）二萬二千九百五十元五十仙　十九、第一游擊司令部（胡鳳璋）一萬八千八百十二元　二十、東區善後公署（徐景棠）一萬五千元　二十一、北區善後公署（王應楡）一萬五千元　二十二、南區善後公署（陳銘樞）一萬五千元　二十三、西區善後公署（陳濟棠）一萬五千元　二十四、海軍艦隊司令部（陳策）十八萬元　二十五、廉洋水師（鍾繼業）二千七百六元　二十六、瓊州秀英砲臺（范錠棟）一千六百十元　二十七、廣玉砲艦管理員（黃友三）二百六十三元　二十八、中山艦（鄒毓琳）八千五百三十三元二十仙　二十九、黃浦中央軍事政治學校（李濟琛）六萬元　三十、幹部學校籌備處（李楊敬）二十萬元　三十一、航空學校飛行廠（張惠良）二萬三千五百八十九元　三十二、兵器製造廠（張文）十四萬元　三十三、兵器試驗廠（[illegible]）五百[illegible]元　三十四、第一製彈廠（同上）六萬七千九百十三元　三十五、第二製彈廠（顧兆階）五萬六千六百七十五元　三十六、

廣南造船處(杜衍庸)六千五百十八元　三十七、測量局(黄香蕃)一萬九千四十一元三十五仙　三十八、第一教養院(孔憲森)五千九百三十八元五十仙　三十九、第二教養院(李如勉)五千九百八元五十仙　四十、第一病院(李濟汶)一萬二千三百十四元五十仙　四十一、第二病院(霍啓章)一萬二千三百十四元五十仙　四十二、第三病院(李卅圻)一萬二千三百十四元五十仙　四十三、第四病院(黄鐵才)一萬二千八百三十九元五十仙　四十四、傷兵第一治療所(吳景炎)二萬元　四十五、第二治療所(梁國棟)二萬元　四十六、無線電報總局(傅宏)四千八百六元四十仙　四十七、無線電信局(同上)一千七百五十八元　四十八、無線電材料廠(同上)三千八百四十五元　四十九、無線電各局及短波局竝に通信隊一萬一千三百二十九元　五十、軍用電信所(陳少陶)七百八十五元　五十一、軍事政治月刊(張國元)一千六百元　五十二、航空同志會一千五百元　以上の外特別臨時費として二十萬元・各地土匪討伐臨時費十五萬元・各部服裝臨時費二十萬元・軍用品及草鞋臨時費二十三萬元とし、毎月四百三十六萬一千七百二十三元六十五仙を要するが、右の外毎月漢口に(李宗仁に宛て)に二十八萬六千元を送金し、尚ほ北伐臨時補助費として五十萬元を送つて居る。廣東省總收入に對して實に毎月の軍費は十分の七强を占むると云はれてゐる。

加藤洋行の貨物は直ちに返還　對日經濟絶交會では正式に檢查隊を組織して嚴重に日貨の輸入取締權を行ひつゝあるが、八月十七日加藤洋行の輸入品を途中で同檢查隊に抑留された同洋行では直に總領事に稟出で、館員が現場に臨み日本人の所有貨物なることを告げたので、誤解なりしことを陳謝の上現品を返還した。(八月十八日　同)

日貨の檢查嚴重となる　左右兩派の衝突により右傾派の結束を固める見地から政府筋の指令もあつたらしく、日貨檢查に對する種々の辦法を設け檢查隊を督勵して嚴重に檢查を行はせて居るので、現に香港から各地方へ輸入しつゝある商人等は憂惧の色あり。しかし未だ奥地までには檢查隊の活動が行届かないので拔道があり、日貨は輸入されて居る。而して同會本部に勤めて居るものは俸給生活者と同樣、午前九時から午後五時までの勤務で、愛國運動も何もあつたものではなく、只金儲け本位である。(八月二十二日　同)

胡漢民等は香港寄港直に上海へ　廣東各界殊に廣西派の各將領より期待されて居た胡漢民は許崇智と共に佛國郵船アタス號で八月二十八日早朝香港に着いた。出迎の人々と共にランチで上陸し、直に妙高臺の留守宅に入り休憩後歡迎の宴席に臨みたるが、宴了りて多數見送りの下に同船に搭乘上海に赴いた胡漢民の政見としては、五權憲法の實行を主張し、今後は專ら建設を謀るに在る。政治分會は軍事時期に設立されたもので、將來訓政時代に入らば存在の必要は認めない。統一後は全黨の團結を謀るにあつて、汪精衛及其の一派の左傾委員とは別に反感を持つ樣な事はないが、共產黨に對して絶對に相容れないといふにあるが、國民黨の團結を謀るといふ點から蔣介石との妥協に望を繋いでゐる樣に思はれる。(八月二十九日　同)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日貨の登記強制　廣東各界對日經濟絶交委員會は八月三十日に第八回代表大會を開き次の決議をなした。一、日貨登記期間は滿期となつたが再び延期せざること。二、九月一日より二十五日までを登記の強制執行期間とし、此の期限内に於て全市商店の日貨登記を強制執行し、若し期限を通過して登記を行はなかつた商店に對して貨物を沒收すること。三、國貨振興基金納入の手續は變更せず。若し故障ある時は黨部に於て妥當の辦法を定め、第九回代表大會で討議すること。以上の外同會では各團體各工會に對して大要、近來奸商があつて日本帝國主義者と結託して、公然仇貨の取扱をしてゐるといふ報告に接したが、以後日本商店の貨物運輸は拒絶するに決議したるを以て、若し發見した時は仇貨の運搬を以て卽に論ずるの對日經濟絶交は使略に抵抗するためなると共に、救國の見地に立つものなるが、奸商あつて私利を圖るために破壞するものがある。故に嚴重に取締つて仇貨の輸入を杜絶せねば效果を收め難い。以後日本商人の取扱へる貨物の運搬を拒絶して、奸商の誘惑する所となつて重懲を被むることがあつてはならぬといふ通告を發した。（八月三十一日—同）

陳銘樞の粤桂無分觀　廣東人たる陳銘樞は香港で胡漢民を歡迎してから、世間では何かと謠言が流布されて居る。それが爲めか陳銘樞は各界要人間に向つて自分は何派といふ區別を見ない計りでない實際粤派桂派などいふ名詞もあるべき筈にないと斷言して居るが現に八月二十九日には馮祝萬と一緒に香港から李濟琛に打電し直ちに廣東へ歸られよと催促し、李氏が歸廣後を俟ち自身は省垣附近に駐紮せる第十一軍を兩陽に移防させるつもりであるといつて居る程であるが、桂派の將領呂煥炎余漢謀香翰屛などの陳に對する態度は今仍は頗る懷疑的である。（八月三十日—香港電）

旅粤韓人國恥紀念　廣東に於ける在留鮮人百餘名は八月二十九日正午敎育機關處に集合して韓國革命失敗紀念會を催した。彼等は各自悲憤激昂の演説をしては泣きつゝ散會した。後ち自動車にて市中を練歩き、口々に日本帝國主義打倒を叫びて中韓聯合革命のため各界の同情を請ふたと。（八月三十一日—共和報）

廣東裁兵案　香港通信によれば、廣東省では第一期裁兵として三師を停止して毎月三十六萬元を節約し、又省各軍の剿匪費で月額十五萬元を省き更らに省政府支出の北伐費五十萬元と粤省の臨時北伐費補助七十餘萬元合計百五十餘萬元を節費すべしといふ。尚ほ馬省財政長は李主席の承認を經て右月額節費より毎月十萬元乃至十五萬元を利用して全省の道路修善費に充つる由である。（九月六日—上海新聞報）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□英領事の梧州行は何か

廣西省梧洲よりの通信によれば廣東駐在英國領事ビレトン氏は八月三日正午梧洲稅務司威氏を從へ英艦に乘じて入り、交涉署で黃紹雄主席に面會した。黃氏は總司令部交涉員と黃無線電總局長立ち合ひでビ領事と下の談話を試みた。

(ビ氏)自分は北平英公使の委託で會見するものである。中國は今や統一の機運に向つて居ることは喜ばしい。中英商約の改新は兩國民の福祉と利益を增進すると思はれるが、貴省では如何に解して居らるゝや。

(黃氏)本省は一一國府の命令に服して居るため改新中英條約は誠に當を得たものと思はれる。たゞ多少の附帯事項と思はるゝは梧洲に輸入さるゝ奢侈品其性質よりして餘り結構なものでないだけ省當局は銷售地市に送る品に對し附加徵收印花稅を附して省財政の收入をも計つて居る。省としてはこの位の辦法あることを無理であるまいと思ふ。希くは貴公使まで傳達されたい云々。

(ビ氏)梧洲三角咀にある英國領事館は風景もよく建築もよいが、たゞ保管する人なき故荒蕪せんとして居るは惜しい。就ては黃主席に於て保管ありたいと思ふが、單に廣西省政府の收回には須らく合法的手續にあづかりたい。さすれば英國政府に申込む筈である。

尚ほ黃主席はこの領事館の家屋に就ては何等の言明をさけて語らなかつた。英國領事は翌日四日歸粵した。(八月十日—共和報)

□廣西の兵農政策と委員會

廣西省政府建設廳長伍廷颺氏は省内の農礦事業に對し頗る努力を拂ひ居り、今回の裁兵準備として兵農政策を施行することを唱へ、柳慶各縣に於ける土匪を肅淸した後、其の部下たる國民革命軍第十五軍第一師から二團の兵を抽いて荒地三萬畝(支那)を開墾せしめる計畫を立て駐兵の爲めの帳幕と開墾用の農具とを購辦し一團每に二萬元とし、同[illegible]軍司令部に請求指示を仰いだところ、黃紹竑軍長・黃旭初副軍長共に至急進行を主張するので、伍氏は特に八月十七日柳州衛戍司令部で各高級軍官を召集して會議を開き、兵農委員會を組織させ同月二十四日を以て成立期とすることゝなつた。兵農委員會略則は左の如し。

第一條　本會は荒地を開墾し、生產を增加し、軍人生活を改善し、兵農政策を實行するを以て宗旨と爲す。第二條　本會は名を定めて國民革命軍第十五軍第一師團兵農委員會と爲す。第三條　本會は委員十三人を以てこれを組織す。委員中の二人は柳州墾荒局々長及び柳州

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

造兵事務所々長を以て任に充て、其の他の委員は概ね同師團長官より任に充たらしむ。第四條　本會は同師團長主席となる。但し師團長缺席の時は副師團長或は常務主任より代理す。第五條　本會には名譽顧問若干員を設け、師團長より實業專門家或は農林及び礦産上に素より經驗あるものを聘請して之に充任す。第六條　本會々員の產出は師團長より指派し或は聘請す。第七條　本會は常務主任一人・總務部々長一人・礦業部々長一人を設け、師團長より指派充任し、會中一切の常務を處理せしむることを得。第八條　士官兵員の開墾に從事する人數は暫く定めて兩團と爲す。第九條　各士官兵員の占むる所の耕地は暫く定めて十畝（支那畝）と爲し、總地段三萬畝とす。第十條　本會は會員・技術人員及び書記員各若干人を雇用して會務を助理せしむるを得。第十一條　本會の經費は概ね同師團司令部より供給す。但し豫算を擬具し師團長に呈請して核准を經るを要す。第十二條　本會委員は概ね手當を支給せず。但し外に出でて工作に從ふ時は夫馬費を酌給す。第十三條　本略則若し修改を要する時は委員三人の建議により委員會に提出して修改を議するを得。第十四條　本略則は師團長より公布施行す。（八月二十八日—梧州通信）

□浙江地質第一期第一號

行程

本年九月二十七日南下して杭州に至り、二十九日杭州より行を起し、富陽・桐廬・建德・蘭谿・湯溪・龍游の諸邑を過ぎ、而して衢縣に至れり。其富陽・桐廬の沿道一帶は、地質の大部分は已に前に孫朱兩君によりて詳細に調査せられしが、唯富陽濱江の場口と場口より浦江縣に至る間の一部は未だ踏査せられざるを以て、當に補成すべし。此外の各地は昔德儒李氏及東京地學協會派遣員の調査し、共に圖說ありと雖、當時の行程は短日の間に行はれしものにして、詳細に研究する暇無かりき。故に實地の情態とは常に異なる處あり。

地形

此處は浙江省の西部に位し、而して浙江省人は即ち浙東と通稱せり。其地は安徽・江西・福建の三省と接壤し、從來山嶺叢雜の區と稱し、錢塘の諸流其間を流れ、山腹の地なれども、而かも舟楫暢行するを以て交通便利なり。諸山の分布は悉く地勢を視て轉移せり。富陽より蘭谿に至る間は東北—西南向となり、蘭谿より衢縣に至る間の山勢は略折れて東西向をなし、本區域内の山は二支に分れ相共に平行し、高山聳峙し、高きものは一千米以上に達し、其山を成せる岩石は皆斑岩に屬せり。蘭谿より衢縣に至る間に二支衢江を夾んで峙し、蘭谿より以

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

下は江流北支を横截して北を過ぎ建徳に至り、適々北支の中腹に處し、又別に外斜層を起し、斑岩の中部に紫色砂岩頁岩を夾有し、累層せる岩質は柔弱にして侵蝕され易し。故に建徳は北支山脈間の一低地なり。此構造の翅向により、新安江西より來りて會す。北支山脈は之れによりて又二に分れ、一部は新安江を夾みて峙し、一部は建徳下游の桐江兩岸に屏立すれども、唯建徳の下游二十支里の處の烏石灘に至り、二部は又合し、紫色岩層は下に掩はれり。此處に至りて北支に重ねて單純山嶺をなし、下りて東北に趨り、又桐江の截つ所となれり。中經・釣臺等の處は峭壁夾峙し、水流激湍し風景は長江の上游に彷彿せり。桐廬より富陽に至る一段は、江流已に斑岩山嶺を出し、唯地層は卽ち東北・西南向をなし、其間又二疊三疊紀層あり、志留利亞紀層との走向斷層は江身之れを衝り、此地形と地質構造とは、相互關係較や大なり。

杭州より錢塘江を溯行して富陽に至りなば、已に山間に入れども、山勢は尙低く、且つ其形狀は散漫にして、其間の溪谷は殊に廣く、凡そ高峙せる平原と階級地との地形は、甚だ明良ならざるなり。富陽の塲口及塲口に在る入江の■源溪以上より、卽ち夾峙の山嶺は皆平線をなし、河に沿へる山腹は四百米以下なり。水面を距る三十米の間には、大體等距離の階級地三層あり。衢より蘭溪江一帶に至り、江を夾める山嶺は高峰にして、八百米乃至一千米の高さを有し、之れを遙に望みなば亦略一平線をなし、古代午蝕の遺跡は、今に至るも猶存在せり。

此れより下れば、階級形の高卒亦歷々として數ふべきも、但し貫通して一致するを得ざるなり。階級地造成の時は、亦僅かに河流・彎曲・地位を視て適宜に其存否を定むべし。地盤の上昇するに及び、侵蝕之れに隨ひ、久しく沖刷を經れば、漸次湮滅す。零落斷露の處に就きて相共に貫通せんと欲すれば、銳敏なる眼力を有するにあらざれば、正確なる地形圖は容易に作成すること能はざるなり。比較的新しき階級地は平地より約二十五米內外の高さを有せるを以て、江より遙かに望めば蜿蜒として平なる長岡をなせり。此階級地は大部分侵蝕赭色砂岩層より成り、間々上部に赭色及黃色の砂礫あり、之れを階級地の沈積層と名稱す。卽ち山の形態は地形と地盤の漸次昇降せる關係とを證明するものなり。

構造

此度の調査區域は、僅かに浙江の一小部を占むと雖、而かも其構造情態は、中國東部の構造と其軸向相符合し、頗る印證に資せり。此處は無論斑岩以前の造山・地動によりて起れる褶層にして、其軸向は大體東北西南向をなせり。蓋し安徽省內の秦嶺尾閭の淮陽山脈の折向と切合し、亦江蘇東部の構造とも軸向同じく、此れ其趨勢なり。

此部地層の造山時期は、白堊紀の中下期に當り、地動の作用により、斷層は折層と共に行はれ、山となりたる後織きて侵蝕され、平原に近くなりたる時、偉大なる斑岩の流噴ありて、累積の厚さは、約千米內外

に達せるなり。只其山間熔岩の流布は漸時中息せるが如く、而して建德の紫色岩層層を成せり。斑岩の岩となれる後、地盤は復た造山作用を起せども、此期の地動は、僅かに寛博なる摺層を成せるものゝ如く、其褶狀をなせる部は、緊張の力を受けて裂罅を生じ、水流侵蝕して反りて深谷なる構狀の部をなし、迴縮甚だ闊きにより、反りて保存するを得、而して高嶺をなせり。故に此處の山嶺は悉く構層に屬し、嶺の河流は卽ち大部分背斜層谷に屬し、只其後（Erosion）の作用を受けたるにより、横越峻嶺の部あり。

斑岩層の山をなせる時より、動力烈しからざるにより、高低の差幾んど無く、侵蝕之れに随ひ、容易に平原となり、其後地盤の上昇運動累起せるにより、當時の平原に高出を生ぜるなり。此時の平地にして八九百米以上なるものは、唯上昇に依れども、一度に上昇せるにあらずして、中間數處の停頓を經たることは、坂に沿ひて各階級を得たることにより、露地の遺跡を見て之れを知り得べし。

桐廬以北は古生代層の最も廣く露出せる處にして、其構造は甚だ複雜を極め、直ちに江蘇境に達せり。然れども大體に就きて之れを觀れば、亦僅かに斑岩の造成後に起れる一大外斜層なり。而して江蘇境の深水より蘇州に至る間に露出せる斑岩は、僅かに此大外斜層の左翼に隷屬するのみなり。

地層

概説

先に記述せる所は、本區域内の桐廬以上の主要山嶺にして、二支に分れ、共に斑岩より成れり。故に此處の地層は亦斑岩を以て主體となし、水成岩層の露出せるものは、片段に僅かに散在し、重要なる價値無し。露出せる處は、高陽より桐廬一帶に及び、其分布の極めて廣き處は、斑岩區域の北に在り。江の西北岸に在るものは、志留利亞紀層（朱氏の老和山層）にして、東南岸は二疊三疊紀層（朱氏の岩塢裡層）よりなり、二者の間は斷層によりて接觸せり。江は大體斷層線に沿ひて進み、斑岩區域内に至るに及び、水成岩層は南北二支山嶺の間に露出し、建德に在りて露出せる紫色砂岩頁岩層は、北支斑岩内部の夾層となれり。凡そ水成岩の二嶺の間に露出せるものは、均しく江の兩岸にあり。遠近斑岩嶺脚の各層は、共に古生代の志留利亞紀層及上二疊紀層の一部に屬し、古生代地層以上に在るものは、白堊紀末或は第三紀初の赭色岩層の掩覆する所にしし、稍や江流に近き處は、卽ち此赭色岩層は、常に高さ二十餘米の階級地をなし、其上方には極めて疏鬆なる紅色砂岩及黄色礫岩層あり。蓋し階級地の沖積兩岸の情態は、遥かに相對照せり。此れ各地層分布情況の大概なり。

各論

志留利亞紀砂岩及頁岩層　本層の露出せる區は、一の狹長地帶をなし、東北は闌谿縣屬八角井の東西より起り、南は長く衢縣西北鄕の石梁市に延び、長さ約百五十支里あり。北は斑岩より成る高山の覆ふ所となり、南は上二疊紀の岩層と斷層をなして接觸し、或は紅色砂岩層の下に掩はるを以て、露出せる地帶は寛く或は狹く一定せず。加ふるに摺襴過劇なるを以て、傾斜は地によりて一定せず、實に地層順序の研究上甚だ不便なる處なり。之れを大體に就きて言へば、本系の上部は、概して石英質砂岩、礫岩中に紫色頁岩を夾在せるもの及砂岩層にして、礫岩中の石礫は體積偉大なるものを含み、時に長さ尺餘に達するものあり。闌谿の八角井及諸葛鎭に在る傾斜は西北向をなし、龍游の石佛附近に在る層片は、垂直に近く、衢縣の石梁に至るに及び、即ち變じて東南向となれり。凡そ此數處は、其上部は皆斑岩の覆ふ所なるを以て、其層厚は從ひて測定すること能はざるなり。

石英質砂岩及礫岩層の下部は一の黃色頁岩層にして、中に深灰色頁岩を夾雜し、內に筆石を含むこと頗る夥し。龍游縣北鄕の石佛附近に在りて、曾て化石の標本を多種採取せしが、其內 Monograptus 最も多數を占め、尙別に上部の頁岩中に在りて、亦保存の不完全なる Rhipidomella 及 Climacograptus 數種を採取し得たり。本段地層の石佛頁岩は、顯然湖北西部の龍馬頁岩及南京附近の高家邊頁岩に相當し、而かも同じく下志留利亞紀に屬せり。此れより浙江西部一帶は志留利亞紀の頁岩層にして、亦甚だ發達せることを知るべし。上部は石英質砂岩にして、下部は筆石頁岩なれば、一に江蘇の南京一帶の如し。杭州の老和山層は、此處に記述せる石英砂岩及筆石頁岩を包含せるが如きも、彼れは未だ筆石層を發見せざるなり。此れを除くの外、闌谿縣城東の諸山に在りて、亦曾て一の石英質砂岩及黃色と紫色の頁岩層の紅色砂岩層下に露出せるを發見せしが、其岩石の性質に就きて論ずれば、亦本系の岩層に屬せるが如し。

上二疊紀石灰岩及含炭頁岩層　本層の露出せる區は、概して零細なる碎片に屬し、加ふるに岩層は屈曲特に著しきに過ぐるを以て、研究するに適せざるなり。衢江以北に在りては、斑岩の高山角下に其露出の地約三處あり、一は闌谿縣屬の八角井及諸葛縣にして、一は龍游縣屬の石佛寺なり。凡そ此三處は、皆北は志留利亞紀岩層と斷層をなして接觸し、南は即ち皆紅色岩層の下に覆はれり。八角井に在りては只黃色頁岩露出し、內に薄炭層一を夾在せり。從前或人土法を用ひて採掘せることありしが、現在は已に停止せり。諸葛鎭及石佛に在りては、共に薄層の石灰岩露出せり。概して背斜式をなせる孤山聳立し、僅かに此一部に就きて觀察すれば、即ち上部は黃色頁岩內に砂質層及不規則なる炭層を夾在するものにして、八角井に露出せるものは、即ち本層に屬するが如し。中部は薄層狀の石灰岩にして、下部は灰質板狀頁岩及砂岩の互層なり。間々亦炭層及石灰岩の層を含めども、片薄く且つ明にして、質頗る不純なれば、土人は多く石灰を燒くに用ふるなり。板狀頁岩內には、極めて頭足類の化石存在すべき可能性あるも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の如きも、但し屢々捜索すれども、未だ得る所無し。其岩層の性質に就きて論ずれば、本區の岩層は湖北省の二疊石灰と少しも異なる所無く、只當時海水の浸入比較的多かりしにより、石灰岩比較的少く、而して頁岩は反りて多きに過ぎざるなり。[illegible]は本區部地層特色の化石なれども、惜むらくは未だ發見せられざることなり　本層露出の比較的整齊なる處に在り、更らに捜索しなば、發見の可能性あるべし。

此れを除くの外、開化縣城東北の元吾嶺以南に在りて、斑岩高山の脚下に於いて、亦甞て少しく石灰岩の露出せるを發見したり。其位置は、亦極めて本系に屬せるもの々如しと雖、但し同質なりや否やは、尚他日に俟つべきなり。衢縣[illegible]の下石埠に在りて、亦本區の含灰岩層の石英斑岩及紅色岩層の下に露出せるを發見せしが、露出せる面積は頗る狹く、其寛さ三百米に過ぎず、延長は略東西偏南を成し、岩石は白色石英砂岩黄色砂質頁岩及頁岩を主と爲し、內に炭層を夾在し、一傾斜方向は、南三十五度、又は下石埠の東に在りて、北一帶に偏し、更らに同層の礫石・石灰岩の土壤の下層に埋沒せるを發見せしが、其方向は不明なり。其岩石の性質は、本層の上二疊紀系岩層と多少異なるが如きも、其代表的の一層系に在りては、抑も即ち上二疊紀系の下部に屬せるものの如く、江山縣境を調査する時に在りなば、之れを解決するに難からざるべし。

紅色岩層　本層の分布區は、一の狹長なる地盤を形成し、南北に共に斑岩にして高山を繞し、而して衢江の其中を蜿蜒して作成せる地形は、概して皆低山なり。此江に沿ふ兩岸の田畑は、葱山蕃雜の浙江省西部に望まれ、素より富饒と稱すべきなり。紅色岩層の底部は、一の厚き其低礫岩層にして、其中の石礫は、皆近區の比較的古き岩層內の岩石より成れるなり。故に其種類は、地によりて異なり、例へば諸葛鎭石佛一帶に於けるが如き、紅色岩層の北には、志留利亞紀石英砂岩上二疊紀石灰岩及斑岩あり、故に石礫も亦概して砂岩石灰及斑岩よりなれり　又湯溪[illegible]南境に在る紅色岩層の如きは、直接斑岩の上を覆ふ、故に其底礫岩中の石礫は、亦皆斑岩より成れり。凡そ此種は、共に當時水の兩岸の高山より下瀉して盆地に注入することは、一に現在なるが如く代表するなり。其底礫岩層の上は、即ち概して紫色軟岩にして、岩石の性質は一に他省のものと同樣なり。凡そ盆地の邊緣に在る高山は、山麓の礫岩は概して皆盆地の中心に向ひ一傾斜し、傾角は常に二十度を過ぐるものあれども、盆地の中心に在りては、即ち砂岩層の種々なる小摺曲層の存するにより、傾斜走向は、地によりて變更せられ、衢縣[illegible]の附近に在りては、江に沿ふ處は、傾度竟に六十五度に達せり。本層系の時代に至りては、他省のものと同時なるか或は第三紀なるかなりと云ふ。

礫岩層　本層は此處に露出せるを以て此名を得たり　昔日或人の浙江省の地質を調査せる時、誤りて之れを紅色岩層に屬せしめしが、實は即ち本層は後者と異なれるなり。本層の分布は、略圓形をなし、四

間は皆斑岩の下に覆はれ、殿東閩江の北岸に整合の接觸をなし、更らに斑岩の本層下に露出するを見るなり。此種々なる點より之れを觀れば、顯然本系は一大山岩層にして、内に夾在する水成層岩石の種類は紫色砂岩及砂質頁岩を以て主と爲し、間々灰色砂岩及粗礫岩層を夾在し、紫色頁岩の中には、更らに常に扁豆狀の灰質凝結塊を夾在せり。本系の作成せられたる時期に至りては、當然斑岩と同時なり。

火成岩類

石英斑岩　此次旅程に於いて通過せる所は、斑岩其大部分を占め、一支は寧陽村歷以南より西南行して雞徳を過ぎ、直ちに福清衛縣の北境に達し、一支は閩縣の東部より長く湯溪龍游衛縣の南境に延べり。新鮮なる時は其色黑暗色なれでも、風化作用を受けたる後は、概して粉紅色を呈し、石英及長石の偉晶は、頗る完整せり。底部を距る稍遠き處に在る石英及長石の斑晶は、頗る偉大にして、甚だ長きものは一糎以上に達するものあり。水成岩と接觸せる處は、卽ち斑晶概して皆小さく、並びに黑雲母を含むこと甚だ多し。場口の青山頭に在りては、稍や斑岩に近く、底部は古生代層と接觸せる處に礫岩の一薄層あり。此上は卽ち紫綠色凝灰岩の薄層にして、其上の綠色流紋岩内に在りては、杏仁狀の顆粒を含むこと甚だ多し。此岩の噴出せる時は、白堊紀の中期なるべく、而して大江南北の斑岩と同しく一系に隷屬するものなり。

鑛産

本期の調査範圍内には、重要なる鑛産無く、閩縣より衛縣に至る間、南北二支の斑岩山麓に沿ひて斷續せる二疊紀層の露出あり。北支は南属の八角井竝諸葛鎭より常屬の石佛鎭一帶に至り、均しく石炭坑あれども、其炭質は極めて劣等にして、炭は較や重き黑色頁岩と分たるものなれば、僅かに石灰を燒くに供せらるに過ぎざるなり。開掘せる處は、皆灰窯に歸りし、且つ均しく灰窯しきを以て炭と稱せざるなり。南支は僅かに衛南の下石埠に坑口一處あるのみにして、此部の炭系は大幡江山と遙り、炭質は稍や佳良なれば、紫焼坑口産に屬するものは、家庭用に供し得れども、下石埠産のものは、亦僅かに石灰燒に供し得るのみなり。

北支斑岩系中安知堺尼及佛石を産し、其分布も稍や廣きも、只本期の調査區域を距ること稍や遠きにより、明春南部の調査に赴くを俟ち、更に調査すべし。（實業公報民國十六年十月號）

土地法の改正

（七・二四　比律賓ヘラルド要譯）

比律賓會社法により設立せらるゝ會社への土地讓與制限を從來千二十四ヘクターであつたものを五千ヘクターにしよふといふ、土地法案の改正が総督により二、三の政黨領袖連に建議された。又本案は制限を寛大にする外に會社への租借期限滿了後（五十年を超ゆる事を得ず）の土地處分の方法として小作人の所有に歸すべしと規定するのであつて、本案により外資の利用による比人の發展を目論んだのである。

然し領袖連は本案に反對して居るものが多い模樣で其の重なるものはクラリン、オシアス、キリーノ氏等である。

ベロー案の上提

（七月二十五日　比律賓ヘラルド）

総督技術顧問給料の支拂に當てらるべき年二五〇、〇〇〇比の豫算案が上院議員ホセ・ベロ氏により昨日上院に提出された。本案に規定せらるゝ金額は比島國庫より支拂はるべきものであつて、其の行使は総督の意志に全然委されてある。

昨日オスメニヤ氏はベロ案を批判して曰く、彼は本案に賛意を有するものにして、本議會開會中立法府の通過を信じて疑はざるものであると。又「我々は総督の政府監督權を是認し及総督が本島に於ける彼の事務遂行上に此の方法を與へらるべきものなりと信ずる。」又オスメニヤ氏は昨年ウイリス氏によりウイリス・キーエス案として本案が米國議會に提出されし際に議會が通過を計らざりし理由は、総督によつて必要とせらるゝ此の金が比島立法府によつて協賛されるであらう事を豫期してゐたのであると指摘して居る。

上院に於ける輿論は総督顧問に對する二五〇、〇〇〇比の豫算案を支持するのである。上院議員ローレル・キリーノ・オシアス・シソン及其の彼等が同案を支持する旨發表したのであり、オシアス及シソン氏によつて課せらるゝ條件は、総督によつて使用せらるゝ新顧問が非立案ものであつてはならぬ事である。キリーノ氏も本案は本島議會を通過すべきであつて、以て米國議會に於けるウイリス・キーエス案の通過を無意味ならしめ及比律賓立法府權力の剥奪及惡例確立を防せねばならぬのであると云つて居る。ローレル氏は理論に於て総督當に事務を遂行するためには補助となるべきものが必要なりと信と云つて居る。斯の如き理論を誤るに次で彼は、其の事務を適當にせしむるに必要なる助力を総督が拒否しないであらう事が望ましいと彼は断言したのである。

ベロ案のは次の如くである。

「年額二、〇〇〇比の豫算は本法により島内國庫より支出せらるゝものにし総督或は総督の勸告により陸軍大臣が常時或は臨時に雇傭し或はせしめたる技術者或は文官顧問の給料、旅費及其他

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

の支拂以外には充當せられざるものとす。傳染病、災害或は其他の緊急の際には、本金額は總督により、必要とせらるゝ者の給料、旅費及其他の支拂に當てらるゝと共に其の判斷にて必要と思はるゝ其他の性質の斯の如き支拂に當てらるゝものとす。」（七月二十五日　馬尼刺ブレテイン參照）

本案は國民黨の支持を受け居りたるために比島議會の承認する所となり總督の署名を得て法律として認めらるゝに至つた。

一九二九年度比島豫算案に對する總督のメセージ

（七月二十七日　馬尼刺ブレテイン）

議員諸君

組織法の規定する所に從つて、余は茲に一九二九年豫算案を提出する光榮を有す。其の概約は次の如くである。

收入豫算　七八、六七二、八四〇比
支出豫算　七五、五二〇、八五二比
差　引　三、一五一、九八八比

本豫算編成に際しては緊縮方針を以てせり。各局の要求による八三七六、六一七比の新規豫算は一、九四四、二一六比に減額されたる。支出に於ける減額により及ぼされたる結果によつて見るに、此の一、九四四、二一六比は更に五四一、一三七比に迄減額し得るのである。然し此の僅少な純増加は絶對に必要なるものであつて、健康及衞生に關する法規關法の施用、土地及ホームステッドの調査及郵便、警察、教育、林及農業の伸張のため必要なる費用である。

他方歳入一九二九年の其に於ては一九二八年の改訂歳入七九、一六一、〇比に比し約五十萬比の減少を示した。故に余は本説明に於て立各員の注意を喚起したいのは、政府歳出が年々増加の趨勢を辿るに拘らず、歳入は一定し或は減退をも見んとして居る事實であ又茲に一層諸賢の注意を促したい點は本年度の歳入豫算七八、二、　八四〇比が國立銀行定期預金の拂戻しより成る事である。格の意味で之れは歳入と見做す事は出來ないと思ふ。

余は二九年度の豫算面に幾何の剩餘金が表はるゝにせよ之を經常の支出に充當するは適當ならずと思ふのである。（下略）

參考のため一九二九年度豫算案及其の前年及前々年度の實行豫算の比較を示めせば次の如くである。

比較表（單位ー比）

	一九二九年要求せられたる	一九二八年概算による	一九二七年實行せられたる
歳入	七八、六七二、八四〇・〇〇	七九、一六一、〇六〇・〇〇	七七、七三八、一一四・三三
徵税收入	五七、七五一、六六〇・〇〇	五七、八六一、五一〇・〇〇	五八、四三一、五四九・四一
臨時收入	四、六三七、八七〇・〇〇	五、一〇六、九八〇・〇〇	五、〇七〇、五三七・六〇
官業收入	一六、二八三、三一〇・〇〇	一六、一九二、五七〇・〇〇	一四、二三六、〇二七・三二

歳出			
上院	七二四、五五〇・〇〇	七二四、五五〇・〇〇	六七九、二八三・九八
下院	一、二九〇、二七〇・〇〇	一、二八五、八二〇・〇〇	一、二〇八、五二二・九四
駐米委員	一三一、二三五・〇〇	一三一、二三五・〇〇	一三一、二三五・〇〇
總督	一、二〇一、八三六・〇〇	一、一八六、八六三・〇〇	一、一七二、六三一・三三
高等法院	三三〇、六三一・〇〇	二七一、九九七・〇〇	二六〇、六四七・三五
總督直轄	八〇四、九八〇・〇〇	七六八、八四〇・〇〇	七三六、六〇六・八一
内務部	八、一八五、五〇六・〇〇	八、〇七四、〇八八・〇〇	七、九一二、七〇四・六〇
教育部	二一、〇六三、一〇一・〇〇	二一、〇七六、五〇七・〇〇	二〇、一三八、三九一・九九
財務部	四、〇八七、四七二・〇〇	三、八七六、九七五・〇〇	三、九〇八、七三三・四〇
司法部	四、二五五、九八九・〇〇	四、一二九、四四三・七九	四、三三、六九〇・六八
農務富源部	四、八一四、七〇九・〇〇	四、五三九、九七九・〇〇	四、六五五、七六四・七四
商務交通部	七、八九九、四〇三・〇〇	七、八五五、六六八・〇〇	七、八一五、三九九・六六
比律賓大學	一、八〇〇、〇〇〇・〇〇	一、八〇〇、〇〇〇・〇〇	一、八〇〇、〇〇〇・〇〇
公債	九、八五七、二八〇・〇〇	九、六五七、〇四一・〇〇	九、八六六、〇七一・七一
臨時費	二、二〇〇、〇〇〇・〇〇	二、二〇〇、〇〇〇・〇〇	一、九五三、〇三一・八〇
投資	七二〇、〇〇〇・〇〇	七二〇、〇〇〇・〇〇	八八七、二三九・四〇
公共資金	八、二六三、〇〇〇・〇〇	八、八二〇、〇〇〇・〇〇	九、〇〇三、四三四・六〇
歳入超過		四、一八八、五六四・二一	三、三八一、八四七・〇〇
一九二八年一月一日剰餘金		七、三二〇、四五四・五〇	三三、二〇九、七一九・九九
一九二七年十二月三十一日剰餘金		一一、五〇九、〇一八・七一	三五、五九一、五六六・六九

内閣員任命

（八・一五　馬尼剌プレテイン）

今後三年間比島の主腦者となり活動すべき各部の長官は任命せられた。其部名及氏名を擧ぐれば次の如くである。

内務部　ホノリオ・ベンテラ
教育部　ギルモア副總督
財政部　ミギエル・ウンソン
司法部　ホセ・アバッド・サントス
商務交通部　フイルモン・ペレス
農務及天然富源部　ラフアエル・アルナン

因に之迄の長官はウッド、ケッソンの確執以來全部（教育部を除く）代理であり、今度スティムソン總督の協調主義成就してか遂に之等の任命を見るに至つたものである。

國務會議の再興

（八・三一　馬尼剌プレテイン）

一九二三年七月以來廢止に等しかりし國務會議（Council of State）は去る八月三十日總督令により復活せらるに至つた。之に就て多數黨は多少の異論なき能はざるも大體に於て賛成し、總督協調主義の表現として大體に於て是認して居る。然し一方少數黨は一片の總督令の如きものを以て再起せられたる同會に法的人格なしと見て居る。今之の目的及組織に就ては右總督令を見れば明である。卽ち

佛領印度支那

□印度支那時報

「馬尼剌　一九二八年八月三十日
茲に總督が随時當面する公共政策に就て總督の諮問に應ぜしむるため國務會議を創設する。總督は同會議の議長にして、議員は總督の随時任命し召集するが如き者より成る。今後總督により特別なる命令なき限り、上下院議長、上下院多數黨院内總務及六部各長官より成る
ヘンリー・エル・スティムソン」

之によれば組織上に於ては舊時のものとは大差がないが、即ち上、下多數黨院内總務二名が加入したのみであるが、全然總督の諮問機關となつた事である。從來は之の決議が法的拘束力を有して居たため、總督對比人領袖連の物議を醸したのであるが今度は特に此の點に考慮が拂はれたものと思はれる。

又之の總督令と共に發表された聲明書に依ればスティムソン總督が就任以來對議會協調主義の四施設の一なる事が書かれてある。其の施設とは次の如きものである。

一、ベロー文官顧問案
二、閣員の任命
三、閣員に議會に於ける發言權及應答義務を與へたる事
四、國務會議の創設

比島會社法の變更

（九・六　馬尼剌ブレティン）

議會への報告書に於て既述せるが如く、作成中であつた米比辯護士協會のレコメンデイションは其委員連により總督へ手交され、總督は更に議會に廻附した。

其書中に含まれ居る要點を採摘すれば次の如し。

一、米國法の輸入
二、時勢に應ずる樣改正する必要

又同會に於ては問題となる箇條を改正せる草案を直ちに提出する豫定になつて居るといふ。

太田興業株式會社の增資

（九・一一　馬尼剌ブレティン）

南方ミンダナオ島ダヴアオに於ける太田興業株式會社は今般業務の擴張を計る爲め五十萬比の資本を二百萬比と增加するに決し、九月十日商工局に其旨を屆出たのである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

印度支那新總督の任命

本年二月前總督アレキサンドル・ヴアレーンヌ氏辭表を提出して聽許を得、爾來總務長官モンギユイヨー氏代理總督に任ぜられて今日に至つたが、今回愈々前安南理事官長パスキエー氏の總督新任を見茲に一段落を告ぐるに至つた。

後任總督の容易に決せざりし理由は、時恰も下院總選擧を目前に控へ急遽新總督を選任することは内閣の基礎未だ安固ならざる政府の立場として不利なる所あり、旁以て總選擧後政情の安定を俟つて決行するも遲からずとせる政府の方針に基くもので、今回パスキエー氏の新任は植民地總督は植民地官吏より選任するを原則とすとの規定に準據せるもので、歴代總督に多くの除外例を殘した議員兼任の型を破つた現政府の英斷と見るべきである。

新總督の任命に先立ち屢々下馬評に上つた主なる人々は總務長官モンギユイヨー、東京理事官長ロビン及前安南理事官長パスキエーの三氏で、内官歴上榮顯の位置にあるモンギユイヨー氏の呼聲最も高く氏も亦ひそかに後任總督の位置を期待しつゝあつた模樣であるが、八月上旬形勢自己に非なるを察知し突如健康を理由として本國に向け任地を退去するに至つた。氏は多分總務長官の現職を辭すべく後任は東京理事官ロビン氏なるべし。

新總督の閲歴

新總督パスキエー氏は年齡五十二、植民學校出身で一八九八年東京州書記官補を振出しに、交趾支那官房長印度支那總督府官房長に歴任し一九一四年植民省官房次長として本國に轉補するまで、前後十六年間印度支那に在任し、越えて一九二四年より一九二六年まで安南理事官長に就任、後ち待命となつて今日に至つた純植民地出身の官吏である。

印度支那總督政治の主腦部は全部二十六年以上植民地在官者を以て網羅せらる

待命植民地理事官長パスキエー氏が印度支那總督に新任せられた事は前號所報の如くであるが、氏の任命は一般に任地の言識界に好感を以て迎へられて居る。その理由を綜合すると新總督を黨人以外純植民地官吏より選任した點で、從來總督の選任は兎角黨人に偏した傾向（一九一七年以降四代の總督中議員兼職者三名なり）があるが、總督が議員を兼職とするが爲屢々且つ長期に亘つて賜暇歸國を餘儀なくせらるゝ遺憾あり、卽ち植民地統治上充分の實績を擧げんとせば是非共任地の内外に亘り深き經驗と知識とを有する專任總督の手腕に俟たざるべからず、而して新總督は此の點に於て吾人の希望に合致するものなりと述べてゐる。

試みに印度支那各州長官の官歴を調べて見ると總督以下いづれも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二十六年乃至三十三年の長期間植民地統治の實務に當つた經歴を有する植民地官圏所屬の官吏のみで茲に印度支那總督政治の主腦部は等しく十二分の經驗者を以て網羅せられた次第である。

（左表參照）

官氏名	出身學校	印度支那任官年月
總督パスキエー	植民學校	一八九八年一一月
交趾支那副總督ブロッス	大學	一九〇二年一月
安南理事官長フリエー	植民學校	一八九八年一一月
東京同　ロビン	大學	一九〇〇年三月
ラオス同　ボスク	植民學校	一八九五年一〇月
東埔寨同ル・フオル	大學	一八九九年一一月

□一九二六年の印度支那鑛業（三）

第三章　金屬鑛物

第一節　金屬市場の概況

一九二六年に於ける銅、鉛、亞鉛、アンチモニー、銀及白金等の年平均相場は一様に低落してゐる。が中錫及水銀のみ騰つてゐる。

次表は印度支那に關係のある諸金屬の各年平均相場を表したものである。一九一三年の相場を各一〇〇と見て計算した。

年次	亞鉛（倫敦）	錫（倫敦）	鉛（倫敦）	アンチモニー（紐育）	銀（紐育）
一九二四年	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
一九一三年	一四八	一三三	一八三	一四四	一一一
一九二五年	一六〇	一三九	一九四	二三三	一二五
一九二六年	一四九	一四四	一六五	二二三	一〇三

第二節　印度支那に於ける各種金屬鑛業の概況

次表は一九二六年印度支那に於ける主要金屬鑛業會社及其他の生産高及輸出高を擧げ、前年と對比したるものである。

各會社名	工場名	製品含有率	生產高 一九二六年 數量（噸）	生產高 一九二六年 數量（噸）	生產高 一九二六年 概算價格 千ピアストル	生產高 一九二六年 概算價格 千法	一九二五年 數量（噸）	一九二六年 數量（噸）	一九二六年 概算價格 千ピアストル	一九二六年 概算價格 千法

印度支那鑛業及沿金會社	Quang-Yen	金屬亞鉛六八・六%	一、一五八	一、八五八・三	五三三・四	八、八九二	九〇七	一、四八四・三	四一七	七、〇九八
		金屬鉛	一	一・二						
東京錫及ウォルフラム採鑛會社	Ta-Sa (Cao bang)	金屬錫九九・九%	二五七、六四五	二六二、五三四			三六三、五〇七	二四五、〇五〇		
		同　九九・五%	七〇、六四三	七〇、三三三			七一、五三〇	四二、二八五		
金屬錫計			三二七、六八八	三三二、八五七	八四六・四	一四、四〇六	三三四、〇三七	二八七、三三五	七三〇・六	三、四三六
東京新燐酸鑛會社	Hali (Haiphong)	粉末燐酸鑛 PO 三〇%	一四、四七四	一六、七三〇	四一八	七、一〇六	四三	一	一	一
印度支那黑鉛會社	Laokay	黑鉛八三%	三一	八一四・五	一五七・一	二、六七〇	三一	七〇〇	一三七	二、三三四
合計			一	一	一、九四三・九	三三、〇七四	一	一	一、二八四・六	一二、八六八

註　計算した價格は歐洲に於ける金屬價格より割出し、ピアストル貨に直したもので、海防より歐洲への運賃は控除してある。卽ちその運賃は

亞鉛　二八一ピアストル
鉛　二五四
錫　二、二五三

燐酸鑛の價格は、海防に於ける粉末燐酸鑛噸當り二五ピアストルを基礎として計算した。黑鉛の價格は、海防に於ける黑鉛噸當り一九三ピアストルを基礎として計算した。

第三節　一九二六年に於ける印度支那各鑛山の成績

イ、亞鉛及鉛鑛

東京の部

トュエン、カン鑛區

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

鑛山名	所有者名 採掘者名	鑛物の平均含有率	生産高 一九二五年 數量(噸)	生産高 一九二六年 數量(噸)	生産高 一九二六年 概算價格	生産高 一九二六年 概算價格 千法	輸出高 一九二五年 數量(噸)	輸出高 一九二六年 數量(噸)	輸出高 一九二六年 概算價格	輸出高 一九二六年 概算價格 千法	含有金屬量 一九二六年 生産高	含有金屬量 一九二六年 輸出高	使用人數 勞働者 歐人	使用人數 勞働者 坑外	使用人數 勞働者 坑内
Taruda	Sté des mines de Trang-Da	カラミン 二四—四七%	一七、七〇八	一六、二三四	八四一・七	一四、二三五	一六、二九〇	一六、三九八	八〇九・四	一三、七七六	亞鉛 五、四二〇噸	亞鉛 四、八四六噸	一三	三五九	八九二
		方鉛鑛 五〇% 鉛	四一	一八				二五			鉛 二三噸	鉛 一〇噸			
		硫化方亞鉛鑛 三三%	五四四	三七				五四四							
Bac-Nhung	Sté des Mines de Trang-Da / M.M. Perrin Frères	カラミン 五〇%		二七四											
		方亞鉛鑛 五〇%	採鑛中	六七											
		方鉛鑛 五〇%		八											
Kem	Sté Minitère de Yên-Linh	カラミン 三五—四五%	二、三四九	三、二七二	二二三・四	三、六一五	三、三八九	二、六八〇	一八七・七	三、一九四	亞鉛 一、三三四(噸)	亞鉛 一、一〇一(噸)	五	一六二	三〇六
		白鉛鑛 四五% 鉛	四六	二〇				九四			鉛 三(噸)	鉛 三四(噸)			
		方亞鉛鑛 三五—四五%	一三	一六三				二八							
Con-Rong		方鉛鑛 五〇% 鉛						三五							
		カラミン 四〇%		一三四											
		混合鑛					一三四								

ニヤンソン鑛區 (Ngân-Son) (Bac-Kan)															
Teck II	M. Cordier Sté des Mines de Trang-Da	混合鑛 鉛二〇% 亞鉛一〇% 銀二基瓦	探鑛中	一〇〇	五・八	九八					鉛 二〇 亞鉛一〇 銀二〇〇基瓦		二		六六
ショディエン礦區															
Rubis	Compagnie Minière et Métallurgique de l' Indochine	方亞鉛礦 五二%亞鉛	一〇五	二四			一三八				亞鉛 一七、五五九(噸)	亞鉛 一六、〇九九(噸)	二六	二、一〇八	一、四七三
		カラミン 三三-三五%亞鉛	二八、二四一	三九、四二九	二四九三・六	四二、四四一	一七、六〇〇	三六、五四六	二、六〇〇・〇	四四、二五二					
		方鉛礦 六五%鉛	一〇八				一〇・八				鉛 八(噸)				
ショ・ドン鑛區 (Cho-Don) (Bac-Kan)															
Séverin S.é Antoine	Société des Mines de Cho-Dôn	カラミン 四〇%亞鉛	二〇〇	三〇〇	一五・三	二六〇					亞鉛 二二〇(噸)		四	四六	五九
ヴアン・ロン鑛區 (Van-Lang) (Thai-Nguyên)															
Marta	S.é des Mines de Cho-Dôn			四〇	二・三	三九					亞鉛 一六		一		一〇
ラン・ヒ礦區 (Lang-Hit) (Thai-Nguyèn)															

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Métis Sté industrielle de Charbonnages et de Mines Métalliques	方亞鉛鑛（四〇%亞鉛）		三							鉛 三七（噸）	鉛 三四（噸）			
	方亞鉛鑛（亞鉛一八%）	三、四七一	一、八〇八	四・一	三、四〇〇	一、八六六	一、八〇〇	一、三八三	三、三五五			七	一四	三九
	カラミン（四二%）	一、〇六五	八〇											
	方鉛五五%鉛 五鑛									亞鉛 九六（噸）	亞鉛 一七〇（噸）			
トユレ・鑛區（Tu-lé） Sté Radegonde M. Le Roy / M. J. Le Roy	方鉛鑛（五五%鉛 六〇基瓦銀）		三〇	六	一〇二					鉛 一七 銀 一八〇基瓦		一	三	八
安南の部 ホアン・メイ鑛區（Hoang-Mai） Spéranga Sté Civile de recherches et d'exploitation Minière	白鉛鑛（四〇%鉛 銀〇・五基瓦）	七〇												
亞鉛及鉛鑛合計	カラミン	四九、六三六	五九、六四四			四七、四一七	五五、六二四			亞鉛 二三、〇三三（噸）	亞鉛 二三、七六（噸）			
	方亞鉛鑛	三、二三三	二、一八九	三、七一八・一	六三、二八〇	二、五七八	二、一三六	三、七三五・四	六三、五七七	鉛 三九〇 〃	鉛 四〇八 〃	三九	二、六九二	二、九三二
	方鉛鑛	四二	八六			七〇	四八			銀 三八〇（基瓦）				
	白鉛鑛	一六	三〇			一								
	混合鑛	一	一〇〇			一三四	九四							

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ロ、錫及タングステン鑛

東京の部　ピア・カ鑛區（Pia-Quac）（Cao-Bang）

Camille	Sté des Étains et Wolfram du Tonkin	ウォルフラム 六七% WO₃	(噸) 四六·二一九	(噸) 六·二一九	七九七·三五一	一三·五七〇	七〇	六〇	三八·七	六五八	ウォルフラム 三九·〇四 (噸)	ウォルフラム 四〇·三〇 (噸)	三	五一七
Sté Alexandre	〃	錫石 六八% 錫	(噸) 五四·八九五	(噸) 五四·八五一	〃	〃	〃	〃	〃	〃	錫 三·三六五·四 (噸)		〃	〃
Sté Adèle	〃	錫石 六八% 錫	(噸) 四七·九[illegible]	(噸) 四四七·三四三	〃	〃	〃	〃	〃	〃			〃	〃
	〃	ウォルフラム 六七% WO₃	六·二一	(噸) 九·五三三	〃	〃	〃	〃	〃	〃			〃	〃
Reansite	Sté des Mines d'étain du Haut-Tonkin	混合鑛 三三% [illegible]	(噸) 三五·二〇〇	(噸) 一三·七〇〇	一八六·一	三〇九	一〇〇	一〇〇	一六八·一	二八六一	錫 六〇·〇六 (噸) ウォルフラム 六〇·一六 (噸)	錫 五三·八〇 (噸) ウォルフラム 五三·八〇 (噸)	三	三〇四
Ariane	〃	混合鑛 三三% [illegible]	(噸) 三一·五〇〇	(噸) 三五·七三〇	〃	〃	〃	〃	〃	〃			〃	〃
Mari	〃			二四·五七〇	〃	〃	〃	〃	〃	〃			〃	〃
Robert	Sté des études et Wolframs du Pia-Quac-Tat	混合鑛 三五 [illegible]			〃	〃	〃	〃	〃	〃			〃	〃
Minos	〃	〃	一三·〇〇〇		〃	〃	〃	〃	〃	〃			〃	〃
Man-Mne	〃	混合鑛 三% 錫			〃	〃	〃	〃	〃	〃			〃	〃

老檛の部　パ・ハンプン鑛區（Pak-Hin-um）

Solange	Sté d'ét des étains et Minières en Indochine	錫石 六〇% 錫	(噸) 三一三	三三〇	四三八	七·四五四	三三五	三三〇	四五四	七七七	錫 一九八·二〇 (噸)	錫 一九八·四〇 (噸)	一三	二六九	三〇〇
Lux	M. Louis Dubust	錫石 五五% 錫		一五	一八	三〇六					八·五五		二	一五	二〇

錫及タングステン鑛合計		錫石	(噸) 八〇五・八三九	(噸) 八二九・九一三			(噸) 三三	三三			錫 六〇三 (噸)	錫 二五一 (噸)			
		混合鑛	(噸) 一八〇・〇〇〇	(噸) 一八二・〇〇〇	1'四三五・四	二四・四二九	(同) 一六〇	一六〇	六六〇・八	一一'二四六	ウオルフラム 九九 (噸)	ウオルフラム 九三 (噸)	三一	1'一〇五	1'一九四
		ウオルフラム	(噸) 七四・九三〇	(噸) 五八・二七六			(同) 七〇	六〇							
ハ、燐酸礦															
東京の部 タン・モア鑛區 (Tian-Moi) (ang-Son)															
Bui-Huy-Tuân Philippe Larndieu Arthur Blance	Sté Nouvelle des Phosphates du Tonkin	Phosphate tricalcium 四〇% 無水燐酸 二〇%	1'二七四	一〇'〇六五									七	二〇六	二三三
フイ・リエ鑛區 (Phi-Liêt)															
Tu-Lac				一四一	七二・五	1'三三四									
安南の部タン・ホア鑛區 (Thanh-Hoa)															
Poincaré III Yser III			1'四九六二	一〇五											100
ドン・マイ鑛區 (Dông-Mai) (Nghê-An)															
Nenuphar	M. A. Dulcé	P^2O^5 二〇%		四	二	三四								一	四

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

燐酸鑛合計	粗燐酸鹽	三〇、三三六	四、九二二	七四・五	一、三六七						七	二三七	三三七
二、黒鉛													
東京 老會鑛區 Nam-si Sté Indochinoise des Graphites	黒鉛 八二%	三二一	八、二四五	一五〇・四	二、三五九	三二一	七〇〇	一二七・五	二、三四〇			五	一八九	八六
ホ、寶石													
東埔寨 ファイ・ラン鑛區 (Phai-Lin) (Battambang) 土人に依て採掘さる（緬甸人苦力を使用）	寶玉	五二四〇	三、三三七	二七・六	四七〇							二三三	
總計				五、四〇六	九二、〇〇六	—	—	四、五三七	七七、一六五	—	—	一〇三	四、四九九	四、五四九

附記、一九二六年のピアストル平均相場は一七法〇二である。又生產されたる鑛物の數量及その含有率は、各鑛業會社によつて作成せられた數字である。生產高及輸出高の概算價格は、世界市場の實際價格を基礎として計算したもので、生產地或は積荷港より歐洲市場への運賃は控除されてゐる。

又鑛物の價格は、金屬の成分に據り正確に計算したるも、場合により熔鑛費銀を含んだものもあることは、讀者に於て諒されたい。

次に本表に於ける各種鑛物價格の算出方法の詳細を記す。

イ、亞鉛及鉛鑛　本表に適用された亞鉛及鉛鑛の基礎價格は、歐洲に於ける各地自由港に上陸される鑛物の價格にして、これは Echo des Mines et de la Métallurgie 紙に發表された價格である。而してそれをピアストルに換算したものである。即ち歐洲に於ける金屬の本位價格は次の通りに計算されたのである。

カラミン	四〇%	噸當り	八〇・〇〇ピアストル
方亞鉛鑛	四五%	同	七二・四五同
方鉛鑛	五〇%	同	九七・〇〇同

次に之れより海防に於ける同成分の鑛物一噸當りの價格は、海防港よりの運送賃と前揭の數字より控除すれば得らるゝ譯である。即ち亞鉛及鉛鑛の歐洲迄の運賃は、噸當り一四ピアストルなるが故、更に之より海防に於ける各金屬の本位價格を知ることが出來る。即ち次の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

通りである。

カラミン	…………	$\frac{80\$00-14\$}{40}=\$65$	亞鉛
方亞鉛鑛	…………	$\frac{72\$45-14\$}{45}=1\$30$ ……	同
方鉛鑛	…………	$\frac{97\$00-14\$}{50}=1\$66$ ……	鉛

従來海防に於ける輸出鑛物一噸當りの價格計算は、その含有分率に前述の金屬の本位價格を乘ずることによつて得られてゐたのである。鉛鑛内に含有されてゐる銀の價格は、一基五三、五〇ピアストルと評價されてゐるが、從來含有されてゐる銀の評價額の二五%が、運賃として控除されてゐる。

次に採掘地に於ける生產價は、前述の數字より積出から海防までの運賃を控除しなければならないこととなる。卽ち各地より海防への運賃は次の通りである。

ショデイエン	(Cho-Diên)	から海防迄	九・五〇ピアストル
トユエン・カン	(Tuyên-Quang)	同	三・〇〇同
ニヤン・ソン	(Ngan-Son)	〃	四〇・〇〇同
ラン・ヒツ	(Lung-Hit)	〃	五・〇〇同
ショ・ドン	(Cho-Don)	〃	一五・〇〇同
ショ・モア	(Cho-Moi)	〃	八・〇〇同

ロ、錫及タングステン鑛 倫敦に於ける金屬錫一噸の平均價格は二、五七一ピアストルであるが、歐洲に於ては印度支那よりの錫塊一噸當りの運賃二八ピアストルを加へたものと見なければならない。之により積荷港に於ける金屬の價格をも計算し得る。卽ち老撾鑛山に對する西貢港、東京の各鑛山に對する海防港に於ける積荷港の價格は一噸當り二、五四三ピアストルになる譯である。

又之等港に於ける鑛物の價格は、その成分に應じて計算されてゐた。熔鑛費用も又控除されなくてはならない、卽ち東京產鑛石に對しては、八%、老撾產鑛石に對しては一〇%と控除しなくてはならないのである。

採掘地に於けに價格は、前述最終の數字より採掘地から積出港迄の運賃を控除すれば得られる。これは五〇ピアストルに相當す、何故なら、これはピア、カ（Pia-Quac）より海防迄及パ、ハン、ブシ（Pac-Hin Boun）より西貢迄の行程に對する費用であるからである。

ウオルフラムの價格は、前述せる亞鉛及鉛鑛の場合と同じ方法で計算した。卽ち馬耳塞に於ける含有六七%のヴオルフラムは六六六ピアストルなるを以て、之を基礎としたのである。勿論噸當り二一ピアストルに當る印度支那から歐洲への運賃を控除しなければならない。斯うて積出港に於ける酸化タングステンの本位價格九・六三ピアストルを前述の方法により算出し得、又更にそれより噸當り五〇ピアストルと控除することにより、採掘地に於ける鑛物價格を知り得るのである。

混合鑛（これは東京に於てのみ產出）に對する價格は、海防に於ける

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

錫及ウォルフラムの價格に據り算出す、卽ち次の二を控除したものである。

一、熔鑛及分離作業費として五%

二、鑛山より海防迄の運賃卽ち噸當り五〇ピアストン

かくの如き方法にて得たる價格は次の通りである。

ピアカ産鉱石の海防に於ける價格噸當り　一、五九一ピアストル

老撾産　同　西貢　同　一、四一七　〃

海防に於けるウォルフラム價格　同　六四五　〃

（未完）

暹羅

□二四七〇（一九二七—二八）年錫鑛採取狀況

I表　地別及採鑛法別錫鑛產量 —單位擔、但し括弧內は噸—

月別	プーケット	ナコン・スリータマラート	パタニー	ラーヤブリー	計	淺漿に依るもの	其他に依るもの
四月	七、二一六（四三三）	二、三三〇（一二九）	五九九（四一）	一八三（一一）	一〇、三二八（六一四）	三、〇八五（一八六）	七、二四三（四二八）
五月	六、八九三（四〇八）	二、一八八（一三〇）	六四三（三六）	二六九（一六）	九、九九三（五九〇）	二、五三五（一四六）	七、四五八（四四四）
六月	六、三三二（三七二）	一、七〇九（一〇三）	八〇四（四九）	八九（四）	八、八九九（五二七）	二、三六六（一四二）	六、四九二（三八五）
七月	七、二二四（四二九）	二、四六九（一四七）	五六九（二四）	三二二（一九）	一〇、五七四（六一九）	三、〇九〇（一八四）	七、四八三（四三五）
八月	八、一六四（四八八）	二、四九七（一四九）	八二七（四九）	一三八（八）	一一、六二六（六九四）	三、一九三（一九〇）	八、四四二（五〇三）
九月	七、七五五（四六三）	二、三四一（一三五）	五四一（三三）	三五五（二〇）	一〇、九三三（六五〇）	三、三五八（二〇〇）	七、五六四（四五〇）
十月	七、三六六（四三八）	二、四〇五（一四三）	五五七（三三）	一五八（九）	一〇、四八五（六二三）	四、〇九〇（二四三）	六、三九五（三八〇）
十一月	八、九九八（五三一）	二、五三一（一五〇）	五五八（三三）	三〇七（一五）	一二、三九四（七三一）	三、四四八（二〇七）	八、八〇六（五二四）
十二月	八、三六六（四九八）	二、九九一（一七七）	七六八（四八）	二四四（一四）	一二、六七〇（七九五）	三、七六八（二二四）	九、六〇三（五七一）
一月	八、四四七（五〇四）	二、一三六（一八八）	八〇六（五二）	二五〇（一五）	一一、七〇九（七五七）	二、九七七（一七七）	八、七二三（五二〇）
二月	六、九九二（三九一）	一、七〇〇（一〇一）	六二七（四〇）	二四三（一五）	九、六〇七（五四八）	四、一四八（二四七）	五、〇五九（三〇二）
三月	七、七九六（四六四）	二、三九八（一四〇）	六六三（四〇）	二二二（一三）	一一、〇六八（六五七）	三、七三三（二二二）	七、三三五（四三五）
計	九〇、八六三（五、四〇九）	二八、五九六（一、七六〇）	八、一五三（四八五）	二、六九二（一五九）	一三一、三一九（七、八一三）	四〇、七六〇（二、四四四）	九〇、五六八（五、三八九）

II表 ——單位銖、但し弧括內は弗——

月別	擔當平均價格（爲替相場に依る）	納税額 擔當り	納税額 計	價格總計
四月	一九〇・七五（一五二・六〇）	二一・九〇	三二八、九三六	一、一八八、一五八・五〇
五月	一八五・〇六（一四八・〇五）	二九・三六	二九一、三〇四	一、八三六、一六五・三三
六月	一八三・八四（一四七・〇七）	二九・二四	二五八、二六六	一、六三八、六三八・五六
七月	一八一・六九（一四五・三五）	二八・〇三	三〇八、四七五	一、九二二、〇〇八・三七
八月	一八三・八〇（一四七・〇四）	二六・八八	三四九、五六二	二、一三六、四九一・三〇
九月	一七六・三三（一四一・〇六）	二六・三一	三〇〇、三五四	一、九二五、八七六・三六
十月	一六六・五三（一三三・二三）	三三・六四	二四九、四九六	一、七四五、七三三・九九
十一月	一六四・三六（一三一・三二）	二一・九一	二六八、九九三・七九	二、〇一九、四一三・四四
十二月	一六五・〇六（一三二・四六）	三三・四七	二九四、九八〇・五〇	二、三〇六、八五六・三〇
一月	一五八・二四（一二六・五九）	二〇・五六	二七三、七八一・六八	二、〇一一、〇七二・一六
二月	一四八・一四（一一八・五二）	一七・八二	一七三、四〇二・五八	一、三六三、九三四・九八
三月	一四九・〇四（一一九・二三）	一七・八四	二〇八、〇五六	一、六四五、一〇三・五三
計	一七一・〇六（一三六・八七）	二四・七五	三、三〇五、六〇七・五五	二一、五九八、四三七・五〇

III表

月別	採鑛許可件數	面積（唻）	滿期及棄權件數	面積（唻）
四月	一九	一、三四二	一四	二、一三二
五月	二七	二、七八〇	一一	一、四一一
六月	七	六三七	八	六九三
七月	一四	五六二	五	三一六
八月	一二	一、〇五二	一〇	七九八
九月	八	一、〇七四	五	二五四
十月	二〇	一、六一四	五	二九〇
十一月	七	一、四一二	九	四七〇
十二月	四	四七八	六	四三七
一月	一二	八二二	六	一、一〇三
二月	九	九八五	三	二六ヵ
三月	二一	三、五九三	一三	五八五
計	一六〇	一六、三五一	九五	八、七六〇

（レコード・二九號）

□米に對する施肥問題

農業が暹羅産業の大宗であること、及び科學を應用して之を改良するは當國物質的進歩の第一歩である事は、過去數十年に徵して自明の眞理であつた。而も尚今日本問題に直接に、能動的に興味を有するものが比較的少數に過ぎぬは、主として其餘りに大なると困難なるとに由るものである。先づ何處より初むべきかを知るは難いが、然し本問題の眞の難事は、大資を投ずることなくして此國を有利なる栽培地に生み出さんとする努力である。勿論本事業は從來遲々として進行しなかつた。

米の如き野産作物の收穫は、數多の要素、例へば種子、天候、土地の手入、施肥、灌漑、收穫の注意、等に左右せられるものである。故に吾米作の産額如何は、是等全要素に歸するものであるが、然し、之に適當なる食物即ち肥料を供給するは、其中最重要なる要素である。此點に適宜の注意を拂はぬに於ては、最も精選したる種籾も、農民の老練なる土地の管理も、其勞力を充分に償ふことは出來ない。

「充分なる施肥を行ふことなき運作は、暹羅の土壤を漸次疲盡したか否か」、とは科學智識と經驗とを有する暹羅の農業家（現今以て吾人の誇とすべき人は甚だ少數であるが）に屢々提出されたる疑問である。「而り」と答ふる者もあり、「否」と唱ふる者もあるが、一般の意見は大要次の如くである。「（田野の處女性の如き）稍に有用なる物質の堆積に依る特性たる一時的豐饒は、恐らく數年の收穫後消盡されるものである。然し之が消盡する時は、如何なる收穫方法も之以上地力を減衰することはない。現に暹羅に於ける米田の大部分（新開田を計算せず）は年々最低限度の産額をあげてゐる」。彼等は更に記錄上より、暹羅に於ける全開墾地の畝當り平均産米額は四・五〇擔にて、該數字又は其近似數は過去十五六年間持續したことを指摘してゐる。依之觀之、土壤は、將來無邊際に、自ら一定標準の生産を持續することが概言し得る。

この所説は、然し、全體を語るものでない、特に、勞力の比例的増加なくして得らるゝ産額の増大に就て説べてゐない。例へば、現今科學の産物たる人造肥料の採用は、收穫及び販賣以外の費用を著しく増加することなく、一定面積の産量を大いに増大し得るものである。

（中略）

吾農務局の當局に於て、斯る開發の重要さに覺醒し、吾農民側に於て、如何に重大事が可能なるかを知らんと切望するが如き機運とならば、暹羅に於ける農業進歩の最も緊急事の解決は遠きにある筈はない。然し之は、今日の處では全くとん〳〵拍子に進捗するものでない。關係官吏は多忙にて他の重要事業を過重に負擔して居り、同時に吾農民は甚だ之に因循冷淡にて、之を覺醒せしむるには多くの時間と根

氣とを要する有樣である。其他、自己の所有地の何處に最も適當に窒素(窒素は現時安價になり供給は益々增大してゐるが)を供給するか。又土地の手入法に如何なる變更を要するかを、農民自身に於て愼重に究研する必要がある。

偖て、米の如き綠色植物は、充分なる濕氣の中に光と熱との援を藉りて、空中の炭酸及び地中より得る或要素即ち窒素、燐酸、剝篤亞斯、硅酸、石灰、鐵、曹達等より形成される事を認めねばならぬ。右最初の三者は就中、其基礎的要分として最も主要なるもので、斯る植物の生育良好なればなる丈、地中に於ける其含有量は大である。硅酸等(否剝篤亞斯さへも)はあらゆる土壤に豐富に存在するが故に考慮するに及ばぬが、然し燐酸及び窒素の場合は相違がある。土壤は是等の成分に貧弱となること及び燐素肥料及び窒素肥料に依つて之を恢復し得ることゝは、世間博知の事實である。この二者の重要肥料中、燐酸は地中より洗去されることがないから、貯藏肥料と見做すことが出來る。

暹羅の米作地にては、燐酸は每年の洪水及び降雨に依つて高地より洗ひ出された灰や洗泥の沈澱物中に得られる。然し窒素は、空氣及び雨の中より或種のものが得られるし、其中幾分かは地中に保有せられるに拘はらず、洗去され易くて、あらゆる植物の養分中最も容易に失はれる。而も吾々の得る窒素の量には、今日の如き米の大量輸出に依つて年々失ふ量を到底補つて行けぬ。

次に考慮すべきは、植物の養分を土地に施す手段たる施肥が所謂最低限度收穫の法則に支配される點である。窒素のみで燐酸、剝篤亞斯、石灰等を缺ぐ時は植物は生育しない。其反對の場合も同樣である。農業の最高權威者である N. G. Mukerji, M. A. 氏は次の如く指摘してゐる――「印度の土壤に於ては、窒素八封度、剝篤亞斯一〇封度、燐酸五封度を加ふれば一四マウンドの燕麥を得、窒素八封度とし剝篤亞斯を唯五封度、燐酸を唯二・五封度とすれば、七マウンドを得られる。最低限度收穫の法則は濕氣及び熱にも應用が出來る、施肥せずして過剩に又は連作すれば、其結果印度の土地は漸次衰退する。印度にて產出する五穀の中約三%のみが輸出せられ、從つて地中に含有する有用養分の三%が年々失はれてゐる云々」。翻つて暹羅に於ては、全產米の殆んど三〇%を年々輸出しつゝあるのである。

米について窒素肥料試驗が印度にて行はれたことがある。該試驗には二〇%の窒素を含有する硫安を肥料とし、硫安一封を四アンナ(約二〇士丹)して、一九二三年及び一九二五年の兩年の產量を合した數字に據つた。英反當り三〇〇封度の硫安を施したる地區の產量が最も良好で、左の成績を示した。

英反當り籾產量	四、五七四封度(施肥せざる場合の殆んど倍量)
英反當り產籾價格	二二八留比(二〇封度一留比とし)
英反當り生產費	六九　同
人造肥料代	三四　同

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

英反當り利益　　一二五　同

此處に記錄さるに足るは、同樣なる試驗が暹羅にても計畫されて完成しつゝある一事である。Ban Nee に於ける米作業者 Nai Jon は、獨人肥料專門家 H. Paschkewitz と共に、ロツプリーにて諸種の米田に工夫完成しつゝある。兩氏の努力に依つて何か確實なる見積及び報告が遠からず得らるゝと思ふ。

因に此等實驗に使用する諸種の人造肥料は、盤谷 Messrs. Windsor & Co. 取扱の German Nitrogen Syndicate 及び Stickstoff Syndicate の製品である（七月十九日盤谷タイムズ）。

右に對し二十日の同紙に次の投書が掲載されてゐる——

右記事の筆者は明かに、一九二六年に燐酸アムモニウムを以て大規模なる實驗が行はれたる事實を承知してゐない。右の事實より推し、農務局は人造肥料の新式農業に於て演ずる重要なる役目を充分に承知してゐる。該方面に今一層の豫算を得れば、尚新規の實驗が開始さるゝであらう。

更に同日同紙は次の記事を掲げてゐる——

農務省は、科學的農業の進歩に關する全事業の重要性に充分に氣付いて居り、省自身ランクシツト郡に於て肥料實驗を實行しつゝある。其他昨報の外諸地に於て農民が同樣なる實驗を行ひつゝある。農務省は目下本問題に對し確固なる方針を立ててゐる。其計畫は、第一灌漑、第二標準穀物の選種、第三が肥料に依る收穫增加である。

更に八月四日同紙に次の如き投書があつた——

自分はアユテイア州に約四〇〇哝の米田を有する農夫である。此土地で父は十年、余は引續き八年農耕に從事してゐるが、收穫は年々減收しつゝあるやうである。唧筒其他に依り灌漑も行ひ、最良種の選擇にも注意を拂つたが、成績に大差はなく、過去四、五年は最も不良であつた。年々次期收穫にて本年の不作を取返へさうと望んで來たが、遂に現今では負債が著しく增加し、爲めに父祖傳來の所有地の殆んど半分は債鬼に渡して仕舞つた。

本紙十九日の「米に對する人造肥料」の記事は、我々にとり甚だ新しき興味ある問題である。私は現狀に比し一〇〇%所でなく五〇%の餘剩收穫を得ても、此處數年間の苦境を大いに救濟して呉れると思ふ。自分の苦境にある原因は確かに連作による地力減退であることを體驗した。

次に翌日の同紙への寄書に、農務局側は該方面に注意を拂ひ、現に一九二六年に其大規模實驗が行はれたと報じてゐる。斯る實驗の成績に關する詳細を、之を鶴首してゐる多數農民の福利の爲めに發表して欲しいものである。尚同日の本紙所報に依れば、農務局の計畫は、第一灌漑、第二選種、第三施肥に依る收穫增加にあるとの事である。偖て右三者の中、自己の經驗より云へば肥料問題は甚だ重要なるもので、若し納税者たる農民に諮られたとすれば之を計畫の首位に置いた筈であらう。先づ灌漑に就て云へば、この大事業は吾々の選中より納入す

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ろ金でなし、完成に年數を要する。而も之が完成の曉にも其沿線以外の大多數の農民は何等恩惠に浴さない。兎に角灌漑は奬勵さるべきではあるが、之は唯法外に多額の費用を要せざる場合である。

第二に標準米の選種であるが、科學的農業の智識なく殊に自分の如く、所有地が甚だ衰弱してゐる爲め豫期の作高をあげ得ざる、米作業者にとつて、何が特選種の使用であらう。良作を得んとするには、先づ施肥である。之は死活に關する必要である。農業の全業務は土地に據る、農夫の得る利益は其固有能力利用の巧拙如何に因る、施肥は計畫の第一位に置くべきである。

要之、自分は過去五年間唧筒灌漑に選種に全力を集中したが、この老舊地よりは何等の利益をあげ得てゐないのである。

英領馬來

□新嘉坡に於ける支那人の排日ボイコットの經過竝に將來（下）

尙前記し來れる以外、當地方に開業しつゝある邦人醫師、齒科醫、ホテル、理髮業、漁業、寫眞師等の享くる損害亦莫大なるものあるべく、此れ亦平常殆んど在留支那人を目的としての營業なるを以て、ボイコット以來受けつゝある打擊特に著しきものありて經營困難に陷りつゝあるものも既に數ありとせられ、現狀の持續する限り更に此の現象をして著現ならしむるものと憂慮せらる。

在留邦人醫師、齒科醫にありては、支那人同業者により此の機會を利用せられて惡宣傳の槍玉に供せられ、日本人醫師は支那人患者に對し、毒を盛り或は病氣を重からしむる事に努めつゝあり等、卑怯なる言辭を弄して邦人側の地盤を侵し信用を毀損せしむる事に熱中しつゝありと噂するものありと。又事實ボイコット以來邦人醫師の收入は、平均從前の四分の一見當に激減せりと稱せらる。又當地に於て內外人より相當認められ、且つ有力に活躍し來れる邦人漁業家の此の際蒙りつゝある打擊も激甚なるものあり。數百名の邦人漁夫を擁して漁獲せる生魚は、從來當地公設市場に於て小賣に從事する支那人に賣捌き來れる所なれども、ボイコット以來此等支那商人は邦人漁業家の供給する生魚の販賣を行はず、爲に邦人側にありては公衆に供すべき必需品たる生魚の販賣を拒否する事は不穩なりとし英官憲と交涉の結果、前記販賣を拒否する支那商人に對し市場販賣人たる「ライセンス」取消を聲明せしめ適法なる取締を行ふと共に、邦人によりて小賣を行ふ等臨機の處置を講ずるに致れり。斯くして一時舊に復したるやに見受けたるも、最近に至り再び取扱ひを拒否するの傾向を生ずるに至りたるを

以て、邦人側に於ては更に對策の考究中に屬するものゝ如し。

此の他前記せるが如く邦人ホテル、理髮店、寫眞師、其他各種の營業者に於ても殆んど支那人の出入なく、休業同樣の狀態にあるものすらあり。特に側枝の影響を受くるものゝ一例として、從來當地に於ける邦人經營ホテル中、主として日本人の旅行客を顧客とせるものにありてもボイコット以來本邦より出張し來るべき商業關係視察員、得意先廻り、注文取り等殆んど中絕せる事とて、これ亦打擊少からず此種の間接的影響も亦大なりと稱せらる。

斯くして今回のボイコットは支那人の所謂自發的不和經濟斷交と稱せらるゝ所なれども、實際は必ずしも然らず、支那商中本邦商品を從來取扱ひ來れる商人の大部分は、此れが決行により自ら招來する不利益の莫大なると、從來の經驗に基き常に煽動者の私利私服を肥すに過ぎざる事を覺りて成るべく之を回避せんと企てつゝあるものゝ如しと雖も、職業的宣傳煽動者は誇大捏造も甚しき非常識極まる風說を流布し、排日的感情を釀成する事に努め、愛國の美名を笠に着て善良にして穩健なる彼等同胞に對し高壓的に臨みて脅迫に依る私利を貪りつゝあるものとせらる。彼等脅迫團は本邦品とは利害の相背馳するの立場にある有力支那商を頭目に戴く多數無賴漢より成立するものと稱せられ、各要所々々に見張りを配置し支那人にして本邦品を購入する者を發見するや此を理由に脅迫して莫大なる金の强請をなすものゝ如し。巷間傳はる所によれば日貨排斥勵行手段として、日貨取扱ひ初犯者に對し忠告、罰金、謝罪、二犯は店頭にコールター塗布、三犯は耳切り落し、四犯は殺害の順序に依り右を實行すべしと稱せらる。而して時々斯の如き事實を探査し當地官憲の取調に移りたりとするも、後難の大なるべきを懼れて被害者は一切緘默することゝて事件の眞相を確め得ざるものゝ如く、從つて彼等不逞脅迫團の內容竝に行動を糺明し得ざるを遺憾とせらるゝ所なり。

事情如斯にして、在留支那人中には日貨の購入取引を希望しながら彼等同志間に於ける牽制或は脅迫團の行動に懼れて、不便不利を忍びつゝあるもの極めて多數なることは瞭かなる所にして、特に前記せる如く從來邦貨を主として輸入取扱ひ來れる支那商中には、今回のボイコットを强要せられつゝある結果として莫大なる損害を蒙り、殆んど商賣の中止を餘儀なくせられたる事とて內心甚だ憤慨しつゝある者少からず、其の他邦人關係により從來享け來れる各種の便宜を心ならずも避けて不自由を忍ばざるべからざる多數支那人の存在する事を思はゞ、彼等職業的宣傳脅迫團の行爲は彼等同胞を毒する事甚だしく寧ろ支那人を苦しむるものは他に非ずして彼等不逞の徒なる事に思ひ至りて、其の矛盾と奸佞なる徒輩の橫暴に啞然たらざるを得ざるものと云ふべし。

尙今回のボイコット運動繼續の結果として本邦品の立場より警戒すべき問題は、前記し來れる如く日貨取扱休止より生じたる損害と共に將來に及ぼすべき影響なりとすべし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

當地方に於て從來本邦品を殆んど專門的に取扱ひ來り、且つ邦人に對しても好意的立場にある支那商中にありても、今回の如き事件の勃發によりて前記せるが如く心ならずも日貨の取扱ひ休止の止むなきに至れる事とて、其の生ずべき損害の莫大なる結果に鑑み、例へ今回のボイコット運動にして近く終熄して再び日貨の取扱を開始し得るに至るとするも、將來更に此の種運動にして何時開始せられんものとも豫測し得ざるべき事に思ひを至さば、彼等支那商によりては日貨の取扱は極めて不安なるものとの感を深からしむるに至るべきは當然にして、一面又今回のボイコットを好機として歐米商人は日本品の入荷なきに乘じて極力代替品の賣込に熱中しつゝある事情もあれば、延ひては新嘉坡市中に於ても從來日本品を專門的に輸入し來り歐米品を殆んど取扱はざりし「ハイストリート」筋の支那人雜貨商にありても、前記ボイコットの影響による不利益を考へ日本品を歐米品に漸次轉換せんとする者を生ずるの傾向あり。而して此の種の計畫が將來果して大いに效を奏するものなるや否やは未知數に屬すべきは兎に角、本邦品の地盤を歐米品に委するの倶ありとして心あるものゝ甚だ憂慮しつゝある所なり。此の他日貨ボイコットの度毎に日本品に對する競爭品として進出するものに支那製品あり。彼等支那製造家は對日惡感情の煽られつゝあるボイコット時を利用して、名を愛國又は國貨勵奬に藉りて巧に支那製品の宣傳を試み、相當成績を擧ぐる事に成功し來れる所にして、今回も當地中華總商會に於て支那製品の一大展覽會開催せられ大に宣傳賣込みを試むる處ありたり。

斯くして本邦品に對する今回のボイコットの結果は、歐米品に對する活躍の機會を與へ、更に支那製品の發展を導くに至りて本邦品の立場より此を見れば甚だ不利なる結果を招來せる事と認め得べく、返す返すも遺憾に堪へざる次第なりと稱し得べし。

尙當地より本邦に輸出せらるゝ物產は支那商側が賣手の地位にありて邦商側を得意先とする關係上、並に支那商以外の外國人にも賣手を見出し得る事なれは支那商側に弱味ありとすべく、概して今回のボイコットに依る打擊少なしと稱し得べし。

即、錫は殆んど影響なく護謨は支那商よりの買付困難なる事情ありと雖も、多少割高なる口錢を忍びて歐商等を通じて買付つゝあれば別段の不便もなきものゝ如く、其他サゴ、コプラ、ダマール、籐、ガムビール、高瀨貝等亦多少取引上面倒あるべしと雖も手を廻して買付けつゝある現狀なれば輸出上支障を來すが如き事はあらざるべし。

要するに今回のボイコットの影響する所は、當領の護謨不振より來る不景氣を背景として極めて廣汎にして深刻且つ複雜なるものあり、國家的に此を見るも亦當地在留民の立場よりするも其の享くる所の打擊は頗る大なるものあれば、切に斯の如き一大不祥事の一日も速かに終熄に趣くべき氣運に到らん事を翹望して止まざるものなり。

（新嘉坡商品陳列所調査）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□邦人漁業とボイコットの影響

左は新嘉坡市場に於て生魚の一大部分を供給しつゝある某氏より當總督府水産關係の人に宛てたる書面の一節にして、同地に於ける日本人漁業家の勢力、竝にボイコットの模様を示すに足るものと信ずるから玆に登載する。

當地排日貨尙やまず益々深刻と相成り居り候。其れに加ふるに當地方主産物たるゴム價の下落によりて一般市況も不景氣にて御座候間在留邦人は非常に困り居り候。此のまゝ繼續さるれば年末迄には多數の倒産者を生ずるならんと豫想致され居り候。其の内で吾々漁業者は割合に宜しき方にて、此の難關もどうやら切り拔けられそうに思はれ申候。當分利益をあげる事は六箇敷からんも他の卸商に比し餘程樂にて御座候。

濟南事件に原因する當地方支那人のボイコットの經過御參考の爲概略申上ぐべく候間御一覽下され度く候。

當地方人口の八割近くまで支那人にて、殘りの二割強が他人種の合計にて御座候。然し經濟上の勢力に於ては全然支那人に左右され居り、一旦支那人にボイコットさるれば支配國の英人と雖如何ともする事能はざる位にて御座候間、新嘉坡の人口四十萬の一パーセントにも足らざる日本人が、支那人よりボイコットされし日には手も足も出ず全く慘めなものにて、南洋に於ける華僑の勢力を知られざる内地の方々には到底想像も出來かぬる位にて御座候。ボイコットの始まりしは小生内地旅行中の五月十日頃にて、最初は支那人仲買は全然買はざりし故、邦人漁業者は市場監督者より市場内の小賣臺を借入れ、直ちに小賣りを開始せし由に御座候。然し買ふ御客は馬來人、印度人、日本人位のものにて、賣行きが平生の二割位、値段は全く捨賣同樣にて御座候。其れでも賣り切れず腐敗せしものはどしどし海に放り込みし由に御座候。

然るに新嘉坡に於ける鮮魚の約半額は邦人漁業者によりて供給致され居りし關係上、支那人が日本人の魚を全然買はぬとなれば仲買等は殆んど商賣にならず反つて自身等が困る樣になりしと、一方市役所や植民地政廳としては今まで日本人漁師によりて勞働者階級にまで割安な鮮魚が供給致され居りしも、今度の支那人のボイコットによりて全然供給が絶たれし故食料問題の見地より矢ヶ間敷く言ひ出し、市場内の小賣臺にて魚を賣らず休んで居る小賣臺よりは小賣りのライセンスを取り揚ぐる等支那人に對して種々壓迫を加へし等の關係もあり、四、五日目よりかくれかくれボツボツ買ふ樣になりし由に御座候。然し支那人のボイコット本部にては、魚市場の一角より今度のボイコットが崩れるのを恐れ、たへず支那人仲買や小賣商人を強迫せし故平生通り公然と市場内にて競賣する事は出來ず、日本人の魚のみは

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

そつとかくれて買ふ樣な奇現象を呈し申候。此の狀態が丁度小生歸新の六月初頃迄續き、小生歸新の六月七日頃に平生通り競賣致され居り候。然るに七月六日より又競賣を中止致候。これは支那本國より國民黨の有力者來新し、當地ボイコット本部に對し矢ヶ間敷く申せし爲にて御座候。然しボイコットすれば魚商等自身が第一に困ることなれば此の事情は第一回のボイコットにて充分經驗もあり、第二回の折りは完全にボイコットせしは僅か一日にして二日目よりは又ボツボツ買ふ樣に相成申候。四、五日目よりは競賣こそせざれ殆んど公然と買ふ樣になりし故、吾々漁業者の方でも競賣せなく共餘り痛痒を感ぜなく相成り何程か安心せし次第に御座候。斯る狀態は七月二十四日迄續き二十五日よりは更に公然と競賣出來る樣相成申候。邦人鮮魚に對しては右樣の次第にて、如何にボイコット本部より矢ヶ間敷く達しが來ても完全にボイコットを實行致すこと困難に御座候へども、月日の經過するにつれ邦品の代用品も歐米より輸入せらるべく今後の成行きは寒心に堪へぬもの有之候。

鮮魚は食料品たると邦人漁業者の勢力が壓倒的たる關係上、英官憲に於ても吾々には反つて保護を加へ居る位に御座候間他の邦人商人に比し苦痛も餘程少き次第に御座候。

今度のボイコットによりて日本人漁業者の勢力は反つて各方面にはつきり認めらるゝに至りし故、鮮魚に對するボイコットのみはより以上悪化する樣の事は無之かるべく、現在では日一日と賣行きも多くなり値段も舊に復しつゝ有之候。只今値段は平生の六割位、賣行きは略七割位迄回復致居り候間邦人漁業者のみは食い繫ぎは出來得べくと存候。日支間の外交問題が片付けば吾々漁業者に對するボイコットは直ちに解決致すべきものと存候。

然れども他の日本品に對するボイコットは容易に止まざるべく、舊に復する事は仲々容易の事にて無之かるべくと存候。海外在留者は時々國策や政爭の犧牲となり勝にて事業の成功も容易な業には無之候。

別紙當地商品陳列所調査に係る冷藏庫に關する意見書も同封致置候間御覽下され度候。吾々も冷藏庫の必要は痛感致居り是非實現せしめ度きものと存候。製氷も仲々有望にて御座候。何れ是等に對する愚見も折りを見て申上度く考へ居り候。

先般二回に亘り共同漁業よりグチ冷凍魚の送付を受け試賣仕り候處仲々好成績にて御座候。今後も引續き試賣の豫定に御座候。然し實際にやる時は矢張り當地に冷藏庫を設備するの要有之候。先は一筆右まで折角御自愛の程奉願候。　早々不一。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

蘭領東印度

□蘭領印度農鑛企業須知

一、農業

<table>
<tr><th rowspan="2">項目
地方 ／ 土地の種類</th><th colspan="2">拂下面（期間）</th></tr>
<tr><th>爪哇マヅラの大農業</th><th>外領</th></tr>
<tr><td>永租借地</td><td>最高五〇〇「バウ」
租借期間七十五年</td><td>最高五、〇〇〇「バウ」
（三、五〇〇ヘクタール）
租借期間七十五年</td></tr>
<tr><td>農業租借地</td><td>—</td><td>同上
（若干の外領自治領に於ける所謂永租借地である）</td></tr>
<tr><td>借地</td><td>直轄地　面積不明
期間（公地……一年又は一收穫年
非公地水田……三箇年半
非公地乾田……十二年
鐵道、道路、水路用地…二十五年
候領地　面積不明
期間（水田……最高二十一年半
乾地……十年
公地……一年又は一收穫年</td><td>直轄地　面積不明
パンカ島：水田、乾地十年、鐵道、道路二十年
期間 スマトラ西海岸、メナド、バリ、ロムボク（水田五年
乾地十年
鐵道、道路、水路二十年
アンボン郡
ランボン州
ボルネオ南東部）二十年以下
自治領　アッチエ、セレベス、スマトラ東海岸
面積不明の一部、リオー、ボルネオ西部同南東
期間直轄部メナド、アンボン、ニユーギニア、
地に同じ（チモル</td></tr>
</table>

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

積	爪哇・マヅラ及外領直轄地の小農業	普通十「バウ」。但し總督に於て農場の設置を希望する場合は最高二十五「バウ」 租借期間二十五年	—	各前に準ず
租借料	爪哇・マヅラの大農業	バウ當り一—五盾 （六年目より） 手數料は徴收せず	—	直轄地 毎五年に一度の割で最低借地料を決定する 候領地 毎十年に水田の最低借地料を決定する
	外領	バウ當り最高一盾普通〇・五〇盾見當 手數料は徴收せざるも、調査費としてバウ當り〇・五〇盾を徴收す	貢税最高一盾 第一年目は其の五分の一を第二年目には五分の二と云ふ樣に五年目は全額を拂ふものとす 手數料は徴收せず	外領各地には各々相異る規定が設けられて居るが詳細は不明 パリー、ロムポクの如きは土地の賃貸を禁じて居る
	爪哇・マヅラ及外領直轄地の小農業	バウ當り最高一盾 未開墾地拂下の場合は〇・一〇盾 手數料は徴收せず	—	各前に準ず
不動産税	爪哇・マヅラ大農業	不動産見積價値の四分の三%で、第十一年目より賦課される	—	
	外領	同前	永租借地に準ず	
	爪哇・マヅラ及外領直轄地の小農業	同前	—	

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

資格	獲得の方法		
爪哇・マヅラ及外領	爪哇・マヅラの大農業	外領	爪哇・マヅラ及外領に於ける小農業
和蘭人、和蘭及蘭領印度住民、和蘭又は蘭領印度に設立されたる商事會社 小農業は歐人及同待遇者に限る	測量圖及其の位地を示す地圖を添附して請求書を地方長官に提出する。地方長官は、總ての書類を内務部長官の手を經て總督に提出する。許可すべく決定されたる時は、各種の條件を付して總督に依り拂下らる	精細に境内を設定する必要あるも、測量圖を作成する必要なし。其他は總て爪哇マヅラに於けると同じ	之は廣義の資産なき歐人及同待遇者(主として失業者)をして小農業を營ましめ以つて生活を維持せしめんとするものである。
同上	|	同上	|
直轄地 一、歐人及同待遇者たる和蘭臣民 二、歐人及同待遇者たる和蘭及蘭印住民 三、歐人及同待遇者より成る和蘭及印度に設立された會社 保領地 一、歐人及同待遇者たる和蘭臣民 二、歐人及同待遇者たる和蘭及蘭印住民 三、歐人及同待遇者より成る和蘭及蘭印に設立されたる會社(其他の條件あり)	當事者と土人間の契約は、普通コントローラー立會の上で契約證書に署名されて初めて效力を生じ、賃借料の前拂及最低料金に關しては特に嚴重に規定される	同前	|

其他資本を有する臣民をして外領を開發せしめんが爲、特に大面積の國有地を租借地として拂下げることになつて居る。面積は最高五〇、〇〇〇バウで、總督は蘭領印度評議院の贊同を經たる後國土開發の許可を與へる。年限は三年、バウ當り二仙の税が課せられ、毎月徴收される。資格は和蘭並に蘭領印度に設立されて居る商事會社(國籍の保證を要す)たるを要す。又開發地帶内の土地は條件付で普通の永租借地に書換へることが出來る。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

二、鑛業

鑛業法の鑛物分類	試採掘權申請資格	鑛物探査及採掘
A種（不燃燒性鑛物）。寶石、黑鉛、白金、オスミウム、イリヂウム、金、銀、水銀、蒼鉛、モリブデン、錫、ウオルフラム、鉛、銅、亞鉛、カドミウム、ニツケル、コバルト、クローム、鐵、滿俺鑛、安質母尼、砒石、ストロンチウム、（以上は其の純粹を問はず）及同一鑛床にあるが故に上記の鑛物と同時に採掘さる他の鑛物、硫黃を含有する鑛物明礬及硫酸製造に使用し得べき鑛物、硝石、肥料製造に使用さるゝ燐酸鑛物、岩鹽、岩鹽と同一鑛床にある鑛物 B種（可燃性鑛物）。無煙炭竝に總ての石炭、褐炭、石油、瀝青、土蠟、其他總ての瀝青物體（固體液體共）可燃性瓦斯、沃度及其化學組成物	和蘭人、和蘭又は蘭領印度住民及和蘭若くは蘭領印度に設立されたる會社で、其の重役が多數和蘭人若しくは蘭領印度住民たるもの	探鑛は土地占有者に於ても亦地方長官の許可を要し差支なき限り許可される。但し石炭及石油竝にヨヂウムは許可されない。探鑛許可年限は二箇年である又政府の保留地及一般利益の要求する地方は許可されないことになつて居る。探鑛許可所有者にして、鑛業法第一條A所揭の鑛物を發見したる時は採掘權を獲得するが、B所揭の政府に於て保留して居る鑛物を發見したる場合は、該權利を獲得することが出來ない。卽ち現在に於ては可燃性鑛物の探査竝に採掘は總て政府に於てなすことゝなり、其の爲に政府は官民合辦會社蘭領印度石油會社を設立して以つて其の任に當らしめ、本會社にはバタビヤ石油會社も參與して居る。故に民間會社の石油事業は今後不可能となつて居る。但採掘契約を締結してなすことを得。

採掘權の附與年限及面積	鑛區、鑛產稅
採鑛は、該鑛物が天然鑛床中に在つて、且つそれよりの採掘が技術上可能なること明らかなるものに對してのみ總督に依り與へられ、コンセッションの契約證に揭げられたる鑛物以外のものは、採掘するを許されない。但し所揭鑛物の採掘上止むを得ざるものは例外とされて居る。採掘許可年限は七十五年であつて、一鑛區の面積は一、〇〇〇乃至四、〇〇〇ヘクタールで、精細に測量し境介を明らかにせねばならない。	試掘地帶は一ヘクタール當り〇・〇二½盾 コンセッション地帶は一ヘクタール當り〇・二五盾 試掘にありては、一定額（五・〇〇〇盾）以上の收穫の四% コンセッションにありては、總收入の四%

三、備考

竝記各表の內・土地拂下資格竝に試掘申請資格は、和蘭人、和蘭及蘭領印度住民、和蘭又は蘭領印度に設立されたる會社としてあり、本來は和蘭竝に蘭領印度住民の資格は入國後九箇年を經過しなければ獲得出來ないが、永租地拂下申請者等及職務遂行上可及的迅速に住民權の獲得を必要するものには、便宜上短期間後に住民權が與へられることになつて居る。

株式會社稅は純益每百盾に付一〇盾の割（一割）
附加稅は稅額の二五%……………………
} 合計一・二五%

機械器具類の輸入稅は從價六%である。

□蘭領印度に於ける各國會社の資本

左に揭ぐる數字は、一九二八年度の蘭領印度商事並に栽培會社名錄(Cultuur en handelsonderneming in Ned. Indië 1928)よりして綜合したものであつて、內蘭領印度に設立又は當領に事業を營む栽培會社及鑛業會社に關するもののみを擧げたものである。

故に數字中に個人經營の農園又は鑛業に關するものは全々含まれて居らず、從つて各國の正確な投資額を表示するものではなく單に大農業の部に屬する株式會社經營のものを示して居るのみである。

次に、公稱資本金は正確なものであるが、拂入資本金に至つては古き時代の設立にかゝるものでも何等其の拂入額が記入してないものが往々ある故に、實際拂込額は此處に揭ぐるものよりも遙に多いと思はれる。又社債等の資本金以外の資本は加入してない。

一、農業會社　(一九二七年末現在)

國名	株式會社數	公稱資本金(盾)	拂込資本金(盾)
一、和蘭	六二三	八七一、四三七、五五〇	四七七、三一五、五一〇
二、英國	一六八	五九五、四四七、九一〇	二〇〇、四〇六、〇六七
三、白耳義	二四	九〇、〇七〇、〇〇〇	五六、六四五、〇〇〇
四、米國	九	六八、〇五〇、〇〇〇	三〇、九五三、六〇〇
五、支那	六九	六六、〇七九、〇〇〇	一三、八八四、六〇〇
六、獨逸	二五	三三、四三〇、〇〇〇	九、三五〇、九〇〇
七、日本	一三	三一、三〇〇、〇〇〇	一三、七七五、〇〇〇
八、佛國	一七	三一、〇三五、〇〇〇	三三、二五三、五〇〇
九、瑞西	二	七、八〇五、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇
十、瑞典諾威	三	三、三六五、五〇〇	一、六五〇、〇〇〇
十一、T抹	一	三、三〇〇、〇〇〇	不明
總計	九五三	一、七七一、〇一九、九六〇	八三一、二七〇、一九七

右の內には所謂合辨會社なるものが多少ある樣であるが、和蘭資本以外に其の幾何が和蘭人以外の者の出資にかゝるものであるかよ不明であるから、會社の名稱設立地及其他の事情よりして當該國の資本が多く出資されて居ると思考される國の會社として適宜に斟酌した。

二、鑛業

鑛業會社は總て和蘭の會社であつて、其の會社數、並に資本金は左の如くである。

會社數	公稱資本金(盾)	拂込資本金(盾)
九二	一、一七六、六〇九、〇〇〇	一、〇六二、〇九三、四〇〇

右の內には外國資本も混つて居る。卽ちロイヤル・ダッチ系のバターフセ石油會社(公稱資本金三億盾)の株式の四〇%は、セルトランスポーツ會社に依つて所有され、外にロイヤル・ダッチ株中の少なからざる部分は外人の掌中に在る。又コロニアル石油會社(公稱資本金二千四百五十萬盾)は米國系の會社であつて、此會社には和蘭人も出資して居る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□一九二八年前半に於ける蘭印並に世界の護謨狀況

一、蘭領印度の護謨狀況

蘭領印度護謨貿易商組合の報告に據るに、最近三箇年間に於ける護謨の狀況は左の如くである。（單位一〇〇〇瓩噸）

地方別	一九二六年（全年）		一九二七年（全年）		一九二八年（一月—六月）	
爪哇マヅラ	五二、六五五噸	二一・一四%	五六、一八三噸	二〇・〇五%	二七、六九四噸	二二・〇五%
スマトラ東海岸	七二、九九六	二九・三一	七九、〇六六	二八・一一	三七、三九二	二九・七七
其他のスマトラ	七六、一四九	三〇・五八	九二、一六六	三二・八九	三九、六三四	三一・五五
ボルネオ	四六、九三五	一八・八五	五三、五六三	一八・七六	二〇、七五三	一六・五三
セレベス	二八六	〇・一二	二六六	〇・〇九	一三一	〇・一一
合計	二四九、〇二七	一〇〇・〇〇	二八一、二四四	一〇〇・〇〇	一二五、六〇四	一〇〇・〇〇

以上の數字中には土人護謨も含入されて居るが、含水量は精確な報告を缺く爲その儘計算した。

爪哇マヅラ及スマトラ東海岸は蘭領印度エステート護謨の二大中心地である故に、本二地方の合計數字を合算する時は農園の產額が幾何であるかの大體が判る。其他のスマトラの殆んど全部は、スマトラ東海岸よりの土人護謨の輸出は土人護謨の輸出地と見ねばならない該地方の農園護謨の輸出と殆んど等しいが故に、土人護謨と見做らされねばならない。

前記の表は一九二六年及一九二七年の全年並に一九二八年上半期の關係の比較を示すものであるが、最近三箇年の各前半期に於ける比較數字は左の如くである。

地方別	一九二六年前半年		一九二七年前半年		一九二八年前半年	
爪哇マヅラ	二六、三二二噸	二三・〇三%	二九、二九八噸	二一・七六%	二七、六九四噸	二二・〇五%
スマトラ東海岸	三四、一四二	二九・八七	三七、四〇六	二七・七九	三七、三九二	二九・七七
其他のスマトラ	三二、五〇四	二八・四四	四一、六六四	三〇・九五	三九、六三四	一六・五五
ボルネオ	二一、一三九	一八・五八	二六、一三四	一九・四一	二〇、七五三	一六・五二

センペス	九三	0.0八	一九	0.0九	一三	0.一一
合計	一一四、三〇〇	一〇〇・〇〇	一三四、六二一	一〇〇・〇〇	一二五、六〇六	一〇〇・〇〇

之れを総括して見る時は、蘭領印度よりの輸出は左の如くである。（單位一〇〇〇瓩噸）

種類	一九二六年一月—六月 噸	%	一九二七年一月—六月 噸	%	一九二八年一月—六月 噸	%
農園護謨	六〇、四六四	五二・九〇	六六、七〇四	四九・五五	六五、〇八七	五一・八二
土人護謨	五三、八三六	四七・一〇	六七、九一七	五〇・四五	六〇、五一九	四八・一八
合計	一一四、三〇〇	一〇〇・〇〇	一三四、六二一	一〇〇・〇〇	一二五、六〇六	一〇〇・〇〇

土人護謨も農園護謨も一九二七年に於ては其の前年よりも増加を示して居るが、一九二八年のそれは一九二七年よりも減少を示して居る。減少の百分率に於ては土人護謨は農園のそれよりも大きい。一九二八年と一九二六年とを比較する時は、土人護謨は總輸出の百分率に於ては増加を示して居るが農園護謨は僅少の減少を示して居る。

一九二六年に於ては、土人護謨の輸出は殆んど農園護謨のそれに等しかつた。爪哇マヅラの輸出は左の如くである。

	一九二六年（噸）	一九二七年（噸）	一九二八年（噸）
一月	四、一六八	四、二五四	四、九二九
二月	四、二四四	四、一四三	四、一一七
三月	四、五九二	五、七四八	四、〇六三
四月	四、二九四	四、七四一	四、〇五七
五月	四、五一〇	五、五一七	五、〇二二
六月	四、五一四	四、八九五	五、五〇六
一月—六月合計	二六、三二二	二六、二九八	二七、六九四
月平均	四、三八七	四、八八三	四、六一六

爪哇マヂラよりの輸出は月平均額に於ては總輸出額と同一の道を辿つて居る。

一九二八年は、一九二六年と比較する時は僅かの増加を示して居るに過ぎない。一九二六年に於ては、毎月の輸出高は徐々に増加して居るが、一九二七年に於ては、一月及二月は輸出が尠なかつたが次の三月には大量の輸出を見せて居る。本年は月平均高より非常に多い一月の四、九二九噸を以つて初まつたが、其後に三箇月間軟調子の月が續き五月及六月の輸出は再び強調を呈して居る。

スマトラ東海岸の輸出

	一九二六年（噸）	一九二七年（噸）	一九二八年（噸）
一月	六、三三九	六、八一四	八、一一六
二月	五、八〇九	六、六三一	六、八六二

三月	五、六五五	七、一一六	五、九一九
四月	四、六七二	五、六二〇	五、一一八
五月	五、四四四	五、六一八	五、四二一
六月	六、二二三	五、六〇七	五、九五七
一月—六月合計	三四、一四二	三七、四〇六	三七、三九三
月平均	五、六九〇	六、二三四	六、二三二

一九二七年及一九二八年の前半期に於ける月平均輸出高は、前行年の前六箇月に於けるものより非常に多い最も多く輸出されゐる月は普通主として當該年の最初の三箇月間である。

爪哇マヅラ及スマトラ東海岸に於ける一九二八年度の輸出は一九二六年よりは増加を示して居り、其間スマトラ東海岸に於ては一九二七年前がより多い數字を示して居る。

卽ち農園護謨は次の如き月平均を示して居る。（單位噸）

	一九二六年（一月—六月）	一九二七年（一月—六月）	一九二八年（一月—六月）
爪哇	四、三八七	四、八八三	四、六一六
スマトラ東海岸	五、六九〇	六、二三四	六、二三二
	一〇、〇七七	一一、一一七	一〇、八四八

一九二七年及一九二八年間には、月三〇〇噸未満の比較的僅かの差があるのみである。

土人護謨に關する數字は左の如くである。（單位噸）

	一九二六年	一九二七年	一九二八年
一月	五、二九五	七、〇五〇	七、二三〇
二月	四、四六二	七、〇〇八	五、七八五
三月	七、九五七	八、一八七	六、〇七七
四月	三、五七六	六、三六八	三、五〇四
五月	五、〇〇〇	七、七九三	七、一三一
六月	六、二一四	五、二五八	九、九〇七
一月—六月合計	三二、五〇四	四一、六六四	三九、六三四
月平均	五、四一七	六、九四四	六、六〇六

輸出の經緯は爪哇マヅラの護謨輸出と同樣である。一九二八年に於ては四月の輸出が殊に尠ないが、一九二六年に於ても亦四月は輸出が最も尠なかつた月であつて、其間一九二七年に於ては六月が最も尠ない月であつて其の次が四月であつた。一九二八年に於ては六月は特に多い月であつた。

本地方よりの土人護謨の輸出數字よりしては、本年の前半期に於ける護謨價の下落に影響され如何なる風に變動を來すやも計り難い故に、今の所何等の決定を下すことが出來ない。

ボルネオの輸出

	一九二六年（噸）	一九二七年（噸）	一九二八年（噸）
一月	三、一一七	三、七八六	四、七〇九
二月	二、六二六	三、六七九	二、九六二
三月	四、三五一	四、九〇七	三、七四四

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四月	二、八二五	三、九六三	二、〇五八
五月	三、八五七	五、八二三	三、三六五
六月	四、五五三	五、九七六	五、九一三
一月—六月合計	二一、二三九	二六、一三四	二〇、七五三
月平均	三、五四〇	四、三五六	三、四五九

他の總ての護謨輸出地と反對なのは、當地に於ける一九二八年の輸出が一九二六年と比較して減少して居ることである。市價が暴落した四月には積出の激減を示して居る。

セレベスの護謨に關しては特に見るべきものがないから此處に除外する。卽ち土人護謨の月平均高は左の如くとなる。（單位噸）

	一九二六年（一月—六月）	一九二七年（一月—六月）	一九二八年（一月—六月）
スマトラ（東海岸を除く）	五、四一七	六、九四四	六、六〇六
ボルネオ	三、五四〇	四、三五六	三、四五九
	八、九五七	一一、三〇〇	一〇、〇六五

土人護謨も農園護謨と同樣に、一九二七年及一九二八年の前半期中の平均間に差があるが、此の差は約一、三〇〇噸と云ふ相當大きな差であつて、一九二六年及一九二七年のそれは猶一層大きい。

前述の表よりしては、市價の下落が蘭領印度の護謨輸出に及ぼした影響に關して明確な結論を下す事が出來ない。六月二十一日付のテレグラーフ紙に依れば、ブルヘル氏はタイ・スマトラ護謨會社の總會に於て、「彼の入手せる報告に依れば、スマトラ東海岸に於ては土人は八日間毎の採集を中止したとのことである。其の故は、土人は彼等の優等品に對し單に二十仙を得るのみであつて、到底收益することが出來ないからである。タパヌリに於ても同樣に採液は中止され、ジャムビに於ても亦土人は事業を繼續するに充分な收入を得て居ない。單に所謂家族的採集のみが、家族の生活を維持する丈の收入があると見えて、行はれて居るに過ぎない、而し兩者の確然たる境介を設けることは不可能である」と報告して居る。

二、世界の護謨狀況

來るべき生産制限の撤廢に關連して、一九二八年度前半に於ける世界の護謨狀況及全年度の生産及消費量の豫想を掲げて見やう。

市價、倫敦に於ける一九二七年及一九二八年度の前半年に於ける護謨相場は左の如くである。（封度當り志片）

	一九二七年 最低	一九二七年 最高	一九二八年 最低	一九二八年 最高
一月	1/6¾	1/8¼	1/6½	1/7¾
二月	1/6¾	1/7½	1/1¼	1/6¾
三月	1/7¾	1/8½	-/11	1/1¾
四月	1/7½	1/8	-/8	1/1
五月	1/7¾	1/8	-/8¼	-/9½
六月	1/4½	1/7¾	—	—

ストック……一九二七年及一九二八年の前半期各月の初めに於ける在倫敦ストック高は左の如くである(單位噸)。

	一九二八年	一九二七年
一月二日	六三、二〇八	四八、九四八
二月六日	六五、九六九	五五、七四〇
三月五日	六一、九七八	五九、九四五
四月二日	五八、一九七	六二、六三四
五月七日	五二、〇一五	六七、〇三四
五月二十九日(六月初)	四四、六二八	六六、六六八
七月二日	三八、六一一	六三、九一七

一九二八年七月二日のものを除く總ての數字は、ワイナント・アンド、ケツプラル社の護謨時報に據つたもので、七月二日の數字は七月五日付のシミングトン・アンド、シンクレーヤ社の市場報告に據つたものである。

最近二箇年の前半期に於ける三大護謨生産地よりの各月輸出高は左の如くである(單位千瓩噸)。

月別	英領馬來 一九二七年	英領馬來 一九二八年	蘭領印度 一九二七年	蘭領印度 一九二八年	錫倫 一九二七年	錫倫 一九二八年
一月	三四、九四五	二七、七三一	二一、九二九	二五、〇〇八	六、八二八	四、五三三
二月	二七、五二八	二八、八二三	二一、四七八	一九、七四八	四、二一九	五、四九九
三月	四一、三四六	二七、八二三	二五、九七六	一九、八二七	七、八〇二	四、〇一三
四月	二九、〇四一	二〇、〇二九	二〇、七二一	一四、七六二	四、〇三〇	三、五〇六
五月	三一、三九三	二六、四〇三	二四、七六〇	二〇、九五六	三、六六五	三、五七二
六月	三二、六〇七	二二、九一〇	一九、七五七	二五、三〇五	三、六六三	三、四三九
一月—六月	一九六、八六一	一五三、七一九	一三四、六二一	一二五、六〇六	三〇、一八七	二四、五五二

一九二七年及一九二八年の最初の六箇月間に於ける三地方の合計生産數量は左の如くである。

	一九二七年(噸)	一九二八年(噸)
英領馬來	一九六、八六一	一五三、七一九
蘭領印度	一三四、六二一	一二五、六〇六
錫倫	三〇、一八七	二四、五五二
一月—六月合計	三六一、六六九	三〇三、二七七

本數字は蘭領印度護謨貿易組合の計算せるものである。

シミングトン・アンド・シンクレーヤ社は各種の報告に基いて一九二八年度の世界護謨産額を左の如く見積つて居る。

英領馬來	二五八、〇〇〇噸
錫倫	五八、〇〇〇
英領印度	一一、五〇〇
英領ボルネオ	七、〇〇〇
サラワク	一〇、〇〇〇
蘭領印度	二二五、〇〇〇
佛領印度支那	八、〇〇〇
他の栽培護謨	七、〇〇〇
ブラザル	二九、〇〇〇
野生護謨	七、〇〇〇
計	六二〇、五〇〇

上記の數字を見るに英領馬來の數字は餘りに尠ない樣に思はれる。

全輸出より輸入を引去る時は左の如くとなる。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

	一九二七年	一九二八年
一月—六月輸出	一九六、八六一	一五三、七一九
輸入	八七、四一九	七五、八九〇
差引	一〇九、四四二	七七、八二九

護謨の消費に關しては、シミングトン・アンド・シンクレーヤ社は左の如く云つて居る。本年の最初の五箇月に於ける米國の護謨消費高は一七三、八九八噸に達して居る。六月分は三六、〇〇〇噸と見られるが故に、本年の一月乃至六月の消費高は二一〇、〇〇〇噸となるであらう。一般に最初の半年に於ける消費高は後半年のそれより多い。例へば一九二七年に就いて見るに前半年は二〇二、〇〇〇噸で後半年は一六九、〇〇〇噸であつた。

若し一九二八年度の米國に於ける護謨の消費が一九二七年と同樣な現象を示すとしたならば、消費量は三八五、〇〇〇噸と算定することが出來る。

一九二八年度の後半年に於ける再製護謨の消費量は、護謨市價の安値に關連して夥いであらうと思はれるから、本年を通じての米國に於ける護謨消費量四〇〇、〇〇〇噸との見積は過多でないと思はれる。其他の消費國の最初の三月又は四月分の數字は既に判明して居る。之等の諸報告に據るに、一九二八年度に於ける世界の消費高は左の如く見積られる。

米國	四〇〇、〇〇〇
加奈陀	三〇、〇〇〇
英國	五二、〇〇〇
獨逸及中部歐洲	四〇、〇〇〇
佛國	三〇、〇〇〇
伊太利	一〇、〇〇〇
露國	一二、〇〇〇
スカンヂナビヤ諸國	四、〇〇〇
白耳義及和蘭	九、〇〇〇
濠洲	一二、〇〇〇
日本	一九、〇〇〇
其他	五、〇〇〇
世界消費	六二三、〇〇〇
世界生產	六二〇、五〇〇
ストックより出庫	二、五〇〇

世界消費に於ては、再製護謨の消費減退を考慮したことを此處に特記する。

(Korte berichten voor landbouw Nijverheil en hanlel, Aug. 17 '28 No. 33)

□蘭印雜報

爪哇銀行總裁の更迭

八月九日付アムステルダム來電に依れば、現爪哇銀行總裁トリップ氏の後任として和蘭銀行副總裁ファン・ブッテングハウイチエル氏(Mr. Dr. G. G. van Butingha Wichers)が任命さるゝことに決定せる由である。

(Het Nieuws van den Dag, Aug. 10, '28)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

蘭印華僑の國民政府への飛行機寄贈計畫

パンカ島のスンゲイ、リアト在住の支那人は共に醵金して飛行機を購入し之れを南京の國民政府へ寄付する計畫を爲し、既に一四、〇〇〇の金が醵出されて居る。飛行機はスンゲイリアトと名付けられ、支那の國民政府に依つて使用されることとなつて居る由である。

又當地支那紙はバンカ島の例に因んで爪哇に於てもバタビヤ號、スマラン號及スラバヤ號等と名付けて、支那の國民政府に寄贈すべきであると盛んに在外華僑の犠牲心を煽つて居る。

(Het Nieuws van den Dag, Aug. 11,'28)

ニユーギネアに於ける甘蔗の探險

確聞するところに據れば、ニユーギネアに於て甘蔗の新種を發見せんとする米國探險隊は過般來同島に於て既に作業に着手したとのことである。

本探險は米國政府に依り資金を供給され、以前にパスルアンの試驗場に居たジエスウイート敎授が加つて居る。彼等はサンフランシスコより布哇經由でシドニーに來り、そこより英領ニユーギネアのモレスパイ港に渡り奥地に向つて出發のたのである。

奥地の方には各所にキヤンプ及駐屯所が設けられ又蒐集せる各種の甘蔗を其後ワシントン、シドニー、ブリスベーン、布哇及爪哇に送る爲に一時其處に植付けて置く畑が作られて居る。

ジエスウイート敎授は爪哇の糖業試驗所へも亦新たに發見した甘蔗を送ることを欲して居る樣であるが、彼は之れには特別の條件を付して居るさうである。本條件は未だ其の内容を知るよしもないから如何なるものであるかは此處に報告することが出來ない。

探險開始後間も無く河畔に於て非常に丈の長い新種を發見したが、優に二十八呎もあつてSaccharum officinarumの一族であるらしく、之れにSaccharum robustumと銘名した。セレベス島にも斯の如き偉大なる甘蔗があるが、之等は殆んど糖分を含有して居ない樣で單に驚くべき發育力を有つて居るのみであるとのことである。が兎に角本種及其他の本島に發見された甘蔗は爪哇のボイテンジルホ植物園に試驗し、之れより何等かの變種を造り出さうと云ふ意向らしい。

(Soerabaiasche handelsblad, Aug. 7,'28)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Verpondingsordonnantie (S. v. N. I. No. 342)

濠　　　洲

Australia Attracting Foreign Industry (Com. R. No. 32. Aug. 6, P. 320)

£ 60,000,000 from Wool (H. D. P. Sept. 13)

歐　羅　巴

Le budget de 1929 (le T. Aug. 22, P. 3)

阿　弗　利　加

La Culture du Coton et de la banane (D. C. July 30, P. 1)

La soie à Madagascar (D. C. Aug. 2, P. 1)

La Culture en Algérie (le T. Aug. 12, P. 1)

Les Français en Tunisie (A. C. Aug. 15, P. 1)

北　米　大　陸

Foreign Capital Issues Publicly Offered in the United States (Com. R. No. 30, July 23, P. 187)

Foreign Trade in the Fiscal Year 1927-28 (Com. R. No. 32, Aug. 6, P. 315)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

India's Constitution. Report of the Nehru Committee. Dominion Status Recommended (S. F. P. Aug. 28)

Future of India (S. F. P. Sept. 3)

Communism in India. Bill to deal with Bolshevists (S. F. P. Sept. 11)

Indian Labour. Question of Minimum Wages. P. A. M. Interim Report (S. F. P. Sept. 12)

蘭 領 東 印 度

Aanteekeningen over het volksbestuur op noord Nieuw-Guinea (K. S. Vol. 12, No. 4, Aug.)

Herstel van zelfbesturen (K. S. Vol. 12, No. 4, Aug.)

Opkoop van bevolkingsriet in de afdeeling Malang (K. S. Vol. 12, 4, Aug.)

Het verkeersvraagstuk in Midden-Sumatra (K. S. Vol. 12, No. 4, Aug.)

Conditions in the Sumatra Rubber Industry Com (R. No. 32, Aug. 6, P. 349)

De positie van den Indo-Europeaan (H. N. v. d. D. Aug. 8)

De suikerriet-expeditie in Nieuw-Guinea (H. N. v. d. D. Aug. 8)

Kolonisatie in Nieuw-Ginea (H. N. v. d. D. Aug. 12)

Hopeloos verwarring (H. N. v. d. d. D. Aug. 14)

Het koloniale vraagstuk van deze tijd (H. N. v. d. D. Aug. 15)

Officieele voorlichting (S. Hb. Aug. 17)

De rubbersituatie in Ned-Indie gedurende de eerste helft van1928 en de wereldrubbersituatie (L. N. e. H. No. 33, Aug. 17)

Theorie en werkelijkkeid (H. N. v. d. D. Aug. 18)

Het diner der Japansch gast (H. N. v. d. D. Aug. 22)

Samenwerking in de rubber (H. N. v. d. D. Aug. 22)

China en Indie (S. Hb. Aug. 22)

Koloniale petroleum maatschappij. Pogingen tot opvoering van de olieproductie in het palembamgsche (H. N. v. d. D. Aug. 22)

Japansche gasten (S. Hb. Aug. 22, 23)

De landsmiddelen van het eerste halfjaar 1928 (S. Hb. Aug. 23)

De in en uitvoer van Java en Madoera gedurende het eerste halfjaar van 1928 (L. N. e. H. No. 34, Aug. 24)

Chineesche passagiers en de immigratiedienst (S. Hb. Aug. 24)

Ergerlijke Verwarring (H. N. v. d. D. Aug. 25)

Mr. Colijn over de koloniale vraagstukken van de dag (H. N. v. d. D. Aug. 27)

Public Finance in the Netherland East Indies (Com. R. No. 35, Aug. 27, P. 518)

Ormsbey gore over Java (S. Hb. Aug. 28)

De economische toestand van Ned-Indie (S. Hb. Sept. 3)

Van het eiland Timor (S. Hb. Sept. 5)

Het gouvernement der Molukken (S. Hb. Sept. 6, 7)

De invoering der staatkundige hervoming in Oost Java (S. Hb. Sept. 7)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

暹　　　羅

The Timber and Mineral Market for the Months of Jan., Feb. and Maerh (R. No. 29, July)

Report on a Tour of the Botanical Section in the Provinces of Chumpawn, Langsuan and Surat (R. No. 29, July)

Siam Market. Notes on Current Trade during the Quarter ended June 30th, '28 (R. No. 29, July)

Royal State Railways. Abstract of Adminisrative Report for the Year B. E. 2469 (R. No. 29, July)

Annual Statement of Tin and Tin Ore won in Siam for the Year B. E. 2470(No. 29, July)

Report on the Rice Crop of Siam for the Year B. E. 2470 (No. 29, July)

Current Events (During the Period May-July, 1928) (R. No. 29, July)

Siam. A Discussion in London (B. T. Aug. 14)

Progress in Siam. An "Edinburgh Review" Article (B. T. No. Aug. 14. 15, 16, 17)

De buitenlandsche handel van Siam gedurende de laatste jaren (L. N. e. H. No. 33, Aug. 17)

The Boycott (B. T. Aug. 23, 27)

Prince Damrong's Lecture on "The Origin of the Wats in Siam" (B. T. Aug. 25)

Department of Municipal Affairs. Road Maintenance Programme (B. T. Aug. 28)

Siam's Civil Service (B. T. Sept. 3)

英　領　馬　來

The A. B. M. Interesting Speeches at Annual Meeting (S. F. P. Aug. 21)

Rubber Research. Mr. Ashplant Replies to Dr. Bryce (S. F. P. Aug. 23)

Rubber Restriction Statistics. 6 th Restriction Year (S. F. P. Aug. 25)

P. and O. History (S. F. P. Aug. 27)

Rubber's Future (S. F. P. Aug. 27)

Unofficials' Reply to "Secret" Despatch. Suggest Contribution of $ 3,600,000. Military Authorities demand $ 6,000,000 this Year (S. F. P. Aug. 28)

British Malaya's Trade. Competition in Important Market (C. E. T. Vol. LXX, No. 3393, Aug. 30, '28. P. 621)

Johore in Parliament. Offensive Speech by Comdr. Kenworthy (S. F. P. Aug. 31)

Interesting Speeches on Rubber. The Industry's Bill (S. F. P. Sept. 1)

British Malaya Rubber: August Statistics (S. F. P. Sept 4)

Military Contribution. Sir F. Swettenham's Views (S. F. P. Sept. 4)

Depence Contribution Chamber of Commerce Meeting. Unofficials' Proposal Supported (S. F. P. Sept. 11)

Sarawak Trade (H. D. P. Sept. 11)

英　領　印　度

Banking Development in India (Com. R. No. 32, Aug. 6, P. 370)

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Perry A. Hill tells of P. I. Dependence upon Agriculture (M. B. Aug. 30)

Orders Creating Old and New Councils are Similar (P. H. Sept. 1)

Full Text of Quezon's Inagural Address (P. H. Sept. 1)

P. I. Copra Cake finds Market (M. B. Sept. 4)

P. I. gains by Council, Kalaw say (P. H. Sept. 4)

G. G. will aid of P. I. Sugar (M. B. Sept. 5)

佛領印度支那

L'Indochine Industrielle (A. C. July. 28, P. 1)

La culture des hévéas en Indochine (A. C. July. 28, P. 1)

La soie artificielle en Indochine(A. C. July. 28, P. 1)

La stabilisation de la piastre Indochinoise (D. C. July 31, P. 1)

La préhistoire au Tonkin (A. C. Aug. 2, P. 1)

Deux pêcheurs annamites sont recueillis en mer par un paquebot Japonais (le C. S. Aug. 3, P. 1)

Les sept nouveaux élus à la chambre d' Agriculture de la Cochinchine (le C. S. Aug. 3, P. 1)

La protection de la Main-d'oeuvre Indigine en Cochinchine (le C. S. Aug. 3, 4, P. 1, 3)

Chronique des Mines (E. F. I. No. 581, Aug. 5, P. 15)

L' École de Commerce de Hanoi (E. E. I. No. 581, Aug. 5, P. 5)

Les efforts de propaganda de l' Indochine aux Etat-Unis et au Canada (le C. S. Ang. 6, P. 1)

La nouvelle organisation des Troupes Coloniales (le C. S. Aug. 10, P. 1)

L' Instruction primaire en Indochine (le T. Aug. 11, P. 1)

Causeries sur l' Histoire d' Annam (E. F. I. No. 583, Aug. 19 P. 3)

Le Chemin de fer du Laos Siamois est ouvert jusqu' à Srisaket (F. E. I. No. 583, Aug. 19 P. 4)

Les Distilleries en Indochine (F. E. I. No. 583, Aug. 19, P. 5)

La question de l' Opium en Indochine (E. E. I. No. 583, Aug. 19, P. 6)

La réforme monétaire Indochinoise le (C. H. Aug. 19, 22, 24, 28, P. 1)

La réforme de l' administration Indochinoise (le C. H. Aug. 21, P. 1)

L' Éducation de l' Annamite par l' Annamite (le C. H. Aug. 23, P. 1)

M. Pierre Pasquier est nommé Gouverneur Général de l' Indochine (F. I. Aug 25 P. 1)

La nomination de M. Pasquier (le C. H. Aug. 26, P. 1)

La politique Financière de è Indochine (A. T. Aug. 29, P. 1)

Les Grands travaux en Indochine (le C. H. Aug. 30, P. 1)

Les possibilités de l' Indochine en bois de teck (le C. H. Aug. 31, P. 1)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Road building in South China. Interesting Report to Department of Overseas Trade. (F. E. Vol. XIX, No. 9, Sept. 13, P. 239)

British Cotton Goods in China (H. D. P. Sept. 13)

Light Seaplane Club for Hong Kong? (H. D. P. Sept. 14)

China and the Council of the League of Nations. By Ran Shao-Hwa (C. W. R. Vol. XLVI, No. 3, Sept. 15)

Summary of Strikes in Shanghai for Aug., '28 (C. E. B. Vol. XIII, No. 11, Sept. 15)

Timber and Bamboo Trade and Tea Crop at Suancheng, Anhwei (C. E. B. Vol. XIII, No. 11, Sept. 15)

American Comment on Japan's Manchurian Policy: Manchuria Not Lost to China (From the New York Sun, August 15) (C. W. R. Vol. XLVI, No. 3, Sept. 15)

Shanghai's White Russian Mercenary Army (C. W. R. Vol. XLVI, No, 3, Sept. 15)

The Budget Expenditure of Hong Kong Estimated at $19,478,964 (H. D. P. Sept. 18)

The Colony's Budget for 1929 (Hong Kong) (H. D. P. Sept. 21)

Credits for China. British Reconstruction Syndicate. (E. E. Vol. XIX, No. 9, Sept. 13, P. 243)

Bills of Lading. International Uniformity in the Law (Hong Kong) (H. D. P. Sept. 24)

Trade in Kwantung. 1927 Report for Kowloon (H. D. P. Sept. 25)

The Japanese Boycott. Cost to China (H. D. P. Sept. 26)

Importance of a Labour Contract. How and When to pay Labour Contractors (H. D. P. Sept. 27)

比　律　賓

The New Commercial Outlook of the Philippines (Com. R. No. 33, Aug. 13, P. 388)

Review of Philippine Commerce (Com. R. No. 33, Aug. 13, P. 387)

The Philippine Lumber Trade (Com. R. No. 33, Aug. 13, P. 427)

Electric Light and Power in the Philippine Islands (Com. R. No. 33, Aug. 13, P. 406)

The American Automobile in the Philippine Islands (Com. R. No. 33, Aug. 13, P. 409)

Economic and Commercial Progress of the Philippines (Com. R. No. 33, Aug. 13, P. 389)

Japanese Hold Lumber Trade (M. B. Aug. 21)

No Proposal to Liberalize P. I. Land will be entertained this year, Senate Canvass Indicates P. H. Aug. 23)

Expect P. I. to exceed Hawaii Trade with U. S. (M. B. Aug. 23)

Plan to revive Council of State is justified (P. H. Aug. 26)

Sumulong sees P. I. National Tragedy on wake of Belo Bill (P. H. Aug. 26)

G. G. Says Corporation Law Changes are Drawn up by Joint Committee of P. I. and American Bar Associations. (P. H. Aug. 29)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Taxes In the Interior of China. By C. B. Rape (C. W. R. Vol. XLV, No. 13, Aug. 25)

U. S. Press Approves Kellogg Note and Treaty (C. W. R. VLV, No. 13, Aug. 25)

Text of New China-Germany Treaty (C. W. R. Vol. XLV, No. 13, Aug. 25)

Sino-American Treaty as Viewed by Soviets (Translated from "Izvestia," Moscow, August 1) (C. W. R. Vol. XLV, No. 13, Aug. 25)

China Would Attain "Equality and Justice" Through Development of a Modern Navy! (C. W. R. Vol. XLV, No. 13, Aug. 25)

Detailed Nationalist Trade-Mark Regulations (Order No. 14) (C. W. R. Vol. XLV, XLVI, No. 13, 1, Aug. 25, Sept. 1)

The National Financial Conference in Nanking on July 1 (C. E. J. Vol. III, No. 3, Sept.)

Index Number of Retail Prices in Peping: A Preliminary Study (C. E. J. Vol. III, No. 3 Sept.)

Costs of Peanut Production in China (C. E. J. Vol. III, No. 3, Sept.)

New Christian Movements in China. Djang Fang (C. R. Vol. LIX, No. 9, Sept.)

Receipts and Disbursements of the Nationalist Government (C. E. B. Vol. XIII, No. 9, Sept. 1)

Mineral Products of Kweichow (C. E. B. Vol. XIII, 9, Sept. 1)

American Policy in China. By Silas H. Strawn (C. W. R. Vol. XLVI, No. 1, Sep. 1)

Honan After a Year of Feng's Administration. By Chen Tsung-Hsi (C. W. R. Vol. XLVI, No. 1, Sep. 1)

China's Complicated Radio, Telegraph and Cable Situation (C. W. R. Vol. XLVI, No. 1, Sep. 1)

Who's Who in China. Mr. Yen Chih-Lu (呂彥直字古愚), Ling Hung Hsun (淩鴻勛), Lin Fang Po (林芳伯), (C. W. R. Vol. XLVI, No. 1, 2 Sept. 1, 8)

Macao's Historic Past. A Comparison with Hong Kong (H. D. P. Sept. 4)

Across the Gobi Desert. Woman's adventurous air trip. The "Sand Mountain". (C. E. T. Vol. LXX, No. 3394, Sept. 6, '28. P. 635)

Shanghai-Hangchow-Ningpo Railway Revenue in 1928 (C. E. B. Vol. XIII. No. 10, Sept. 8)

Rattan Industry in Shanghai (C. E. B. Vol. XIII, No. 10, Sept. 8)

Text of Kellogg Treaty Handed To Dr. Wang (C. W. R. Vol. XLVI, No. 2, Sept. 8)

Shanghai-Nanking Railway Revenue in 1928 (C. E. B. Vol. XIII, No. 10, Sept. 8)

The Shoe Industry in Foochow (C. E. B. Vol. XIII, No. 10, Sept. 8)

An Analysis of the Japanese Statement on the Tsinan Incident. By A Chinese Contributor (C. W. R. Vo. XLVI, No. 2, Sept. 8)

Occupation of Mission School and Other Foreign Property By Chinese and Other Soldiers (C. W. R. Vol. XLVI, No. 2, Sept. 8)

British Trade with China. A Manufacturers' Syndicate. (C. E. T. Vol. LXX, No. 3395, Sept. 13, '28. P. 651)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

世 界

General

1927 World Production, Export and Consumption of Automobiles (Com. R. No. 30, July. 23, P. 216)

World Shipbuilding has declined (Com. R. No. 31, July. 30, P. 302)

Résumé of the World Trade in Portland Cement (Com. R. No. 31, July 30, P. 257. No. 32, Aug. 6, P. 321)

A Simple Talk on Repeating the Name of Buddha (念佛淺說) (C. R. Vol. LIX, No. 89, Aug., Sept.)

Een internationale suikerconferentie (L. N. e. H. No. 33, Aug. 17)

International Trade in Rubber Footwear (Com. R. No. 35, Aug. 27, P. 545)

Shipping Business Dull (Com. R. No. 35, Aug. 27, P. 536)

Worlds Wheat Crops (H. D. P. Sept. 24)

亞 細 亞

General

The Turkish Carpet Industry (Com. R. No. 30, July 23 P. 208)

Kashmir Experiments in Cooperation (Com. R. 35, Aug. 27, P. 519)

日 本

Japan Weathering Economic Uncertainties (Com. R. No. 34, Aug. 20, P. 455)

Japansche belangstelling voor Ned-Indië (S. Hb. Sept. 4)

支 那 及 香

Market for United States Fruits ables in China (Com. R. No. P. 213)

China and the Treaties (F. E XXIV, No. 8, Aug. P. 337)

An Historical Survey of the Anti-Jap Boycott Movement: Their Economic Consequences (F. E. R. Vol. XXIV, No. 8, Aug. P. 346)

The Peace of the Far East (F. E. R. Vol. XXIV, No. 8, Aug. P. 351)

China and American Foreign Policy (F. E. R. Vo. XXIV, No. 8, Aug. 356)

Manufacturing Industries in North Manchuria (F. E. R. Vol. XXIV, No. 8, Aug. P. 369)

Character Growing For Nation Building (樹人建國) (C. R. Vol. LIX, No. 8, Aug.)

Unitid States Treaty with China (C. E. T. Vol. LXX, No. 3389, Aug. 2, P. 556)

America and China (C. E. T. Vol. LXX, No. 3389, Aug. 2, P. 549)

The China Squadron (C. F. T. Vol. LXX, No. 3391, Aug. 16, P. 585)

The Chinese Outlook. Plenty of Room for Caution (C. E. T. Vol. LXX, No. 3392, Aug. 23, P. 605)

Shipping Enterprise on the Sungari River (C. E. B. Vol. XIII, No. 8, Aug. 25)

Summary of Strikes in Shanghai during the Month of July, '28 (C. E. B. Vol. XIII, No. 8, Aug. 25)

Comunications Conference in Nangking on Aug. 10 (C. E. B. Vol. XIII, No. 8, Aug. 25)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那南洋其他海外
重要記事索引

臺灣總督官房調査課

◉ 新聞雜誌略號一覽表 ◉

[illegible] C.	Les Annales Coloniales (Aug. 2-23, '28)
A. T.	L' Avenir du Tonkin (Aug. 1-31, '28)
B. T.	Bangkok Times (Aug. 11-Sept. 15, '28)
C. E. B.	Chinese Economic Bulletin (Vol. XIII, No. 8, Aug. 25-No. 11, Sept. 15, '28)
C. E. J.	Chinese Economic Journal (Vol. III, No. 3, Sept., '28)
C. E. T.	China Express and Telegraph (Vol. LXX, No. 3389, Aug. 2, No. 3391, Aug. 16-No. 3395, Sept. 13, '28)
Com. R.	Commerce Reports (No. 30, July 23-No. 35, Aug. 27, '28)
C. W. R.	China Weekly Review (Vol. XLV, No. 13, Aug. 25, Vol. XLVI, No. 1, Sept. 1- No. 3, Sept. 15, '28)
D. C.	La Dépech Coloniale (July 26-Aug. 22, '28)
E. E.	Eastern Engineering (Vol. XIX, No. 9, Sept. 13, '28)
E. E. L	L'eveil economique de L' Indochine (Aug. 2-30, '28)
F.	Le Figaro (Aug. 1-31, '28)
F. E. R.	Far Eastern Review (Vol. XXIV, No, 8, Aug., '28)
F. I.	France-Indochine (Aug 1-31, '28)
H. D. P.	Hongkong Daily Press (Aug. 24-Sept. 27, '28)
H. N. v. d. D.	Het Nieuws Van den Dag (Aug. 8-29, '28)
K. S.	Koloniale Studië (Aug. 4, '28)
Le C. H.	Le Courrier d' Haiphong (Aug. 1-31, '28)
Le C. S.	Le Courrier Saigonnais (Aug. 1-31, '28)
L. N. e. H.	Lanbouw, Nijverheil en Handel (No. 33, Aug. 14-No. 37, Sept. 14, '28)
Le T.	Le Temps (Aug. 1-31, '28)
M. B.	Manila Daily Bulletin (Aug. 16-Sept. 15, '28)
P. H.	Philippine Herald (Aug. 16-Sept. 15, '28)
R.	The Record (No.29, July, '28)
S. F. P.	Singapore Free Press (Aug. 19-Sept. 14, '28)
S. Hv.	Soerabajasch Handelsblad (Aug. 11-Sept. 14, '28)
S. v. N. I.	Staatsblad van Ned-Indië (No. 342)

※ ※ ※

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN